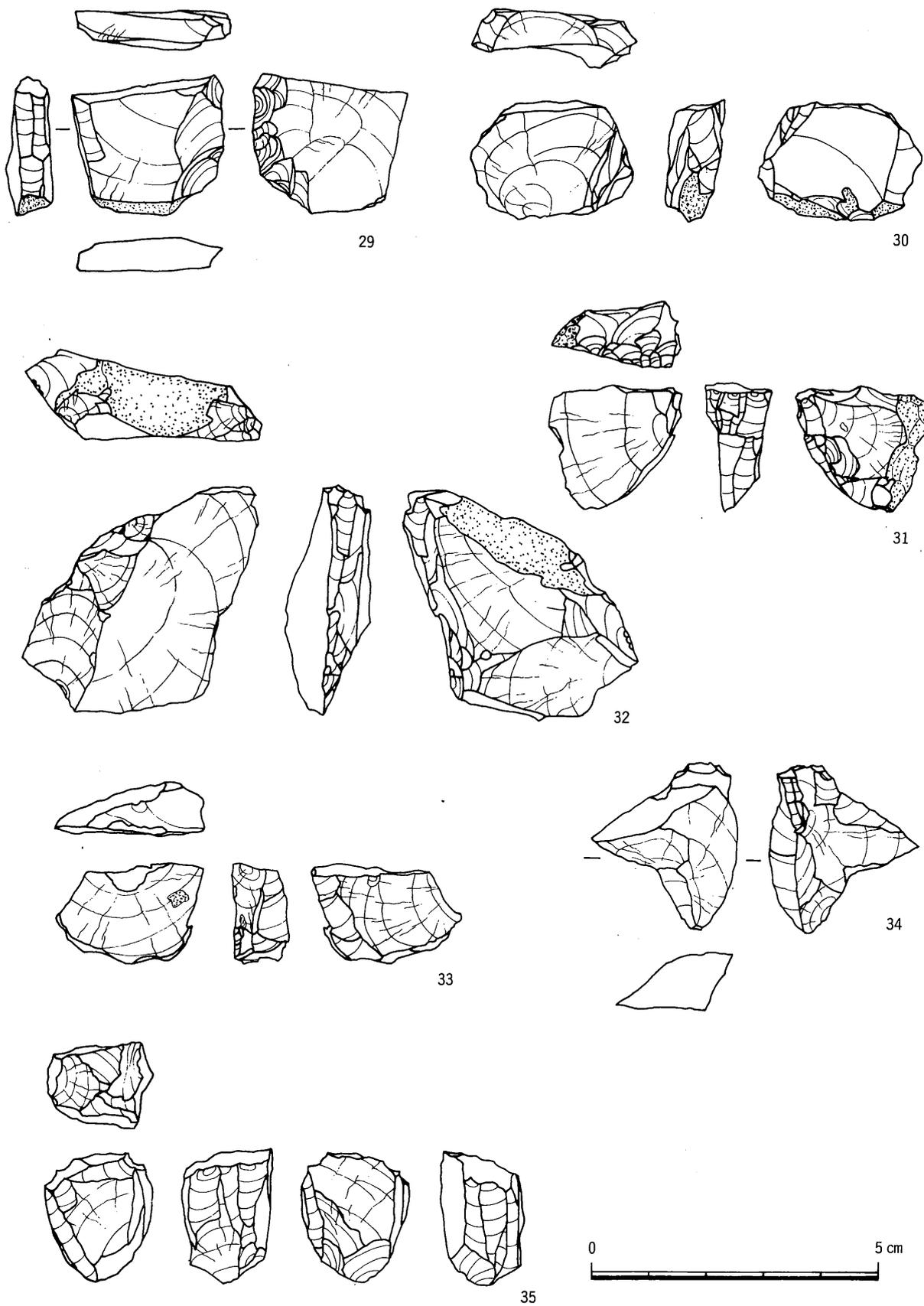
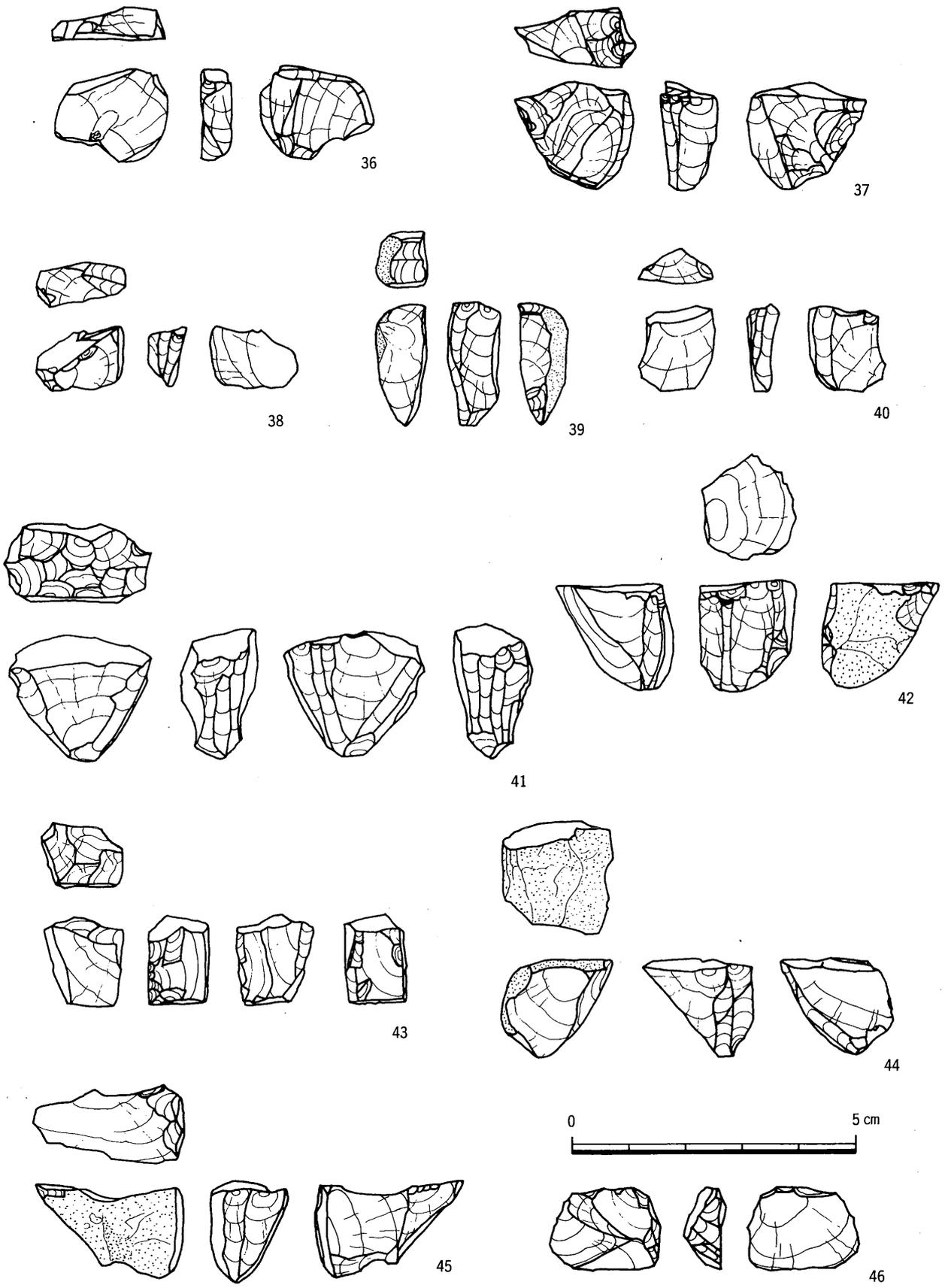


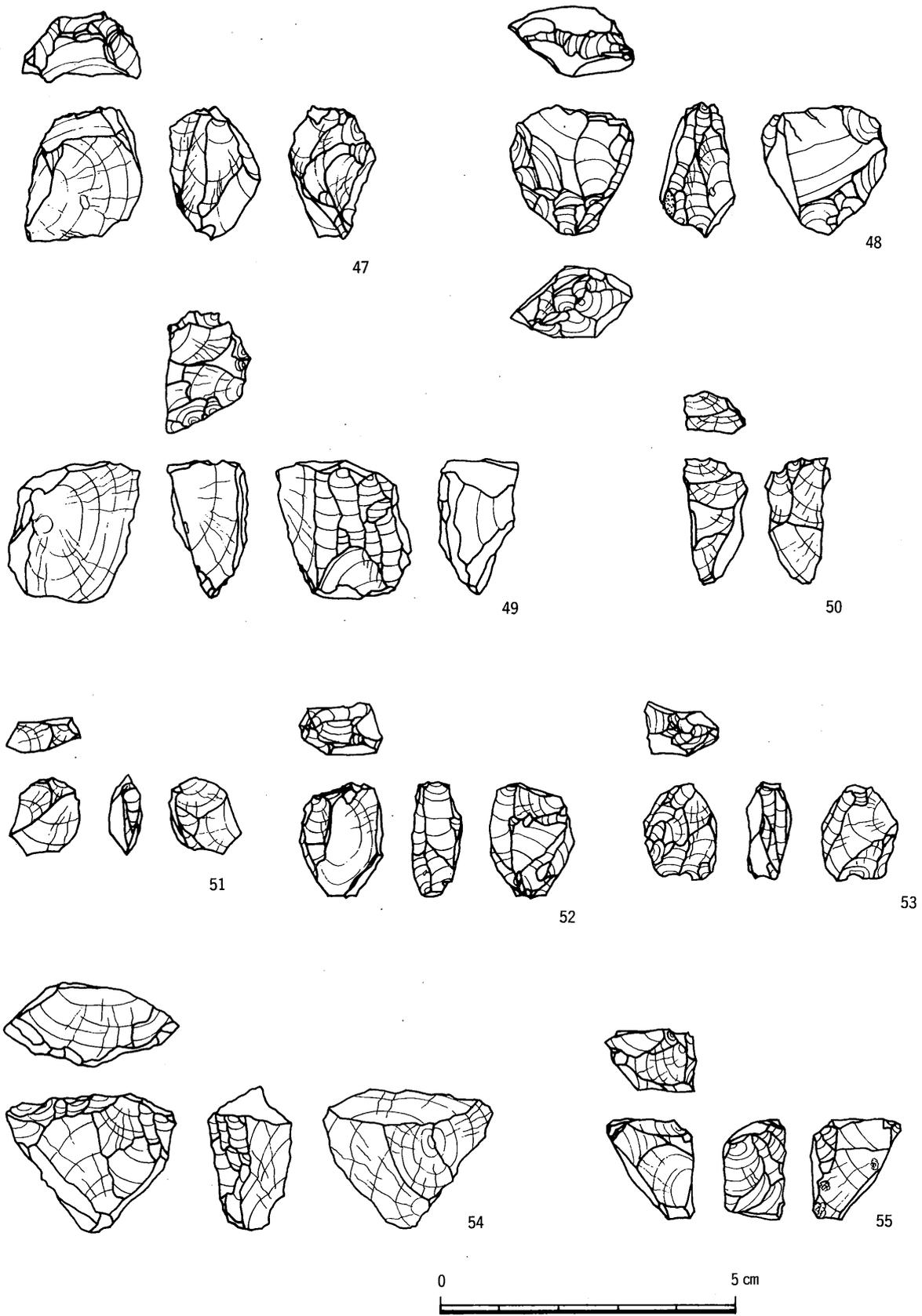
第 317 図 細石核実測図 (5)



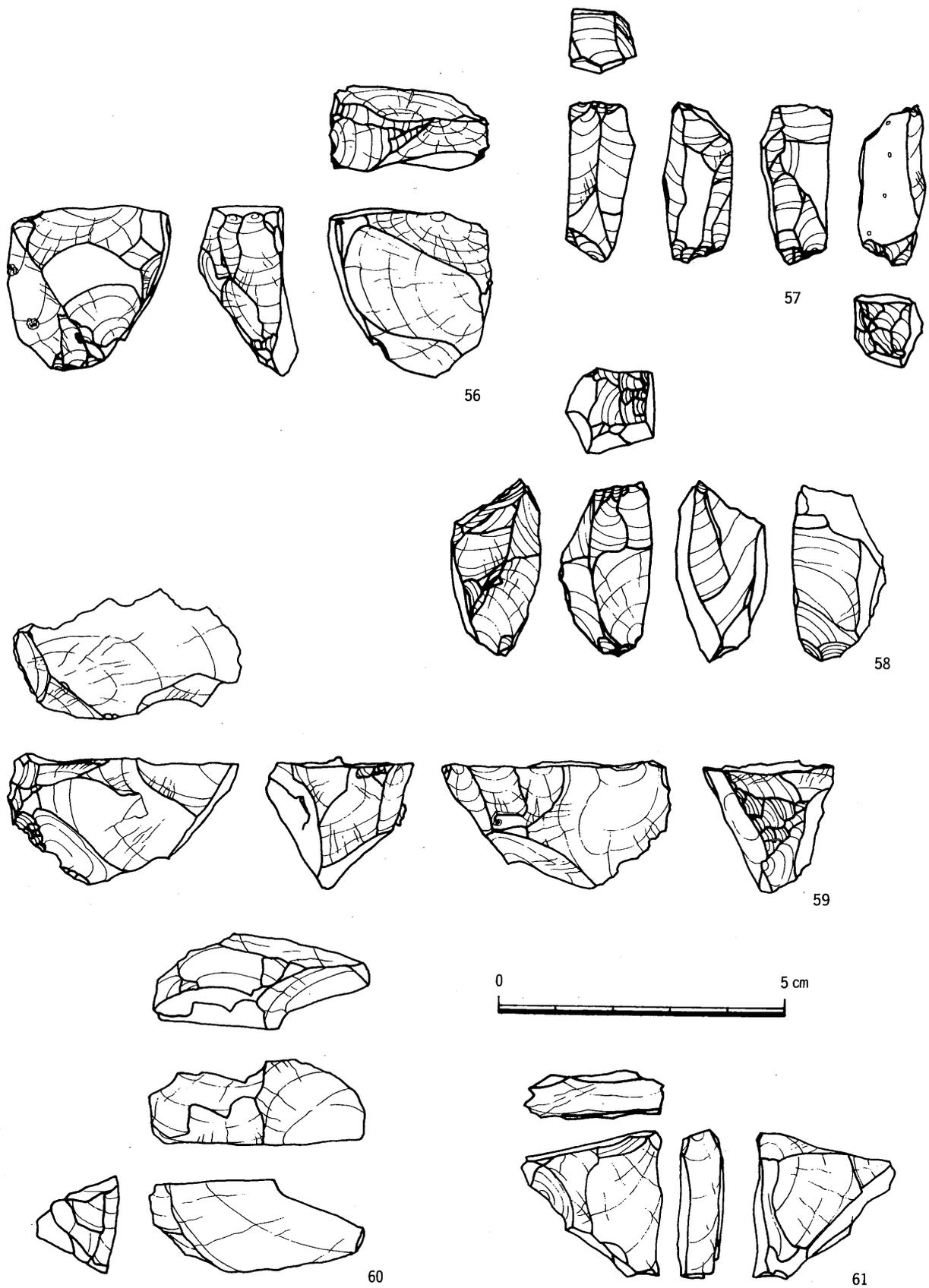
第 318 図 細石核実測図 (6)



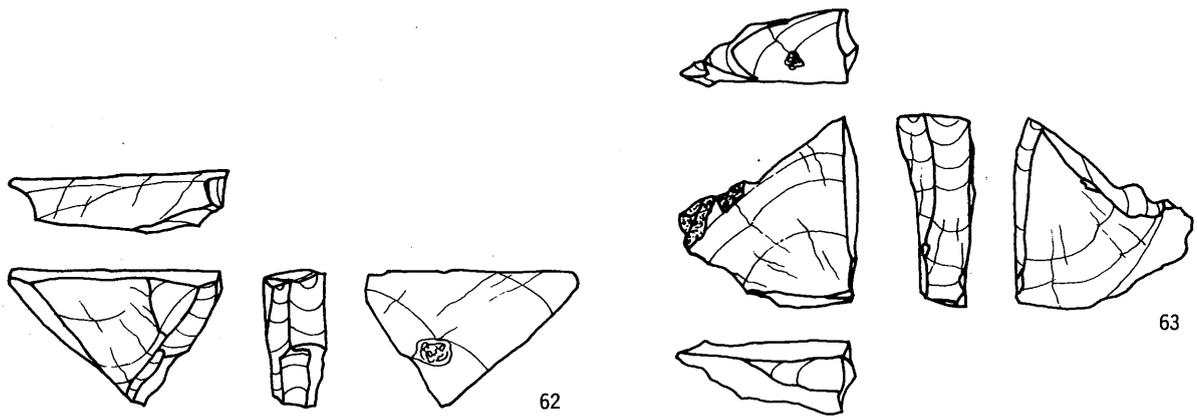
第 319 図 細石核実測図 (7)



第 320 図 細石核実測図 (8)

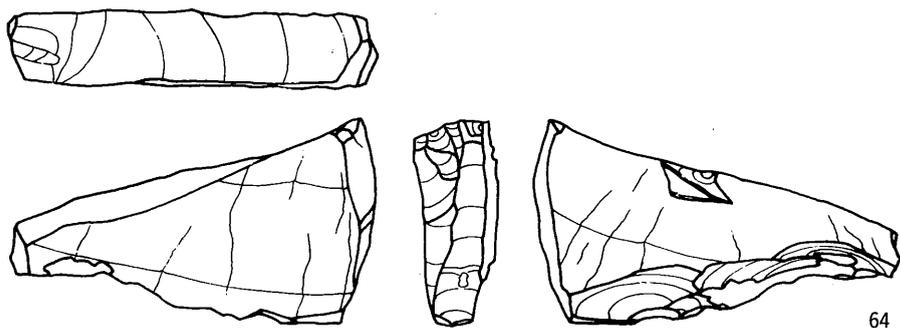


第 321 图 細石核実測图 (9)

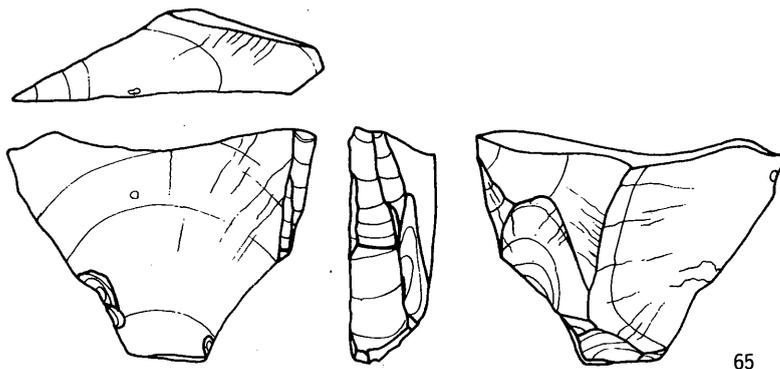


62

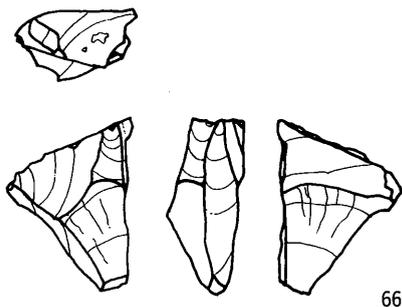
63



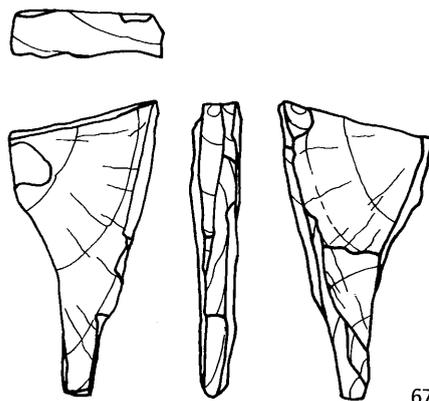
64



65

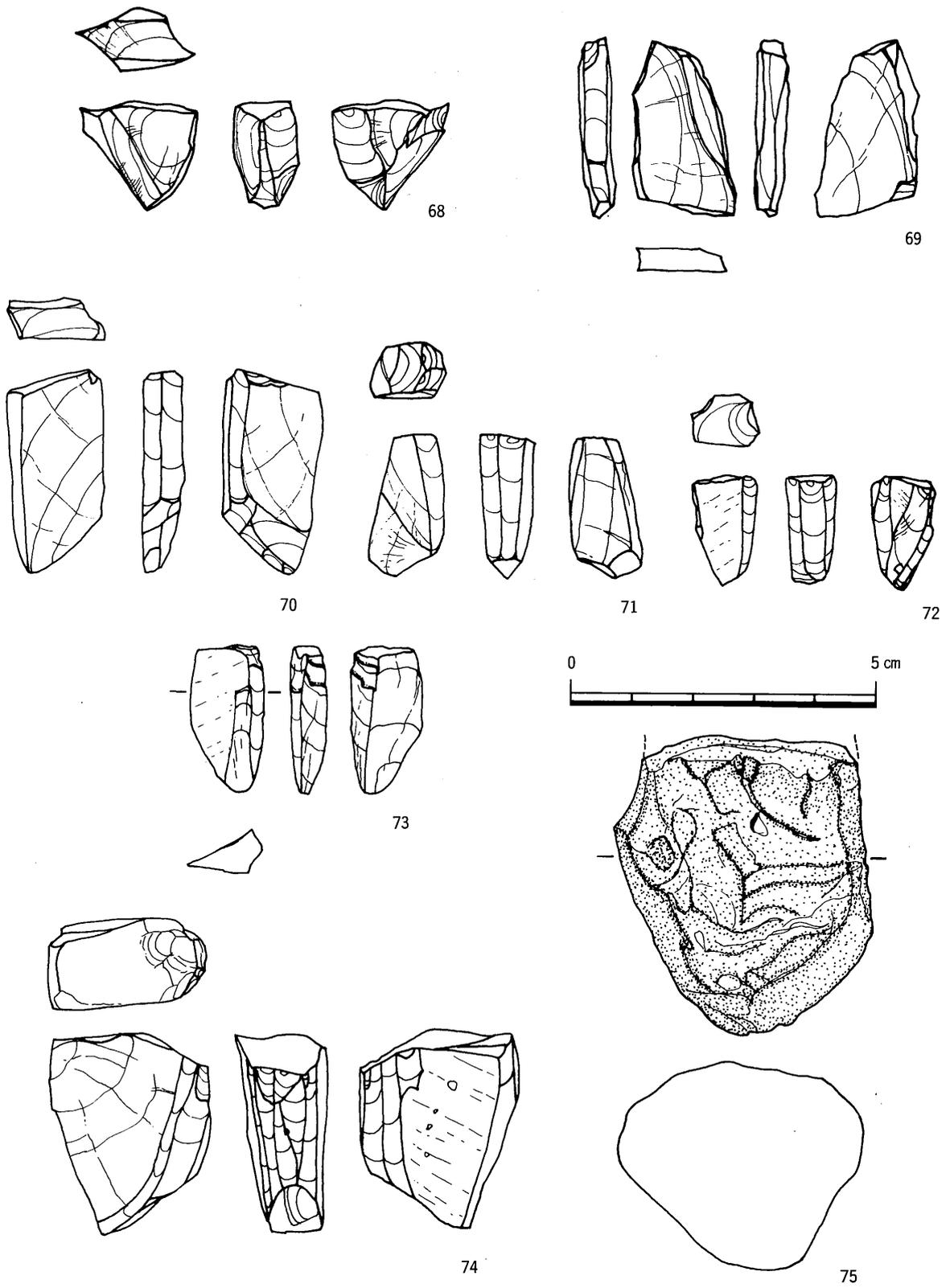


66

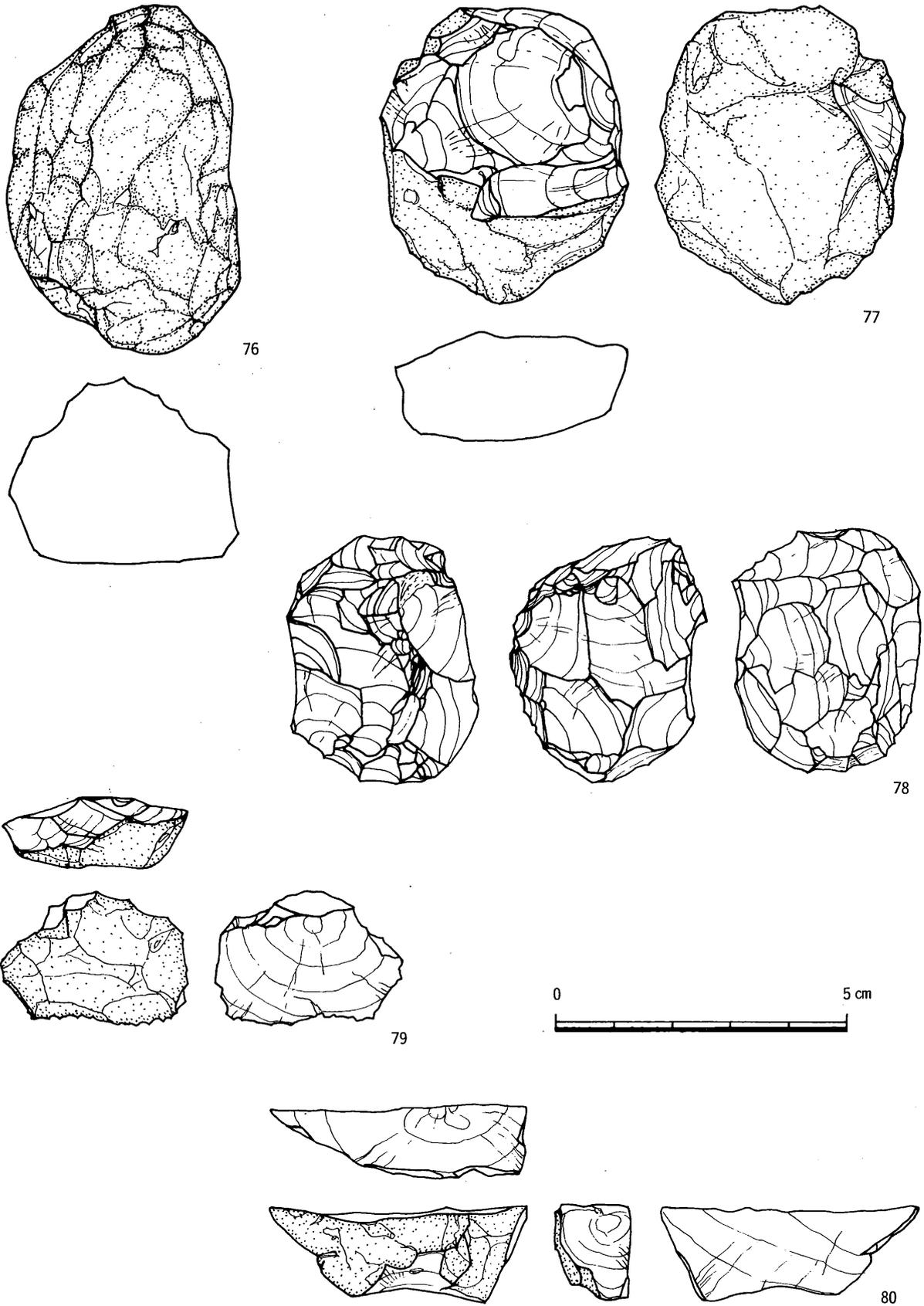


67

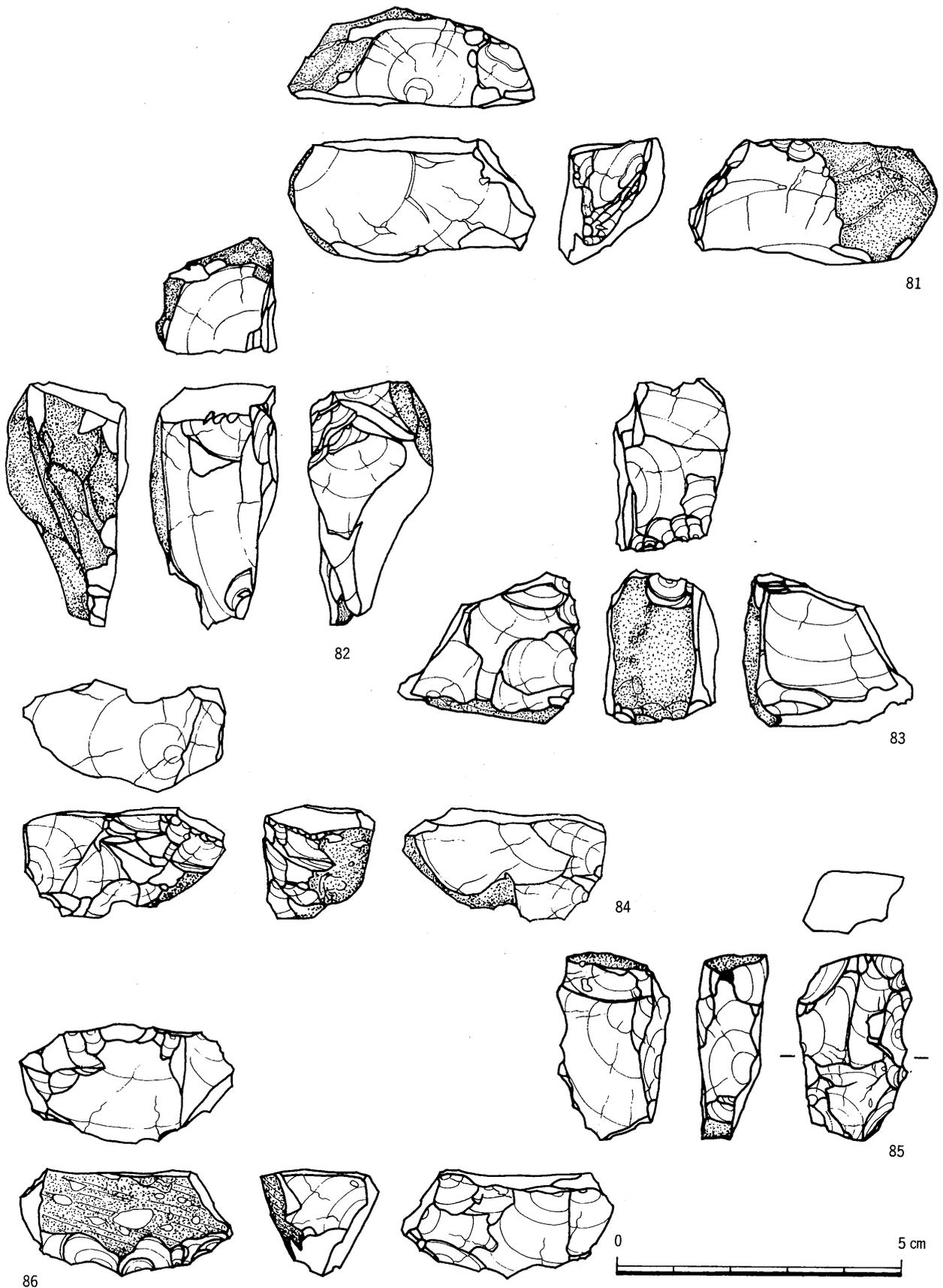
第 322 図 細石核実測図 (10)



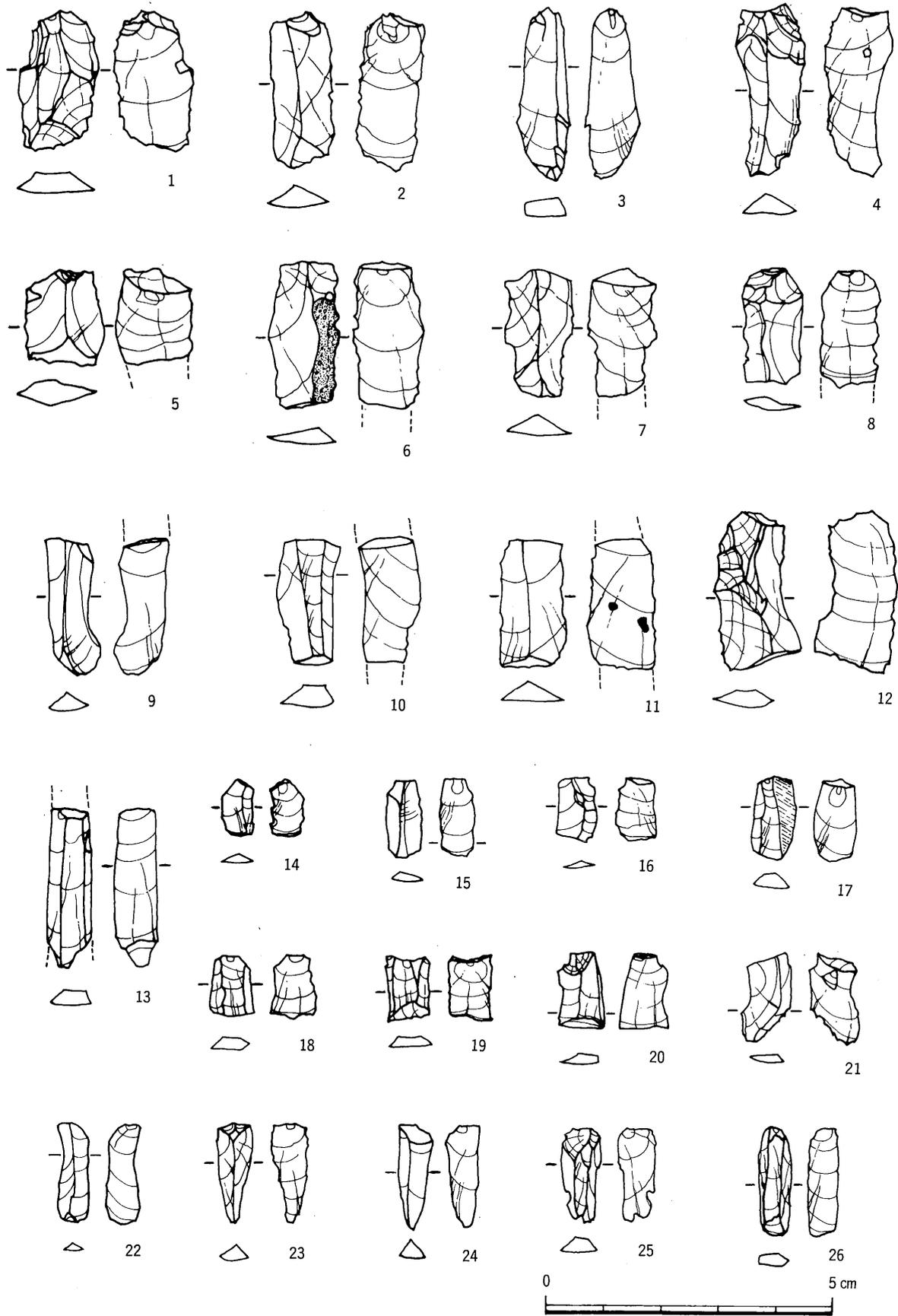
第 323 図 細石核実測図 (11)



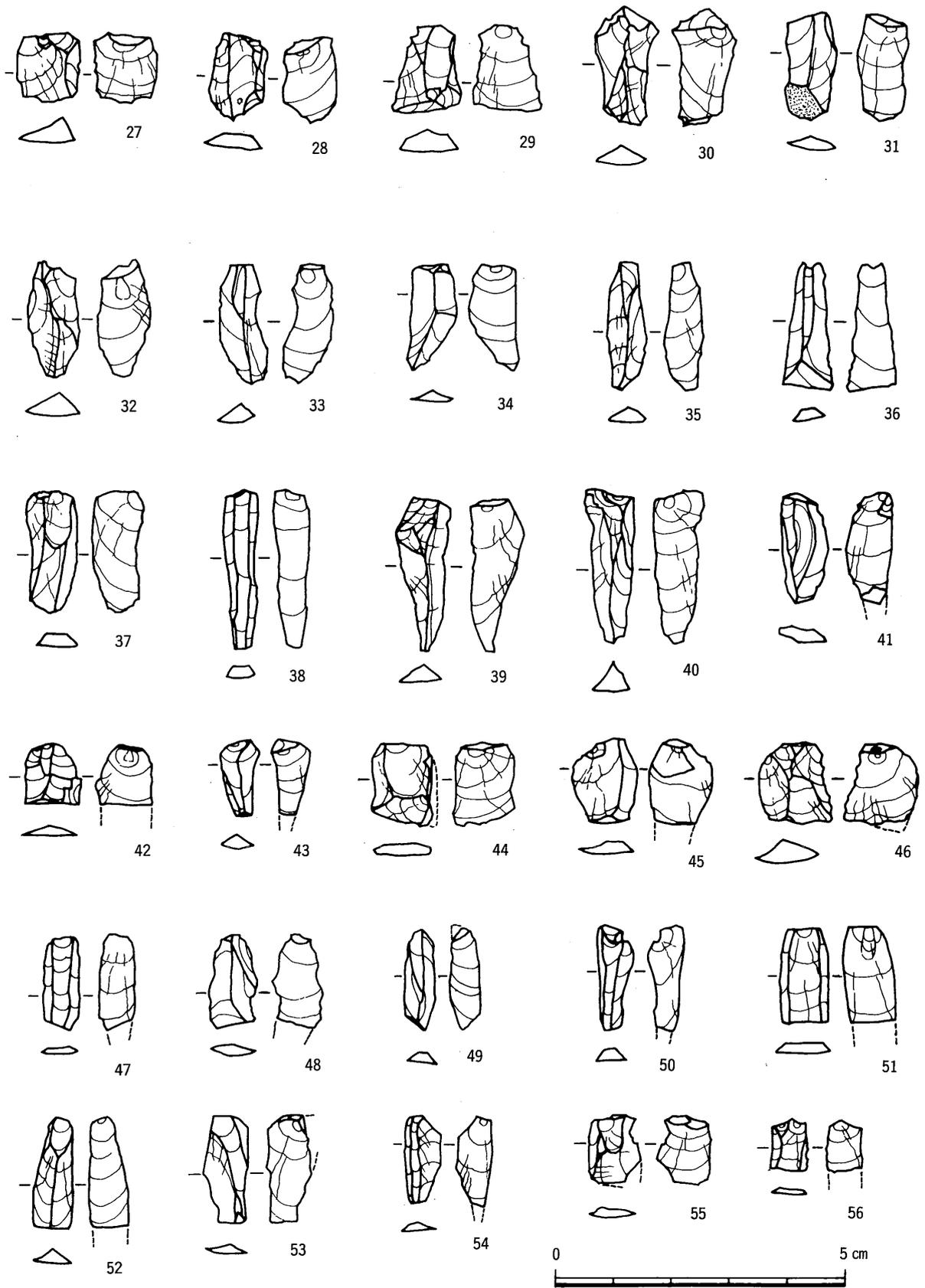
第 324 図 細石核実測図 (12)



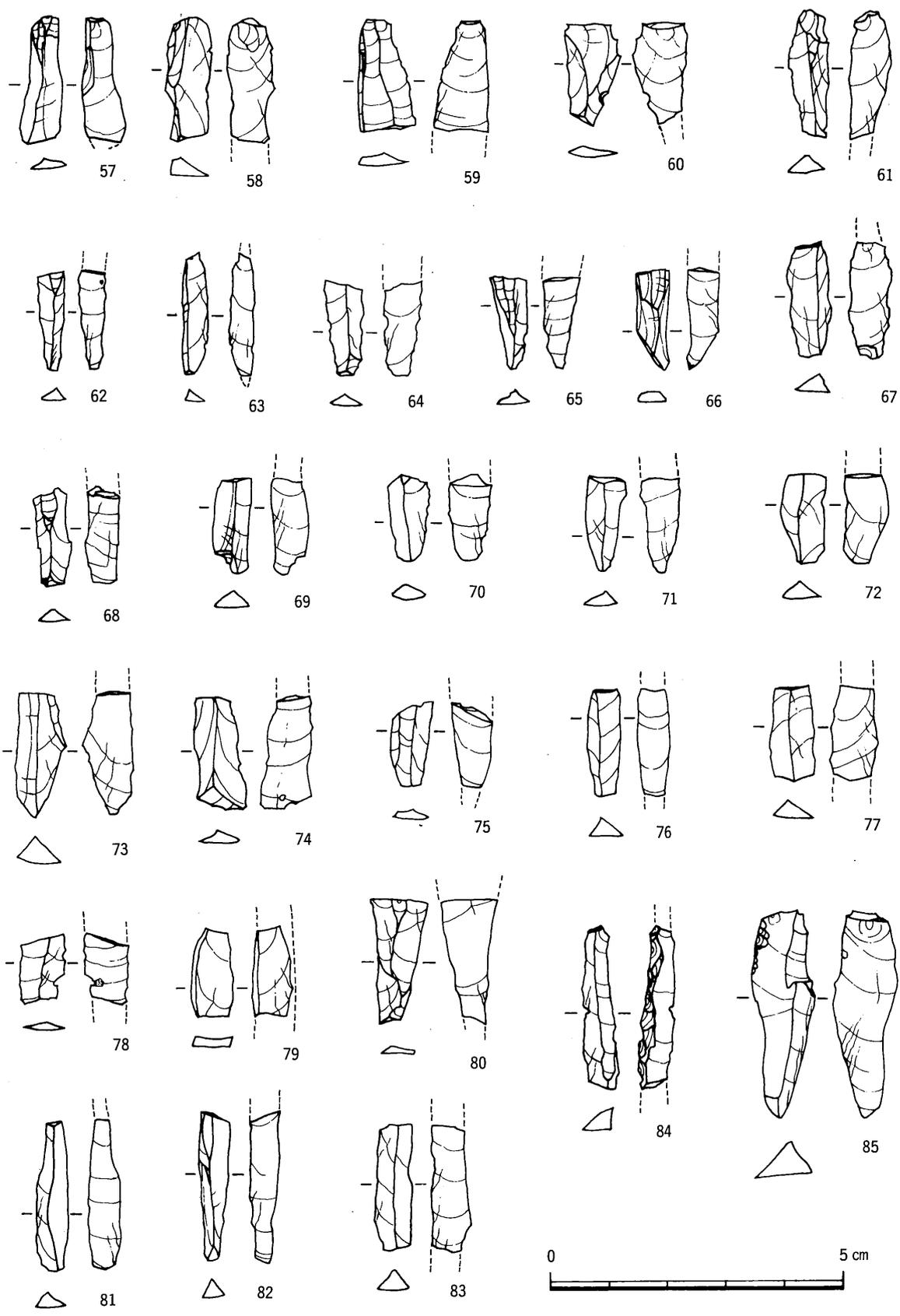
第 325 図 細石核実測図 (13)



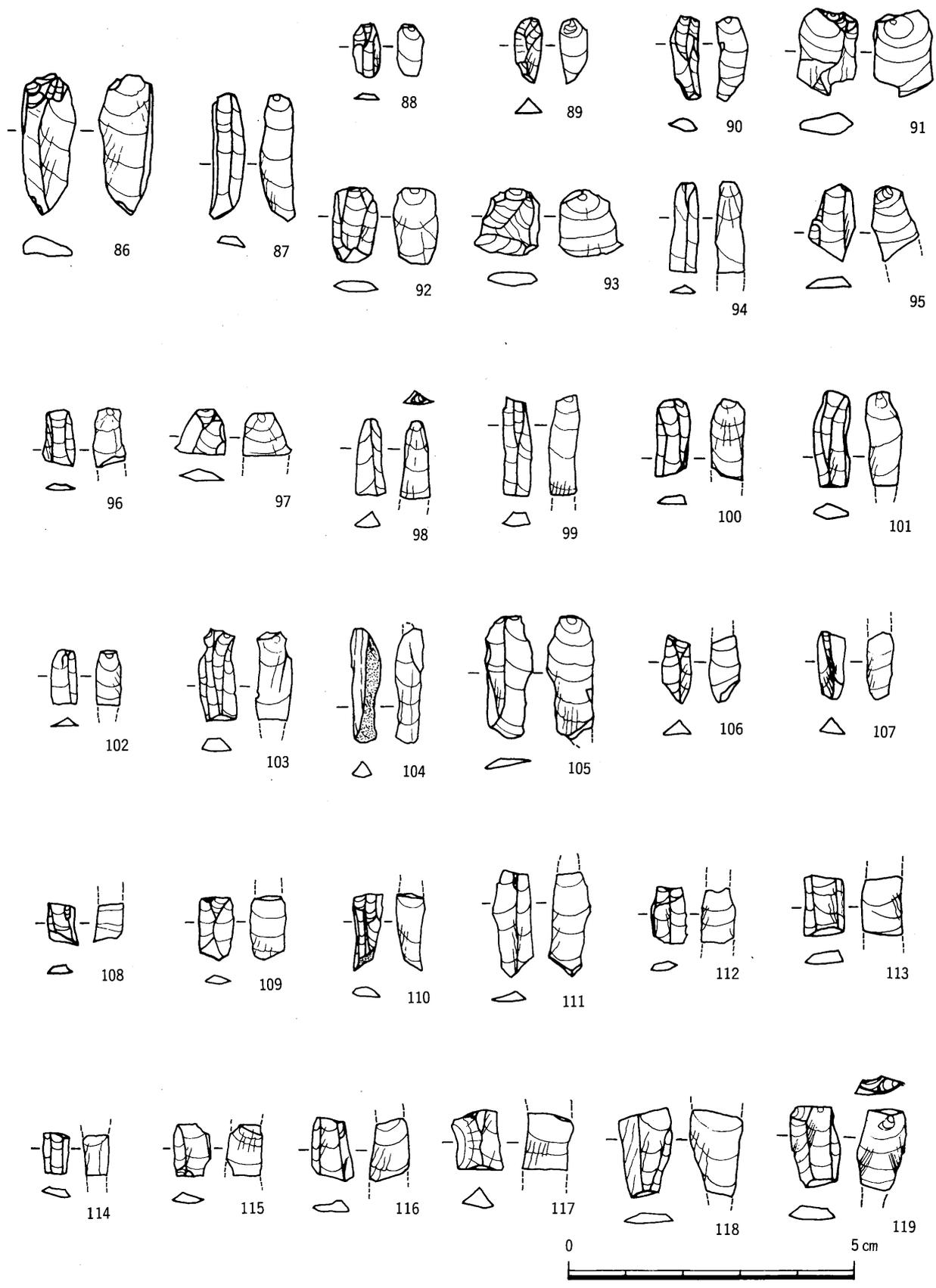
第 326 図 細石刃実測図 (1)



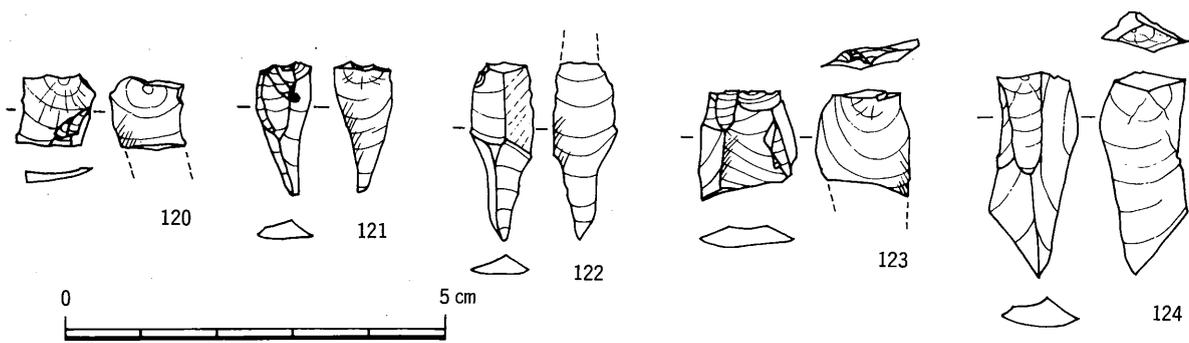
第 327 図 細石刃実測図 (2)



第 328 図 細石刃実測図 (3)



第 329 図 細石刃実測図 (4)

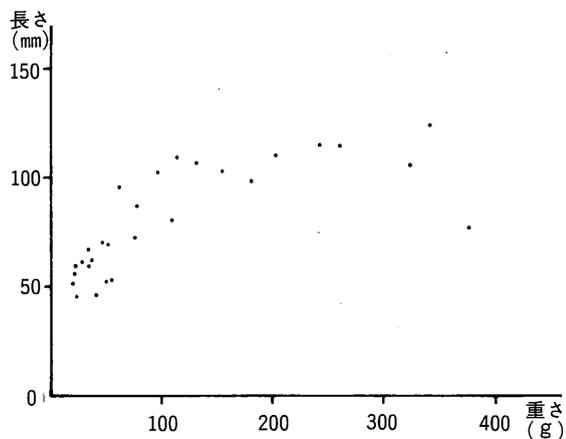


第 330 図 細石刃実測図 (5)

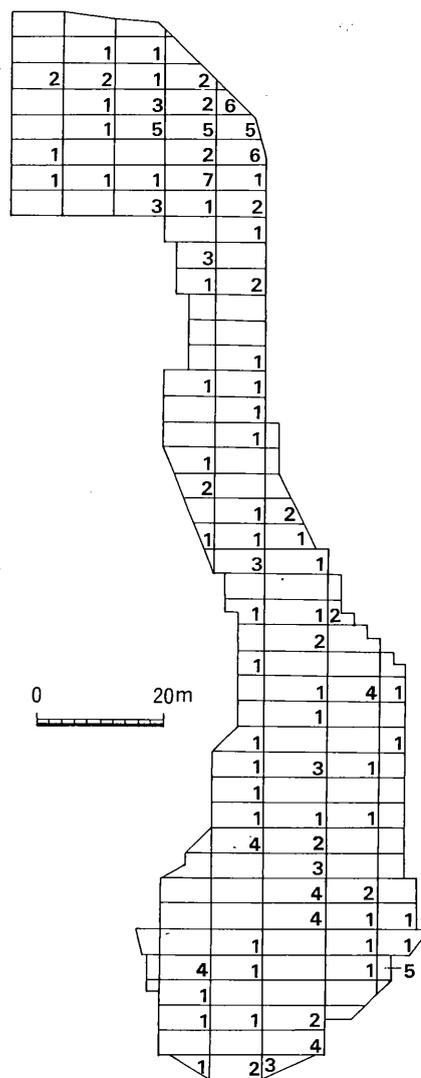
叩き石の大きさをみると、長さはほぼ 5 cm から 13 cm の間にあるものの、5 cm ～ 7 cm 程度のものがほぼ半数を占める。重さは約 20 g から約 400 g と幅が広いが、半数近くは 60 g 以下の小形品である。

したがって叩き石は、長さ 5 ～ 7 cm、重さ 20 ～ 60 g 程度のものが最も多くて半数近くを占め、長さ約 11 cm、重さ約 120 g までは長さ重さとも順調に増加するが、それ以後は重さが増加しても長さはほとんど変わらないものとなる(第 42 表)。石材による叩き石の大きさについては、出土点数の約 1/3 を占める砂岩製叩き石が 100 g 以上のものの約半数を占め、大形品の割合がやや高くなる以外は顕著な傾向は認められなかった。

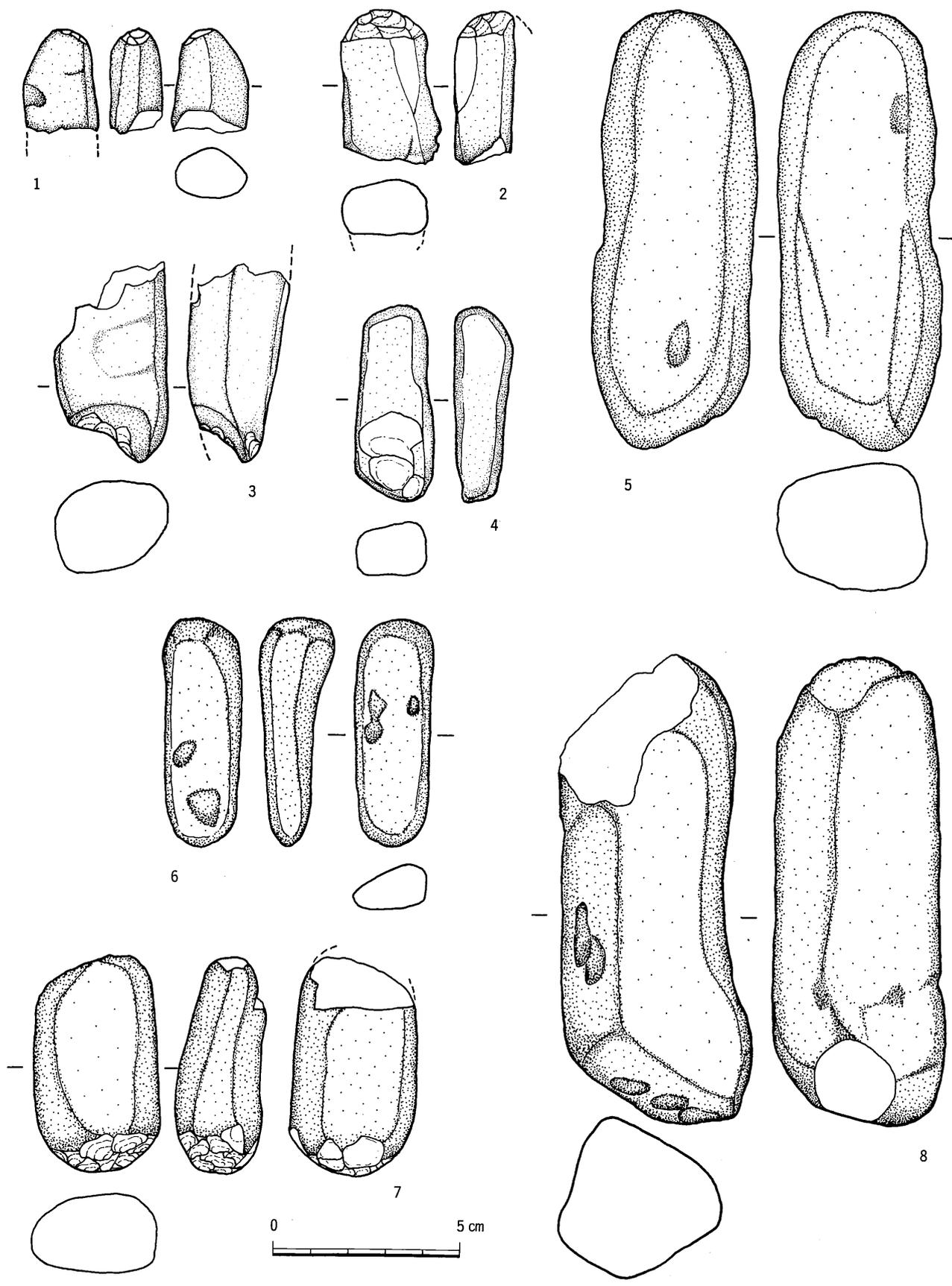
また、5・12・26・28・34・39・46・48・51などは赤変し、火を受けたことを示すのも注目される。



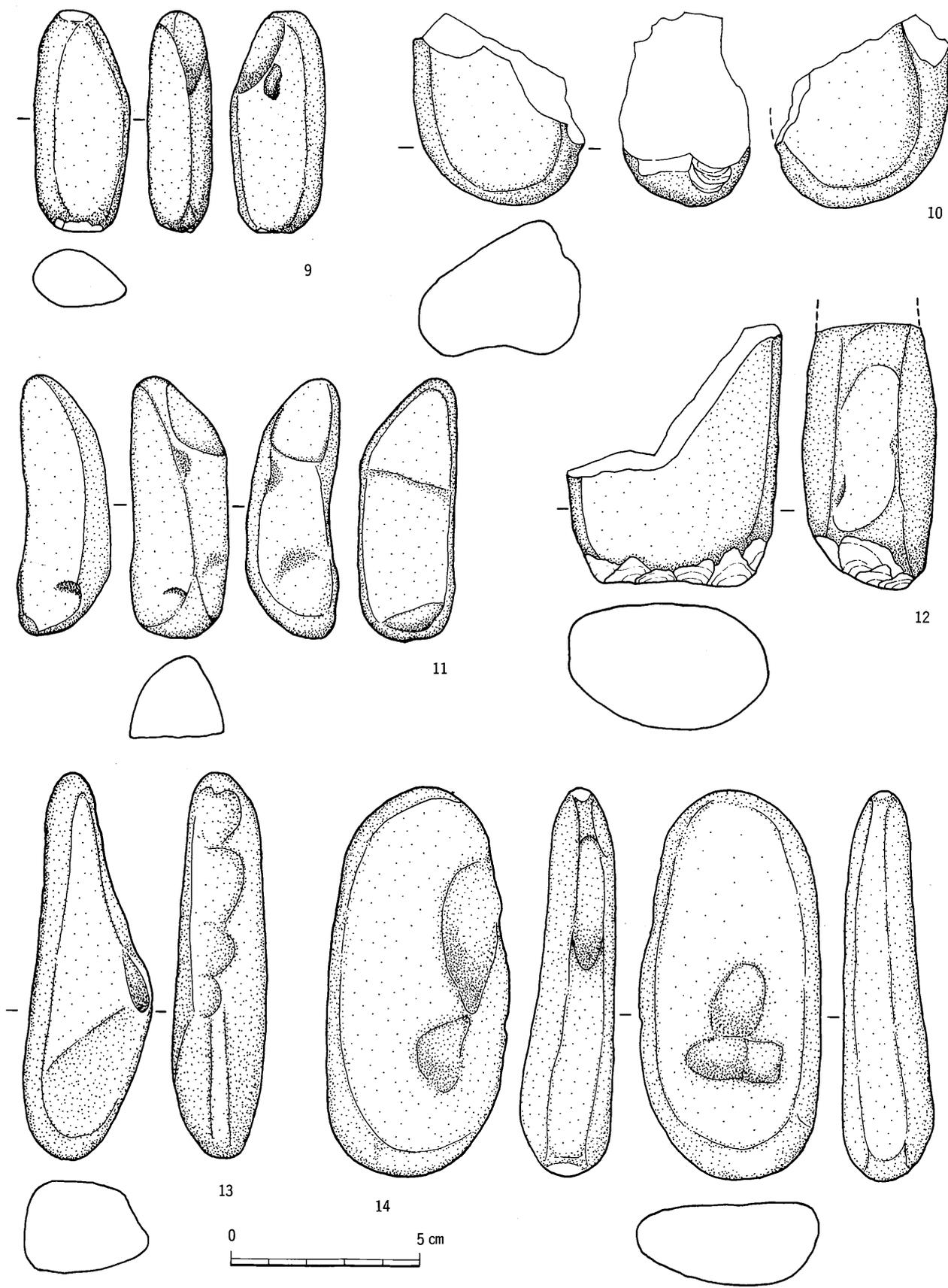
第 42 表 叩き石の長さと言さの分布表



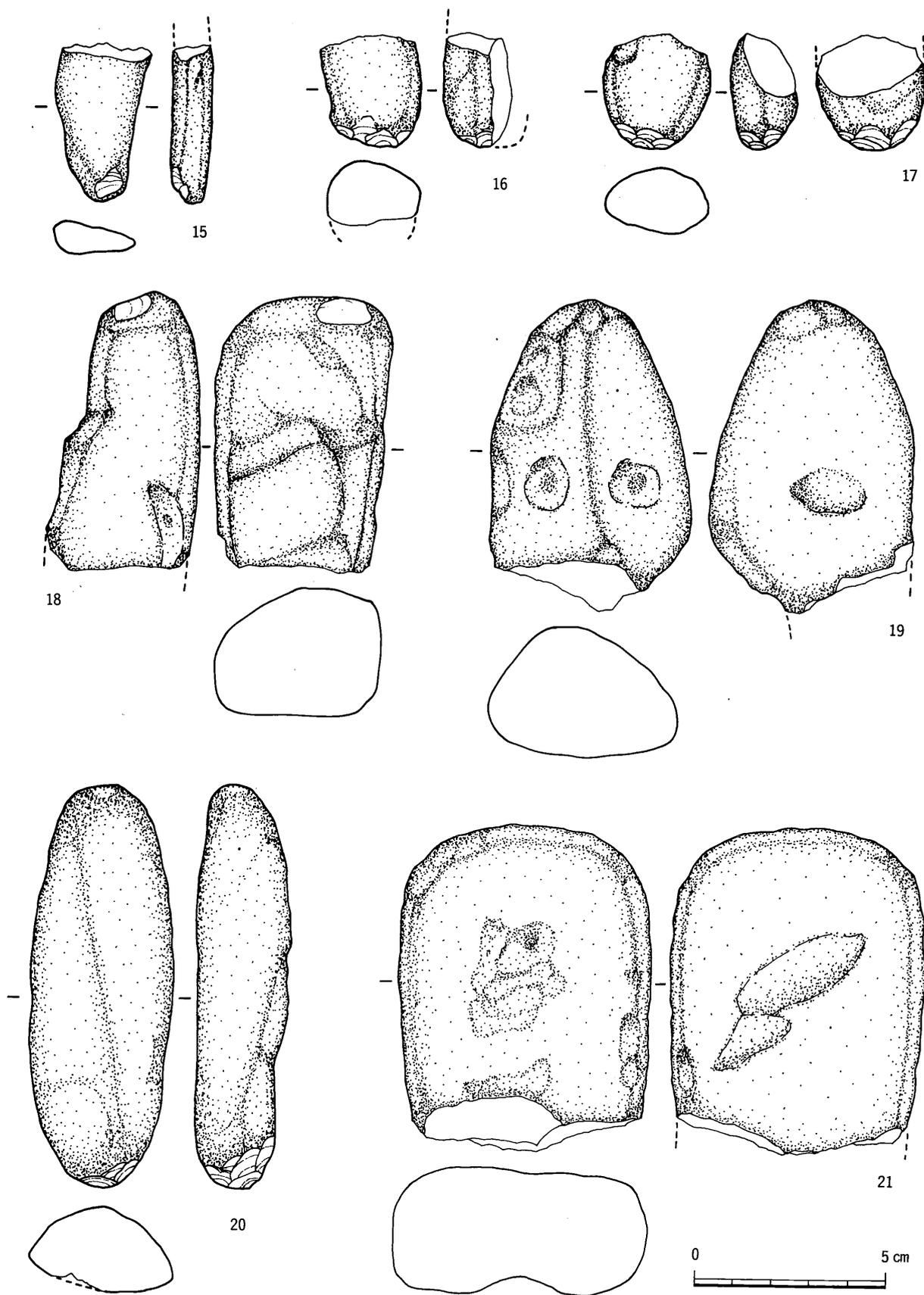
第 41 表 叩き石出土分布表



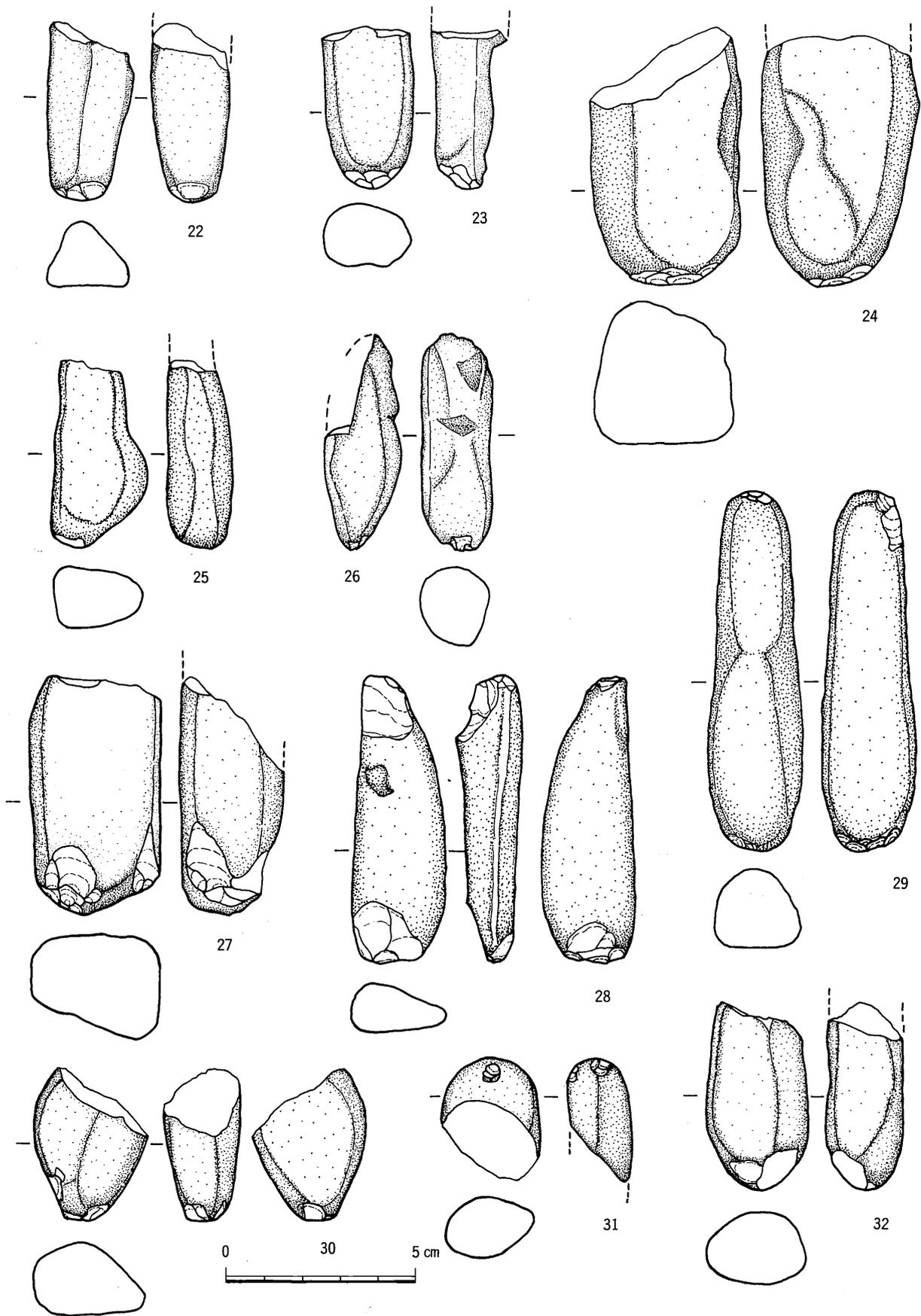
第 331 図 叩き石実測図 (1)



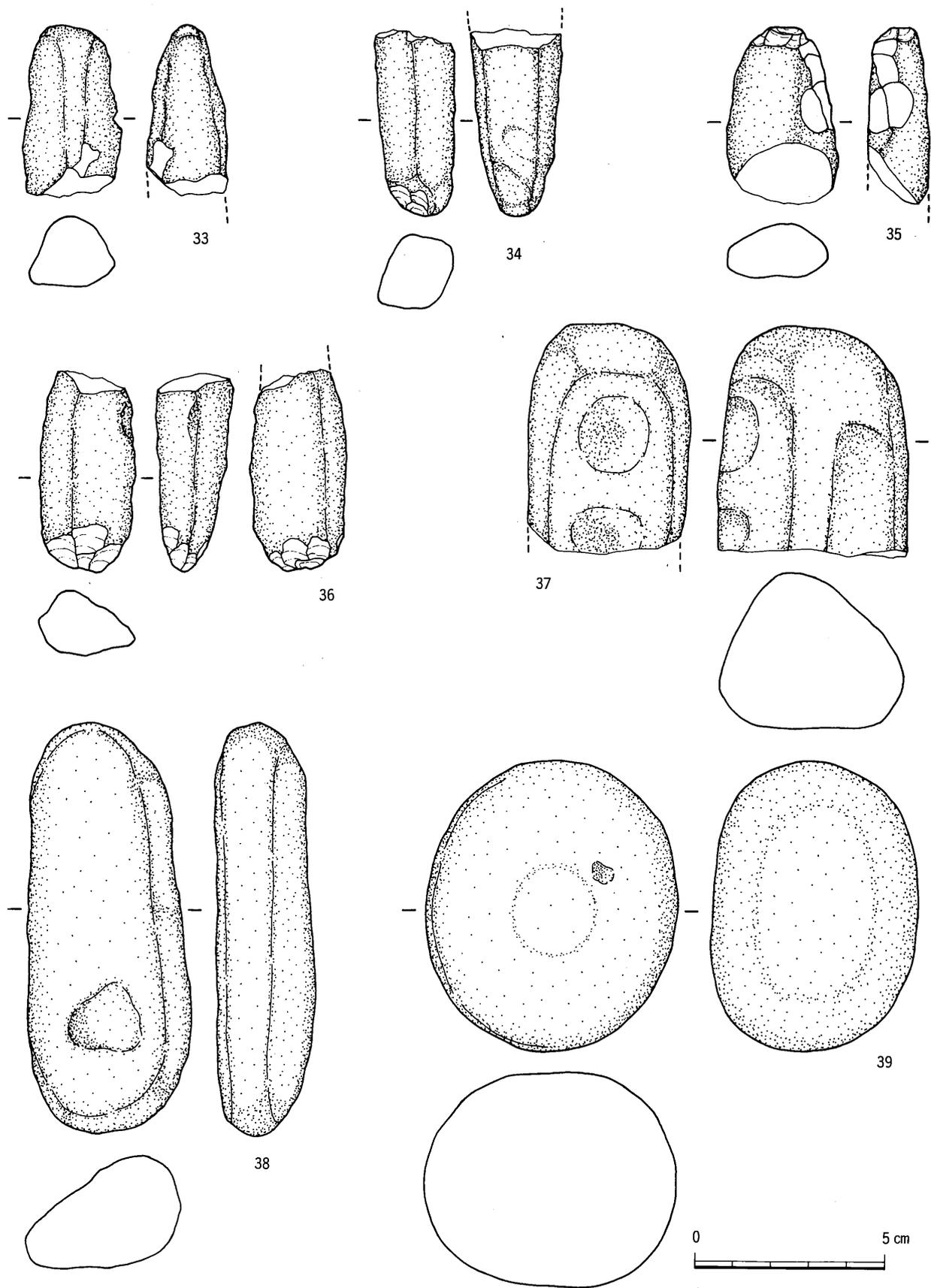
第 332 図 叩き石実測図 (2)



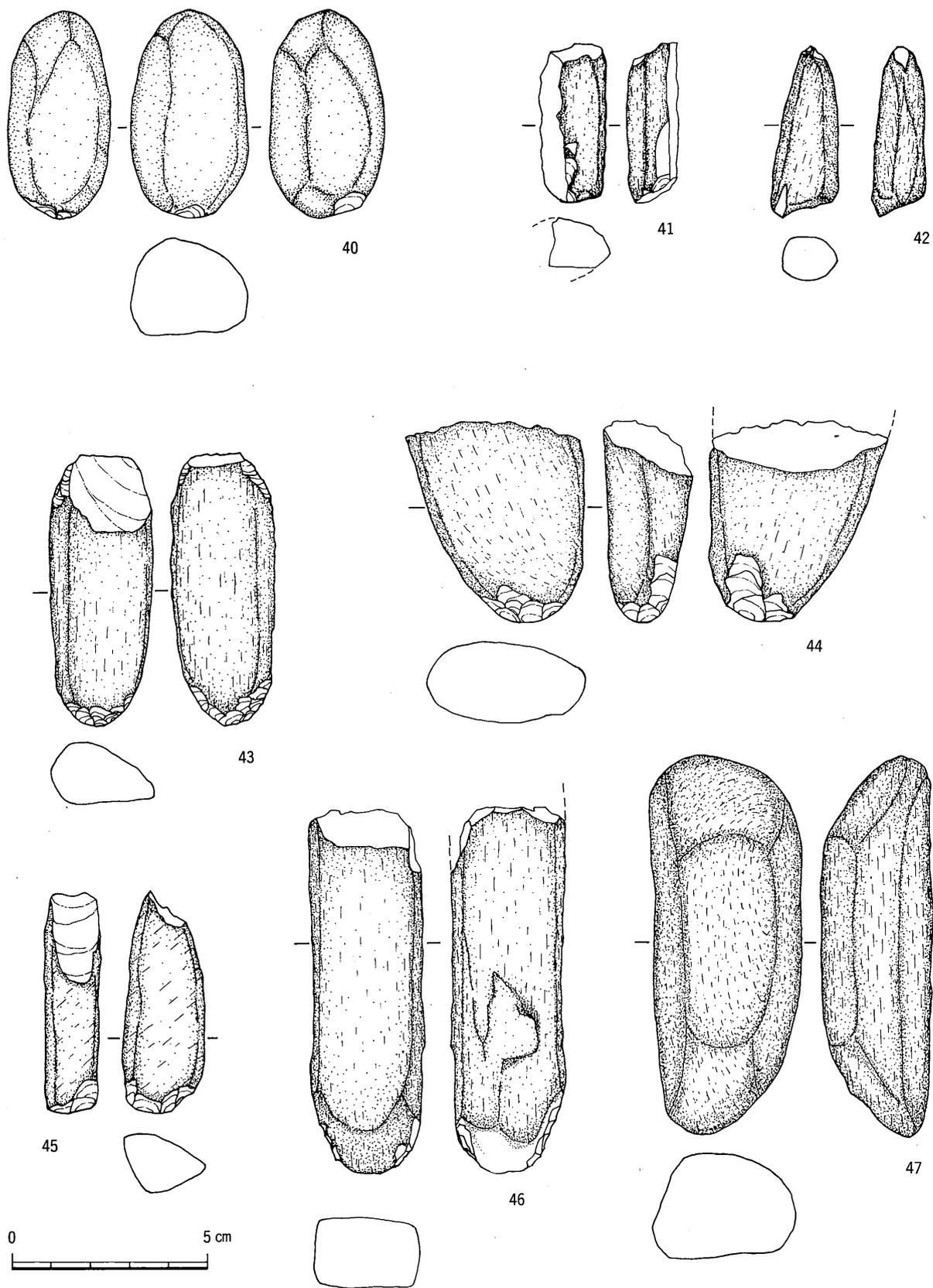
第 333 図 叩き石実測図 (3)



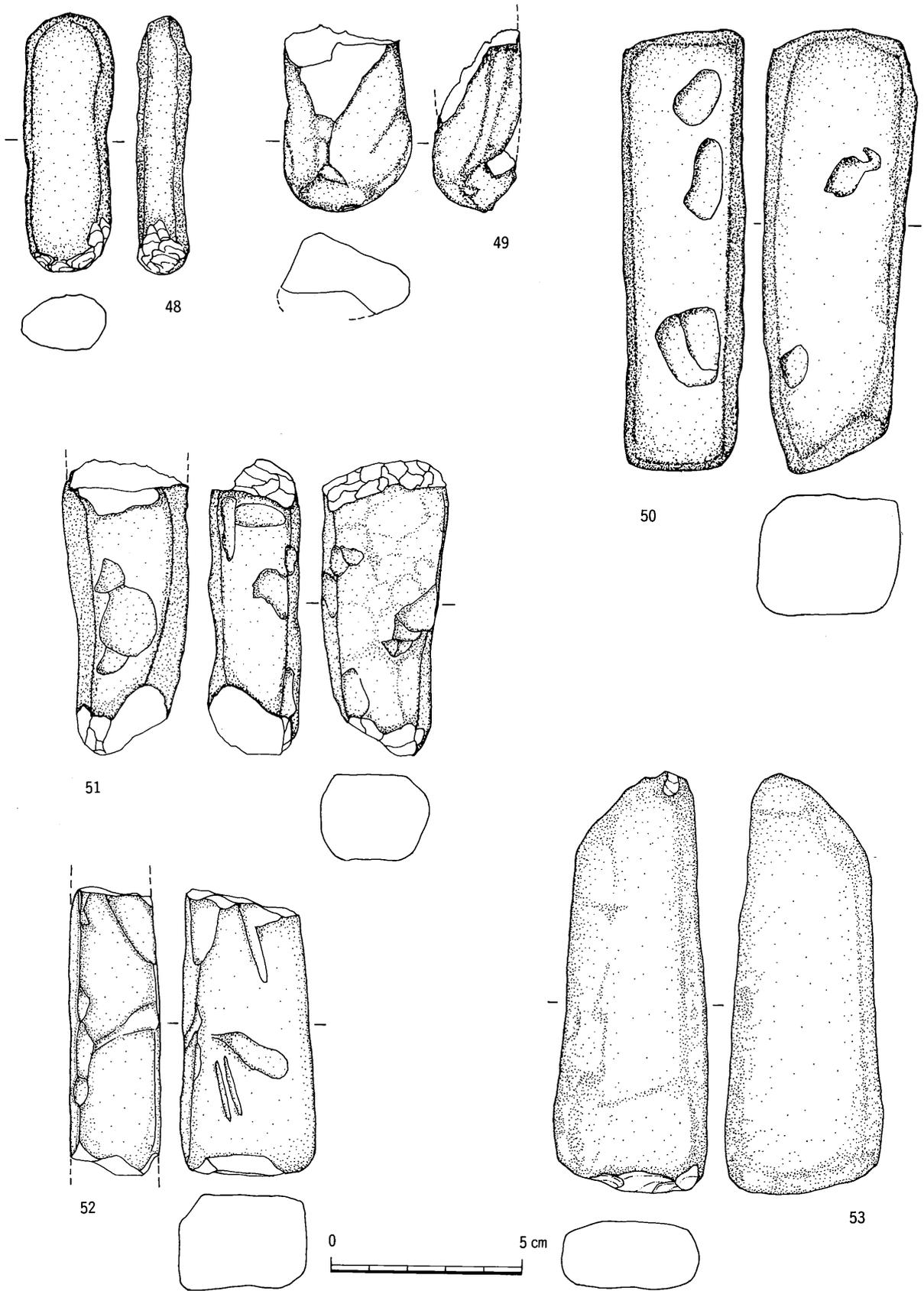
第 334 図 叩き石実測図 (4)



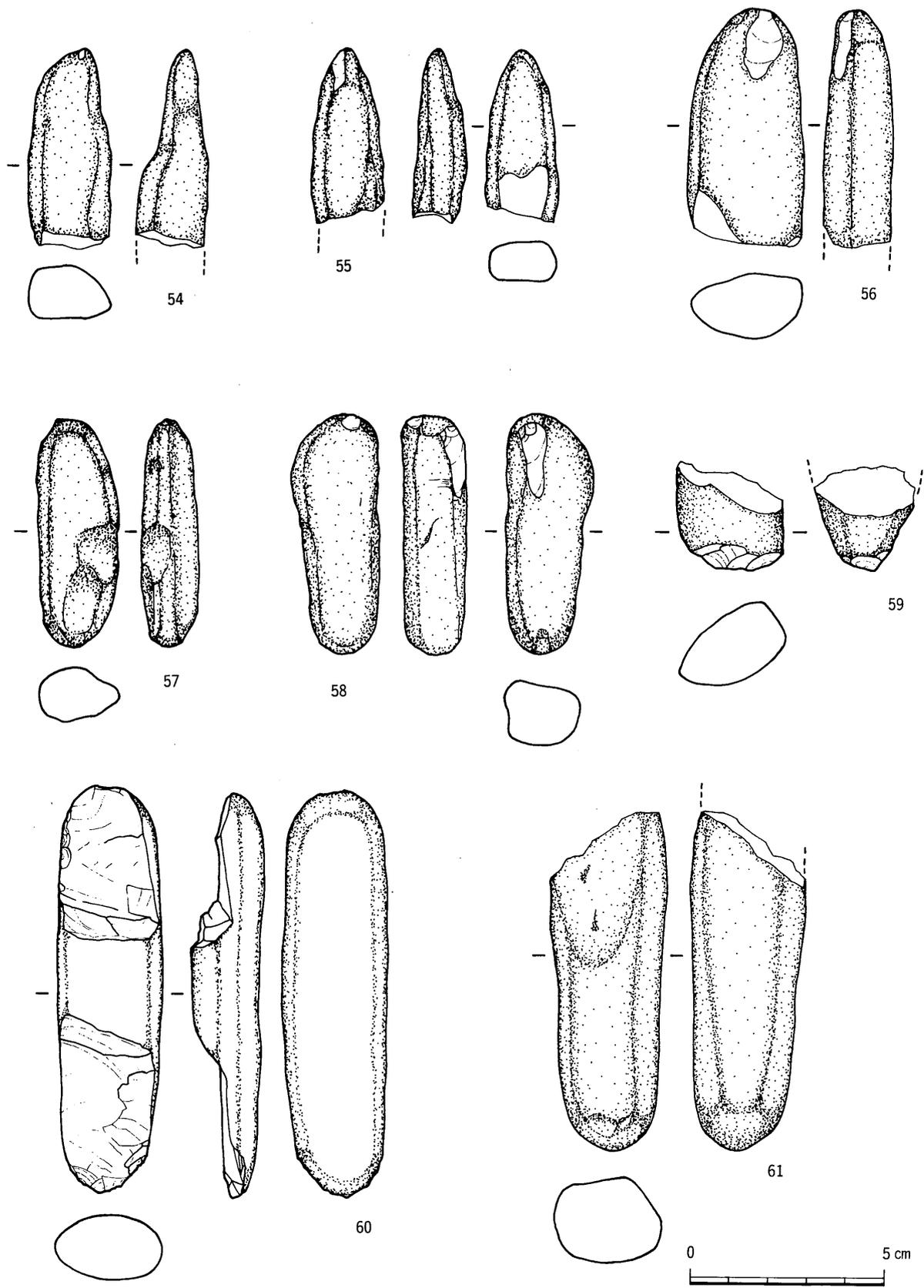
第 335 図 叩き石実測図 (5)



第 336 図 叩き石実測図 (6)



第 337 図 叩き石実測図 (7)



第 338 図 叩き石実測図 (8)

第 2 節 縄文時代以降の出土遺物

旧石器時代の遺物に比べれば量は少ないものの、羽佐島遺跡からは縄文時代から近・現代に至る遺物も少なからず出土している。その中でも、ほとんどが縄文時代と思われる石鏃や古代・中世の土器は比較的多く出土した。これらの遺物は、縄文時代と考えられる C10-1 南東部から出土した少数の土器・石器のほかは遺構に伴わず、旧石器時代の遺物と共に包含層から出土した。

1. 石 鏃 (第340図～第347図)

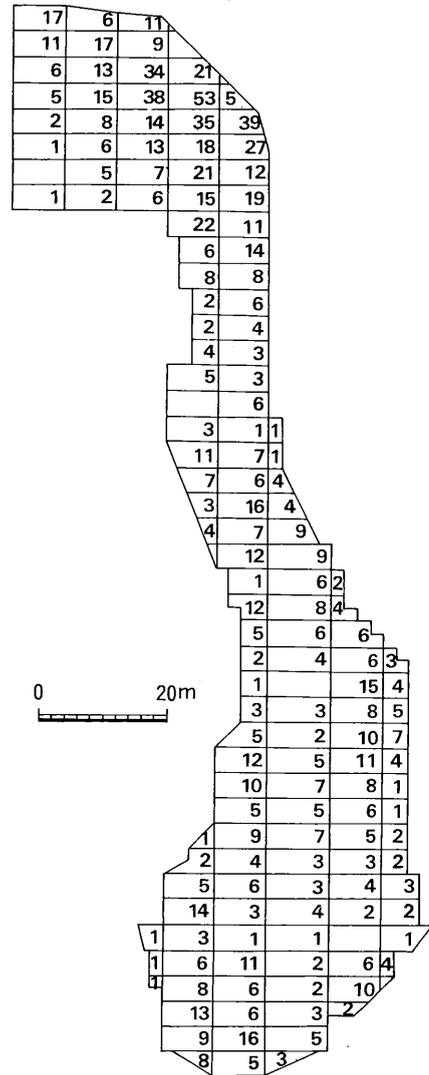
調査地区全域にわたって出土し、総数1,142点に達する。羽佐島遺跡では弥生時代の遺物がほとんど出土しないことから、多くは縄文時代のものと考えて良い。しかも、縄文時代前期以降の土器が見当たらないことからすれば、これらの石鏃の大部分は縄文時代早期に伴う可能性が強い。黒曜石製1点(第341図89)・流紋岩製2点(第343図149・285)以外はすべてサヌカイト製である。

石鏃の出土が最も多かったのは調査地区北部にあたる A37～A40-1～3 で、この部分からは全体の26%にあたる294点が出土した。他にはこれほど集中する地点はなく、グリッドによって増減はあるものの、全体をみればほぼ一様の密度で出土したといえる(第43表)。

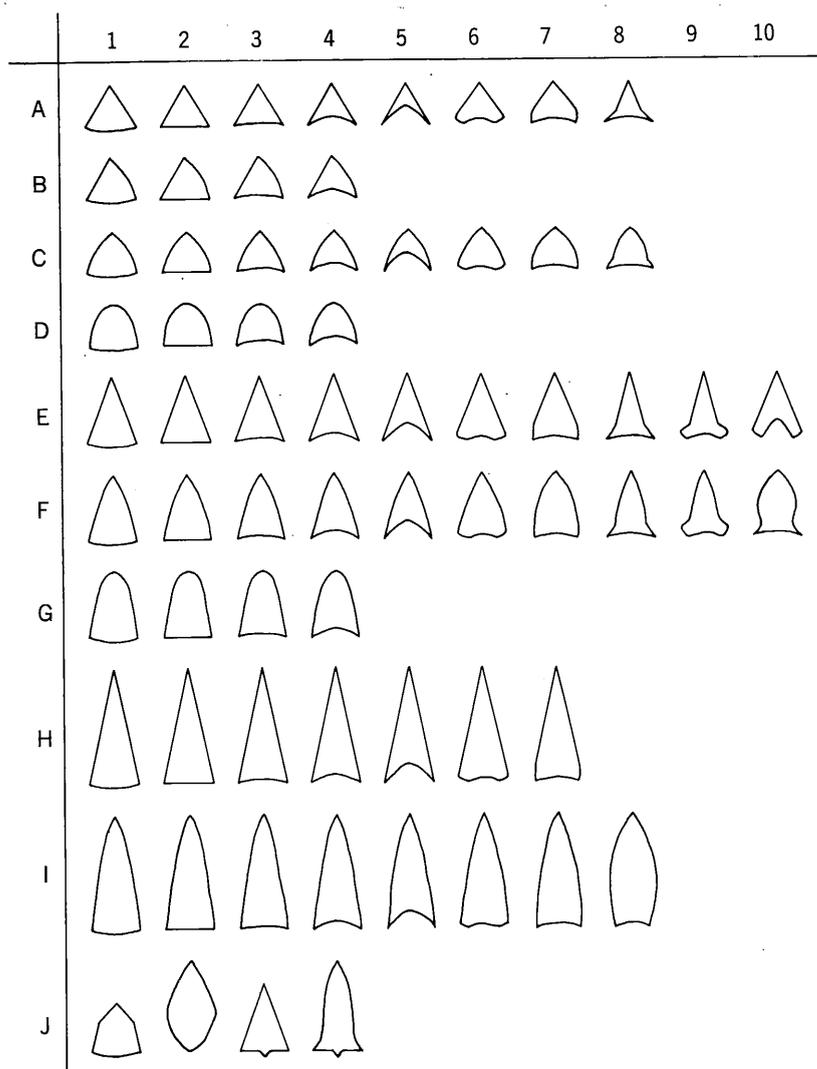
これを押型文土器の出土と比較すると、調査地区北部で石鏃が集中した部分からは押型文土器は出土していない。また、押型文土器が比較的集中した A2・3-1・2 と A7-1・2, A8-1 をみると、前者では石鏃もやや多い傾向をしめすものの、後者では A7-2 で14点出土している以外に際立った集中は認められない。したがって、遺物の包含状態などを別にして、発掘結果からする限りでは、押型文土器と石鏃との間に密接な関係は認められない。

今回の調査で出土した石鏃には様々な形がみられるが、それらは長さが幅の1.2以下しかなくほぼ正三角形を基本とするもの、長さが幅の2倍以下の二等辺三角形を基本とするもの、長さが幅の2倍以上の細長い二等辺三角形を基本とするもの、その他(J類)に大別することができる。そして、その他としたJ類を除くと、側縁が直線か外湾か、また、先端が尖るか丸くなるかによって、A類からI類に分類し、さらに基部の形によって小分類を行った^註(第339図)。

A類(第340図1～第341図91)は、ほぼ正三角形を基本とし、先端が尖って体部の側縁が直



第 43 表 石鏃出土分布表



第 339 図 石鏃分類模式図

線となるものである。284点出土し、E類に次いで多く、全体の24.9%を占める。8類に細分したが、なかでもA2類が142点で最も多い。A3類・A4類はそれぞれ40~50点の出土で、この三者で8割以上を占める。A類は小形・軽量のものが多く、長さは1.4cm前後を度数分布のピークとしてほとんどが2cm以下である。ほとんどは重さ1g以下で、特に0.4~0.6gのものが7割程度を占める。最も軽いものは0.2gである。

B類(第341図92~第342図102)はA類とC類の中間的形態のもので、34点と出土も少ない。なお、B4類は図示していないが、1点出土している。なお、C5類・C8類以外は図示してなくても出土している。

C類(第342図103~128)はA類の側縁が外湾するものである。なお、石鏃分類模式図(第339図)にみえるC5類とC8類は実際には出土していない。各個体の大きさ及び重さはA類に類似する。

D類(第342図129~131)は長さとの比率がA~C類と同じであるが、先端が丸くなるものである。14点と出土は少ない。

E類(第342図133~第344図222・224~第345図233)は長さが幅の2倍以下の二等辺三角形を

基本とし、側縁が直線となるものである。10類に細分した。309点の出土で、最も多い。これは全体の27.1%にあたる。これもやはりE 2類～E 4類が多く、全体の2/3程度を占める。E類はA類に比べてやや大形化しており、長さは1.9cm前後、重さは0.6g前後を度数分布のピークとしている。また比較的大形のE 6類～E 10類も全体の3割ほどあるため、A類ほど集中した度数分布を示さない。

F類（第344図223・第345図234～第346図284）はE類の側縁が外湾するもので10類に細分した。E類に比べると出土は少なく、136点出土した。長さ及び重量はE類に類似するが、やや大形化の傾向が認められる。

G類（第342図132）はわずか1点しか図示していないが、総数も少なく16点しか出土していない。また、132は一応G 2類としたが、不定形とすべきかもしれない。

H類（第346図285・286）も少なく、わずか19点しか出土していない。図示した2点は破損しているが、復元すると長さ4cm、幅1.7cm程度の大きさになろう。両者とも体部は細長く尖って基部の挟りは深く、両側下端部は逆刺となっている。285は流紋岩製である。

I類（第346図287～292）もH類と同じく19点出土したのみである。I 1類～I 4類・I 7類・I 8類があるが、I 3類・I 7類・I 8類のみを図示した。長さは2.75cm(289)から4.31cm(291)と長い、基部の挟りは浅いものが多い。また、長さにとまない重量も増加し、重さは1.2g(289)から2.4g(292)を量る。H類・I類は羽佐島遺跡出土の石鏃のうち、最も大形のものである。

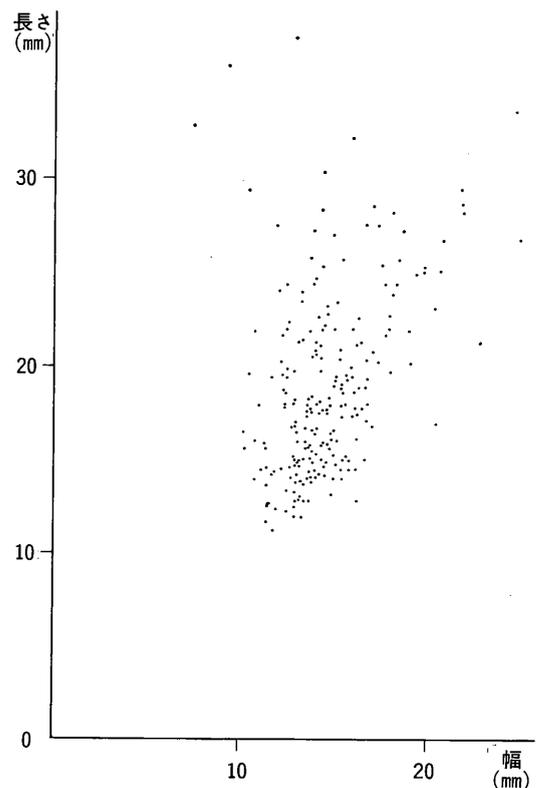
293はE類に含まれる石鏃であるが、一側縁はE 5類、他の側縁はE 9類の特徴を持つ。

294は基部を失った破片で、295は石鏃の未成品である。未製品は薄い剥片を利用して周囲から調整加工し、先端部をつくり出したところで放棄している。

J類（第347図296～299）には五角形状のもの1点、紡錘形のもの（296・297）4点、茎を持つものが11点出土した。この有茎石鏃は、二等辺三角形形状の体部に短い茎を持つもの（298）6点と、基部を両横に突出させて小さな茎を持つもの（299）5点に細分できる。298・299とも茎は三角形の小さなもので、両者とも器面は縄文時代と思われる他の多くの石鏃と同程度の風化である。

羽佐島遺跡出土の石鏃のうち、図示したものを取上げると、長さは128の1.13cmから291の4.31cmまで、重さは21の0.2gから235の4.3g + α までであるが、全体をみると長さは1.2～2.3cm（第44表）、重さは0.3～0.9g程度のもものが大部分を占める。ちなみに重量でみれば、1g以下のものが約8割である。

これに対して、3g以上の重さを持つ石鏃は6点ある。このうち、紡錘形をした297を除くと、103・132・136・235・236は2.5cm以上の長さを持つ大形であるが、調整が粗雑で整美な外形をせず、幅広でずんぐりしたものが多くなどの特徴を持つ。



第44表 石鏃の長幅比

一方、197・233・285・286・287・288・291などは長さが3cmを越える大形であるが、調整が丁寧で左右対称の整美な外形を持つ石鏃をみると、最も重い287でも2.1gでありほぼ2g以下であることがわかる。このようにみれば、103・132・136・235・236などの一群は、調整・外形・重さなどの特徴が共通し、前述した分類とは別に考えなければならないようである。

註

実際に行った分類結果からすると、中間的な形態のものや、例えば小分類の4・6・7の区分などは主観的な部分が認められる。また、小分類の4～10については基部の形態からさらに細分できるが、数量が多くなかったことから、ここではあえて細分しなかった。

2. 縄文時代の石器 (第348・349図)

石鏃・有舌尖頭器・石槍・削器・石匙・石錐・矢柄研磨器が出土した。石鏃は1142点ときわめて多いが、他の石器は少ない。有舌尖頭器と、時期の限定しにくい削器・石錐は旧石器時代の石器の中で紹介したので、ここではそれ以外の石器を紹介する。

〈石匙〉

5点出土し、下端部が折損した第348図5は縦型と思われるが、他は横型である。いずれも板状の素材を用い、頭部につまみ状の突起を持つ。2・4は刃部の一部を欠失する。刃部は片面加工である。1・5は三角形の体部の下辺に両面加工の刃部を持つ。1は整形加工によってつまみ状突起を作り出すが、5は偶然の割れによって出来上ったつまみ状突起を利用している。3は下端部を欠失した縦型の石匙と思われる。一方の側縁には両面加工の調整を持ち、他の側縁には自然面を残す。

〈矢柄研磨器〉

4点出土した。いずれも破片で、結晶片岩製が2点(6・8)・砂岩製が2点(7・11)である。片面(7・11)、あるいは両面(6・8)に幅0.7～1.2cm、断面半円形の溝を2～3条彫りこんでいる。砂岩製の7・11は風化が著しいが、結晶片岩製の8の溝は磨滅のため表面がなめらかになっている。8の溝が最も長く、5.3cmほど残っている。

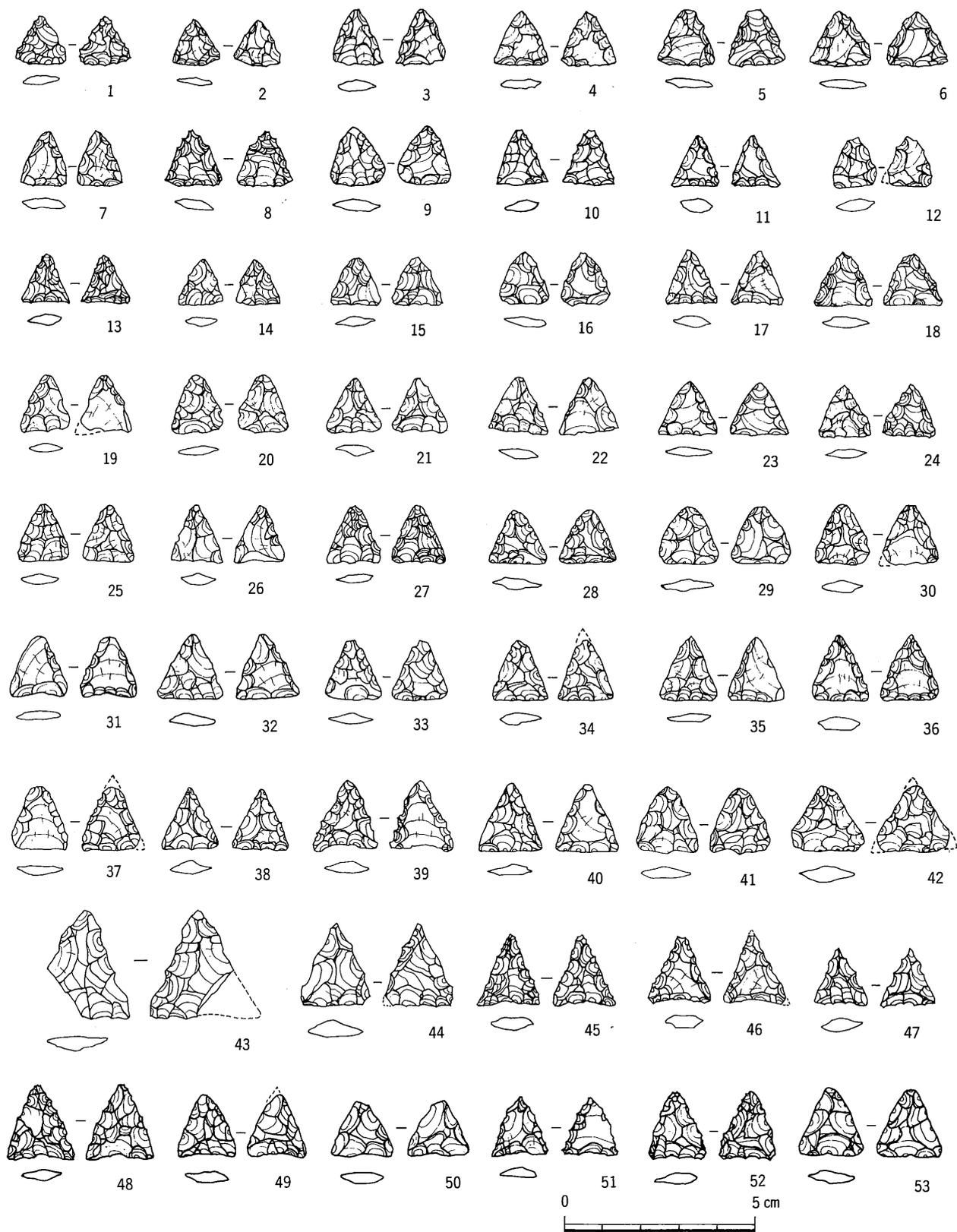
〈石錐〉

扁平な結晶片岩の円礫を用い、両端を打欠いてわずかに抉っている。

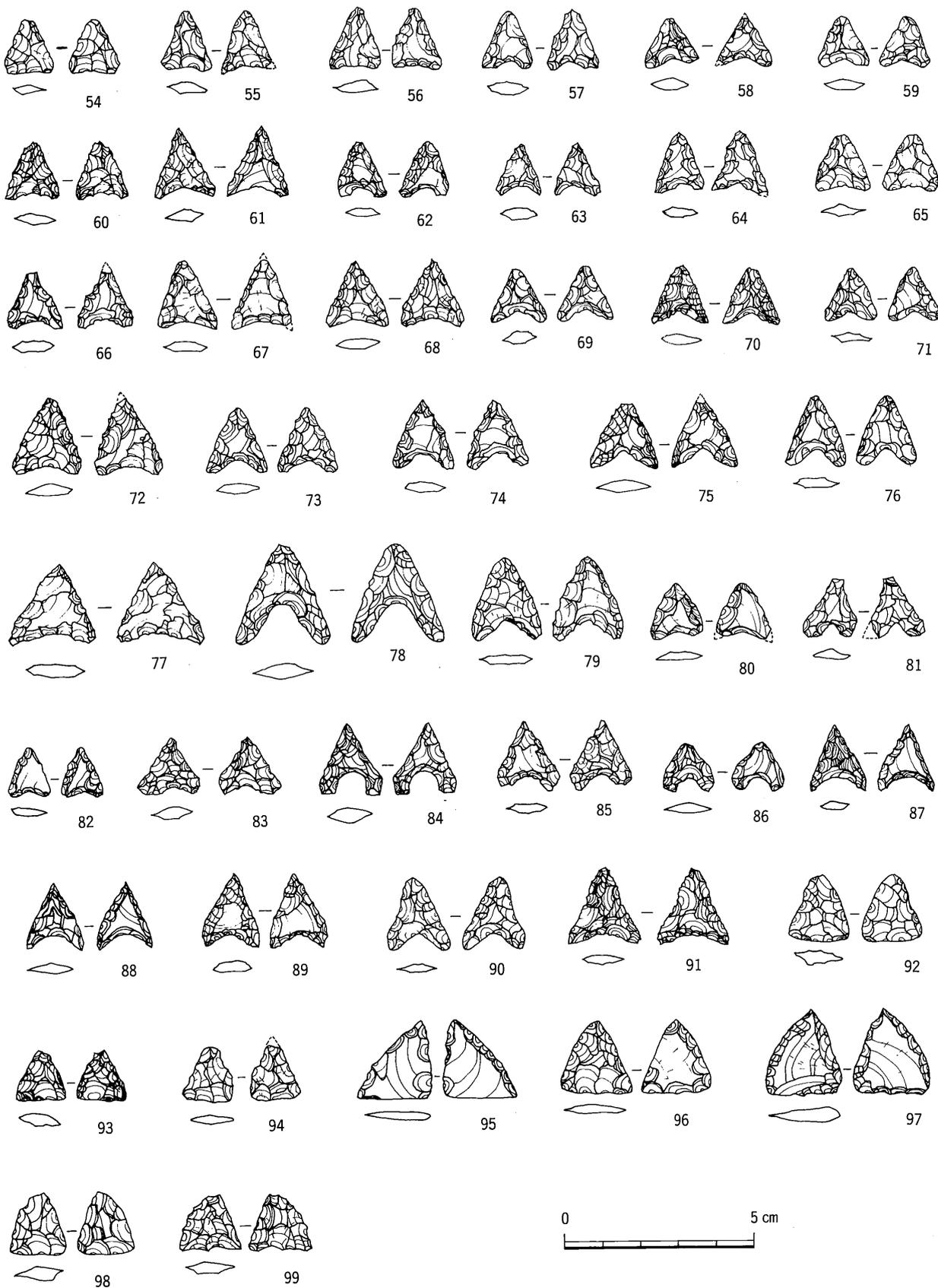
〈石槍〉

C10-1南東部の炭化物出土ピットの直上から出土した。この遺構に伴う可能性が強いものと思われる。先端部を欠失するサヌカイト製の石槍で、現存で長さ18.9cmを計る。復元すると、20cm程度になろう。基部は幅約2cmで体部からそのまま続き、体部中央までゆるやかに幅広となり、最大幅3.3cmを計る。体部中央で若干くびれるようにして狭くなり、そのまま徐々に先端に至る。両側から対向する押圧剝離を両面全体に施している。

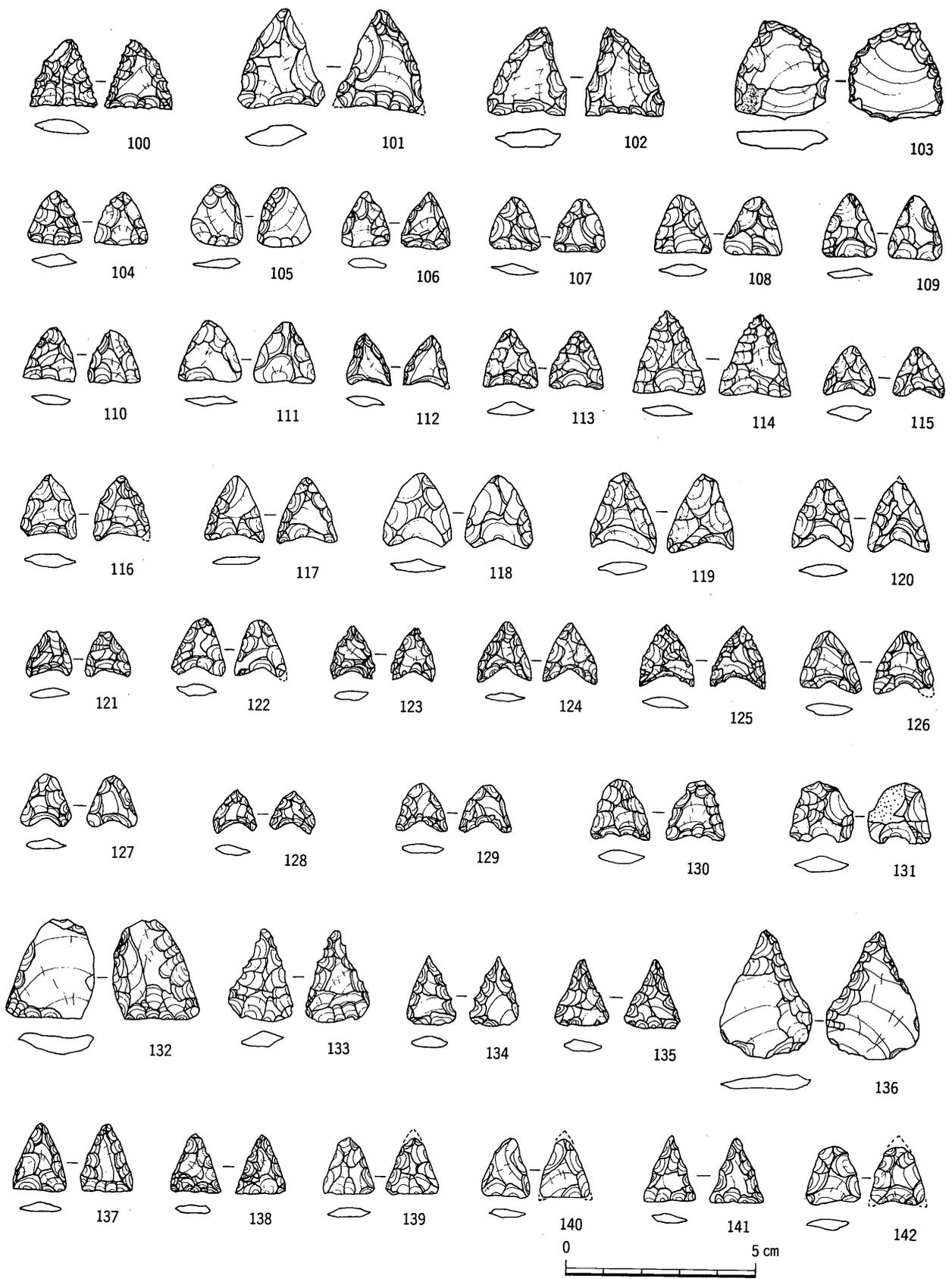
羽佐島遺跡では時期の明らかな縄文土器には早期の土器しか見当たらないこと、この石槍が伴う可能性の強いピットからは押型文土器と胎土焼成が同じ無文土器片が出土していることなどから、縄文時代でも早期頃までに比定されよう。



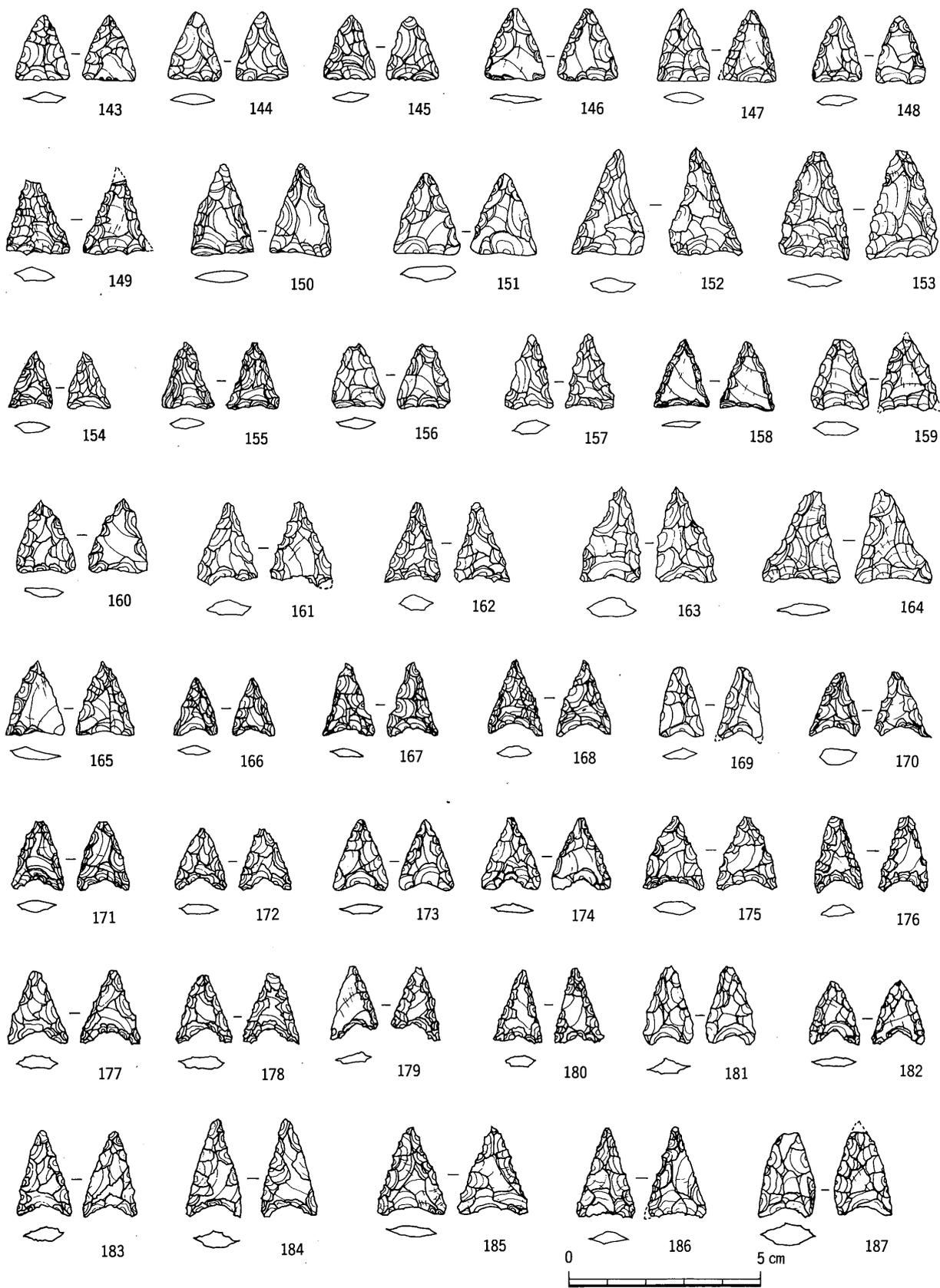
第 340 图 石鏃実測图 (1)



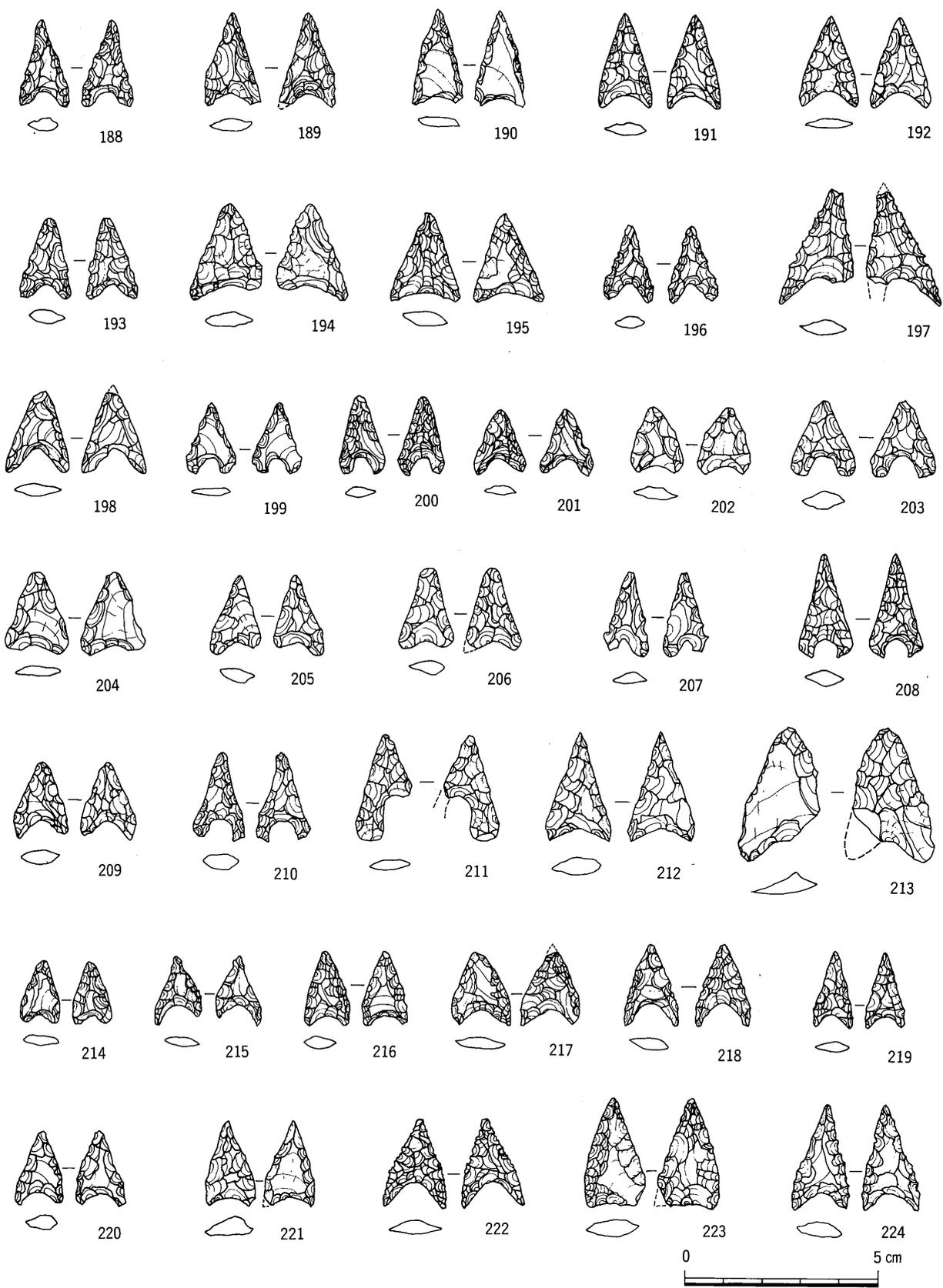
第 341 図 石鏃実測図 (2)



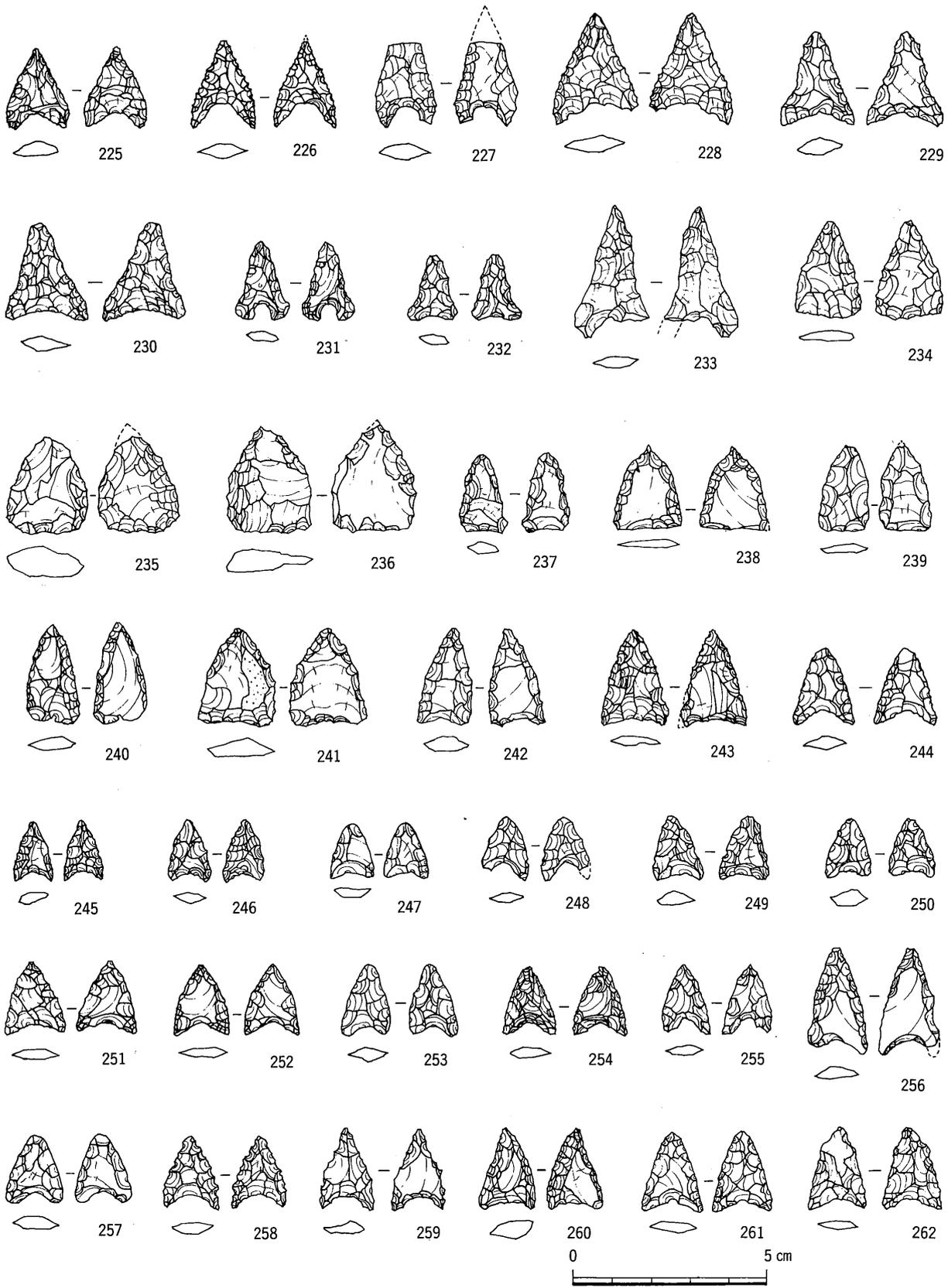
第 342 图 石鏃実測图 (3)



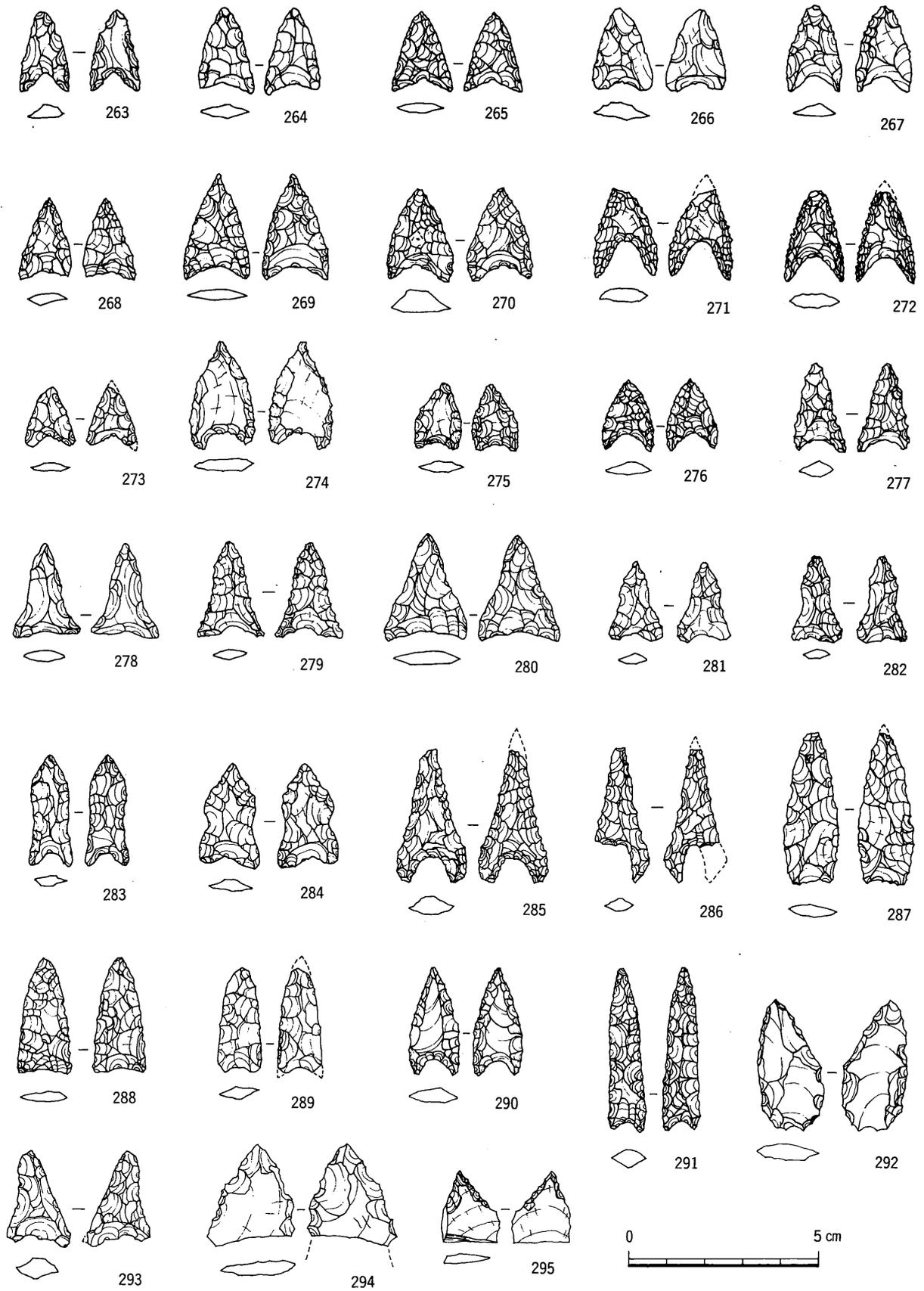
第 343 図 石鏃実測図 (4)



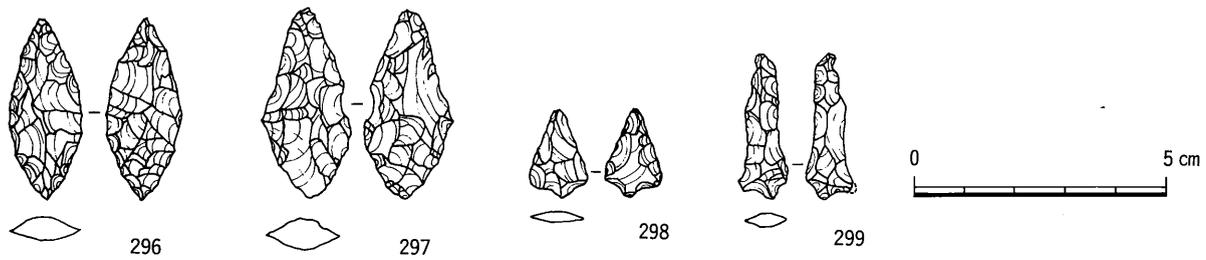
第 344 图 石鏃実測图 (5)



第 345 图 石鏃実測图 (6)



第 346 图 石鏃実測图 (7)



第 347 図 石鏃実測図 (8)

3. 土器類・その他 (第351図～第354図)

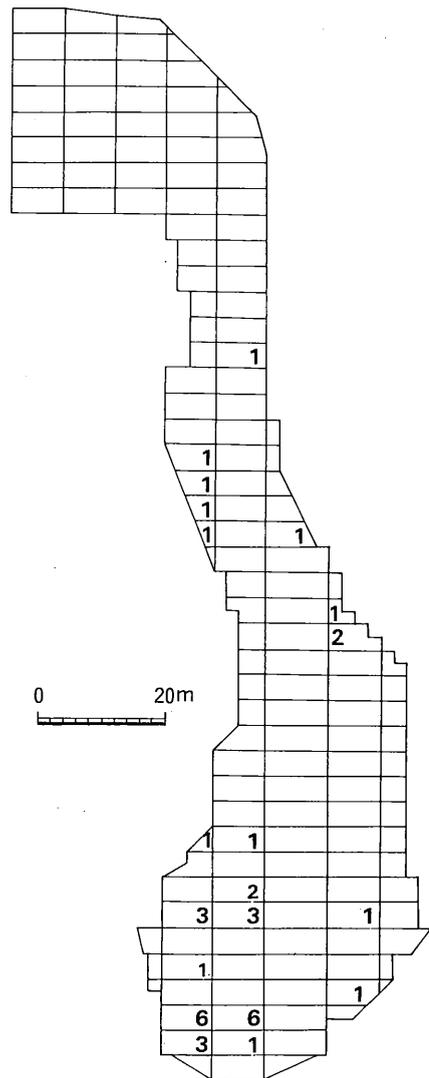
〈縄文土器〉 (第351図1～9)

1はC10-1南東部のピットから出土した無文土器である。口縁部は直線的に開き、上端は平坦な端面を持つ。内面は灰褐色で平滑に仕上げている。暗灰褐色の外表面は器面の剝離が著しいのではっきりしないが、径2mm、深さ1～2mm程度の刺突がまばらに施されているようにも見える。器壁は4～5mmの厚さで、胎土には1mm大の砂粒を多く含む。

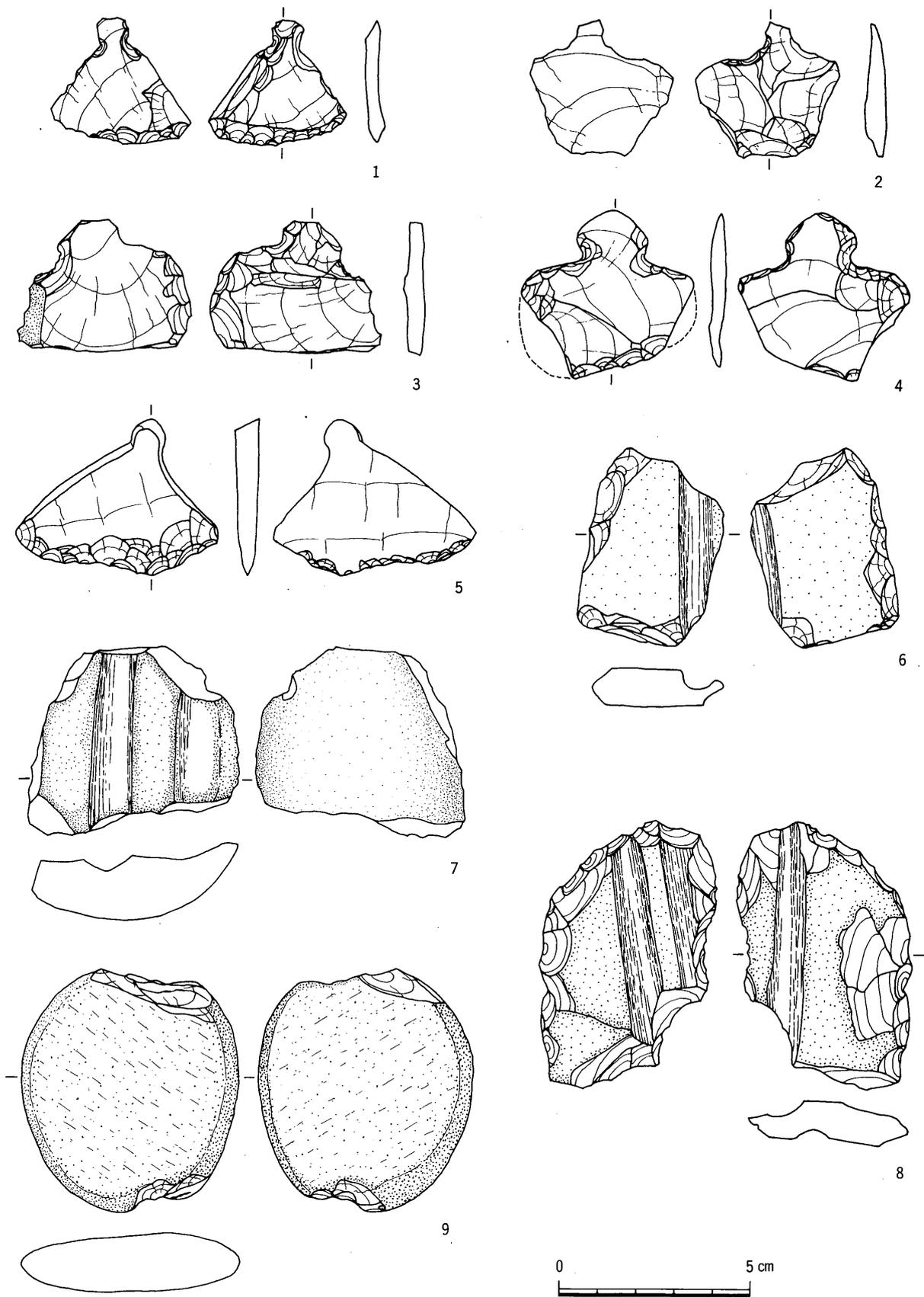
無文のため、この土器の時期ははっきりしないが、ピット内から縄文時代のものと思われる小形の石鏃が出土していること、ピットの直上から押圧剝離の著しい長大な石槍が出土していること、羽佐島遺跡の今回の調査では早期の押型文土器以後の確実な縄文土器が見当たらないことなどから、早期を下ることはないものと思われる。

2～7は押型文土器片である。押型文土器は出土グリッドの明らかなものが38点あるが、調査地区南部に多く北部からは出土していない(第45表)。このうち、大形楕円押型文土器は14点あり、A2-1・2, A3-1・2からまとめて出土している。これ以外にみられないことから、これらは同一個体である可能性が高い。また、小形楕円押型文土器はA7-1・2から4点出土したほかは、A21-2で1点出土しているのみである。これに対して、山形押型文土器は調査地区南部から中央部にかけて散在した出土状況を示す。

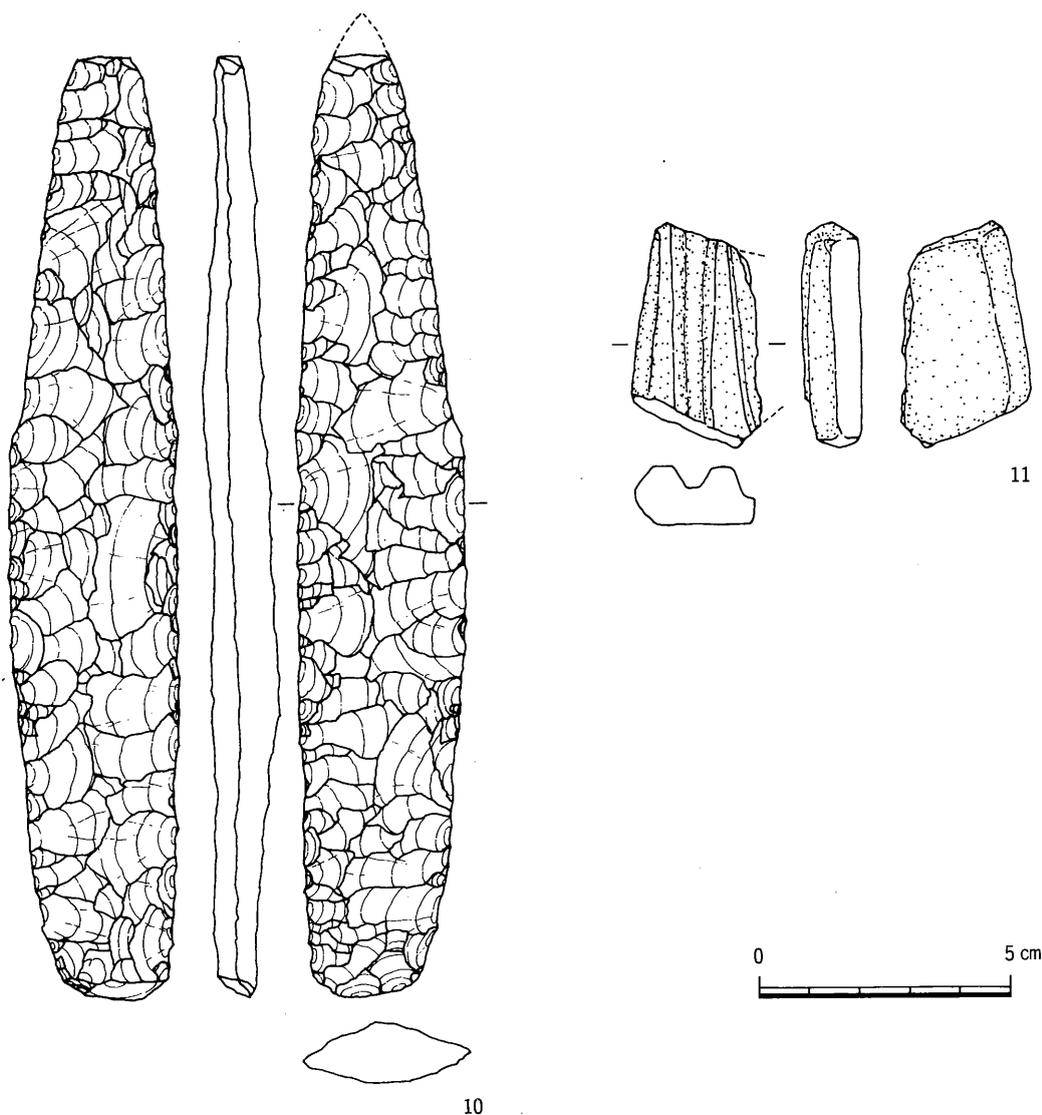
2・3は長径12mm、短径7mm程度の大形の楕円押型文を持つ破片で、他の押型文土器片に比べて厚手である。器壁の厚さは1cmを越え、胎土には1～5mm大の砂粒を多量に含む。4は口縁部の破片で長径5～6mm、短径3mm程度の小形の楕円押型文を持つ。器壁は約5mmで、山形押型文土器片と等しい。



第 45 表 押型文土器出土分布表



第 348 図 縄文時代の石器実測図 (1)



第 349 図 縄文時代の石器実測図 (2)

5は凹形の連続山形押型文と思われるが、あるいは小形楕円押型文を連続させたものとするべきかもしれない。6・7は連続山形押型文を持つ破片であるが、7の山形文は6に比べて低くゆるやかであり、明らかに別の施文原体を用いていることがわかる。8は横走する無軸稜杉状の刺突文を施す。9は厚手の破片で、磨滅のため不明瞭ながら外面に条痕文が認められる。

以上の土器は淡灰褐色～灰褐色を呈し、胎土に砂粒を多く含む。

〈弥生土器〉(第351図10)

弥生土器の出土はきわめて少なく、図示した個体以外に確実なものは出土しなかった。出土したのは無頸壺で、復元口径約9cmを計る。口縁下に4条の凹線をめぐらし、さらに肩部外面にはへら状工具による2条の刻み目をめぐらす。体部外面はタテハケによる調整を施し、内面には指頭痕が残る。口縁部に直径5mmほどの孔を持つが口縁部が一周しないために数は明らかでない。内面は灰褐色、外面は暗灰褐色を呈し、やや軟質の焼成で胎土に1～2mmの砂粒を少量含む。弥生時代中期後半の凹線文が発達した時期に比定される。

〈須恵器〉 (第351図11~14)

140点ほどの須恵器が出土したが、小破片が多く古墳時代のもの存在は土師器と共にはっきりしない。

11は高台付の杯蓋のつまみである。12・13は杯身で、外方にふんばる低い高台を持つ。いずれも8世紀代のものであろう。11・12は磨滅が著しい。14は片口の口縁部^{註(1)}である。復元口径は約27cmであるが、小破片からの復元のため、口径・器体の傾きとも不確実である。内外面とも灰色を呈するが、口縁部の垂直な端面のみ暗灰色となっている。軟質の焼成で胎土には1~2mm大の砂粒を少量含む。

〈緑釉土器〉 (第351図15・16)

緑釉土器は14点出土した(第46表)。いずれも小破片で、3列から22列、つまり調査地区南部から中央部での散漫な出土である。

15は口縁部で、灰色を呈する須恵質の胎土の内外面に薄い緑釉が施されている。口縁部は大きく外反し、口径は12cmを計る。体部内面に小さな段を有する。

16は外方にふんばった高い高台に内湾する体部をもった緑釉土器で、高台の直径約7cmを計る。内底面近くに小さな段を持つ。内外面とも全面に緑釉がかけられているが、外面は薄くて灰色ぎみの緑色を呈し、高台内部の釉は非常に薄い。15・16とも胎土には砂粒を含まず、灰色硬質の焼成である。内外面ともヨコナデ調整が認められる。なお、緑釉土器には淡褐色・軟質の胎土に緑釉を持つものがある。

〈輸入陶磁器〉 (第351図17・18・第352図19~32)

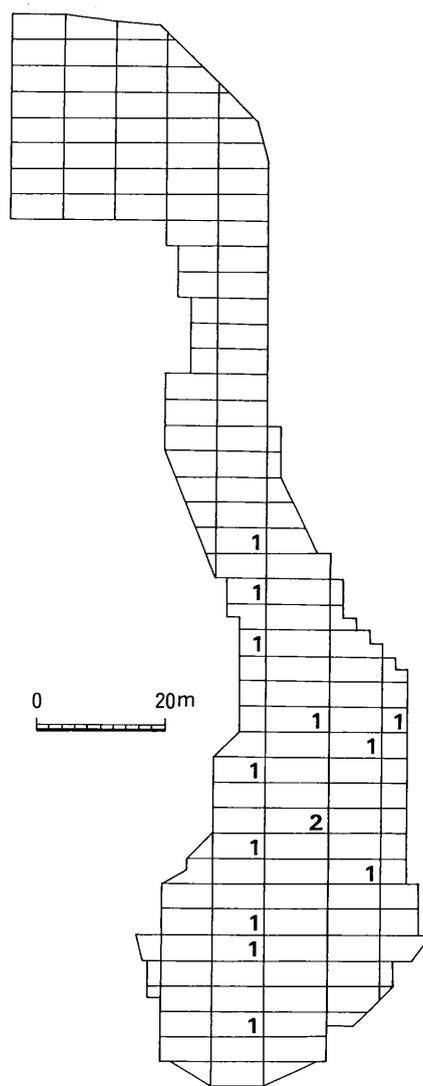
白磁59片・青磁15片がある。調査区域の全体から出土したが、調査区南部の北半や北部の北半にやや集中する傾向が認められる。

横田賢次郎・森田勉氏の分類案^{註(2)}に従うと、白磁碗にはII類(17)・IV類(18~23・27)・VIII類(24)・V類があるが、IV類が16点でほとんどを占める。白磁皿(25・26)は11点あり、V類ないしIV類であろうと思われる。さらに、白磁四耳壺と思われる破片も1点出土している。

青磁碗には、同安窯系I-1・b類、龍泉窯系I-6類、雷文帯蓮弁文(29)、無文(30)などがあり、碗以外には輪花皿(28)・壺底部(31)がある。

30は青色味を含んだ明るい灰緑色の釉をもち、29の釉と類似する。31は外面に薄い灰緑色の釉が施されている。32はわずかに青緑色味を含む濁った淡灰色の釉を内外面に施す。胎土は淡灰色を呈し、精良である。類例に乏しく、産地も明らかでない。

輸入陶器の多くは12世紀前後のものであるが、青磁輪花皿(28)・碗(29・30)などは15~16世紀に下るものである。^{註(3)}



第46表 緑釉土器出土分布表

〈黒色土器〉(第352図34)

黒色土器もごくわずか出土している。

34は椀の高台部で、内面は灰黒色、外面は淡褐色を呈し、胎土は精良で焼成も良好である。内面にはヘラミガキが施されているようであるが、磨滅のため詳細は明らかでない。

〈瓦器〉(第352図33・35～39・第353図41・45)

椀(33・35～37・45)・小皿(38・39)・ミニチュアの土釜(41)などが出土している。椀以外の出土はきわめて少ない。椀の体部破片には、内側に幅広い粗い暗文が施されたものが多く、これらが和泉型^{註(4)}であることを示している。

33の体部内面の暗文はやや密である。内底面は磨滅が著しいためにはっきりしないが、もともと暗文が施されていない可能性もある。35～37の内底面には平行の暗文が施されているが、37の暗文は粗い。小皿(38・39)のうち、38は磨滅が著しいため明らかでないが、39の内面にはやや幅広の粗い暗文が認められる。38のみ胎土が淡黄褐色を呈するが、他の椀・小皿は灰白色の精良な胎土を持つ。41はミニチュアの土釜で、口径7cm、鏝の直径9.4cmを計る。口縁部は直立し、底部は浅い。内外面灰黒色を呈し、鏝の下面には型押し of 円形文を持つ。

〈瓦質土器〉(第353図40)

数点しか出土していない。復元口径12.2cmの椀で、灰白色の胎土の口縁部内外面のみ灰黒色に燻す。軟質の焼成で、内外面は磨滅している。

〈土師質土器〉(第353図42～44・46～68)

土師質土器の出土は多かったが、これも小破片となり磨滅したものがほとんどであった。

椀(42～44・46～50)には器形の全体を知りえるものはない。42は復元口径約15cmで、浅い器形坏部をもつ。器面は磨滅が著しく、口縁部外面にわずかにヨコナデが認められる。

底部には5mm以下の低い高台を持つもの(44・46)、5mm以上の直立した高台を持つもの(48・49)、それが外方にふんばるもの(43・47)、小さくて1cmを越える高い高台を持つもの(50)など、多様なものがあり、時期も一定しないものと思われる。

坏(51・52)のうち、51は椀に似た内湾する体部をもち、52は平底から急角度で立上る体部を持つ。いずれも器壁は磨滅が著しい。

小皿(53～63)には直径7～9cm、高さ1.5cm前後のもの(53～61)と、直径約9cm、高さ1cm前後で体部が大きく外反したもの(62・63)とがある。調整が明らかなものは、いずれも体部内外面はヨコナデ、底部外面にはヘラ切りが認められる。外底面の砂粒は、逆時計まわりに移動したものがほとんどであるが、56は時計まわりの可能性がある。54の口縁部内外面の一部にはススが付着し、62の外底面には板目もわずかに認められる。

土釜(64～68)の口縁部をみると、断面四角形の高く突出した鏝が低い位置にめぐるもの(64)から、口縁部近くに断面三角形の低い鏝がめぐるもの(67)まで、さまざまなタイプのものが出土している。口縁部の内外面と鏝の上下をヨコナデで調整するが、66・67には鏝のやや下部に指頭痕が残る。また、68の鏝のやや下部には平行の叩き目が施され、67・68の鏝より下の外面にはススの付着が認められる。

〈備前焼〉(第354図69)

壺と摺鉢の破片が少量出土している。

69は16世紀前半頃の摺鉢で、口縁部は高く直立して凹線などの装飾を持たず、その下端に小さな凸帯をめぐらして体部に至る。体部内面には6本を単位とする溝が施されている。

〈土製品〉(第354図70・71)

70は直径4～4.2cm、厚さ7mmの円盤形である。表面は磨滅が著しく、土器片の加工の可能性もある。重さは13.6gをはかる。71は直径約1.8cmの球形を呈し、重さは5.3gである。

〈蛸壺〉(第354図72)

器高9cm、口縁部の直径5cm、胴部最大径6.2cmを計る。内部は約4×6cmである。上部に紐孔をもち上端にはこれと直角に溝がつけられている。胴部に破損による孔をもち、表面には貝殻の付着が認められる。なお、蛸壺は破片ともで10点ほど出土している。

〈土錘〉(第354図73～87)

有溝土錘(73～78)が17点、棒状両孔土錘(79)が1点、管状土錘(80～87)が46点出土した。

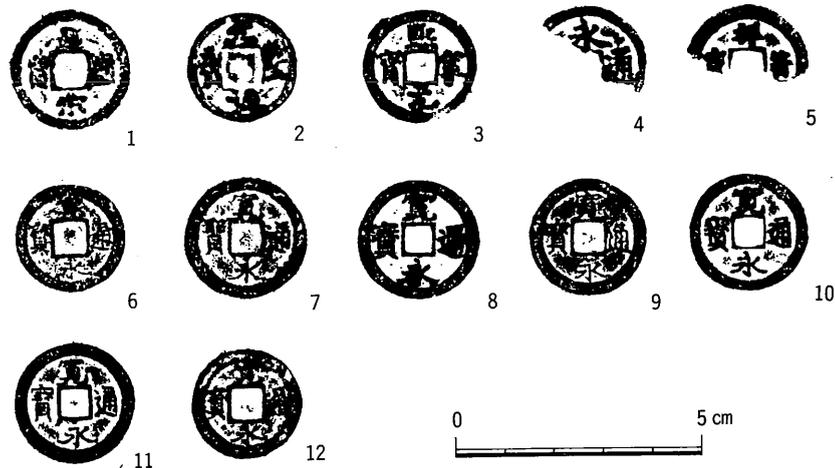
有溝土錘のうち、73・74は大形で復元すると330g程度の重量を持つ。75～78は軽量となり、75で約55g、78で22.8gである。これに対して、棒状両孔土錘と管状土錘はさらに軽量となり、79は15g程度の重さに復元される。

管状土錘のうち図示したものでは、83が最も軽くて3.8g、80が最も重くて16.9gを量る。細長いタイプの84～87は、84・87の10.2gから、86の13.3gの重さである。

〈古銭〉(第350図)

中国銭7枚・寛永通宝7枚・鉄銭1枚、さらに戦前の通貨である1銭銅貨3枚・半銭銅貨1枚が出土した。戦前の銅貨は明治13年から昭和10年までの鑄造である。

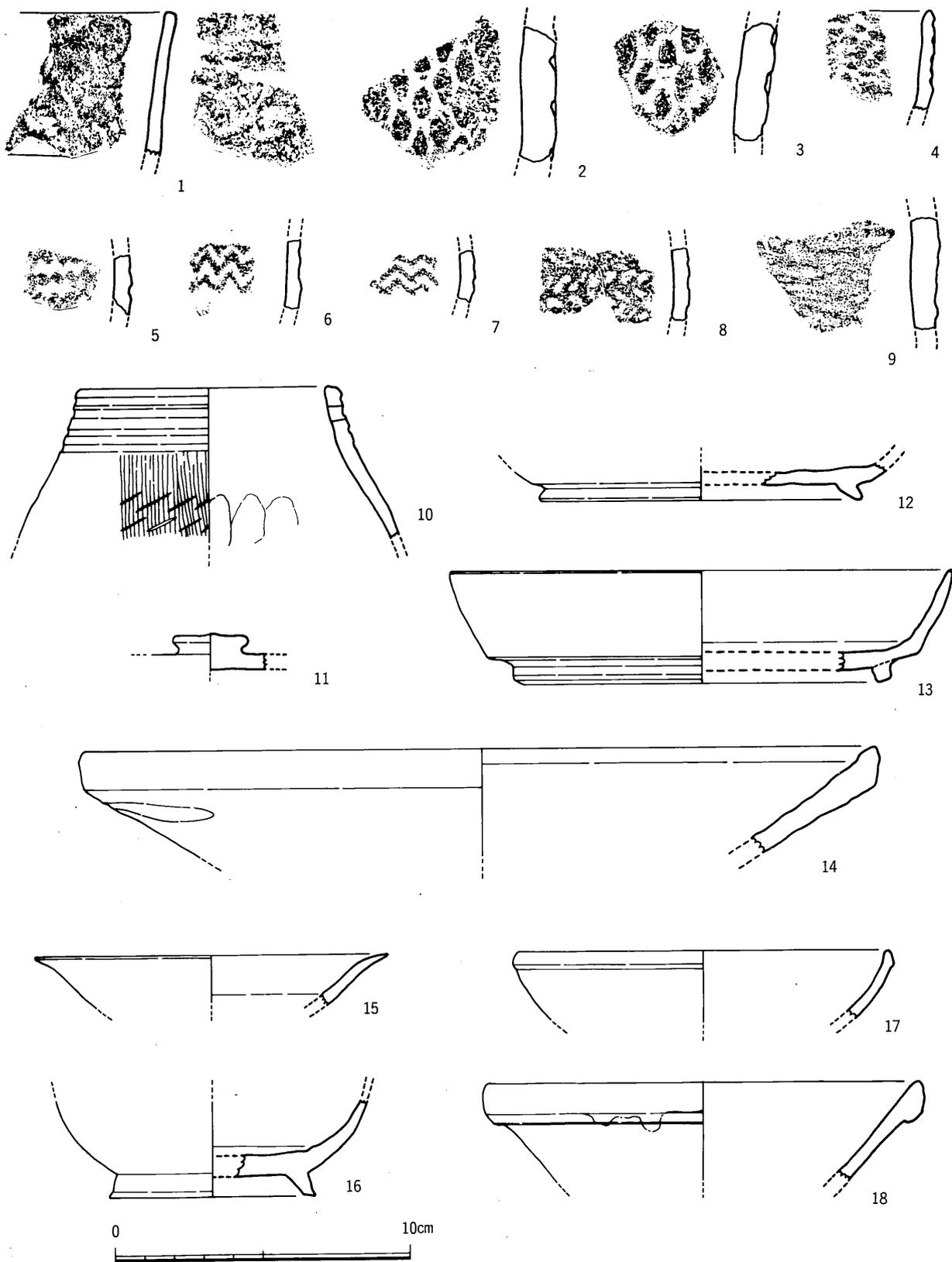
第350図1は \square 宋通宝(初鑄1039年)、2は元豊通宝(初鑄1078年)、3は熙寧元宝(初鑄1068年)、4は永 \square 通 \square (初鑄1408年)、5は祥符通宝(初鑄1008年)であり、このほかに中国銭と思われるものが2片ある。また、鉄銭は錆のため文字が判読できない。6～12は寛永通宝であるが、裏面はいずれも無文である。



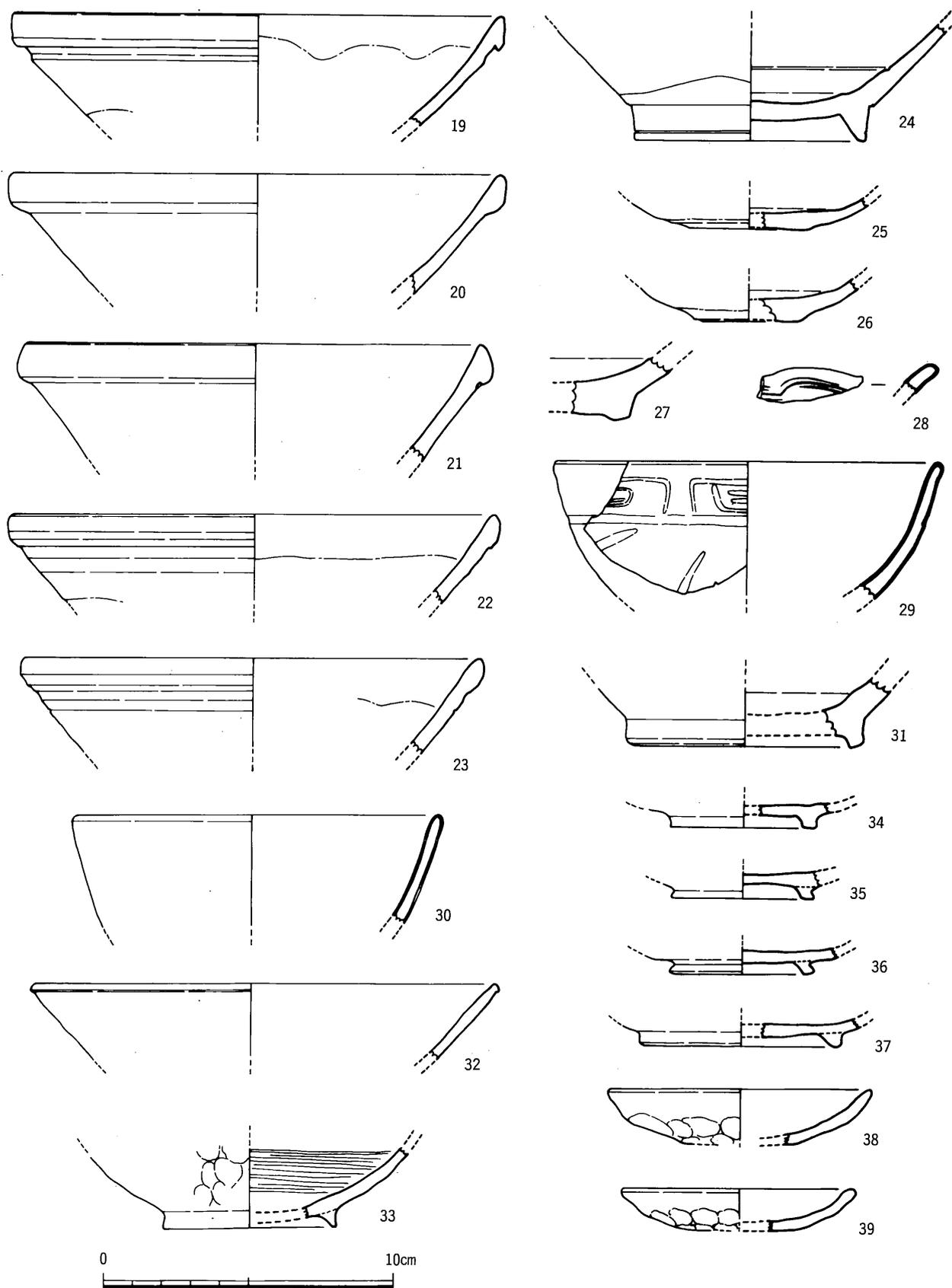
第350図 古銭拓影図

註

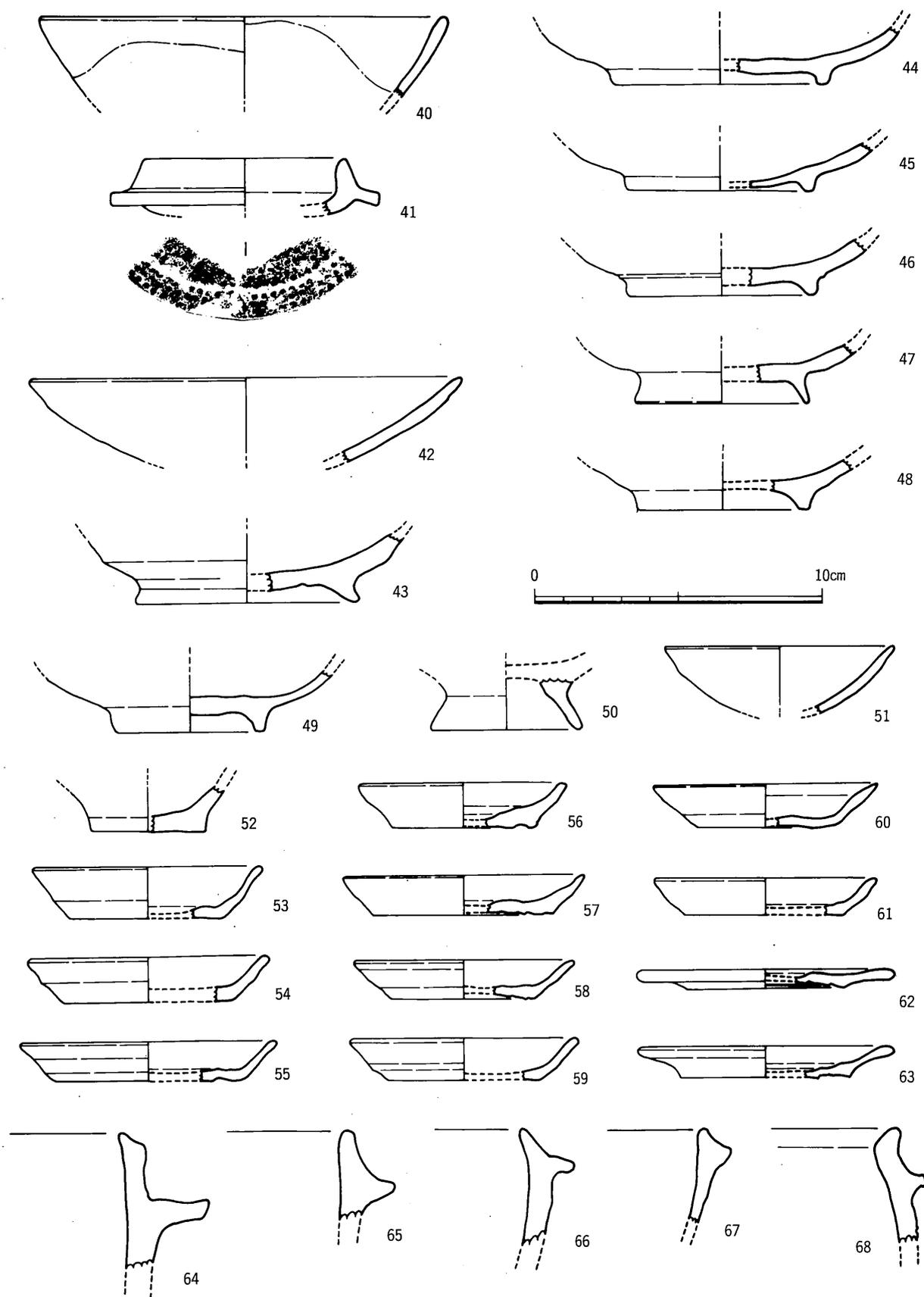
- (1) 同一個体と思われる片口部分の破片も出土
- (2) 横田賢次郎・森田勉「大宰府出土の輸入中国陶磁器について—型式分類と編年を中心にして—」『九州歴史資料館研究論集』4 1978 九州歴史資料館
- (3) 渡部明夫「讃岐出土の輸入陶磁」『森貞次郎博士古稀記念古文化論集』 1982
- (4) 橋本久和「瓦器碗の地域色と分布」『摂河泉文化資料』19・20 1980 摂河泉地域史研究会



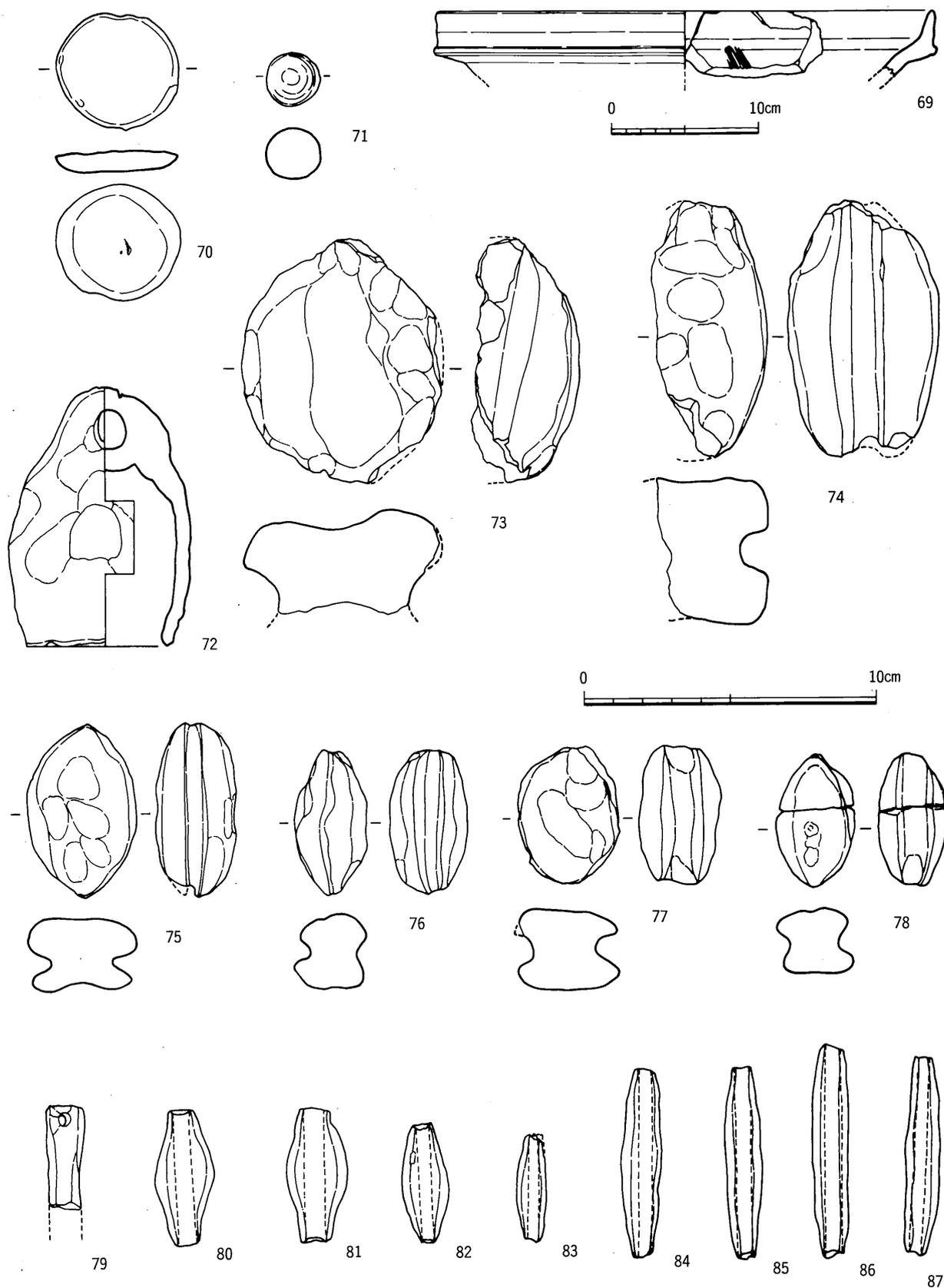
第 351 图 羽佐島出土土器実測图 (1)



第 352 图 羽佐島出土土器実測图 (2)



第 353 图 羽佐島出土土器実測图 (3)



第 354 图 羽佐島出土土器・土製品実測图 (4)

す。こうした分布の相違がそれぞれの時期の違いを反映している可能性があるが、一方では、国府型ナイフ形石器と横長剥片利用のナイフ形石器に顕著な分布の違いが認められないなど、単に時期の違いだけで説明することも困難である。

今回の発掘調査で出土した旧石器時代遺物は膨大な点数にのぼるが、その中で両面加工の彫器とこれに伴うとみられるスポールはこれまで中部瀬戸内地域で確認されていなかったものである。サヌカイトを用いていることやスポールを伴うことから、これらが搬入品ではなく、この地域で製作されたことは明らかであるが、出土点数が少ないことからあまり盛行したとは考えられない。また、出土状態からは時期を限定することはできなかったが、両面加工技術の類似から、尖頭器と共存する可能性が高いものと思われる。

ナイフ形石器についてみると、翼状剥片石核それ自体に変化が認められるほか、横長剥片の剥離と共存するものがあるので、これらの剥片もナイフ形石器に加工されたとすると、国府文化期における国府型ナイフ形石器の多様さと同時に、少数の横長剥片利用のナイフ形石器の存在を考えなければならない。

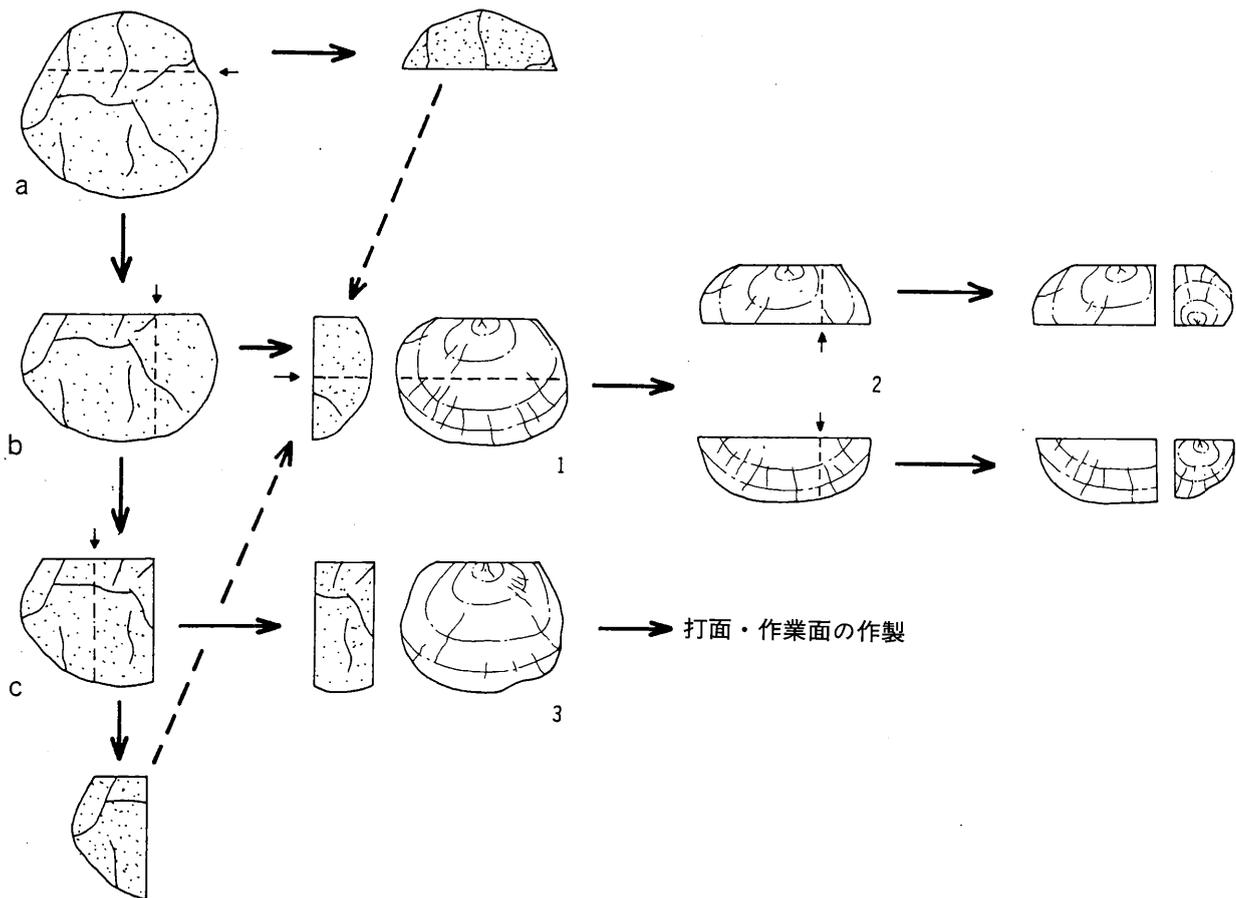
一方、翼状剥片石核を除く横長剥片石核のうち、一側縁の表裏から一枚ずつ横長剥片を剥離する交互剥離石核からは、翼状剥片に類似した横長剥片を得ることができるが、これを加工すれば瀬戸内技法によって製作された国府型ナイフ形石器と同形態のナイフ形石器を製作することもできる。しかも、横長剥片の中には主要剥離面と背面のネガティブな剥離面の剥離に際して、打面を共有して同じ方向に加撃したものも少なくないので、二次調整によって打面部を除去してしまえば、国府型ナイフ形石器と区別することが困難なものも生じる。特に、背面に複数のネガティブな剥離面を持つやや小形のナイフ形石器には分類が困難なものがある。また、横断面が三角形を呈し、背面に底面とネガティブな剥離面の区別を持たないナイフ形石器は翼状剥片と横長剥片の双方から作ることができるので、製品からでは必ずしも技法を断定できない。

ナイフ形石器とその素材となった剥片、及びこれを剥離した石核に以上のような関係が考えられるとしても、羽佐島遺跡のように二次的に移動したことが明らかな資料からその具体的なあり方を把握することは難しい。したがって、ここではナイフ形石器の分類と剥片及び石核との対応が必ずしも従来の説明^{註(2)}だけでは理解しえないことを指摘し、その解決には将来の一括資料の増加を待つことにしたい。

ところで、羽佐島遺跡から出土した翼状剥片・横長剥片利用のナイフ形石器の中に、主要剥離面に伴う打面側縁辺のみならず、刃部先端にも主要剥離面側から二次調整を施したものがあり、尖頭器ないしは石錐としての機能が考えられるとした。一方、羽佐島遺跡には基部や先端の一部に加工を施した縦長剥片利用のナイフ形石器も存在するので、先端の加工はこうした縦長剥片利用のナイフ形石器の影響や、さらに縦長剥片をナイフ形石器の素材とする地域からの影響を受けた可能性もあるので、今後の検討が必要である。

羽佐島遺跡から出土した細石核のうち、玻璃質安山岩製の細石核はⅠ類～Ⅵ類に分類したが、そのうちⅢ類～Ⅴ類は同一原石から製作されたものと思われ、次のような工程が考えられる^{註(3)} (第355図)。

- a. 第324図76などのような6cm前後の大きさをもつ自然礫を加撃し、打面を作る。この作業は原石を分割するための大きな打面を作製することにあつたと思われるが、剥離された剥片が適当な大きさを持つ場合には、1・2の工程に従って、また板状の適当な剥片であれ



第 355 図 細石核素材の作製工程図（想定復元）

ば簡単な石核調整を施して細石核としたようである。なお、細石核やその素材からみれば、打面作製以前の調整はあまり行わなかったことが知られる。

b. aによってできた打面を加撃し、背面が自然面の分厚い剥片を剝離する。さらに、この剥片の主要剝離面側を加撃して縦または横に半截する(1)。半截された角錐（柱）状の剥片の一方の端部を切断し、作業面とする(2)。これによってできたものが第324図80であるが、これから直接細石刃を剝離する場合と、側面調整を施す場合（第313図5）とがある。また、1の剥片が角錐（柱）状を呈し、細石核素材として適したものであれば半截しない場合もあったと考えられる。第315図13はこれにあたる可能性もある。

c. bによって残された原石を加撃して板状の剥片をつくり、細石核の素材とする。なお、この場合の加撃方向はbと同一方向をとるものが多い。また、石核の側面調整は一般に貧弱である（第316図21・22など）。第325図83は自然面を作業面としようとしているものと考えられる。

d. cで残された側面部分の剥片が適当なものであった場合には、1・2又は3の工程に従って細石核としたものと思われる。

以上のように考えれば羽佐島遺跡出土の玻璃質安山岩製細石核は、角錐状をしているが打面と作業面以外に自然面を残すことからみて、小礫を半截して2個の細石核をつくるか、あるいは1原石から1石核をつくるもの（I類）・上述したもの・板状の小剥片や不定形の剥片を利用したもの（III B類のうち小形のもの・III C類）の3種に分けることができる。さらに、第324図

78が細石核素材とすれば、上述した工程に自然面を除去した礫を用いる工程の存在も考えられる。^{註(4)}

備讃瀬戸の細石核については花見山遺跡出土の細石核の分類を通して全体を概観した西村氏の研究があり、^{註(5)} この中で羽佐島遺跡の細石核にもふれているものの、IV類～V類が同一原石からの所産であるかどうかについては言及していない。しかしながら、板状の小剥片を用いたと思われる第319図36 (III B - 3 類) が、原石の分割によって得られた第316図22 (III B - 1 類) と同じものとされたり、II類の素材と考えられる第324図80が半舟底～舟底状を呈する別の細石核の素材とされていることなどからみれば、両者の内容の違いの原因はIII類～V類が同一の原石から得られたか否かにあるようである。現在のところ細石核の接合資料が得られていないためどちらとも断定できず、その結論は今後の研究の進展をまちたい。

細石核には玻璃質安山岩製のほか、黒曜石製・サヌカイト製が出土したが、第372図59・60の2例を除くサヌカイト製細石核は、板状を呈し、狭長な側面を作業面とする。

そして、板状を呈すること、狭長な側面を作業面とすること、一般に側面調整がきわめて貧弱であることなどは縦長剥片石核と共通し、細石核にも風化の著しいサヌカイトを用いていることは注目される。前述したように、羽佐島遺跡では4,254m²にわたって発掘したにもかかわらず、縦長剥片と縦長剥片石核が包含層の下部から出土する傾向は認められず、発掘の結果からは国府型ナイフ形石器より古く位置づけることはできなかった。しかも、翼状剥片石核を転用したとみられる縦長剥片石核が存在し (第281図9)、後述するように、縦長剥片の基部や先端片側を加工したナイフ形石器が新しい時期に属すると考えられることなどからすれば、羽佐島遺跡においても縦長剥片と縦長剥片石核のすべてを古く位置づけることはできず、今後は各時期における縦長剥片のあり方を追求してゆかねばならないであろう。

ところで、細石核・細石刃として多く用いられた玻璃質安山岩製遺物には、ほかにナイフ形石器14点・尖頭器1点・楔状石器5点・削器4点・二次調整ある剥片8点・横長剥片石核6点などがあるほか、昭和58年度の第2次調査で石鏃1点が出土している。そして、ナイフ形石器には不定形の横長剥片を用いた小形ナイフ形石器や横長剥片利用の小形切出し形ナイフ形石器、縦長剥片を用いた小形ナイフ形石器、小形縦長剥片の基部と先端の片側を加工したナイフ形石器などがあり、そのあり方は兵庫県太島遺跡^{註(6)}・香川県井島遺跡^{註(7)}に類似している。

また、太島遺跡からは黒曜石製のナイフ形石器も出土しているが、羽佐島遺跡でも細石刃5点・細石核2点・小形縦長剥片利用のナイフ形石器2点・石鏃1点などの黒曜石製遺物が出土している。

太島遺跡と井島遺跡は中部瀬戸内における終末期のナイフ形石器を出土したことで知られているが、これに類似したナイフ形石器のみえる羽佐島遺跡の玻璃質安山岩と黒曜石製遺物には国府型ナイフ形石器など、時期の遡る遺物は含んでいない。しかも、玻璃質安山岩の原石として採集された小礫からは、国府型ナイフ形石器を連続して作り出すことは困難であり、したがって、両石材には時期の古い旧石器時代遺物はもともと存在しなかった可能性が高いものと思われる。しかもサヌカイト原石の産地にきわめて近い羽佐島遺跡で、両石材が新に使われ始めたのは、両石材の緻密さを利用して細石刃の製作を容易にするためではなかったと思われるのである。

しかも、玻璃質安山岩製の横長剥片石核を転用した細石核 (第321図56) が存在することは横長剥片剥離技法が細石刃文化にも残ることを示し、さらに横長剥片を利用した小形ナイフ形石

器や、これと共伴するとされている縦長剥片利用の小形ナイフ形石器が細石刃と共存する可能性をも示唆するのではないだろうか。

いずれにせよ、玻璃質安山岩と黒曜石製遺物はこの地域における旧石器時代終末～縄文時代初期の石器の様相を物語るものであり、両石材で作られた小形のナイフ形石器が従来いわれてきたように、ナイフ形石器として最も新しい形態を示すものであることは疑いないものと思われる。

ところで、羽佐島遺跡出土の黒曜石はいずれも漆黒色を呈し、一見して大分県姫島産であることがわかる白っぽいものは出土していない。

一方、羽佐島遺跡からは1,142点もの石鏃が出土しているが、押型文土器以外にはほとんど出土しないことから、それらは縄文時代早期までのものと考えられることができる。また、縄文時代草創期の遺物としては2点の有舌尖頭器があり、C10-1南東部ピット上から出土した石槍(第349図10)や、両面加工の木葉形尖頭器なども草創期に属する可能性が強いことからみると、羽佐島遺跡は旧石器時代に引続き、縄文時代早期までは盛んに利用されたものと考えられることができる。ところが、こうした多数の石器の出土にもかかわらず、時期の明らかな土器は少量の押型文しかなく、これと胎土・焼成が類似する無文土器を含めても、土器の出土は貧弱である。島嶼部においてはこのような傾向は香川県井島遺跡^{註(8)}においても確認されているが、一方では香川県小島遺跡^{註(9)}のように押型文土器を出土する遺跡では多量の土器を出土する例もあり、これが押型文土器以前の様相なのか、それとも島嶼部の特定の遺跡の特徴なのか、今後に解決されるべき課題である。

羽佐島遺跡では、平安時代末頃と最近のものを除くと、弥生時代以降の出土遺物は多くない。特に古墳時代については、それらしい須恵器の体部の破片がわずかに認められるのみであったが、1983年度に実施された第二次調査で滑石製勾玉が出土し、古墳時代に祭祀が行われたことを示唆した。羽佐島遺跡における祭祀については、1979年度に緑釉土器の出土が確認され、与島西方遺跡から神功開宝が単独出土していることから、^{註(10)}瀬戸内海の航海にともなう小規模な祭祀が想定されたが、^{註(11)}その後、櫃石島大浦浜遺跡で奈良三彩をはじめとする多数の祭祀遺物が出土し、古墳時代から平安時代に及ぶ大規模な祭祀が確認され、^{註(12)}また、羽佐島遺跡の第二次調査でも銅製帯金具が出土し、規模は別として羽佐島遺跡でも同様な祭祀を行っていたことが明らかになった。

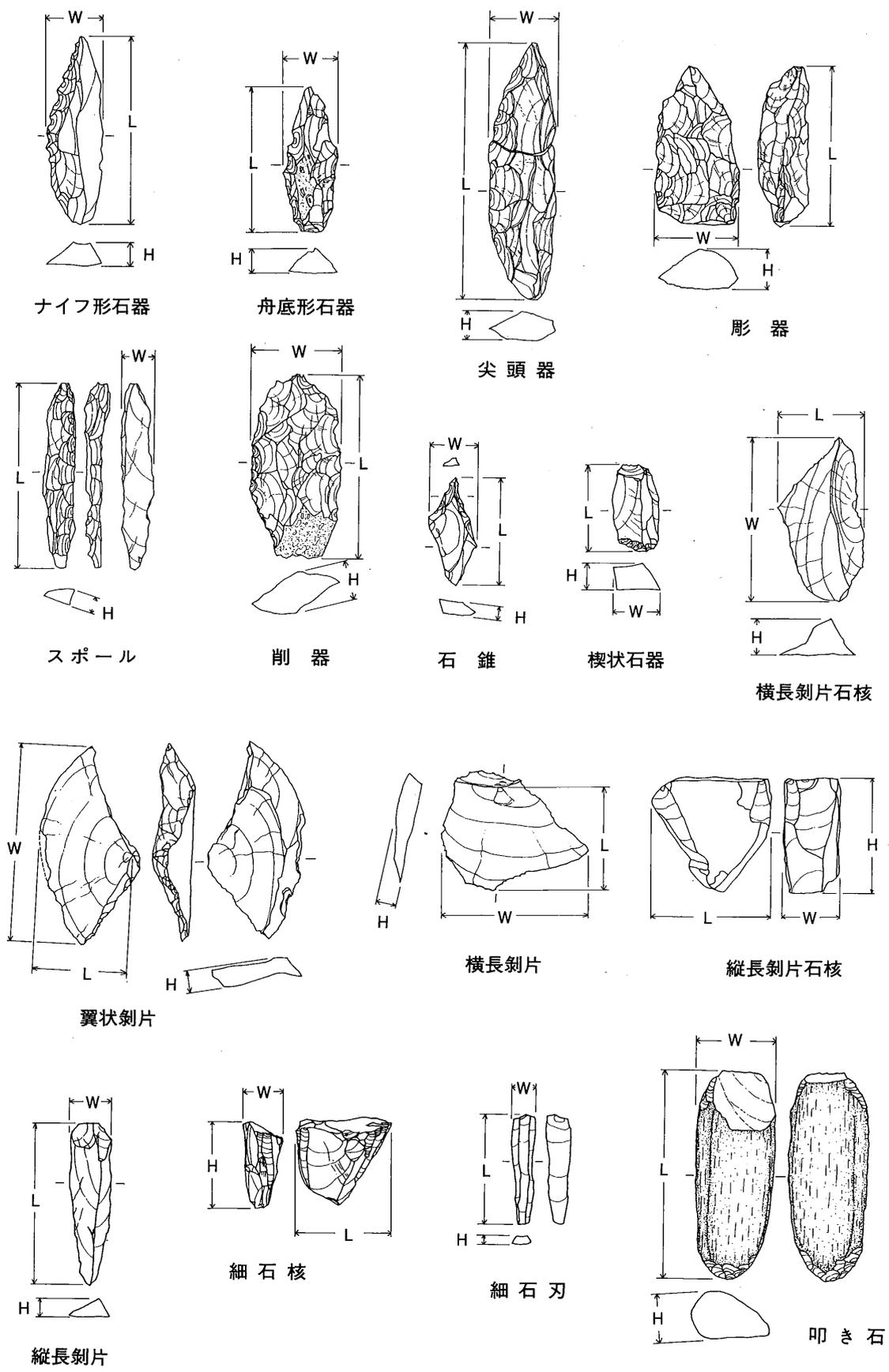
平安時代末頃になると、輸入磁器・黒色土器・和泉型瓦器椀・東播磨系須恵器片口・瓦質椀・土師器・香川県陶窯跡群産の可能性もある須恵器などが出土し、前後の時期に比べて遺物量は多い。したがって、この頃の一時期、羽佐島に人々が住んでいた可能性もあるが、発掘地区内からは人々の居住を物語る遺構は検出されなかった。ただ、この頃一時的に人々が定住していたとしても、島が小さく生産性が低いから、これらの出土品のすべてが島民の消費であったとは考えられず、羽佐島が当時の瀬戸内海の交易に係わる一時的な中継地としての役割を持っていたことを示すのではないかと思われる。^{註(13)}しかしながら、13世紀後半になると対岸の与島塩浜遺跡^{註(14)}が成立し、輸入陶磁や東播磨系須恵器・備前焼などを出土しているが、これと対応するように、羽佐島遺跡では同時期の出土遺物が激減する。

また、16世紀末頃の羽佐島では道珍・藤兵への2人が羽佐島で耕作し、麦2斗7升6合を得ている。2人とも櫃石島・与島には名前がみえないことから、羽佐島に住んでいた可能性もある。しかしながら、収穫量からみれば、2人あるいは2家族が生活できる量が得られないため、

彼らが農業で生活することは不可能である。したがって、彼らは漁業・交易などにも従事した生活を営んだか、あるいは他島からの出作であったかもしれない。今回の発掘調査ではこの時期の遺構は発見されず、遺物も多くなかったが、今後の調査で検出されることも考えられる。いずれにせよ、羽佐島遺跡は縄文時代早期を過ぎると、一時的な居住や耕作以外にはあまり利用されておらず、そのため大規模な掘削に伴う包含層の消失などはなかったが、旧石器包含層がきわめて浅かったために、遺物の攪乱は進んだようである。

註

- (1) 香川大学教授坂東裕司氏による
- (2) 鎌木義昌・高橋護「瀬戸内海地方の先土器時代」『日本の考古学』I 1965 河出書房
- (3) 渡部明夫「羽佐島遺跡の遺物整理」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報』V 1982 香川県教育委員会
- (4) 渡部明夫ほか「羽佐島遺跡」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報』III 香川県教育委員会
- (5) 西村尋文「中部瀬戸内地域における細石刃生産技術の検討」『旧石器考古学』26 1983 旧石器文化談話会
- (6) 鎌木義昌「無土器文化・縄文文化」『家島群島』1962
- (7) 鎌木義昌「香川県井島遺跡—瀬戸内における細石器文化—」『石器時代』4 1957
- (8) 註7に同じ
- (9) 樋口清之「讃岐小鷲島貝塚の研究」『史前学雑誌』8-1 1936
- (10) 牟礼良典・唐木裕志・藤好史郎・真鍋昌宏「与島西方遺跡」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査報告』I 1979 香川県教育委員会
- (11) 註4に同じ
- (12) 大山真充・森本義臣ほか「大浦浜遺跡の調査」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報』IV 1981 香川県教育委員会
大山真充・真鍋昌宏ほか「大浦浜遺跡の調査」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報』V 1982 香川県教育委員会
- (13) 渡部明夫「讃岐出土の輸入陶磁」『森貞次郎博士古稀記念古文化論集』1982
- (14) 渡部明夫・大山真充「与島の遺跡」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財予備調査報告』I 1977 香川県教育委員会
中野保・藤好史郎・白本清「塩浜遺跡の調査」『瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報』IV 1981 香川県教育委員会



第 356 図 羽佐島遺跡出土主要遺物計測基準図 (縮尺不同)
 L:長さ W:幅 H:厚さ

第48表 ナイフ形石器観察表

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
1	62.15	29.90 14.00	22.4	ヌ カ イ ト	完形。両端が尖らず幅広で肉厚。素材は翼状剥片ファーストフレイクか。刃部に新しい破損。先端から基部にかけて粗い二次調整を施す。断面は不整形。	A31・1・125	
2	10.10	18.00 11.35	10.2	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。背面にネガティブな2面を持つ。翼状剥片ファーストフレイクを利用。断面は台形。	A27・1・a S	
3	59.35	17.65 6.20	6.6	〃	完形。両端が尖る。扁平な翼状剥片ファーストフレイクを利用。二次調整は側縁全面にわたって丁寧に施す。断面は台形。	A38・4・295	
4	53.00	16.20 9.95	6.3	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部は外彎。基部は薄くなり二次調整を施さない。断面は台形。	A38・2・3218	
5	50.75	16.75 6.30	4.9	〃	完形。先端が尖る。基部は幅広で先端に向けて薄くなる。翼状剥片ファーストフレイクを利用。底面は基部付近で消滅。断面は台形。風化やや顕著	A34・2・343	
6	54.85	16.45 6.45	5.3	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。断面は台形。	A27・2・b S	
7	43.55	15.70 7.10	4.9	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片ファーストフレイク。背面にネガティブな面があり翼状剥片の打面は僅かしか残らない。断面は台形。	A36・1・497	
8	53.15	16.55 6.20	6.0	〃	完形。基部はやや幅広。扁平な翼状剥片ファーストフレイクを利用。断面は断形。	A26・2・26	
9	51.20	18.40 7.15	7.2	〃	完形。先端は幅広。基部は尖る。翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部は直線状で二次調整面側は外彎。断面は台形。	A37・4・393	
10	45.45	14.25 6.95	3.9	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。刃部は外彎。基部に翼状剥片の打面を僅かに残す。断面は台形。	A7・2・67	
11	43.50	19.15 7.90	6.2	〃	完形。両端は尖らない。翼状剥片ファーストフレイクを利用。粗い二次調整を施す。基部には翼状剥片の打面を残す。断面は台形。	A39・4・b N	
12	44.75	15.05 6.70	3.5	〃	完形。先端は尖らず基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。背面からの二次調整が施される。背面にネガティブな面があり翼状剥片の打面を僅かに残す。断面は台形。	A38・2・4118	
13	45.30	16.40 7.10	4.4	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。刃部は山形。断面は台形。	A35・3・915	
14	40.55	15.05 7.30	3.8	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。二次調整面から底面に向けて小刻離を施す。主要剥離面に打点を残す(加撃は自然面と剥離面のなす稜)自然面を二次調整で大部分除去。断面は台形。風化やや顕著。	A17・1a S	
15	45.35	17.00 5.55	4.5	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。断面は台形。	A36・3・2465	
16	39.25	17.05 4.80	2.9	〃	完形。両端が尖る。薄手の翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部に微少な剥離痕あり。二次調整面側は山形。断面は台形。	A36・2・549	
17	43.80	15.70 9.45	6.0	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広で自然面。素材は翼状剥片ファーストフレイク。背面にネガティブな面があり。翼状剥片の打面は僅かしか残らない。断面は台形。	A40・5c N	
18	40.60	18.35 8.50	4.4	〃	先端部破損。基部は尖る。翼状剥片ファーストフレイクを利用。粗い二次調整を施す。刃部は山形。	A38・1・4463	
19	37.95	10.05 6.25	2.0	〃	完形。先端は尖らず基部は尖る。翼状剥片ファーストフレイクを使用。二次調整は主要剥離面の側縁全面にわたらず翼状剥片の打面を残す。刃部は直線状で二次調整面は山形。	A39・3a N	
20	39.80	13.70 8.50	3.9	〃	完形。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。刃部は直線状を呈する。断面は台形。	A35・3・1222	
21	37.45	15.95 6.10	3.2	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。基部に翼状剥片の打面を残す。刃部は外彎。二次調整面側は山形。	A24・1・a S	
22	32.65	17.70 9.20	4.8	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片ファーストフレイクを利用。中央部に翼状剥片の打面を残す。二次調整面側に自然面あり。	A42・4・a S	
23	38.50	20.55 7.90	5.7	〃	完形。先端は尖る。基部は薄く幅広。素材は横長剥片ファーストフレイクか。刃部は直線状。二次調整面側は山形。打面を残す。	A24・121	
24	35.45	14.55 5.55	2.8	〃	完形。先端は尖る。基部は自然面を残す。素材は翼状剥片ファーストフレイク。刃部に剥離痕あり。	A39・3・330	
25	31.00	13.95 5.95	2.7	〃	完形。先端は尖る。基部は薄く幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部は山形。断面は台形。風化やや顕著。	A39・2・362	
26	32.60	14.70 4.75	2.0	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。薄い翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部は外彎。二次調整面側は山形。断面は台形。	A41・5・a N	

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
27	32.70	11.85	1.8	ス カ イ ト	完形。先端は自然面。翼状剥片ファーストフレイクを利用。二次調整は先端部に施さない。断面は台形。	A35・4・a S	
28	30.20	11.75	1.3	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。薄手の翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部は山形。断面は台形。	A38・3・d N	
29	45.65	17.25	6.9	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。ファーストフレイクに近い翼状剥片を利用。細かい二次調整を施す。刃部に微少な剥離痕あり。	A36・5・345	
30	51.85	20.60	13.1	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材はファーストフレイクに近い翼状剥片。腹面に石核の側面を残す。折れた翼状剥片の先端部に二次調整を施す。基部よりには打面調整の面が残る。背面に自然面あり。	A39・3・642	
31	73.40	20.05	10.70	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。他のファーストフレイクに較べて大形。断面は台形。	A39・2・b S	
32	49.75	22.20	8.45	〃	先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。基部に翼状剥片の打面を僅かに残す。刃部は外彎。二次調整面側は山形。主要剥離面基部に新しい破損あり。断面は台形。	A34・1・257	
33	53.35	17.85	6.15	〃	先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイク。先端部二次調整面は破損か。断面は台形。	A19・1・b N	
34	62.70	19.55	10.25	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部中央に剥離痕あり。主要剥離面に複数の新しい破損あり。刃部は外彎。二次調整面側はほぼ直線状。断面は台形。	C16・1・669	
35	51.95	20.20	10.85	〃	先端が尖る。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイクを残す。翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部先端に剥離痕。基部に新しい破損あり。断面は三角形に近い台形。	A36・2・1863	
36	50.50	18.00	19.35	〃	先端部破損。基部は幅広で自然面を残す。素材は翼状剥片ファーストフレイク。背面のネガ面は底面からの打撃か。刃部は直線状。二次調整面側は外彎。	A39・2・a S	
37	43.30	17.50	5.75	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。背面先端部は自然面を残す。二次調整は中央部に施す。刃部は直線状。断面は台形。	A38・3・1023	
38	43.25	21.90	8.0	〃	先端部破損。基部は幅広で自然面を残す。素材は翼状剥片ファーストフレイク。粗い二次調整で翼状剥片の打面は僅かしか残らない。刃部は鋭利で微少な剥離痕あり。断面は三角形。	A29・1・b S	
39	42.75	23.05	11.0	〃	先端は尖る。基部部破損。翼状剥片ファーストフレイクを利用。二次調整は粗い。底面基部部に新しい破損。断面は台形。	A10・1・79	
40	45.20	18.60	9.70	〃	両端破損。素材は翼状剥片ファーストフレイク。先端から基部まで二次調整を施す。断面は台形。	A30・1・2009	
41	45.15	16.80	7.00	〃	先端は尖る。基部部破損。素材は翼状剥片ファーストフレイク。先端部は細かい二次調整を施す。断面は台形。	B20・7・42	
42	45.10	17.00	7.20	〃	先端は尖る。基部部破損。素材は翼状剥片ファーストフレイク。背面中央部にネガ面が残る。刃部に新しい破損。断面は台形。	A32・2・c N	
43	43.75	15.10	5.05	〃	両端破損。翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部は外彎。先端部二次調整面に細かく新しい破損。断面は台形。	A39・4・48	
44	52.40	17.80	6.10	〃	先端は鋭利に尖らない。基部は一部破損。素材は翼状剥片ファーストフレイク。二次調整は先端から中央部にかけて施す。基部付近には打面調整の面を残す。底面は加磨の痕が見られる。	A34・2・39	
45	44.90	17.35	8.60	〃	先端は鋭利に尖らない。基部部破損。翼状剥片ファーストフレイクを利用。二次調整は先端から一側縁全面にわたって粗く施される。	C12・1・c N	
46	55.80	20.00	19.95	〃	先端部破損。基部は幅広でやや薄い。素材は翼状剥片ファーストフレイク。背面に複数のネガ面を残す。主要剥離面の先端部に剥離痕が見られる。	A38・2・4246	
47	45.55	15.80	9.40	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。複数のネガ面があり。翼状剥片の打面は小さい。	A25・1・b S	
48	42.00	16.85	6.40	〃	先端部破損。基部は幅広で一部破損。素材は翼状剥片ファーストフレイク。背面の基部側にネガ面が残る。主要剥離面の先端部側に剥離痕が見られる。断面は台形。	A41・4・223	
49	39.00	15.05	7.05	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。背面中央部にネガ面が残る。主要剥離面の中央刃部側に剥離痕あり。	A35・4・634	
50	39.80	15.40	7.40	〃	先端部破損。基部は尖る。翼状剥片ファーストフレイクを利用。粗い二次調整を施す。断面は台形。	A39・2・816	
51	39.30	15.70	8.30	〃	先端部破損。基部はやや幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。刃部基部付近に剥離痕あり。	A34・1・521	
52	37.90	17.15	11.95	〃	両端破損。翼状剥片ファーストフレイクを利用。一側縁全面に粗い二次調整を施しているが。基部付近で背面からの剥離痕が見られる。断面は台形。	C4・1・b N	

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
53	38.70	15.45	6.25	2.8	サスサイト	先端は尖る。基部は薄く幅広で一部破損。翼状剥片ファーストフレイクを利用。背面にネガ面が見られる。		A35・5・b N
54	44.20	19.30	8.85	6.2	〃	先端部破損。基部はやや幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。背面先端部付近にネガ面を残す。二次調整は一側縁全面に及ばず。基部付近には打面調整の面が見える。		A41・5・141
55	40.25	12.15	6.55	3.9	〃	先端は尖る。基部部破損。素材は翼状剥片ファーストフレイク。断面は台形。		A36・3・2052
56	44.05	21.05	7.05	6.8	〃	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片ファーストフレイク。基部に翼状剥片の打面を僅かに残す。背面にネガ面あり。		A24・1・d S
57	36.70	15.50	7.85	4.1	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。刃部に複数の剝離痕が見られる。断面は台形。		A38・2・4809
58	32.10	18.35	5.40	2.9	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は扁平な翼状剥片ファーストフレイク。刃部は外彎。断面は台形。		A39・1・386
59	33.60	17.15	7.25	4.5	〃	先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部の先端・基部部に剝離痕あり。風化やや顕著。		A37・2・2640
60	31.45	16.20	4.60	2.9	〃	先端部破損。基部は幅広で自然面。素材は扁平な翼状剥片ファーストフレイク。背面にネガ面は見られない。主要剝離面の刃部に剝離痕あり。		A36・1・697
61	33.95	15.20	6.20	2.4	〃	先端部破損。基部は尖らない。粗い二次調整を施す。背面にネガ面は見られない。刃部は外彎。断面はほぼ三角形。		A38・5・45
62	31.35	15.90	7.75	3.2	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。粗い二次調整を施す。底面先端部に新しい破損あり。断面は台形。		B22・a N
63	33.00	21.05	8.55	4.5	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。背面中央にネガ面が見られる。刃部は山形。		A1・b S
64	34.80	18.10	7.00	3.9	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。二次調整は先端から基部まで施す。刃部は外彎。		A36・4・1386
65	30.20	15.70	5.65	2.5	〃	先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。二次調整は基部まで及ばず。打面調整の面が僅かに残る。		B18・c N
66	24.60	12.55	4.25	1.6	〃	両端破損。薄手の翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部二次調整面側共に直線状を呈す。		A38・2・4030
67	18.10	18.70	5.25	1.8	〃	両端が尖らない。刃部先端部。基部は薄く幅広で一部破損。素材は翼状剥片ファーストフレイク。底面は盤状剥片の剝離面以外にネガ面を剝離面を2面もつ。断面は台形。		A28・1・a S
68	48.35	17.85	8.60	5.7	〃	先端部破損。基部は尖る。素材は翼状剥片ファーストフレイク。刃部に基部調整を施す。二次調整面側は山形。断面は台形。風化顕著。		A39・3・a N
69	31.45	15.60	6.00	2.4	〃	先端部破損。基部はやや幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。先端から基部にかけて細かい二次調整を施す。二次調整面側は山形。		B13・e S
70	30.85	12.85	5.15	1.6	〃	先端は尖る。基部部破損。盤状剥片の打痕を残さないが、底面の状態から翼状剥片ファーストフレイクと思われる。粗い二次調整は背面側から施され。主要剝離面の打点を除去する。基部部に盤状剥片の打痕の一部を残す。		C17・1・a N
71	40.35	15.25	5.75	3.3	〃	先端は尖る。基部部破損。素材は翼状剥片ファーストフレイクか。刃部先端部に僅かな調整を施す。基部付近で刃部が乱れていて。断面は台形。		A36・3・2062
72	38.90	17.20	8.95	5.1	〃	両端が尖らない。素材は翼状剥片ファーストフレイクの二次調整で打点を落としたもの。底面に二次調整面側からの小剝離。基部に翼状剥片の打面を残す。刃部は外彎。風化顕著。		A40・4・a S
73	41.20	18.00	18.70	6.4	〃	両端が鋭利に尖らない。素材は翼状剥片ファーストフレイクか。刃部側にも二次調整を施し。切出し状に整形。断面は台形。風化顕著。		A30・2 a S
74	44.65	16.25	8.95	6.1	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイクを用い二次調整で打点を落としたもの。刃部は直線状を呈す。風化やや顕著。		A41・5・76
75	54.80	17.85	9.00	8.0	〃	先端は尖る。基部部破損。翼状剥片ファーストフレイクを用い二次調整で打点を落としたものを利用。背面に自然面を残す。主要剝離面の基部より刃部側からの古い剝離が見られる。		C6・1・441
76	35.30	16.20	6.50	3.1	〃	先端は尖る。基部部破損。素材は翼状剥片ファーストフレイクを用い二次調整で打点を落としたもの。主要剝離面の剝離は後上加。幅広い打面を残す。風化顕著。		A41・4・d S
77	54.30	24.05	10.80	12.0	〃	先端は尖る。基部部破損。ファーストフレイクに近いやや肉厚な翼状剥片を利用。背面に複数のネガ面を持つ。刃部は外彎。		C20・1・a N
78	45.50	17.60	8.30	4.9	〃	先端は尖る。基部部破損。ファーストフレイクに近い翼状剥片を利用。二次調整は先端から基部まで丁寧な調整を施す。		A32・2 c S

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
79	45.90	18.25	7.4	サス カイト	先端は尖らない。基端部破損。素材はファーストフレイクに近い翼状剥片。先端部に翼状剥片の打面が残る。背面には複数のネガタイプな面。刃部は外彎。断面は台形。風化やや顕著。	A35・3・871	
80	48.55	22.15	8.7	〃	先端部破損。基部はやや幅広。素材はファーストフレイクに近い翼状剥片。基部付近に打面調整の面が見られる。刃部はやや内彎。二次調整面側は山形を呈す。	A38・1・4681	
81	48.50	17.80	6.7	〃	先端は尖らず自然面を残す。基端部破損。ファーストフレイクに近い翼状剥片を利用。風化顕著。	A37・4・480	
82	35.90	17.35	4.6	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片ファーストフレイクもしくは横長剥片か。断面は台形。	A25・2・a S	
83	32.35	16.20	3.2	〃	先端は尖らず自然面を残す。基端部破損。素材は翼状剥片ファーストフレイクもしくは横長剥片か。刃部はほぼ直線状。二次調整面側は外彎。	A35・2・496	
84	70.40	26.75	14.7	〃	完形。先端は尖らず薄くなって終る。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。刃部は内彎。断面は台形。	A36・4・1304	
85	74.90	20.30	—	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片を利用。複数のネガ面を持ち。二次調整は先端部が細かい。断面は台形。	A36・3・1481	
86	71.50	19.35	4.9	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片利用。二次調整は先端から基部にかけて丁寧に施す。二次調整面側は山形を呈す。断面は台形。	A38・4・c N	
87	64.95	12.00	10.0	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片。断面は肉厚な台形を呈する。	A34・1・718	
88	62.70	16.75	5.7	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。扁平な翼状剥片を利用。背面に大きな1ネガ面を持つ。	A35・5・14	
89	58.40	17.00	4.9	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片を利用。二次調整は先端から基部にまで施されず。打面調整の面を残す。	A38・3・599	
90	37.70	12.50	3.5	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片を利用。二次調整は細かく施される。基部に僅かに打面調整の面が残る。	A7・1・254	
91	72.40	20.35	7.3	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片。複数のネガ面を持つ。二次調整は丁寧に施す。	A36・3・1481	
92	63.10	18.05	8.2	〃	完形。両端は尖らない。素材は扁平な翼状剥片。背面に大きなネガ面を持つ。刃部・二次調整面側共ほぼ直線状。断面は薄い台形。	A33・2・307	
93	61.55	26.65	19.4	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。肉厚な翼状剥片を利用。先端部に翼状剥片の打面を残す。刃部先端近くに剥離痕あり。二次調整は粗い。	A37・2・644	
94	62.70	21.95	11.4	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。背面には大きなネガ面があり底面は2面からなる主要剥離面に刃部からの剥離痕が見られる。刃部は台形。	A34・1・130	
95	66.60	19.15	8.6	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片を利用。複数のネガ面あり。刃部基部よりに小剥離が見られる。	A12・1・c N	
96	59.00	17.85	9.3	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片を利用。底面は先端部からの加撃（基部からの加撃とも考えられる）で形成。底面基部よりに比較的大きな剥離痕の調整が見られる。	A36・2・1716	
97	54.60	14.95	5.8	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用。刃部は直線状。先端部付近で外彎。断面は台形。	A30・1・a S	
98	57.95	22.50	8.8	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。刃部に微少な剥離痕あり。二次調整は基部付近は施さず。打面調整の面を残す。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。	A36・4・1342	
99	59.30	18.15	8.65	〃	完形。先端が尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片。刃部中央部付近に二次調整を施す。断面は台形。	B4・737	
100	57.65	18.85	8.00	〃	完形。先端が尖る。基部はやや幅広。翼状剥片を利用。基部に打面調整の面を残す。	A35・5・330	
101	62.95	17.90	7.25	〃	完形。先端が尖る。翼状剥片を利用。複数のネガ面を持つ。主要剥離面側に残る面は翼状剥片の打面か。断面は台形。	A39・3・556	
102	61.65	17.25	8.30	〃	完形。一端は尖り。一端は自然面を残す。素材は翼状剥片を利用。二次調整は一側縁全面に施さず。打面調整面を残す。	A35・2・75	
103	57.10	20.00	8.20	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片を利用。背面に幅広い1ネガ面を持つ。断面は台形。	A38・1・4891	
104	51.80	20.00	5.45	〃	完形。先端は尖る。素材は翼状剥片。二次調整は先端から中央付近まで施す。基部付近は打面調整の面が残る。主要剥離面に打点あり。断面は扁平な台形。	A40・2・d S	

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅					
105	60.55	18.45	7.9	サヌカイト	完形。先端は尖る。基部には自然面。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面を持つ。		A35・3・d N
106	58.30	16.70	6.5	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。刃部基部よりに新しい破損。断面はほぼ三角形を呈す。		A35・3・b S
107	60.55	17.45	7.5	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用。背面には1ネガ面を持つ。主要剥離面基部には石核の素材面と思われる面あり。二次調整面側はほぼ直線。風化やや顕著。		A39・2・1134
108	56.40	20.50	7.8	〃	完形。両端尖る。扁平な翼状剥片を利用。二次調整は一側縁の先端部に施し、打面が残る。主要剥離面に打点が見られる。		A36・1・2412
109	61.00	16.95	7.7	〃	完形。先端は尖る。素材は翼状剥片。刃部先端部に小剥離痕あり。断面は台形。		A36・3・1272
110	52.90	14.65	6.80	〃	完形。先端は尖る。基部は薄くやや幅広。翼状剥片を利用。		B8・567
111	52.00	18.25	6.45	〃	完形。先端は尖る。基部は薄くやや幅広。素材は翼状剥片。刃部先端部に小剥離痕あり。		B20・419
112	48.65	11.20	7.70	〃	完形。先端は尖る。基部は薄く幅広。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面あり。刃部先端部に小剥離痕が見られる。		A36・4・82
113	65.00	15.95	6.50	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片を利用。二次調整は先端から基部付近にかけて施され基部よりに打面が残る。		A35・2・235
114	54.90	18.25	5.45	〃	完形。両端が尖らない。扁平な翼状剥片を利用。背面に幅広な1ネガ面あり。風化やや顕著。		A39・2・1556
115	51.65	18.70	7.10	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。刃部基部付近に小剥離痕が見られる。		A39・2・363
116	59.70	16.50	7.90	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。先端部に背面からの二次調整が見られる。基部に打面を残す。断面は台形。		A34・2・229
117	53.45	12.55	8.05	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面が残る。刃部先端部に小剥離痕あり。風化顕著。		A35・3・952
118	51.45	24.20	12.15	〃	完形。先端は尖る。基部はやや肉厚で幅広。素材は翼状剥片。刃部基部に剥離痕あり。		A41・2・d S
119	49.75	21.20	17.05	〃	完形。先端は尖らない。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。背面に1ネガ面あり。先端部付近は打面が残る。基部にかけて二次調整が施される。風化やや顕著。		A33・2・355
120	46.20	17.05	6.60	〃	完形。先端は尖る。基部は薄くやや幅広。刃部側にも二次調整を施し切出し状に整形する。断面は台形。		A・28・1・a N
121	54.30	16.55	6.90	遺物不明	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。刃部は外彎。断面は台形。		A39・4・410
122	48.75	16.20	5.65	サヌカイト	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。背面に大きなネガ面あり。底面は基部の二次調整によって消滅。		A38・4・383
123	48.25	15.15	7.10	〃	完形。先端が尖る。基部はやや幅広。翼状剥片を利用。背面に1ネガ面あり。刃部先端部に微少な剥離痕が残る。		A35・1・1866
124	49.45	15.15	7.40	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。基部に打面が残る。		A36・2・387
125	46.20	19.55	5.65	〃	完形。先端が尖る。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。刃部基部付近に剥離痕あり。断面は扁平な台形。		A39・4・3
126	51.90	18.95	7.95	〃	完形。先端は尖る。基部は薄くなって幅広。翼状剥片利用。先端部の二次調整は細かい		A40・4・c N
127	54.05	17.00	5.85	〃	完形。先端は尖る。翼状剥片利用。基部に打面を残す。幅広いネガ面を持ち底面は狭い。二次調整面側は山形を呈す。		C14・2・b S
128	52.70	15.20	6.80	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片利用。基部に打面を残す。刃部基部よりに剥離痕あり。		C5・1・c S
129	45.35	22.70	8.35	〃	完形。先端が尖る。基部は薄く幅広。素材は翼状剥片。基部に広いネガ面を持つ。刃部は直線状を呈す。		A39・4・349
130	49.15	17.25	9.50	〃	完形。先端は尖る。基部は薄く幅広。素材は翼状剥片。		C5・2・a N

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅					
131	45.00	16.20	4.9	サヌカイト	完形。先端は尖る。基部は薄く幅広。素材は翼状剥片。		A3・1・489
132	47.55	10.85	3.1	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面をもつ。二次調整は細かい。		A25・2・34
133	52.45	17.20	6.4	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片利用。基部に打面を残す。断面は台形。		A39・3・748
134	46.65	19.40	4.4	〃	完形。両端が尖る。基部には自然面を残す。扁平な翼状剥片を利用。刃部先端部に微少な剥離痕が見られる。断面は台形。		A41・3・486
135	44.60	17.05	4.1	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストブレイク。基部に打面を僅かに残す。		A36・1・484
136	44.00	11.45	4.3	〃	完形。先端は尖る。基部は自然面を残す。素材は翼状剥片。幅広の底面を持つ。断面はほぼ三角形を呈す。		A38・3・c S
137	52.50	16.30	7.5	〃	完形。両端は尖らない。素材は翼状剥片。刃部全域に微少な剥離痕が見られる。断面は台形。		A38・2・3793
138	55.35	15.45	4.7	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片利用。背面に複数のネガ面あり。		A27・2・214
139	42.00	18.00	4.1	〃	完形。先端は尖らず。基部は幅広。翼状剥片利用。二次調整は先端から基部にかけて施す。		A35・3・1065
140	45.15	19.20	6.2	〃	完形。先端は尖らず。基部は幅広。素材は翼状剥片。基部には打面が残る。刃部に微少な剥離痕が見られる。		A38・2・3405
141	44.20	12.15	5.1	〃	完形。先端は鋭利に尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。底面は複数で先端部破損。基部には打点のない剥離痕が見られる。		A24・1・b S
142	46.40	19.10	6.05	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面あり。基部に打面が残る。刃部は外彎。		A2・2・231
143	45.70	18.25	5.1	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。背面には幅広のネガ面があり底面は僅かに残る。		A39・1・225
144	55.25	16.25	5.5	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。翼状剥片利用。背面に1ネガ面を持つ。断面は台形。		A32・2・188
145	50.60	15.55	5.5	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片利用。刃部基部よりに剥離痕あり。		A38・3・b S
146	48.00	12.40	4.5	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。主要剥離面基部よりに刃部からの小剥離痕が見られる。刃部は直線状を呈す。断面は台形。風化やや顕著。		A39・2・226
147	55.10	16.65	6.7	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面があり底面は基部よりに僅かに残る。		A1・1・182
148	48.25	19.65	7.1	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。背面には1ネガ面あり。刃部はやや外彎。		A34・2・252
149	52.70	16.10	5.9	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片利用。二次調整は先端から基部まで細かく施す。		B9・168
150	54.55	19.50	9.2	〃	完形。先端は尖る。基部は薄くなり幅広。素材は翼状剥片。背面に大きな1ネガ面あり。刃部は直線状。二次調整面側は外彎を呈す。断面は台形。		A36・2・1414
151	45.10	21.25	7.0	〃	両端が尖らない。素材は翼状剥片。底面先端部破損。基部には打面を残す。刃部基部付近に二次調整を施す。		A9・2・67
152	47.60	12.10	6.30	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広で自然面を残す。素材は翼状剥片。幅広の底面をもち、刃部には小剥離痕が見られる。刃部は外彎。二次調整面側は直線状を呈す。		A27・2・79
153	45.70	8.50	4.1	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片利用。背面に幅広の1ネガ面を持つ。		A26・2・344
154	43.65	17.85	5.6	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片。二次調整は先端から基部まで施す。刃部は直線状。二次調整面側は外彎を呈す。		A42・5・a S
155	50.15	14.15	4.0	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。背面に細長い1ネガ面をもつ。		C3・1・c N
156	49.90	18.90	8.4	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片。底面は2面よりなる。断面は三角形を呈する。		A34・2・c N

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
157	40.65	15.60	4.3	サヌカイト	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片。刃部に微少な剝離痕が見られる。二次調整面側は山形を呈す。		B8・124
158	46.60	12.95	3.2	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。先端部に打面が残る。断面は扁平な台形。		A35・1・327
159	43.05	16.40	4.0	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。二次調整は先端部から中央部にかけて施され基部付近には打面が残る。刃部先端部に剝離痕あり。		A36・1・2087
160	49.85	15.00	4.4	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。背面中央部にネガ面あり。主要剝離面基部より刃部からの小剝離。		A36・2・2813
161	41.70	12.20	4.0	〃	完形。先端は尖る。基部は薄くなりやや幅広。基部に打面を残す。刃部にも二次調整を施す。		A6・1・438
162	46.50	18.35	5.5	〃	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片。主要剝離面先端部に自然面を残す。背面には複数のネガ面あり。		A36・4・777
163	50.00	16.40	5.0	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片。底面は2面よりなる。刃部先端部に小剝離痕あり。基部付近には打面が残る。刃部は内彎。二次調整面側は外彎。		A21・1・239
164	55.00	15.60	3.9	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。二次調整は先端から中央部にかけて施され。基部には打面が残る。主要剝離面に打点あり。		A40・4・b S
165	48.70	16.70	4.8	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片を利用。底面は2面からなる。刃部は山形を呈す。		A36・1・2613
166	50.65	18.15	7.1	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片。刃部は直線状。二次調整面側は外彎を呈す。断面は台形。風化顕著。		A40・5・c S
167	46.70	17.35	6.0	〃	完形。先端が尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片。底面に背面からの剝離痕あり。断面は台形。		A1・1・278
168	54.25	15.50	3.3	〃	完形。両端が尖る。素材は扁平な翼状剥片。二次調整は先端から中央基部よりまで施す。基部付近には打面が残る。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈す。		A36・3・731
169	44.85	20.25	5.3	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片。二次調整は先端から中央部までは自然面をそのまま残し。基部付近で粗く施す。風化やや顕著。		A39・2・795
170	46.70	13.95	2.8	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片。中央から基部より打面が残る。		A3・1・461
171	46.65	17.50	5.35	〃	先端は尖る。基部は薄くなって幅広。素材は翼状剥片。二次調整は先端から基部にかけて細かく施す。		A39・3・a N
172	36.60	18.55	3.1	〃	完形。一端は尖る。翼状剥片利用。二次調整面側は山形を呈す。		A38・3・956
173	40.40	14.40	2.2	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片を利用。二次調整は基部には施さない。断面は扁平な台形。		A34・1・1201
174	36.20	20.15	3.8	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。刃部はやや内彎を呈す。風化やや顕著。		A29・1・c N
175	44.05	16.75	5.4	〃	完形。両端は尖る。素材は翼状剥片。基部に打面を残す。底面は先端部からの加撃か。		A35・2・868
176	48.50	6.80	4.5	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片。基部付近には自然面が残る。二次調整は中央部のみ粗く施される。		A35・2・a N
177	41.20	18.85	6.2	〃	完形。先端は尖らない。基部には自然面を残す。素材は翼状剥片。断面は台形。風化やや顕著		A35・3・964
178	45.85	15.75	5.5	〃	完形。先端が尖る。基部には自然面が残る。翼状剥片を利用。		A35・4・a N
179	46.20	17.20	4.0	〃	完形。先端部は尖る。基部は薄く幅広。翼状剥片利用。基部には打面が残る。		A38・3・560
180	45.60	16.45	7.4	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。やや肉厚な翼状剥片を利用。背面に複数のネガ面をもつ。二次調整は細かい刃部基部付近にも剝離痕が見られる。背面基部に右側の側面が残る。		A21・1・747
181	40.20	16.95	5.0	〃	完形。先端は尖る。基部に自然面を残す。翼状剥片を利用。基部に打面を残す。刃部は外彎。二次調整面側は山形。		A35・4・322
182	44.15	17.90	5.5	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。刃部基部寄りにも二次調整を施し、切出し状に整形。		B24・b S

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
183	42.75	17.05	5.90	3.7	サスカイト	完形。先端は尖らず。基部は幅広。素材は翼状剥片。断面は台形。		A40・3・b S
184	41.65	18.00	5.30	4.1	〃	完形。先端は尖らず。基部は幅広。翼状剥片を利用。断面は扁平な台形。		A24・1・d N
185	45.55	18.30	7.00	4.9	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片。二次調整は一側縁全面に丁寧に施す。		A35・3・888
186	45.25	16.10	5.85	4.1	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片利用。基部に打面が残る。		A26・2・27
187	44.80	16.35	5.70	3.7	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片利用。背面に1ネガ面。基部に打面を僅かに残す。		A42・5・a S
188	57.15	16.25	11.50	8.8	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片。刃部先端部に剥離痕がみられる。		A40・2・d S
189	40.50	18.35	6.55	4.1	〃	完形。先端は尖らない。基部は薄くなり幅広。翼状剥片を利用。主要剥離面先端部付近に背面からの二次調整が施される。刃部先端部に剥離痕あり。		A35・4・164
190	45.75	15.10	6.80	5.2	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。底面は2面よりなる。刃部基部部に小剥離が見られる。		A36・1・2946
191	38.95	17.25	6.0	4.0	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。主要剥離面中央部に刃部からの剥離痕が見られる。		A38・3・811
192	44.25	17.75	7.35	5.1	〃	完形。両端は尖らない。素材は翼状剥片。刃部はほぼ直線状で二次調整面側は外彎を呈す。風化やや顕著。		A35・3・1075
193	44.55	14.05	4.95	3.1	〃	完形。先端は尖らず。基部は幅広。素材は翼状剥片。断面は扁平な台形		A36・2・2246
194	41.70	14.65	8.35	4.0	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。背面に狭い1ネガ面あり。		A35・3・1029
195	48.25	21.55	7.55	6.8	〃	完形。先端は尖る。素材は翼状剥片。底面は複数からなる。主要剥離面中央部に刃部からの剥離痕あり。断面は台形。		A27・1・a S
196	41.70	17.10	6.30	3.8	〃	完形。先端は鋭く尖る。基部は幅広。刃部の基部に剥離痕あり。		A35・3・957
197	44.35	19.00	6.75	4.6	〃	完形。先端は尖る。基部は薄くなって幅広。素材は翼状剥片。刃部はほぼ直線状。二次調整面側は山形を呈す。		A37・4・226
198	45.45	18.85	7.70	5.1	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。翼状剥片素材。刃部は外彎を呈す。		A39・4813
199	39.60	15.20	4.50	2.8	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片利用。背面は底面とネガ面からなり、二次調整は主要剥離面側に施す。断面は台形。		B22・3
200	52.15	18.85	5.70	5.0	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。背面に幅広の1ネガ面あり。基部に打面が残る。断面は台形。		A37・4・255
201	38.40	16.05	6.40	3.1	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片。二次調整は先端から中央部にかけて施す。		A35・2・665
202	32.15	16.55	6.25	2.6	〃	完形。先端は尖らず。基部は幅広。素材は翼状剥片。二次調整は先端から中央基部寄りにかけて施し。基部には打面が残る。二次調整面側は山形を呈す。風化やや顕著。		C5・1・c N
203	39.00	16.10	8.25	5.2	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片を利用。先端部に打面を残す。		A36・2・351
204	44.05	17.15	7.55	5.0	〃	完形。先端は尖る。素材は翼状剥片。複数の底面をもつ。刃部中央部に小剥離痕あり。断面は台形。		A39・4・a S
205	40.85	16.35	7.10	4.0	〃	完形。先端は尖る。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面あり。刃部に微少な剥離痕を残す。		A38・2・2951
206	30.00	10.05	8.65	2.9	〃	完形。先端は尖らず。基部に自然面を残す。翼状剥片を利用。刃部は外彎を呈す。		A37・4・885
207	38.80	16.40	9.00	5.4	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片。主要剥離面刃部側に微少な剥離痕が見られる。		A38・3・625
208	39.60	17.45	5.55	4.5	〃	完形。先端は尖らない。基部はやや幅広。翼状剥片利用。二次調整は先端から基部にかけて丁寧に施す。断面は台形。		A38・3・d S

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
209	36.85	17.10	8.20	4.1	サヌカイト	完形。先端は尖る。基部は幅広くで自然面を残す。翼状剥片を利用。		A41・5・277
210	32.65	13.85	5.70	2.7	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広く。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面あり。		C14・2・b S
211	37.90	16.55	6.90	3.7	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広く。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面あり。刃部先端部付近に小剥離痕あり。主要剥離面基部に右側の側面が残る。		A38・3・969
212	67.80	18.10	8.00	8.0	〃	完形。先端は鋭く尖る。基部は薄くなって幅広く。素材は翼状剥片。背面に2面のネガ面あり。		A36・2・1350
213	40.65	13.10	7.60	3.3	〃	完形。先端は尖る。素材は翼状剥片。底面は2面よりなる。基部に打面が残る。		A36・1・2271
214	41.25	11.85	6.55	4.5	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広く。素材は翼状剥片。底面は幅広く2面よりなる。基部には打点のない剥離痕が見られる。		A39・2・87
215	37.65	15.30	8.80	4.8	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広く。素材は翼状剥片。刃部に微少な剥離痕が見られる。断面は台形。		C5・2・a N
216	31.30	12.40	5.30	1.9	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広く。翼状剥片利用。刃部中央部に新しい破損あり。二次調整は先端から基部にかけて丁寧に施す。		A37・1・1730
217	34.80	14.70	4.15	1.7	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広く。薄い翼状剥片を利用。刃部基部寄りに微少な剥離痕あり。		A40・2・c N
218	30.00	14.10	5.70	2.1	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広く。素材は翼状剥片。背面に幅広い1ネガ面あり。		A38・1・1540
219	34.70	15.50	5.95	3.2	〃	完形。先端は尖らず。基部には自然面を残す。素材は翼状剥片。先端に細かい二次調整が施される。		A11・1・a N
220	44.40	14.80	6.75	4.3	〃	完形。先端は尖る。翼状剥片を利用。底面は2面からなる。断面は台形。		A36・1・1519
221	42.35	15.25	8.15	4.4	〃	完形。先端は尖る。素材は翼状剥片。断面は台形。風化やや顕著。		A27・1・b S
222	40.70	11.55	6.35	4.1	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広く。素材は翼状剥片。刃部の基部に剥離痕あり。断面は台形。		A36・2・2101
223	42.00	15.20	10.35	6.1	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片。二次調整面中央先端寄りに背面からの剥離あり。断面は肉厚な台形。		A31・1・134
224	38.70	12.65	6.25	3.0	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片を利用。刃部は外彎を呈す。		C13・2・b N
225	40.05	14.10	7.40	4.1	〃	完形。先端は尖る。基部に自然面を残す。素材は翼状剥片。		A41・3・531
226	38.20	18.25	6.45	5.0	〃	完形。先端は尖る。基部は主要剥離面側に自然面を残す。素材は翼状剥片。刃部先端に剥離痕あり。		C12・1・a S
227	38.80	14.30	6.10	2.7	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広く。素材は翼状剥片。		A24・1・d S
228	41.90	14.70	6.50	3.3	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広く。翼状剥片を利用。背面にはネガ面が2面残る。		A27・2・230
229	43.00	16.70	7.65	5.2	〃	完形。先端は尖る。素材は翼状剥片。二次調整は中央先端部寄りから基部まで施す。		A33・2・207
230	42.00	16.50	6.80	6.9	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片利用。背面基部寄りにネガ面が1面あり。刃部基部付近に小剥離。		A39・3・802
231	42.00	19.50	7.35	5.8	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片。二次調整は先端から基部にかけて粗く施す。		A40・3・b S
232	46.55	12.35	5.85	3.4	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片利用。基部には打面が残る。刃部は直線状。二次調整面側は外彎を呈す。		A38・5・b S
233	39.40	16.25	5.55	3.6	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片。一端に打面が残る。		C5・1・b S
234	43.15	14.95	6.05	3.5	〃	完形。先端が尖る。基部はやや幅広く。素材は翼状剥片。刃部基部付近に剥離痕あり。		A3・2・335

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
235	36.85	13.20	8.70	3.5	サヌカイト	完形。先端が尖る。基底は尖らない。素材は翼状剥片。		A39・3・b N
236	31.60	14.45	5.25	2.6	〃	完形。先端は鋭く尖る。素材は翼状剥片。二次調整は先端部寄りに施し基部寄りにには打面が残る。		A37・3・d N
237	40.50	14.05	5.55	2.8	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。基部に打面が残る。背面には複数のネガ面あり。		A42・3・d S
238	30.75	13.85	6.30	2.2	〃	完形。先端が尖る。基部は薄くなって幅広。翼状剥片を利用。刃部の基部に剥離痕あり。断面は台形。		A38・1・1667
239	33.55	15.20	5.30	1.7	〃	完形。先端は尖る。基部は薄くなって幅広。素材は翼状剥片。基部寄りに打面を僅かに残す。主要剥離面に打点あり。		A2・1・a S
240	47.45	18.95	11.00	6.3	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。底面は2面よりなり、中央先端寄りの刃部に剥離痕が見られる。基部には打面が残る。		A36・2・1711
241	38.80	14.25	6.10	3.5	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片利用。刃部側にも二次調整を施す。断面は台形。		C4・1・d N
242	39.65	16.85	6.20	4.4	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。底面は複数よりなる。風化顕著。		A38・3・d S
243	35.45	14.60	5.45	2.1	〃	完形。先端は尖る。基底は尖らない。素材は翼状剥片。背面に幅広くネガ面が1面ある。		A25・2・b N
244	41.90	19.20	5.20	4.6	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片。刃部先端部に剥離痕が見られる。		A9・1・132
245	38.00	14.95	6.35	4.0	〃	完形。先端は尖る。基底は尖らない。素材は翼状剥片。刃部中央部に剥離痕あり。		A38・3・a S
246	39.80	14.65	5.75	2.9	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片利用。背面に幅広いネガ面が1面あり。二次調整は刃部側にも施す。		A24・1・d S
247	35.60	15.95	7.20	3.1	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片を利用。底面は先端部付近以外は自然面が残る。二次調整は基部付近に施されな		A36・4・432
248	30.05	15.35	7.20	3.5	〃	完形。先端が尖る。基底は尖らない。素材は翼状剥片。背面には細長いネガ面が1面あり。刃部先端部に剥離痕あり。		A24・1・d N
249	36.75	18.45	7.40	4.3	〃	完形。先端は尖らず。基底は尖る。素材は翼状剥片。先端部付近は背面からの二次調整を施す。底面は狭い。		A39・3・460
250	31.80	12.80	5.55	1.8	〃	完形。先端は鋭く尖る。基部は自然面を残す。素材は翼状剥片。刃部は直線状を呈す。風化やや顕著。		A39・2・1253
251	27.90	14.60	4.30	2.2	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片。刃部は直線状。二次調整面側は外彎。		A36・4・445
252	38.70	11.00	3.25	1.6	〃	完形。両端が尖る。素材は薄い翼状剥片。先端部から中央部にかけては打面が残る。二次調整は基部寄りと刃部の基部に僅かに施す。		C17・1・242
253	44.05	22.40	3.85	3.4	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。背面は底面とネガ面が1面ずつ。二次調整は背面側から施す。断面は扁平な台形。		A36・1・1060
254	77.45	32.65	12.30	30.5	〃	先端は尖る。基部破損。素材は肉厚な翼状剥片。基部には打面が残る。刃部には小剥離痕あり。		C11・2・52
255	70.80	19.05	8.15	9.7	〃	先端は尖る。基部破損。素材は翼状剥片。基部には打面が残る。二次調整は丁寧に施す。刃部は外彎を呈す。	表採	
256	79.15	20.50	12.55	17.9	〃	先端は尖る。基部破損。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面あり。刃部はやや内彎。風化やや顕著		A20・1・83
257	76.00	17.05	8.50	8.9	〃	両端が尖る。刃部一部破損。素材は翼状剥片。基部には細長く打面が残る。		A36・4・1371
258	59.90	21.75	10.40	12.5	〃	先端は尖らず。基部破損。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面あり。刃部はほぼ直線状に呈す。		A37・4・87
259	60.10	11.55	8.70	8.8	〃	先端部破損。基部はやや幅広。翼状剥片を利用。二次調整は一側縁全面に施される。断面は台形。		A25・2・91
260	58.60	12.80	8.50	8.0	〃	両端破損。翼状剥片利用。ネガ面は1面。刃部は外彎を呈す。		A8・1・54

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅					
261	67.20	18.15	11.4	サヌカイト	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片利用。背面に細長いネガ面を1面もつ。底面は2面よりなる。断面は台形。		A23・1・a N
262	52.30	27.00	6.6	〃	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片。二次調整は先端部から中央基部寄りまで施す。基部には打面を残す。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈す。風化顕著。		A39・3・b N
263	63.30	18.20	8.7	〃	両端破損。素材は翼状剥片。基部に打面を残す。		A39・2・1125
264	64.50	24.00	11.4	〃	先端は尖る。基部は幅広く先端部破損。翼状剥片を利用。底面は基部付近で細くなり消滅。背面に幅広く大きなネガ面が1面。刃部には微少な剥離痕あり。		A38・1・4749
265	60.05	15.80	8.25	〃	先端部破損。基部はやや幅広く。素材は翼状剥片。主要剥離面中央部に新しい破損。		A40・4・c N
266	57.30	15.20	5.2	〃	先端は尖らず。基端部破損。素材は翼状剥片。二次調整は一側縁全面に丁寧に施す。		B6・171
267	51.20	17.00	—	遺物 不明	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部側にも二次調整を施す。断面は台形。		A38・2・4119
268	58.30	17.80	6.2	サヌカイト	両端破損。翼状剥片を利用。基部には打面が残る。風化やや顕著。		A37・5・278
269	57.15	20.00	10.2	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。刃部先端部に調整を施す。断面は台形。		A35・4・46
270	52.30	20.60	8.3	〃	両端破損。素材は薄い翼状剥片。背面のネガ面は大きく底面は幅狭い。		B6・745
271	52.30	24.50	12.7	〃	両端破損。素材は肉厚な翼状剥片。複数のネガ面あり。主要剥離面に刃部からの小剥離痕あり。		A30・1・c N
272	59.35	18.65	6.6	〃	先端は尖らず自然面を残す。基端部破損。素材は翼状剥片。背面に縦長のネガ面が一面。背面に刃部からの剥離痕あり。断面は扁平な台形。		A39・5・289
273	57.45	16.70	6.0	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。先端部に打面を残す。主要剥離面先端部に小剥離痕あり。		A10・1・125
274	59.05	19.95	7.4	〃	先端は鋭く尖る。基部は幅広く基端部破損。素材は翼状剥片。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈す。		A42・3・c S
275	54.95	20.40	8.7	〃	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片。二次調整は先端から中央にかけて施す。基部には打面が残る。主要剥離面の刃部基部付近に調整が見られる。		A38・4・d S
276	64.25	19.40	10.0	〃	先端部破損。基部は幅広く一部破損。翼状剥片を利用。刃部はやや内彎。		A40・2・c S
277	59.45	18.25	8.4	〃	先端部破損。素材は翼状剥片。底面は先端方向からの加撃。刃部基部に調整を施す。		A1・1・113
278	64.40	17.55	8.2	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。複数のネガ面をもつ。断面は台形。		A38・2・2735
279	63.10	24.15	12.4	〃	先端部破損。基部は幅広く一部破損。素材は翼状剥片。中央部から先端にかけて打面が残る。主要剥離面に打点あり。		C17・1・d N
280	54.00	16.80	3.9	〃	両端破損。翼状剥片利用。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。		A39・2・1543
281	51.85	16.15	6.5	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。基部には打面が残る。		A37・4・53
282	56.80	18.60	7.15	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部側にも先端部を除き調整を施す。断面は台形。		A36・2・796
283	53.90	18.70	6.50	〃	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。		A36・1・2233
284	62.70	15.70	8.60	〃	先端部破損。翼状剥片を利用。先端から基部にかけて細かい二次調整を施す。		A4・1・125
285	58.95	15.95	4.4	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。断面は台形。		A39・3・1127
286	58.40	12.25	3.6	〃	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。二次調整は先端から中央基部よりまで施す。基部には打面が残る。		A36・3・2438

番号	法 量		石 質	重 量	観	察	出土地点
	長さ	幅					
287	55.80	19.90	サヌカイト	8.2	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部先端から中央にかけて調整を施す。		A40・5・a S
288	52.45	30.10	〃	9.4	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。二次調整は先端から中央基部寄りにかけて施す。基部には打面が残る。底面は僅かでネガ面が刃部に入る。主要剥離面に打点が残る。		A29・1・b S
289	58.05	17.65	〃	8.9	両端が尖らない。刃部破損。素材は翼状剥片。先端部に打面を残す。		A7・1・2771
290	56.70	23.10	〃	9.2	先端は尖る。基部は一部破損。翼状剥片を利用。先端から中央まで打面を残す。二次調整は基部に施す。主要剥離面には打点が残る。		A29・1・a N
291	58.65	18.05	〃	10.0	先端が尖る。基部は尖らない。二次調整面が一部破損。翼状剥片を利用。基部の一部自然面を残す。主要剥離面基部に刃部からの剥離痕あり。刃部の基部に調整が見られる。		A27・1・b S
292	54.00	18.60	〃	6.3	先端は自然面を残す。基端部破損。翼状剥片を利用。先端部に打面が残る。風化顕著。		A38・5・a N
293	53.60	20.15	〃	6.3	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。先端部に打面が残る。刃部先端に調整が施されている。		A11・1・b S
294	51.05	18.50	〃	7.6	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片。背面にはネガ面が2面ある。刃部は直線状。二次調整面側は外彎を呈す。		A29・2・a S
295	54.45	16.50	〃	8.6	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。背面にネガ面は1面。刃部先端部に調整を施す。		A40・3・a S
296	47.60	15.70	〃	5.8	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。先端部に打面を残す。刃部に小剥離痕あり。		A36・4・487
297	50.35	15.70	〃	5.5	先端部破損。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。基部付近に打面を残す。断面は台形。		A41・4・d S
298	49.30	18.75	〃	6.4	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。二次調整は一側縁全面に丁寧に施す。刃部に微少な剥離痕を残す。		A37・4・1117
299	47.95	18.05	〃	8.4	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面あり。二次調整は粗い。刃部は直線状を呈す。		A29・1・b S
300	52.75	15.50	〃	5.5	先端は鋭利に尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部は外彎を呈す。断面は台形。		A36・2・382
301	61.50	11.20	〃	8.6	先端部破損。基部はやや幅広。翼状剥片利用。刃部は外彎を呈す。断面は台形。		B16・710
302	47.65	19.60	〃	9.5	両端が尖らない。刃部の一部破損。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面を持つ。		A21・1表土
303	49.40	21.10	〃	5.3	先端は尖る。基端部破損。薄い翼状剥片を利用。先端から中央部にかけて打面を残す。二次調整は基部に施す。主要剥離面に打点あり。		A37・2・1352
304	55.30	15.15	〃	8.0	先端は尖る。素材は翼状剥片。基部に打面が残る。		A26・2・538
305	48.00	15.05	〃	5.0	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部にも細かい調整を施す。		A・29・2・b N
306	49.55	15.20	〃	4.4	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。風化やや顕著。		A38・2・4446
307	51.35	15.90	〃	4.5	先端は尖る。基部は尖らない。刃部の一部破損。翼状剥片を素材。基部に打面を残す。		A38・3・c N
308	53.50	21.55	〃	6.9	先端部破損。基部は尖る。翼状剥片を素材。刃部に剥離痕あり。		A40・4・a N
309	48.45	16.35	〃	4.4	先端部破損。基部は尖る。翼状剥片利用。断面は台形。		A25・2・a N
310	47.80	18.40	〃	4.9	両端破損。素材は翼状剥片。基部に打面を残す。		A40・5・a N
311	50.25	13.50	〃	6.0	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部は直線状。二次調整面側は外彎を呈す。		A40・4・a N
312	45.20	18.55	〃	4.9	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片利用。底面は2面よりなる。基部には打面が残る。断面は台形。		A35・4・36

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
313	49.75	18.95	6.0	サヌカイト	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面をもつ。刃部先端部に調整を施す。	A41・305	
314	55.10	11.60	5.7	〃	両端が尖らない。刃部の一部破損。素材は翼状剥片。背面に縦長のネガ面を一面もつ。断面は扁平な台形。	B19・36	
315	54.65	16.75	5.7	〃	先端は尖る。基端と刃部の一部破損。素材は翼状剥片。二次調整は側縁中央部は細かく施す。	A10・1・130	
316	42.95	18.05	4.3	〃	基部は尖る。素材は翼状剥片。基部には二次調整面側からの大きな剥離面あり。	A36・2-2852	
317	43.95	17.10	7.3	〃	先端部破損。基部は自然面が残る。翼状剥片を素材。刃部基部側に剥離痕あり。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈す。風化やや顕著。	A39・3-323	
318	44.75	15.50	2.4	〃	両端破損。翼状剥片を素材。刃部に微少な剥離痕が見られる。	A35・2・a N	
319	45.55	17.65	4.8	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。先端部には打面が残る。刃部は直線状を呈す。	A35・4・330	
320	49.55	11.70	6.3	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。断面はほぼ三角形。風化やや顕著。	A38・1・3974	
321	5.00	16.95	4.2	〃	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片素材。ネガ面は1面。断面は扁平な台形。	A41・3・d N	
322	49.00	18.55	5.4	〃	先端部破損。素材は翼状剥片。基部に打面を残す。主要剥離面の基部よりに刃部からの打点のない剥離面が残る。	A35・2・d S	
323	53.35	13.00	9.8	〃	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片。刃部は外彎を呈す。	A36・3-2227	
324	53.70	17.75	5.6	〃	先端は鋭く尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。基部には打面が残る。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。	A39・2・a N	
325	44.60	20.00	4.5	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片利用。先端から中央部にかけて打面が残る。主要剥離面には打点が残る。背面はネガ面が1面ある。	A34・1-1455	
326	39.55	17.10	4.7	〃	先端部破損。基部は薄くなり幅広。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面あり。	A24・2・a N	
327	47.40	18.10	7.1	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部は外彎。	C20・1・a N	
328	44.70	18.15	5.9	〃	両端破損。翼状剥片を利用。粗い二次調整を施す。主要剥離面には打点と打面を持つ。断面は台形。風化やや顕著。	A33・2-417	
329	49.95	15.10	4.1	〃	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片利用。基部に打面を残す。	A37・3・d N	
330	41.35	14.70	3.5	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。先端部に打面を残す。	A24・2・c S	
331	49.05	15.05	7.40	〃	両端破損。翼状剥片を利用。基部に打面を残す。刃部は外彎。	A36・1-1571	
332	52.05	19.80	9.8	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。二次調整は一側縁全面に施す。	A35・5-313	
333	54.75	18.30	8.7	〃	両端破損。素材は翼状剥片。刃部側にも二次調整を施す。	C17・1・a N	
334	53.45	18.20	5.7	〃	先端破損。翼状剥片を利用。基部に打面を残す。刃部の基部に調整を施す。刃部は直線状。二次調整面側は外彎。	B19・209	
335	53.05	18.55	6.0	〃	先端部破損。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。二次調整は中央部まで施す。基部には打面が残る。主要剥離面に打点あり。刃部は直線状。二次調整面側は山形。	A40・4-174	
336	42.75	13.15	3.4	〃	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片。	A36・1-2587	
337	50.80	16.35	6.8	〃	先端は鋭く尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部は外彎を呈す。	C14・2-b S	
338	48.45	19.05	4.2	〃	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を素材。二次調整は先端から基部付近にかけて施す。	A39・2・a N	

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
339	55.25	18.20	7.55	一	遺物 不明	先端は鋭く尖る。基部は幅広く一部破損。翼状剥片を利用。		A36・1・1196
340	46.75	16.85	7.00	4.5	サヌカイト	先端は鋭く尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。		A37・4・707
341	48.05	17.05	7.25	3.9	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。二次調整面側は山形を呈す。		A37・3・d S
342	46.00	19.80	9.30	7.5	〃	先端は尖らず自然面を残す。基端部破損。素材は翼状剥片。		A39・1・150
343	54.60	20.75	7.95	6.4	〃	先端部破損。基部は尖らない。翼状剥片を素材。基部に打面を残す。		A36・3・218
344	48.95	18.85	5.90	4.9	〃	両端破損。素材は翼状剥片。基部に打面を残す。刃部に小剥離痕あり。		A36・2・2182
345	44.10	21.65	16.35	5.8	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。先端部付近に打面が残る。二次調整は基部に1面だけ施す。刃部に小剥離痕あり。		B21・119
346	47.70	12.35	6.30	一	遺物 不明	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を素材。刃部は外彎。二次調整面は山形を呈す。		A37・305
347	53.80	24.90	7.00	8.3	サヌカイト	先端は尖らない。基部の一部破損。素材は翼状剥片。基部に打面を残す。主要剥離面の先端部には石核の側面が残る。断面は台形。		A34・2・903
348	47.65	15.95	7.70	5.0	〃	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を素材。先端部に打面が残る。刃部に微少な剥離痕を残す。		A38・3・142
349	48.40	17.25	6.55	5.0	〃	両端破損。素材は翼状剥片。二次調整は一側縁全面に丁寧に施す。刃部基部寄りに小剥離あり。		A38・2・769
350	49.85	17.20	7.60	6.7	〃	先端部破損。基部はやや幅広く。翼状剥片を利用。刃部の基部に調整を施す。断面は台形。		A30・1・b N
351	46.80	20.95	10.05	8.1	〃	両端破損。翼状剥片を利用。刃部に小剥離あり。		A4・2・209
352	53.20	16.00	10.00	6.3	〃	先端は尖る。基部は尖らない。刃部の一部破損。素材は翼状剥片。風化やや顕著。		A35・5・421
353	41.60	19.40	9.85	6.5	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。先端部付近に打面が残る。		A40・3・538
354	50.50	16.50	7.60	4.8	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。基部に打面が残る。主要剥離面に打点あり。		A38・1・223
355	51.20	15.00	8.50	7.2	〃	先端部破損。基部はやや幅広くで自然面を残す。素材は翼状剥片。二次調整は粗く施す。		A39・2・1496
356	50.60	15.65	6.10	3.0	〃	両端破損。翼状剥片利用。刃部先端部に小剥離あり。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。断面は台形。		C5・2・a N
357	47.10	17.45	7.45	4.3	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部に微少な剥離痕を残す。		A39・1・d N
358	47.65	14.65	5.65	4.3	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。二次調整は一側縁全面に施す。		A37・5・298
359	46.70	19.10	7.00	5.8	〃	先端は尖る。基部は幅広く、基端部破損。素材は翼状剥片。刃部先端部に剥離面あり。		A36・2・2357
360	42.70	15.55	5.20	3.5	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。風化やや顕著。		A35・1・1202
361	47.15	13.60	8.35	4.5	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。		A38・5・b N
362	44.20	16.65	7.00	5.0	〃	先端部破損。基部はやや幅広くで自然面を残す。翼状剥片を利用。基部に打面残す。		A36・2・1072
363	46.80	15.60	9.15	5.7	〃	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片。刃部先端部に調整を残す。刃部は内彎を呈す。		A11・1・255
364	47.35	15.35	7.90	4.9	〃	先端部破損。基部は幅広く。翼状剥片を利用。二次調整面先端部に背面からの剥離痕あり。		A35・2・3

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
365	44.85	16.10	3.9	サヌカイト	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。二次調整は一側縁全面に細かく施す。刃部は外彎。	A35・4・562	
366	45.60	14.60	4.9	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。先端部に打面が残る。刃部は直線状。二次調整面側は山形。	A35・1・126	
367	45.90	15.70	3.9	〃	先端部破損。基部は幅広。刃部は一部破損。素材は翼状剥片。二次調整は一側縁全面に施す。	A25・1・c S	
368	40.00	19.25	5.3	〃	両端破損。素材は翼状剥片。基部付近に打面が残る。	A38・2・1936	
369	44.80	22.70	5.5	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。中央部に打面を残す。主要剥離面に打点あり。	A38・2・2882	
370	44.15	20.40	5.6	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。底面は2面よりなる。刃部の一部に調整を施す。	A35・4・573	
371	42.45	18.35	5.4	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。二次調整は一側縁全面に施す。風化やや顕著。	A38・5・a N	
372	44.30	14.50	4.2	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片。基部に打面を残す。刃部は直線状。二次調整面側は外彎を呈す。	A39・1・d N	
373	39.80	17.10	4.1	〃	先端は鋭くは尖らない。基部は幅広で基端部破損。素材は翼状剥片。刃部先端部に剥離面あり。	A38・5・a N	
374	39.40	15.45	3.4	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。断面は扁平な台形。	A35・4・254	
375	45.85	18.45	6.0	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片。断面は台形。	A36・4・105	
376	44.55	15.80	5.0	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。二次調整は刃部寄りの先端部から一側縁全面に施す。	B6・681	
377	49.75	18.15	6.4	〃	先端部破損。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。刃部の基部付近に剥離痕あり。	A25・2・d N	
378	41.20	19.00	4.4	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部基部に調整を施す。	A19・1・a S	
379	44.70	15.50	3.6	〃	先端は尖る。刃部の一部破損。翼状剥片を利用。基部付近に細かい二次調整を施す。	B5・47	
380	39.60	13.20	4.2	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。断面は台形。	B9・309	
381	44.75	11.95	3.2	〃	先端は鋭く尖る。刃部から基部にかけて破損。素材は翼状剥片。基部に打面を僅かに残す。	A36・5・425	
382	42.40	15.10	4.2	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。二次調整は先端から一側縁全面に施す。断面は台形。	A39・3・1006	
383	42.90	18.80	6.4	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。主要剥離面の先端部に剥離痕あり。刃部は山形。二次調整面側は山形を呈す。	A40・4・210	
384	43.45	16.20	4.6	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。先端部付近に打面が残る。二次調整は中央から基部にかけて施される。	A36・1・1355	
385	41.45	16.60	4.9	〃	両端破損。素材は翼状剥片。細かい二次調整が施される。	A9・1・16	
386	47.90	15.70	7.85	〃	先端部破損。基部はやや幅広。翼状剥片を利用。刃部側にも二次調整を施す。	C19・1・b S	
387	43.40	17.15	5.20	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。断面は扁平な台形。	A41・5・a N	
388	45.95	14.90	7.40	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。基部に打面を残す。背面に複数のネガ面あり。	A36・3・1350	
389	47.35	15.9	6.20	〃	先端部破損。基部に自然面を残す。素材は翼状剥片。刃部は先端部から基部まで破損か。	A39・4・147	
390	40.00	16.40	6.00	〃	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。細かい二次調整を施す。	A35・4・790	

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅					
391	45.00	16.65	4.5	サヌカイト	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。刃部に小剥離痕あり。二次調整は一側縁全面に施す。	A40・5・a N	
392	46.80	16.45	4.7	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。二次調整面側は山形を呈す。	A24・2・82	
393	42.20	16.70	5.9	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部に微少な剥離痕あり。	A38・4・674	
394	40.80	18.40	4.6	〃	両端破損。翼状剥片を素材。主要剥離面の刃部側に剥離面あり。刃部に微少な剥離痕が残る。	A40・2・c N	
395	45.45	19.00	—	遺物不明	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面あり。主要剥離面の先端部に剥離面が3面ある。	A38・3・c S	
396	42.85	17.75	3.2	サヌカイト	先端は尖らない。基端は尖る。刃部の一部破損。翼状剥片を利用。底面は2面よりなる。先端部には打面が残る。断面は扁平な台形。	C12・2・b S	
397	48.25	17.50	7.05	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。底面は先端部方向からの加撃。	A38・1・52	
398	45.30	18.00	7.70	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。基部に打面が残る。	A32・2・b N	
399	40.35	19.05	4.5	〃	両端破損。素材は翼状剥片。刃部中央部に剥離痕あり。二次調整面側は山形を呈す。	A40・3・a S	
400	38.75	17.55	6.90	〃	先端部破損。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。中央部に打面が残る。刃部は直縁状を呈す。	A42・5・d N	
401	40.20	18.55	7.35	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。粗い二次調整を施す。断面は台形。	A24・2・c N	
402	47.65	15.40	4.4	〃	先端は尖らず自然面を残す。基端部破損。素材は翼状剥片。主要剥離面先端部に剥離痕あり。風化やや顕著。	A38・3・383	
403	42.35	19.25	7.30	〃	両端破損。翼状剥片利用。刃部は直縁状。二次調整面側は山形を呈す。	B6・101	
404	41.95	20.10	6.30	〃	両端破損。翼状剥片を利用。背面は幅広のネガ面が1面あり。基部付近には打面が残る。	A37・4・498	
405	31.30	20.85	7.05	〃	両端破損。素材は翼状剥片。背面には複数のネガ面あり。	B1・337	
406	41.80	18.30	8.35	〃	両端破損。翼状剥片を利用。	A29・1・a S	
407	38.60	20.00	7.00	〃	先端は尖らず、自然面を残す。基端部破損。翼状剥片を利用。先端部に打面を僅かに残す。	A33・1・469	
408	42.75	17.55	5.1	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。	A40・3・c N	
409	42.15	20.10	5.3	〃	先端部破損。基部一部破損。素材は翼状剥片。二次調整は基部付近に僅かに施す。先端から基部付近にかけて打面を残す。	A40・2・c N	
410	29.30	16.25	6.70	〃	両端破損。素材は翼状剥片。断面は台形。	B1・529	
411	40.55	16.00	5.65	〃	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。基部に打面を残す。断面は台形。風化やや顕著。	A35・5・349	
412	38.00	18.90	5.50	〃	両端破損。翼状剥片を利用。背面のネガ面は幅広で大きい。基部に僅かに打面を残す。	A38・1・467	
413	37.40	16.55	6.35	〃	先端は尖らない。基端部一部破損。素材は翼状剥片。刃部の基部に小剥離痕あり。	A36・4・1404	
414	40.25	16.40	5.05	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部は外彎を呈す。	A41・2・2	
415	40.05	17.95	4.85	〃	先端部破損。基部は尖らない。翼状剥片を利用。基部に僅かに打面が残る。	A39・3・842	
416	45.80	16.90	5.90	〃	先端部破損。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。底面は中央から基部にかけて細く残り。調整を施している。	C12・2・b S	

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅					
417	45.10	15.15	3.8	サヌカイト	先端部破損。素材は翼状剥片。基部に僅かに打面を残す。断面は台形。		A 39・3・135
418	32.10	19.75	4.6	〃	両端部破損。素材は翼状剥片。		B 21・656
419	17.95	17.85	1.7	〃	先端部破損。翼状剥片を利用。二次調整は先端まで施される。断面は台形。		B 1・502
420	46.75	14.10	4.3	〃	先端は尖らない。基部は尖る。刃部の一部破損。二次調整は一側縁全面に丁寧に施す。		A 33・1・729
421	42.80	17.10	4.9	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。基部に僅かに打面が残る。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。		A 41・3・d N
422	36.55	15.95	5.2	〃	両端破損。翼状剥片を利用。刃部に小剥離痕あり。断面は台形。		A 41・4・d S
423	36.80	15.55	4.4	〃	両端破損。素材は翼状剥片。		A 40・3・c S
424	41.80	11.85	4.1	〃	先端部破損。素材は翼状剥片。刃部に小剥離痕あり。風化顕著。		A 36・2・1304
425	39.20	13.75	3.6	〃	先端部破損。素材は翼状剥片。		A 39・2・a S
426	39.35	16.60	3.5	〃	先端部及び刃部の一部破損。基部は薄くなって幅広。翼状剥片を利用。		A 35・5・53
427	39.45	15.10	4.4	〃	先端部及び刃部の一部破損。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。底面は基部方向からの加撃。刃部の基部に調整を施す。		A 21・1・156
428	35.70	15.15	3.5	〃	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。断面は台形。		A 38・4・c N
429	38.30	17.00	4.4	〃	両端破損。素材は翼状剥片。粗い二次調整を施す。風化顕著。		A 33・1・300
430	36.20	13.95	3.0	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。主要剥離面の先端部刃部側に小剥離痕あり。風化顕著。		A 35・4・556
431	35.00	16.30	3.9	〃	先端部破損。基部は幅広で尖らない。素材は翼状剥片。刃部基端部に調整あり。		A 24・1・d N
432	37.90	14.45	2.7	〃	両端破損。翼状剥片を利用。断面は台形。		A 40・3・c S
433	38.10	13.50	2.8	〃	先端部破損。基部は尖る。素材は翼状剥片。		C 15・2・a N
434	37.85	14.00	3.0	〃	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。熱を受けて表面に亀裂がはしる。風化顕著。		A 35・2・d S
435	34.55	15.65	2.1	〃	先端は鋭利に尖る。基端部破損。素材は薄い翼状剥片。刃部は外彎。断面は扁平な台形。		A 33・1・991
436	35.30	12.10	4.00	〃	両端破損。翼状剥片を利用。刃部は直線状。断面は扁平な台形。		A 22・1
437	28.25	14.50	4.90	〃	先端破損。基部は幅広。翼状剥片を利用。基部付近には打面が残る。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈す。風化顕著。		B 24・1・c N
438	30.75	15.00	2.9	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。粗い二次調整を施す。		A 41・4・b N
439	19.95	23.15	4.0	〃	両端部破損。素材は翼状剥片。		B 24・a N
440	39.10	19.25	5.3	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。二次調整面側先端部には自然面を残す。風化顕著。		A 40・2・a S
441	35.70	20.00	5.05	〃	両端破損。翼状剥片を利用。断面は扁平な台形。		A 39・2・169
442	39.35	21.15	4.50	〃	両端部破損。素材は翼状剥片。背面に幅広のネガ面あり。先端部には打面が残る。風化やや顕著。		A 40・2・528

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅					
443	38.85	13.90	3.5	サヌカイト	先端部破損。素材は翼状剥片。	先端部破損。基端は尖る。素材は翼状剥片。	B6・391
444	37.05	19.00	6.2	〃	先端から中央にかけての底面破損。素材は翼状剥片。基部に打面を残す。		C18・1・112
445	30.75	17.70	3.3	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。		A40・3・472
446	36.10	15.65	3.1	〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。先端には二次調整を施さない。断面は扁平な台形。		A21・1・730
447	35.05	17.35	4.0	〃	両端部破損。素材は翼状剥片。主要剥離面の先端部は先端方向からの加撃で薄く剥かれる。風化顕著。		C19・1・a N
448	38.45	18.35	4.4	〃	先端部破損。基端は薄くなって幅広。翼状剥片利用。		A29・1・b S
449	36.00	15.25	3.0	〃	両端部破損。翼状剥片を利用。二次調整面先端部付近には打面調整以前の剥離面が残る。刃部はやや内彎を呈す。		A38・1・4823
450	33.85	13.10	—	遺物不明	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。基部付近には打面が残る。		A7・2・71
451	32.10	14.15	3.3	サヌカイト	両端部破損。翼状剥片を利用。刃部に新しい破損多数あり。断面は台形。		A38・2・382
452	34.80	15.55	5.2	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。		B21・12
453	38.50	11.55	3.6	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用。先端部付近には打面が残る。風化顕著。		A21・1・487
454	33.75	15.65	2.5	〃	先端部破損。基部はやや幅広。翼状剥片を利用。底面に基部方向からの加撃の剥離面あり。断面は扁平な台形。		A41・4・d S
455	31.60	14.50	2.3	〃	先端は尖らない。基部はやや幅広。刃部の基部付近破損。翼状剥片を利用。		A35・5・348
456	35.70	11.85	3.5	〃	両端部破損。素材は翼状剥片。		A20・1・46
457	32.55	15.75	2.6	〃	先端部破損。基端は尖らない。素材は翼状剥片。基部付近に打面を残す。		A38・2・3943
458	36.20	13.05	1.8	〃	両端部破損。素材は薄い翼状剥片。基部付近には打面が残る。断面は扁平な台形。		A11・1・b N
459	50.55	22.75	7.5	〃	先端は尖る。刃部と基部の一部破損。素材は翼状剥片。二次調整は先端部付近にのみ粗く施す。中央部から基端にかけて打面が残る。主要剥離面に打点あり。		B15・c S
460	43.90	18.70	5.0	〃	両端部破損。素材は翼状剥片。先端部に打面を残す。背面のネガ面は1面で幅広で大きい。断面は扁平な台形。		A35・1・207
461	42.35	16.20	4.2	〃	先端部破損。基部はやや幅広。翼状剥片を利用。基部に打面を残す。刃部の基部に小剥離あり。刃部は外彎を呈す。		C15・1・a S
462	35.85	17.10	2.6	〃	先端部破損。基部は尖る。翼状剥片を利用。先端から中央部基部寄りまで打面が残る。二次調整は基部付近に施す。刃部はほぼ直線状。二次調整面側は山形を呈す。		A40・3・d S
463	33.50	13.00	2.7	〃	完形。先端は尖る。素材は翼状剥片。中央部基部寄りに打面が残る。基部の二次調整の加撃は底面まで及ぶ。主要剥離面に打点あり。		C12・1・b N
464	55.70	19.45	8.8	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。背面中央部基部寄りに小さくネガ面が残る。主要剥離面の基端に打点のない剥離面あり。		C9・1・c N
465	48.10	15.50	4.5	〃	完形。先端は尖る。基端は尖らない。素材は翼状剥片か。ネガ面は中央部に細長く残る。刃部先端に小剥離痕あり。		A38・2・3919
466	59.05	19.55	10.5	〃	完形。両端が尖る。底面は2面よりなり中央部に剥離痕あり。ネガ面は中央部に小さく残る。刃部は外彎を呈す。		A37・4・212
467	57.00	18.3	8.1	〃	完形。両端が尖らない。底面は広く。ネガ面は先端部付近に細長く残る。基端部に剥離面あり。		A38・2・943
468	53.25	15.45	6.6	〃	完形。先端は尖る。基端は尖らない。背面の基部には二次調整面側からのやや大きな剥離面あり。		A7・1・40

番号	法 量		石 質	重 量	観 察	出土地点
	長さ	幅 厚さ				
469	61.70	18.65	サヌカイト	9.7	完形。両端が尖る。ネガ面は背面中央部に僅かに残る。底面基部付近に亀裂がはしる。刃部に小剥離痕あり。	A36・1・2409
470	52.80	14.65	〃	5.6	完形。両端が尖る。中央部に細長いネガ面が残る。刃部先端部に剥離痕あり。刃部は外彎。	A41・3・224
471	53.10	17.55	〃	6.3	完形。先端は尖る。基部は幅広。中央基部寄りに僅かにネガ面を残す。刃部基部に調整を施す。	A39・3・981
472	61.05	16.00	〃	7.3	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。素材は翼状剥片か。背面中央部に僅かにネガ面を残す。風化顕著。	A38・2・1876
473	42.45	11.60	〃	3.6	完形。両端が尖る。先端部寄りから中央部にかけて細いネガ面が僅かに残る。二次調整は基部に細く施す。刃部基部付近にも調整を施している。	B5・395
474	48.45	15.15	〃	4.3	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片か。中央から基部寄りにかけて小さなネガ面が複数ある。主要剥離面刃部側中央部に新しい折損が2ヶ所。風化顕著。	A42・3・c S
475	48.00	12.50	〃	5.2	完形。先端は尖る。基部は幅広で自然面を残す。中央先端寄りから基部にかけて複数の小さなネガ面あり。刃部基部に調整か。	A36・3・59
476	43.95	14.55	〃	4.6	完形。両端が尖らない。基部に打面調整の面を残す。ネガ面は中央から基部にかけて細長く残る。二次調整は粗い。	A39・2・1289
477	54.75	17.30	〃	8.4	完形。先端は尖る。基部は薄くなり幅広。中央部に小さなネガ面が複数ある。刃部基部に調整を施す。	C8・1・c N
478	43.60	18.40	一遺物不明	8.55	完形。先端は尖らない。基部は幅広。ネガ面は中央部に僅かに残る。二次調整は粗く施す。刃部中央部に剥離痕あり。刃部は外彎。二次調整面側は直線状を呈す。	A38・3・33
479	46.75	21.60	サヌカイト	9.6	完形。先端は尖らない。基部は幅広。背面中央部にネガ面を残す。主要剥離面の刃部側には剥離痕が多数残る。	C9・1・59
480	44.30	18.95	〃	5.1	完形。先端は尖る。基部は幅広。底面は幅広で大きい。ネガ面は中央基部より僅かに残る。刃部基部より小剥離痕。先端部に微少な剥離痕あり。	C13・1・c N
481	46.55	15.35	〃	4.5	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。翼状剥片を利用か。ネガ面は中央部に小さく残る。刃部には複数の小剥離痕あり。二次調整面側は山形を呈す。風化顕著。	A38・1・2907
482	49.20	15.55	〃	6.3	完形。先端は尖る。基部は幅広。A面は底面か。基部にはネガ面がある。B面はポジ面と底面からの加撃の二次調整面となる。B面中央部に残るネガ面からするとポジ面が底面の可能性もあり。風化顕著。	A8・2・a S
483	51.65	16.15	〃	6.7	完形。先端は尖る。基部には自然面を残す。背面中央部に細長くネガ面が残る。	A37・4・a N
484	51.30	12.15	〃	5.5	完形。先端は尖らない。基部は幅広。背面中央部にネガ面が残る。底面の基部付近に二次調整面側からの剥離痕あり。二次調整面側は一側縁全面に施す。	A25・2・58
485	49.25	16.75	〃	6.2	完形。先端は尖らない。基部は幅広で自然面を残す。刃部先端から中央部にかけて調整を施す。ネガ面は中央基部より僅かに残る。	A34・2・64
486	50.90	16.90	〃	5.3	完形。先端は尖る。基部は尖らない。基部に打面が残る。ネガ面は中央基部より僅かに残る。刃部に微少な剥離痕あり。	A38・1・4632
487	46.15	16.80	〃	4.8	完形。先端・基部は尖らない。底面は2面よりなる。背面中央部に小さくネガ面あり。	A38・1・4968
488	52.70	15.95	〃	4.4	完形。先端は鋭く尖る。基部は尖らない。ネガ面は中央部に小さく残る。二次調整は一側縁全面に丁寧に施す。刃部は内彎。二次調整面側は山形を呈す。	A25・1・a S
489	44.05	15.35	〃	5.3	完形。先端は尖る。基部に自然面を残す。基部付近にネガ面が残る。刃部中央先端より小剥離。風化顕著。	B11・287
490	38.10	9.00	〃	2.5	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。中央から基部よりにかけてネガ面が残る。刃部は直線状。二次調整面側は外彎を呈す。	A38・2・1264
491	36.55	16.15	〃	3.5	完形。先端は尖らない。基部は幅広。ネガ面は背面中央部に小さく2面残る。基部に打面が残る。	A38・5・3
492	38.60	16.20	〃	3.6	完形。先端は尖る。基部は尖らない。ネガ面は背面中央部から先端より非常に細く残る。刃部の基部に調整を施す。断面は肉厚な台形。風化顕著。	A39・2・a S
493	36.70	14.20	〃	2.7	完形。両端が尖らない。中央から基部にかけて小さなネガ面が2面残る。	A25・1
494	39.15	16.70	〃	3.7	完形。先端は鋭く尖る。基部は幅広。背面中央部にネガ面を残す。風化顕著。	A37・4・a S

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅					
495	32.20	14.00	2.0	サヌカイト	完形。先端は尖らない。基部は幅広い。基部より細くネガ面を残す。刃部の基部より小剥離痕。		B7・1133
496	31.30	11.10	2.0	〃	完形。先端が鋭く尖る。基部は尖らない。ネガ面は中央から基部にかけて残る。刃部先端部に調整を施す。		A2・1・b N
497	46.60	14.50	5.1	〃	完形。先端は尖る。ネガ面は中央から先端にかけて細長く残る。底面の基部部に剥離面あり。		A37・5・c S
498	51.70	18.60	6.1	〃	先端は尖る。基部部破損。中央から先端部に細くネガ面が残る。刃部は外彎を呈す。		A41・5・a S
499	55.40	15.10	6.2	〃	先端部破損。基部は尖らない。基部にネガ面を残す。刃部の基部部に細かい調整あり。		A38・4・d S
500	69.95	18.40	11.1	〃	先端部破損。基部は尖る。ネガ面は背面に細く残る。二次調整は一側縁全面に施す。		A29・2・b N
501	59.25	18.20	7.2	〃	先端部破損。基部は尖らない。ネガ面は先端部に残る。底面の基部部に剥離面あり。二次調整は先端から中央部まで施す。基部には打面が残る。		A36・3・2316
502	53.50	21.30	13.0	〃	先端部破損。基部は幅広い。ネガ面は中央部に小さく残る。刃部側にも調整を施す。		B7・356
503	62.20	17.95	7.6	〃	先端部及び刃部の一部破損。基部は尖る。基部の二次調整面側に自然面を残す。中央から基部にかけて小さくネガ面を残す。二次調整面側は直線状。刃部は外彎を呈す。		C19・1・a S
504	52.25	16.60	7.5	〃	先端部破損。基部はやや幅広い。ネガ面は中央先端部より基部にかけて細長く残る。刃部に小剥離痕あり。		A34・1・1180
505	60.30	19.20	10.2	〃	先端は鋭く尖る。基部部及び刃部の一部破損。基部に自然面を残す。ネガ面は背面中央部に小さく残る。刃部先端部に調整あり。		B12・795
506	52.25	16.90	8.80	〃	先端は尖らない。基部部破損。基部に打面が残る。背面中央部付近にネガ面あり。風化顕著。		A38・190
507	55.45	18.25	9.6	〃	先端部破損。基部は幅広い。基部より細く自然面を残す。先端部から中央部にかけて非常に細くネガ面を残す。基部には調整を施す。風化顕著。		A41・5・a N
508	51.85	15.85	6.1	〃	先端は尖らない。基部部破損。ネガ面は小さく3面残る。基部に調整を施す。主要剥離面刃部側に小剥離痕あり。		A42・3・d S
509	54.85	15.85	5.3	〃	先端部破損。基部は幅広い。基部より小さなネガ面あり。二次調整は一側縁全面に施す。主要剥離面刃部側に小剥離痕あり。風化やや顕著。		B17・298
510	52.40	15.40	4.9	〃	先端部及び刃部の一部破損。基部に自然面あり。ネガ面は背面中央部に僅かに残る。		A41・5・a N
511	51.65	16.40	5.3	〃	先端は尖る。基部は尖らない。刃部の一部破損。背面中央部に小ネガ面あり。基部に刃部側からの剥離面あり。風化やや顕著。		A39・2・279
512	49.45	20.20	5.8	〃	先端は尖らない。基部部破損。ネガ面は背面中央部に僅かに残る。先端部に打面が見られる。刃部に複数の小剥離痕。		C18・1・c N
513	46.75	17.75	5.5	〃	先端は尖らない。刃部の基部及び基部部破損。基部にネガ面が残る。刃部先端部付近に微少な剥離痕あり。		A42・3・c S
514	53.10	19.50	6.8	〃	両端破損。先端部付近にネガ面が残る。刃部は外彎。二次調整面側は山形。		A25・1・c S
515	55.20	20.85	7.4	〃	先端部破損。基部は幅広い。ネガ面は中央先端部より細く僅かに残る。底面は先端方向からの加撃か。風化顕著。		A34・1・1395
516	56.15	19.05	10.8	〃	先端は尖る。基部部破損。ネガ面は中央部に小さく残る。底面基部に二次調整面方向からの剥離痕あり。刃部先端から中央基部よりにかけて調整を施す。主要剥離面の基部付近に二次調整面側からの剥離痕。		不明5・102
517	44.40	18.50	6.1	〃	先端部及び刃部の一部破損。背面中央基部よりネガ面が小さく残る。先端部は打面が残る。先端部は外彎。二次調整面側は山形。風化顕著。		C5・2・a N
518	44.90	16.70	6.9	〃	先端は尖らない。基部部破損。ネガ面は基部に僅かに残る。底面は2面よりなる。風化顕著。		A39・2・c S
519	46.90	14.35	5.2	〃	先端は尖る。基部部破損。ネガ面は基部に僅かに残る。刃部の基部に小剥離痕あり。刃部は外彎。二次調整面側は直線状を呈す。		B8・9
520	47.20	16.95	4.8	〃	先端は尖る。基部部破損。ネガ面は中央部に非常に小さく残る。		A36・3・1974

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
521	43.60	18.95	8.15	5.1	サヌカイト	先端は尖らない。基部は幅広い。中央から先端より、細長くネガ面が残る。刃部はほぼ直線状を呈す。風化やや顕著。	A38・5・253	
522	45.90	19.75	8.85	6.7	〃	先端部破損。基部は幅広く自然面を残す。ネガ面は中央から基部にかけて残る。粗い二次調整を施す。刃部基部に剥離痕あり。	A41・4・d N	
523	46.70	15.40	8.90	5.8	〃	先端は尖らない。基部部破損。背面に小さくネガ面が残る。主要剥離面基部に刃部側からの小剥離痕あり。風化顕著。	A38・2・3436	
524	40.45	22.20	8.20	6.9	〃	先端は尖らない。基部部破損。基部付近にネガ面が残る。先端部に打面あり。	A39・4・689	
525	40.50	16.45	11.00	6.7	〃	先端は尖らない。基部部破損。中央基部よりネガ面が残る。断面は台形。	A33・2・332	
526	44.10	13.85	7.55	3.8	〃	先端部破損。基部は尖らない。ネガ面は中央部に小さく残る。基部に打面を残す。主要剥離面中央刃部側に小剥離痕あり。	A36・3・1132	
527	44.45	15.25	9.55	4.4	〃	先端は尖らない。刃部の一部及び基部部破損。中央部から先端にかけて細長くネガ面が残る。底面は刃部方向からの加撃。風化顕著。	A38・1・2869	
528	36.85	20.60	6.80	3.9	〃	先端部破損。基部は幅広い。ネガ面は基部より小さく残る。基部に打面を僅かに残す。	A34・2・49	
529	41.95	16.95	8.25	5.1	〃	先端は尖らない。基部部破損。ネガ面は中央から先端寄りに残る。風化顕著。	A41・4・c N	
530	39.35	14.45	7.30	3.6	〃	両端破損。ネガ面は中央部に残る。二次調整面方向から底面の中央から先端にかけて剥離を施す。風化やや顕著。	A34・2・840	
531	49.40	18.85	10.60	7.4	〃	先端部及び刃部の中央部破損。中央部付近にネガ面を残す。刃部先端部に調整を施す。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。	A41・5・d N	
532	35.30	16.30	10.75	4.5	〃	先端は尖らない。基部部破損。中央先端よりネガ面を残す。粗い二次調整を施す。風化やや顕著。	A35・2・672	
533	43.30	16.70	8.45	5.3	〃	先端は尖らない。基部部破損。先端部に打面を残す。刃部に微少な剥離痕あり。	A39・3・1128	
534	39.95	14.15	7.90	3.5	〃	先端は鋭く尖る。基部部破損。中央部に長くネガ面が残る。刃部に小剥離痕あり。風化顕著。	A38・4・b S	
535	44.60	19.30	9.70	6.1	〃	両端は尖らない。背面中央部に小さくネガ面が残る。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。風化顕著。	A40・2・d S	
536	38.85	10.95	7.25	3.8	〃	先端は尖らない。基部部一部破損。ネガ面は中央部に小さく残る。刃部先端部に調整を施す。底面は自然面。風化やや顕著。	A35・3・1281	
537	38.15	17.40	7.35	4.15	〃	両端破損。ネガ面は中央部寄りから先端部まで長く残る。主要剥離面の基部に剥離痕あり。	A41・4・c S	
538	35.10	16.75	8.60	4.7	〃	両端部破損。ネガ面は基部に残る。刃部は直線状を呈す。風化顕著。	B21・823	
539	37.20	18.30	7.15	3.9	〃	先端は尖らない。基部部破損。ネガ面は中央部から先端まで細長く残る。主要剥離面には打点と打面が見られる。	A40・3・396	
540	39.15	17.00	6.55	4.3	〃	両端破損。ネガ面は中央部から基部にかけて細長く残る。刃部の基部に調整を施す。	A40・4・b S	
541	35.15	12.75	6.80	2.8	〃	先端は尖らない。基部部破損。ネガ面は背面の中央から基部にかけて細長く残る。先端部は主要剥離面から二次調整を施す。	A2・2・c N	
542	36.70	17.40	5.85	3.0	〃	先端は尖らない。基部部破損。ネガ面は中央部から基部にかけて小さく残る。	A41・4・462	
543	43.05	15.75	8.20	5.1	〃	先端部破損。基部は尖らない。ネガ面は中央基部寄りから先端にかけて細長く残る。刃部中央部に剥離痕あり。	A26・2・207	
544	47.65	17.75	6.85	4.9	〃	先端は尖らない。基部部破損。ネガ面は中央から基部にかけて細長く残る。先端部に打面を残す。	A37・3・a S	
545	41.80	22.75	8.80	7.1	〃	先端は尖らない。刃部及び基部の一部破損。中央部にネガ面が小さく残る。刃部先端部に調整を施す。	A40・3・b S	
546	33.55	16.60	7.70	3.7	〃	先端部破損。基部は尖らない。ネガ面は中央部に小さく残る。刃部の先端には自然面が残る。刃部中央にかけて破損している。	A40・4・c N	

番号	法 量			石 質	観 視	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ				
547	66.65	15.60	8.35	サヌカイト	先端は鋭く尖る。基部破損。ネガ面は中央部に小さく。基部に細長く残る。基部に打面が残る。風化顕著。	A36・3・30	
548	54.25	19.60	11.75	〃	先端部破損。基部に自然面を残す。ネガ面は中央部に小さく残る。底面に背面からの剥離面あり。	A36・1・2225	
549	52.80	24.30	8.90	〃	両端が尖らない。粗い二次調整を施す。主要剥離面基部に二次調整面方向からの加撃の剥離面あり。断面は三角形。風化顕著。	C3・1・bN	
550	55.75	18.75	9.10	〃	完形。先端が尖る。基部は尖らない。二次調整は一側縁全面に施す。刃部は直線状。二次調整面側は山形。断面は三角形。	B20・228	
551	52.10	24.15	8.55	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。刃部の基部に小さく調整を施す。断面は三角形。風化顕著。	A32・1・63	
552	62.65	15.30	9.65	〃	完形。両端が尖る。先端部に新しい破損。刃部は外彎を呈す。断面は三角形。	A40・3・cS	
553	43.80	19.35	9.75	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。刃部に複数の剥離痕あり。断面は三角形。	A41・4・dS	
554	53.10	16.95	8.75	〃	完形。両端が尖る。刃部にも二次調整を施す。刃部は外彎。二次調整面側は直線状を呈す。断面は三角形。風化顕著。	A33・1・502	
555	54.10	17.00	12.75	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。基部に打面調整の面を残す。刃部に打点のない剥離面あり。断面は三角形。	A36・2・2700	
556	51.65	14.00	8.45	〃	完形。両端が尖る。底面基部に刃部側から剥離を施す。刃部は直線状。二次調整面側は外彎を呈す。断面は三角形。風化顕著。	A38・2・2901	
557	51.80	16.00	7.65	〃	完形。両端が尖らない。断面は三角形。	A38・1・2933	
558	46.85	16.70	8.90	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。背面中央部に細く残るのはネガ面か。基部に打面を残す。断面は三角形。風化顕著。	A28・2・bS	
559	48.80	14.65	9.35	〃	完形。先端は鋭く尖る。基部は尖らない。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。断面は三角形。風化やや顕著。	A34・2・725	
560	55.80	19.05	9.15	〃	完形。先端は鋭く尖らない。基部は幅広。粗い二次調整を施す。刃部に微少な剥離痕あり。断面は三角形。	A34・5・422	
561	57.30	20.25	7.95	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。刃部に微少な剥離痕が残る。断面は三角形。	A39・2・aN	
562	46.95	14.75	7.20	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。刃部側にも二次調整を施す。断面は三角形。風化やや顕著。	A35・2・666	
563	50.30	19.30	8.75	〃	完形。先端は尖らない。基部はやや幅広。刃部に小剥離痕あり。断面は三角形。	A8・2・7	
564	54.85	15.50	10.60	〃	完形。先端は尖らない。基部に自然面を残す。刃部基部に小さく調整を施す。断面は三角形。	A42・3・dS	
565	42.60	15.00	9.00	〃	完形。両端が尖らない。刃部は先端寄りから基部にかけて破損。断面は三角形。	A37・4・886	
566	45.00	21.00	6.90	〃	完形。両端が尖る。二次調整面の先端から中央部にかけて自然面が残る。刃部の基部に調整を施す。	A40・5・cN	
567	42.40	18.80	7.80	〃	完形。先端が尖る。基部は幅広。刃部の基部に自然面を残す。断面は三角形。	A35・4・154	
568	37.15	16.25	6.20	〃	完形。両端が尖らない。基部に打面を残す。断面は三角形。	A35・5・296	
569	42.65	14.05	7.95	〃	完形。先端が尖る。基部はやや幅広。断面は三角形。	A35・2・cN	
570	45.45	16.10	7.40	〃	完形。先端が鋭く尖る。基部は幅広。断面は三角形。	A40・2・585	
571	43.55	18.25	7.50	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。刃部の基部に小剥離痕あり。断面は三角形。	A34・1・950	
572	42.60	17.85	6.95	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。基部に打面が残る。刃部の基部に小さく調整を施す。	A39・4・413	

番号	法 量			石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ				
573	39.70	13.75	8.35	サヌカイト	完形。先端は尖らない。基部はやや幅広。主要剥離面の先端部付近に小剥離面あり。刃部は直線状。二次調整面側は外彎を呈す。断面は三角形。	A35・2・799	A35・2・799
574	46.25	13.40	9.55	〃	完形。両端が尖らない。底面は2面よりなる。刃部先端部に剥離面あり。断面は三角形。	A40・4・c N	A40・4・c N
575	37.95	15.75	7.70	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。主要剥離面に小剥離面あり。断面は三角形。	C13・1・d N	C13・1・d N
576	35.95	15.40	8.65	〃	完形。先端は尖らない。基部に打面が残る。刃部の基部に調整を施す。断面は三角形。	A35・3・791	A35・3・791
577	44.55	17.15	7.65	〃	完形。先端は尖らない。基部に自然面を残す。断面は三角形。	A30・1・b S	A30・1・b S
578	42.85	20.35	11.35	〃	完形。先端は自然面が残る。基部は尖らない。二次調整は先端部寄りに細かく施す。断面は三角形。	A25・1・a S	A25・1・a S
579	39.35	18.65	8.30	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。断面は三角形を呈する。風化やや顕著。	A36・3・2334	A36・3・2334
580	36.45	17.50	7.75	〃	完形。先端は尖らない。基部に自然面を残す。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。	A34・2・461	A34・2・461
581	38.80	13.35	9.20	〃	完形。先端は尖らない。基部に自然面を残す。底面は刃部基部方向からの加撃で蝶番剥離する。主要剥離面の基部付近に調整を施す。断面は三角形。	A38・1・4244	A38・1・4244
582	39.65	19.10	6.45	〃	先端は尖らない。基部の一部破損。断面は三角形。	A36・3・1761	A36・3・1761
583	40.95	13.65	9.80	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。二次調整面中央先端より背面から小さく調整を施した面あり。断面は二等辺三角形。	A40・2・b S	A40・2・b S
584	35.45	13.60	7.65	〃	完形。両端が尖らない。刃部の一部破損。粗い二次調整を施す。断面は三角形。風化顕著。	A36・3・202	A36・3・202
585	30.50	14.30	4.95	〃	完形。先端は尖らない。基部はやや幅広。断面は三角形。	A40・3・c S	A40・3・c S
586	33.70	13.80	6.35	〃	完形。両端が尖らない。底面に二次調整面側からの剥離面あり。先端部は主要剥離面から、基部は背面から二次調整を施す。断面は三角形。	A41・4・430	A41・4・430
587	40.70	15.75	9.15	〃	完形。両端が尖らない。刃部の基部にも二次調整を施す。断面は三角形。	A29・1・d S	A29・1・d S
588	41.45	16.40	6.75	〃	完形。先端は尖らない。二次調整は先端から中央にかけて施す。中央部から基部にかけては自然面が残る。断面は三角形。風化やや顕著。	A39・4・295	A39・4・295
589	31.20	11.25	4.90	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。基部に背面からの二次調整を施す。刃部に基部調整あり。断面は三角形。風化顕著。	A24・2・a S	A24・2・a S
590	30.35	11.20	6.45	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。二次調整は一側縁全面に主要剥離面側から施す。刃部は外彎を呈す。断面は三角形。	A35・3・b N	A35・3・b N
591	34.30	19.30	5.45	〃	完形。両端が尖らない。基部に打面を残す。断面は三角形状を呈す。	A2・2・d N	A2・2・d N
592	41.85	15.25	5.60	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。二次調整は背面のネガ面から施す。	A26・1・64	A26・1・64
593	43.15	18.45	8.30	〃	両端破損。背面の基部に主要剥離面の加撃方向と直交するネガ面があり。石核の作業面の転移が考えられる。断面は三角形。	B3・370	B3・370
594	46.35	14.60	7.00	〃	完形。先端は尖らない。基部に打面を残す。断面は三角形。風化やや顕著。	A36・2・3079	A36・2・3079
595	44.05	17.20	7.65	〃	先端が尖る。刃部の基部に調整を施す。底面の基部付近に自然面を残す。断面は三角形状を呈す。	A27・2・b N	A27・2・b N
596	47.80	12.65	7.60	〃	完形。両端が尖る。基部に打面を残す。断面は三角形状を呈す。	A29・1・d S	A29・1・d S
597	52.05	16.30	7.55	〃	完形。先端は尖らない。基部は尖る。刃部の基部に調整を施す。刃部は直線状。二次調整面側は山形。断面は三角形。	A38・857	A38・857
598	47.00	18.05	7.55	〃	完形。先端は尖らない。基部に打面を僅かに残す。二次調整面の先端から中央部にかけて打面調整以前の剥離面が残る。	B9・206	B9・206

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
599	41.10	14.15	3.5	サヌカイト	完形。先端が尖る。底面先端部に先端方向から加撃の剝離面あり。二次調整は先端部にかたよる。断面は三角形。	B15・359	
600	60.20	20.50	8.6	〃	先端は尖らない。刃部の基部に小さく調整を施す。二次調整は一側縁全面に施す。断面は三角形。	A35・5・328	
601	64.70	23.20	9.2	〃	先端は尖らない。基端部及び刃部の一部破損。刃部は外彎。二次調整面側は直線状を呈する。断面は三角形。	A38・4・809	
602	56.40	17.15	7.6	〃	先端部破損。基部は尖らない。刃部の基部に調整を施す。刃部は直線状。二次調整面側は外彎を呈する。断面は三角形。風化顕著。	C9・1・c N	
603	53.50	6.00	8.6	〃	両端破損。底面の先端部寄りに細長く刃部側からの打点の遠い剝離面あり。断面は三角形。風化やや顕著。	A30・2・a S	
604	54.15	17.50	6.8	〃	先端は尖る。基端部破損。底面基部に二次調整面側からの剝離面。断面は三角形。	A39・3・492	
605	51.50	14.55	3.9	〃	先端は尖らない。基端部破損。二次調整は一側縁全面に丁寧に施す。断面は三角形。風化やや顕著。	A41・5・3	
606	48.85	15.15	4.5	〃	先端は尖らない。基端部破損。背面は大きなネガ面で尽され底面は基部寄りに細長く僅かに残る。二次調整は先端から中央基部寄りにかけて施し基部には打面が残る。	A41・3・523	
607	46.75	7.70	4.8	〃	先端は尖らない。基端部破損。刃部の先端部付近に微少な剝離面が残る。断面は三角形。	A39・4・c S	
608	43.20	15.80	2.0	〃	両端破損。二次調整は一側縁全面に施す。主要剝離面先端刃部側に剝離面あり。	A39・5・a N	
609	48.40	15.45	5.1	〃	先端は尖らない。基端部破損。底面に刃部側からの加撃の細長い剝離面が残る。刃部先端部に調整を施す。	A39・2・939	
610	47.30	21.05	7.9	〃	両端破損。底面は2面よりなる。刃部先端部付近に剝離面あり。	A37・4・d N	
611	48.65	20.30	8.0	〃	先端部破損。基部は尖るように二次調整を施す。刃部は先端部では背面側から基部は腹面側から調整を施す。断面は三角形。	不明・1・243	
612	47.80	16.75	5.4	〃	先端部及び刃部の一部破損。二次調整は一側縁全面に施す。刃部はやや内彎。二次調整面側は外彎を呈す。風化やや顕著。	A24・2・182	
613	38.70	17.30	4.0	〃	両端破損。鋭利な刃部をもつ。断面は三角形。	A30・1・b S	
614	43.70	16.80	5.1	〃	両端破損。二次調整は粗い。刃部は山形を呈す。断面は三角形。	A36・2・2287	
615	43.95	18.40	4.0	〃	先端は尖らない。刃部の基部付近破損。基部に打面を残す。刃部中央部に剝離面あり。	A41・3・a S	
616	44.15	16.85	4.0	〃	先端部破損。基部は幅広。二次調整は一側縁全面に細かく施す。風化顕著。	A40・2・b S	
617	49.20	17.75	5.2	〃	先端は尖る。基部に自然面を残す。断面は三角形。	A25・1b s	
618	43.80	17.70	5.0	〃	先端部破損。基部は幅広。底面は基部方向からの加撃。先端部付近に細かい二次調整を施す。	A35・1・321	
619	42.90	17.25	5.1	〃	先端は尖らない。基端部破損。刃部の基部に調整を施す。	C15・2・b S	
620	41.10	19.55	9.80	〃	先端部破損。基部は幅広。断面は三角形。	A39・1・1480	
621	37.65	11.40	8.65	〃	先端部破損。基部は尖らない。中央部に背面からの調整を小さく施す。断面は三角形。	A38・1・295	
622	42.25	21.25	3.80	〃	先端部破損。基部は幅広。断面は扁平な三角形。	A38・1・3688	
623	44.55	29.40	8.85	〃	両端及び刃部の一部破損。先端部と基部に打面が小さく残る。主要剝離面の刃部先端部に小剝離面あり。	A39・3・873	
624	33.50	14.55	10.15	〃	先端は尖らない。基端部破損。刃部側にも二次調整を施す。背面中央から基部にかけて背面からの調整を施す。	B9・676	

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm} 厚さ ^{mm}					
625	49.10	16.55 8.10	4.9	サヌカイト	両端が尖らない。刃部の一部破損。二次調整は側縁全面に施す。断面は三角形。	A35・2・d N	
626	42.20	19.90	5.3	〃	先端部破損。基部は幅広。二次調整は背面側から施す。刃部の基部に調整を施す。断面は三角形。	A35・5・26	
627	41.00	15.75 8.40	5.0	〃	先端部破損。基部は幅広。二次調整は背面側から施す。二次調整面中央基部寄りに主要剥離面からの調整面が1面あり。刃部先端部に調整あり。風化顕著。	A36・1・1403	
628	36.55	10.50	2.7	〃	先端部破損。基部は幅広。刃部の基部に小さく調整を施す。断面は三角形。	A36・2・254	
629	37.75	36.60	4.0	〃	両端破損。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈す。断面は三角形。風化顕著。	A34・2・c N	
630	38.05	17.40	3.3	〃	先端は尖らない。基部破損。底面基部に刃部方向からの剥離面あり。刃部中央部に調整を施す。	A35・2・a N	
631	36.95	22.05	4.2	〃	先端は尖らない。基部破損。刃部の中央部に剥離痕あり。断面は三角形。	B6・20	
632	40.65	17.35	3.1	〃	先端は尖る。基部破損。断面は扁平な三角形。	A34・3・980	
633	39.15	15.45	3.7	〃	両端破損。断面は三角形。	B24・206	
634	29.90	14.00	1.6	〃	先端部破損。基部は尖らない。断面は三角形。	C14・1・b N	
635	39.90	17.80	3.9	〃	先端部破損。基部は幅広。刃部の基部に調整を施す。断面は三角形。	A4・2・88	
636	37.65	20.30	4.5	〃	先端部及び刃部の一部破損。二次調整は基部寄りに施さない。断面は三角形。	A39・3・405	
637	37.50	8.20	5.2	〃	先端は尖る。基部破損。底面は2面よりなる。二次調整は中央部にかたよる。断面は三角形。	A39・4・374	
638	36.75	17.15	3.6	〃	先端は尖る。基部破損。断面は三角形。	A38・5・a S	
639	32.80	16.45	3.5	〃	両端破損。刃部側にも二次調整を施す。	A35・1・407	
640	35.05	18.25	3.8	〃	先端部破損。粗い二次調整を施す。断面は三角形。	B6・406	
641	32.80	15.25	2.6	〃	先端が尖る。基部破損。基部は稜上加撃する。断面は三角形。風化顕著。	A38・3・a S	
642	28.55	16.05	1.8	〃	基部折損により切出し状に整形。二次調整は背面側より施す。	A37・4・a N	
643	24.15	16.75	—	遺物不明	基部破損。刃部側にも調整を施す。	B1・319	
644	64.90	12.50	9.9	サヌカイト	完形。両端が尖る。中央部から先端にかけては背面から二次調整を施す。主要剥離面刃部側先端部寄りに小剥離痕あり。	A37・5・a N	
645	62.95	16.15	7.7	〃	完形。両端が尖る。中央部から基部にかけて背面から二次調整を施す。底面中央先端部寄りに小剥離面あり。断面は三角形。	A35・1・646	
646	43.05	14.15	4.3	〃	完形。両端が尖る。中央部に背面からの二次調整が見られる。刃部基部寄りに剥離面あり。断面は三角形。	A36・1・500	
647	35.00	12.65	3.3	〃	先端部破損。基部に自然面を残す。中央部に背面からの二次調整を施す。底面の中央部に背面からの剥離面が1面残る。断面は三角形。	A21・1・54	
648	57.10	14.80	7.0	〃	先端は尖る。基部破損。中央部に背面から二次調整を施す。主要剥離面からの二次調整は細かい。断面は三角形。	A24・2・c S	
649	45.10	13.55	5.0	〃	先端部破損。基部に自然面を残す。底面は基部方向からの加撃。中央から基部にかけて背面からの二次調整を小さく施す。	A38・1・4615	
650	60.85	18.90	6.8	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片か。基部に打面が残る。主要剥離面に打点あり。	B8・546	

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
651	58.35	20.35	11.50	10.0	サヌカイト	完形。先端が尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。底面中央部に二次調整面側からの剥離面が残る。刃部の基部には主要剥離面からの剥離面が残る。主要剥離面刃部側には背面からの剥離面が見られる。		A30・2・a N
652	54.10	24.40	9.90	8.8	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈す。断面は台形。		A39・2・1192
653	37.25	17.45	6.65	7.0	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。二次調整は先端から中央基部寄りにかたよる。刃部は基部で折損。		A36・1・2030
654	48.55	26.90	6.30	6.4	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。先端から中央部にかけて打面が残る。		A28・2・a S
655	52.75	21.60	9.80	9.0	〃	完形。先端は尖らない。刃部の中央部から基部にかけて自然面を残す。素材は翼状剥片か。背面には底面に代わり複数のネガ面がある。二次調整は先端から中央基部寄りにかけて施す。主要剥離面の基部に二次調整面側からの小さな調整が見られる。		A9・1・170
656	51.40	15.90	11.45	6.2	〃	先端部破損。基部に自然面を残す。素材は翼状剥片か。主要剥離面には打点を残す。断面は三角形。		B8・500
657	51.10	25.75	8.80	12.0	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。中央部に打面を残す。主要剥離面に打点あり。刃部に複数の小剥離面が見られる。		A38・2・4840
658	59.40	22.00	7.30	8.7	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。背面に複数のネガ面あり。主要剥離面の刃部基部付近に背面からの剥離面あり。		A38・2・2835
659	46.65	20.60	6.90	7.1	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広で自然面を残す。素材は翼状剥片か。先端部付近と基部に打面を残す。		A38・3・689
660	46.55	29.75	7.40	9.3	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。刃部は先端から基部にかけて自然面。主要剥離面中央付近には、二次調整面側からの剥離面あり。先端部付近に粗い二次調整を施す。		A25・2・214
661	45.8	23.60	9.95	9.6	〃	完形。先端は尖らない。素材は翼状剥片か。中央先端寄りから基部にかけて打面が残る。二次調整は先端部に粗く施す。刃部側にも二次調整を施す。		A39・2・355
662	45.90	25.60	7.00	6.4	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部には打面。主要剥離面には打点が残る。複数のネガ面をもち二次調整は先端部にかたよる。		B7・1035
663	55.85	20.05	10.15	7.9	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。フアーストフレイクに近い翼状剥片を利用か。二次調整は目的剥片の剥離作業の際の亀裂で止まる。		A39・2・1210
664	50.45	24.55	5.30	6.8	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材はフアーストフレイクに近い翼状剥片か。先端部に打面と、主要剥離面に打点が残る。刃部の一部折損。刃部に微少な剥離面あり。		A39・2・1095
665	42.65	16.85	7.20	5.0	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。先端部から基部にかけて打面が残る。主要剥離面に打点あり。二次調整は先端部と基部にかたよる。断面は台形。		A22・23・1
666	44.45	16.65	9.55	7.0	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に細長く打面が残る。主要剥離面基部に末端方向からの剥離面が見られる。底面基部に調整を施す。		A4・2・26
667	41.80	17.25	7.00	4.4	〃	完形。先端が尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。底面基部に背面からの剥離面あり。刃部先端部に調整を施す。		A24・1・d S
668	40.10	19.30	8.20	6.0	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。風化顕著。		A38・1・642
669	41.70	16.70	6.40	4.1	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片か。刃部の先端部に小剥離あり。底面は2面からなる。風化顕著。		A38・3・d N
670	35.80	14.95	8.60	3.0	〃	完形。先端が尖る。基部はやや幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面が残る。刃部は外彎。二次調整面側は山形		A30・1・d N
671	46.95	12.75	4.60	2.8	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。二次調整は先端から中央基部寄りにかけて施す。断面は台形。		A38・3・1325
672	45.15	25.30	10.00	9.6	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は肉厚な翼状剥片か。基部に打面。主要剥離面に打点を残す。二次調整は先端から中央部にかけて施す。底面先端部に刃部からの剥離面あり。		A34・2・b S
673	44.15	19.60	12.00	6.0	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。刃部に微少な剥離面が残る。		A37・4・571
674	42.60	18.85	7.40	4.9	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。底面は複数よりなる。基部の刃部側に自然面を残す。断面は台形。		A38・1・2965
675	41.60	19.60	6.55	4.4	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面が細長く残る。主要剥離面に打点あり。		A40・4・a S
676	40.30	15.40	5.80	3.3	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片を利用か。主要剥離面先端から中央部にかけて二次調整面側から調整を施す。		A36・2・655

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
677	40.60	18.35	5.0	サスカイト	完形。先端は鋭く尖る。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。刃部先端部に調整を施す。		A35・5・43
678	38.30	16.20	3.6	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面が残る。背面のネガ面に複数の剝離痕あり。二次調整は先端部に施す。		A41・4・1
679	38.00	15.95	2.8	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片か。基部に打面が残る。底面は2面よりなる。		C13・1・c S
680	44.20	18.00	7.75	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。刃部の中央部に調整を施す。刃部は外彎。二次調整面側は直線状を呈する。		A38・3・33
681	46.80	13.35	4.1	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片か。基部に細長く打面を残す。背面ネガ面の基部に複数の剝離痕あり。二次調整は先端から中央部にかけて施す。		A19・1・c N
682	41.30	18.60	4.8	〃	完形。先端が尖らない。基部は尖る。素材は翼状剥片か。底面は2面よりなる。刃部基部部に自然面を残す。風化顕著。		C13・2・a N
683	50.40	18.55	6.4	〃	完形。先端は尖らない。基部は尖る。翼状剥片を利用か。刃部の基部に調整を施す。刃部は3面よりなる。風化やや顕著。		A35・3・449
684	46.60	23.05	9.1	〃	完形。先端は尖らない。基部に自然面を残す。素材はやや肉厚な翼状剥片か。底面の先端部に先端方向からの剝離面あり。風化顕著。		A41・5・a N
685	42.50	13.20	2.9	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。刃部は外彎。二次調整面側は山形。断面は台形。		A41・4・d N
686	37.65	15.55	3.5	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片を利用か。先端部に打面を残す。刃部先端部に剝離痕が見られる。		A39・4・740
687	41.75	19.65	4.8	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片か。基部に打面が残る。底面は基部付近に細長く残る。二次調整は先端部付近に粗く施す。断面は扁平な台形。		A40・4・a S
688	42.25	9.25	3.1	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。刃部先端部に小剝離痕が見られる。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。		A7・2・280
689	42.80	16.70	4.0	〃	両端が尖らない。素材は翼状剥片か。中央付近に打面が残る。主要剝離面の刃部側に細長い剝離面が見られるが、これは主要剝離面が階段状剝離した可能性も考えられる。風化顕著。		C17・1・d S
690	38.70	12.25	3.1	〃	完形。先端は尖らない。基部は尖る。素材は翼状剥片か。基部には打面を残す。		A35・4・539
691	39.80	20.90	5.0	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。二次調整は先端部にかたよる。		A26・1・59
692	39.20	20.70	5.8	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。刃部に複数の小剝離痕が見られる。		A34・2・313
693	42.90	15.60	3.4	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。刃部の先端部に調整を施す。断面は台形。		A35・4・35
694	42.65	25.10	5.5	〃	先端は尖る。基部破損。翼状剥片を利用か。背面に複数のネガ面があり、底面は細長く残る。二次調整は中央部にかたよる。		A2・1・b N
695	45.95	22.70	8.2	〃	完形。先端は尖らない。肉厚な翼状剥片を利用か。二次調整は一側縁全面に施す。断面は台形。		A38・5・b N
696	47.00	22.20	7.8	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片を利用か。底面は2面よりなる。刃部の基部に調整を施す。		A17・1・b S
697	42.45	15.20	4.2	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。刃部の基部に調整を施す。風化顕著。		A24・1・d S
698	46.20	17.50	4.5	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片か。先端から中央にかけて細長く打面が残る。二次調整は中央から基部にかけて施す。主要剝離面に打点あり。		B22・401
699	38.50	15.40	2.3	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。断面は扁平な台形。		A25・2・b N
700	37.50	16.40	3.7	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。		A34・2・d S
701	35.35	20.75	4.8	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。底面は先端から中央にかけて細く残る。二次調整は先端部に施す。		A38・2・2916
702	37.40	15.55	3.4	〃	先端は尖る。基部破損。素材は翼状剥片か。底面は3面よりなる。断面は台形。		A39・4・762

番号	法 量			石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ				
703	34.90	18.35	8.20	サスカイト	完形。先端は尖る。翼状剥片を利用か。刃部にも調整を施し切出し形に整形する。断面は台形。		A38・2・521
704	39.65	20.30	5.00	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片を利用か。刃部側にも二次調整を施す。		A1・2・a N
705	44.70	17.60	8.00	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。底面は背面の大部分を占める。二次調整は刃部にも施す。		A24・2・82
706	40.25	23.00	8.30	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。中央先端寄りから基部にかけて打面が残る。		A39・5・277
707	35.85	20.80	7.75	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。断面は台形。		A36・4・1547
708	38.15	18.60	7.90	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に大きく打面が残る。刃部に基部調整を施す。主要剥離面に打点あり。		A28・2・c S
709	36.40	17.65	5.20	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。底面の基部には自然面が残る。風化やや顕著。		A37・2・3021
710	39.10	14.10	7.10	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片か。先端から中央基部寄りにかけて打面を残す。背面に複数の剥離痕が見られる。刃部は直線状。二次調整面側は山形。		A41・3・a S
711	37.15	17.35	5.80	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。底面は自然面を残す。刃部に複数の剥離痕が残る。基部には打面が僅かに残る。		A34・1・631
712	38.85	16.25	6.15	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片を利用か。底面に背面からの剥離痕が見られる。基部に打面が細く残る。二次調整は先端部に施す。風化顕著。		A35・3・a N
713	33.55	17.90	7.10	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。刃部にも二次調整を施す。		A41・5・c N
714	38.60	13.00	5.05	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。刃部の基部付近に小剥離痕が複数見られる。		B22・a N
715	33.00	15.30	8.40	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片を利用か。刃部の基部に調整を施す。風化顕著。		A36・1・1390
716	32.00	14.00	5.15	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。刃部に主要剥離面からの打点のない剥離面あり。刃部先端部に小調整を施す。		A35・4・a N
717	29.80	15.30	4.70	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。断面は台形。		C9・1・b S
718	33.85	18.95	7.75	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。基部には打面が残る。二次調整は先端から中央部にかけて施す。		A25・2・129
719	36.75	10.65	5.00	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片か。二次調整は中央部にかたよる。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈す。		C18・1・c S
720	37.05	13.10	4.40	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。薄い翼状剥片を利用か。粗い二次調整を施す。		A9・1・b N
721	36.30	17.90	7.90	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。底面の先端部に先端方向からの剥離面あり。断面は台形。		A39・2・583
722	31.95	11.10	6.95	〃	先端部破損。基部は尖る。翼状剥片を利用か。刃部先端から基部にかけて調整を施す。断面は台形。風化顕著。		A42・3・d S
723	37.55	13.10	6.75	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。刃部は外彎。断面は台形を呈す。		A38・3・a S
724	31.30	15.45	5.45	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片か。基部に大きく打面が残る。主要剥離面に打点あり。		A38・2・1899
725	31.75	12.45	4.55	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。		A22・1・d N
726	31.90	15.00	5.85	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。刃部の中央部に複数の剥離痕が見られる。		A31・1・456
727	37.40	17.95	5.55	〃	完形。先端は尖らない。基部は尖る。翼状剥片を利用か。二次調整は基部に施す。先端から基部にかけては打面が残る。		A38・2・1160
728	34.65	21.00	5.00	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は扁平な翼状剥片か。中央先端寄りから基部にかけて細く打面調整面が残る。底面は2面よりなる。二次調整は先端部にかたよる。風化顕著。		A25・2・197

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
729	31.20	18.45	5.50	2.8	サヌカイト	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に基端方向からの剥離痕あり。		A38・3・424
730	35.45	18.75	7.15	3.3	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片か。先端部に打面あり。主要剥離面に打点が残る。		C10・1・c N
731	35.85	12.90	7.45	2.7	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片を利用か。風端から中央部にかけて打面が残る。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。風化や顕著。		A38・2・4771
732	34.50	14.35	6.00	2.3	〃	完形。先端が尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。先端から中央部にかけては、主要剥離面側から二次調整を施した後、背面から主要剥離面側に向けて二次調整を施す。風化や顕著。		A42・3・112
733	32.80	12.40	5.20	1.7	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。断面は台形。		A38・1・4960
734	30.55	11.25	7.45	2.2	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片か。中央部に打面を残す。主要剥離面に打点あり。		A38・3・162
735	21.75	12.50	4.95	1.0	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片か。二次調整は一側縁全面に施す。		A38・1・3648
736	29.55	13.10	5.30	1.5	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に僅かに打面を残す。底面の中央部に主要剥離面からの剥離痕あり。		A36・2・1782
737	34.60	11.25	4.75	1.8	〃	完形。先端は鋭く尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。二次調整は一側縁全面に丁寧に施す。		A38・3・271
738	30.50	16.10	5.90	2.4	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。主要剥離面基部に二次調整面側からの打点のない剥離面あり。		B9・441
739	34.40	14.90	5.65	2.6	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。背面に複数のネガ面あり。刃部の基部奇りに調整を施す。断面は台形。		C14・1・c S
740	34.80	15.25	6.95	3.4	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。中央先端奇りから基部にかけて打面が残る。二次調整は先端部にかたよる。		A37・4・695
741	33.30	11.50	6.65	2.1	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片を利用か。刃部の中央先端奇りに剥離痕が見られる。二次調整は一側縁全面に施す。風化顕著。		C18・1・b S
742	33.40	16.60	5.75	3.5	〃	先端部破損。基部は薄くなって幅広。翼状剥片を利用か。刃部側にも二次調整を施す。断面は台形。		A38・4・d N
743	32.85	15.10	5.45	2.5	〃	先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。中央部から基部にかけて打面が残る。		B23・c S
744	30.90	12.40	4.80	1.8	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片を利用か。中央先端奇りに打面あり。主要剥離面には打点が残る。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。		C13・2・116
745	29.80	11.90	4.65	1.3	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。二次調整は一側縁全面に丁寧に施す。断面は三角形。		A40・4・a S
746	27.85	10.95	4.85	0.9	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。刃部は直線状を呈す。風化や顕著。		A39・2・640
747	26.90	11.65	7.10	1.6	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。二次調整は一側縁全面に施す。刃部は直線状。二次調整面側は外彎。断面は三角形。		A36・1・2099
748	23.75	14.70	4.20	1.5	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に剥離面が2面あり。基端部には微少な剥離痕が見られる。風化顕著。		A37・1・322
749	33.50	6.90	4.70	1.9	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。刃部に基部調整を施す。		C5・1・b N
750	18.20	11.80	5.50	1.6	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片を利用か。刃部側二次調整を施し。もとの二次調整面側を刃部へと変換する。		A37・2・1395
751	24.40	11.20	2.80	0.9	〃	完形。両端が幅広。先端部に僅かに自然面を残す。素材は薄い翼状剥片か。中央先端奇りから基部にかけて打面が残る。主要剥離面に打点が見られる。		A39・2・c N
752	22.95	15.15	4.80	1.8	〃	完形。先端は尖る。基部は薄くなり幅広。素材は翼状剥片か。刃部の基部奇りに小剥離痕が見られる。		C10・1・d N
753	27.70	14.60	3.70	1.3	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に小さく打面を残す。粗い二次調整を施す。風化や顕著。		A39・2・966
754	32.15	11.35	5.35	1.6	〃	完形。両端が尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に主要剥離面以前の剥離痕が施される。主要剥離面の刃部側にも複数の小剥離痕が残る。二次調整面側には折れた面が残る。		A39・4・d N

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
755	29.80	12.45	6.55	1.7	サヌカイト	完形。先端は尖らない。基部はやや幅広。翼状剥片を利用か。基部には打面が残る。断面は台形。風化やや顕著	A39・2・1122	
756	29.70	17.00	7.85	3.0	〃	完形。先端は尖らない。翼状剥片を利用か。二次調整は基部に一面だけ施す。先端部の背面からの調整も二次調整か。	A2・1・d S	
757	25.10	9.85	5.45	1.1	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片か。底面は2面よりなる。二次調整は先端部には施さない。	C14・1・b N	
758	30.45	10.75	5.25	1.6	〃	完形。先端は鋭く尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。中央から基部にかけて打面を残す。主要剥離面に打点あり。	A39・2・b N	
759	23.55	11.75	5.30	1.2	〃	完形。先端が尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。二次調整は先端から基部にかけて施す。	A39・5・21	
760	27.25	10.20	4.20	1.1	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片を利用か。刃部に基部調整を施す。背面にネガ面が3面ある。二次調整は先端部ではネガ面から主要剥離面に向けて。基部では一面だけ主要剥離面から施されている。	A21・1・746	
761	45.60	13.30	6.45	3.9	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片を利用か。刃部の中央先端寄りから基部にかけて調整を施し。切出し状に整形する。	B7・I77	
762	37.60	13.10	7.90	3.6	〃	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片か。基部部に細かい調整を施す。刃部に基部調整を施し切出し状に整形する。	A36・4・807	
763	39.00	12.75	6.45	2.7	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片か。剥片を剥離した形に二次調整を施し切出し状にしている。刃部に小剥離直が見られる。	C7・2・a S	
764	35.20	13.85	7.55	4.1	〃	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片か。刃部の基部調整を施し切出し状に整形する。断面は台形。	A35・3・45	
765	34.20	11.30	7.60	2.6	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片を利用か。刃部中央から基部にかけて調整を施し切出し状に整形している。断面は台形。	B11・474	
766	34.65	11.50	8.00	2.9	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。刃部の基部に調整を施し切出し状に整形する。刃部は外彎。二次調整面側は直線状を呈する。	A32・1・95	
767	30.95	12.60	4.10	1.7	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。刃部の中央から基部にかけて調整を施し切出し状にする。風化顕著。	A37・1・I152	
768	26.00	11.70	4.30	1.5	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片を利用か。刃部に基部調整を施し切出し状にする。刃部は山形。二次調整面側は直線状。	C8・2・I10	
769	30.10	11.40	6.05	1.9	〃	完形。両端が尖らない。翼状剥片を利用か。刃部に基部調整を施し切出し状にする。二次調整は先端から基部にかけて丁寧に施す。	A25・2・a S	
770	32.20	13.00	6.60	2.8	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。刃部に基部調整を施し切出し状にする。断面は台形。	B17・a S	
771	68.20	25.95	8.95	14.7	〃	先端は尖る。基部部破損。翼状剥片を利用か。先端部付近から中央部にかけて打面が残る。主要剥離面に打点あり。底面先端部に刃部に打点をもつ剥離面が見られる。	C4・1・d N	
772	70.50	24.70	6.10	9.6	〃	先端部破損。基部は尖る。翼状剥片を利用か。主要剥離面の刃部側に基部調整を施す。風化顕著。	A13・1・c N	
773	64.50	21.55	8.35	9.2	〃	先端は鋭く尖る。基部部破損。翼状剥片を利用か。刃部に基部調整を施す。基部には打面が残る。	A36・4・I539	
774	45.45	19.70	7.90	6.0	〃	両端破損。翼状剥片を利用か。中央部から基部にかけては打面を残す。刃部に基部調整を施す。風化顕著。	A38・2・273	
775	50.60	21.95	8.50	7.1	〃	先端部破損。二次調整面の中央部から基部に自然面が残る。翼状剥片を利用か。中央部に打面を残す。刃部先端部に調整を施す。	A36・5・I78	
776	46.85	19.35	11.15	9.8	〃	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。刃部先端部に調整を施す。刃部基部に二次調整面方向からの細長い剥離面あり。	A30・1・a S	
777	46.25	20.50	7.40	5.2	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。断面は台形。	A36・1・825	
778	49.90	19.00	7.85	5.2	〃	先端は尖らない。基部部破損。翼状剥片を利用か。刃部の主要剥離面側に微少な剥離直が多数見られる。二次調整は先端部に施さない。	A36・1・2630	
779	61.95	22.35	11.60	13.7	〃	両端破損。翼状剥片を利用か。二次調整は粗い。断面は台形。	C14・1・b N	
780	46.65	20.00	9.65	7.4	〃	先端は尖らない。基部部破損。翼状剥片を利用か。先端部に打面が残る。底面の先端部に先端方向からの剥離面あり。	A39・3・I075	

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm} 厚さ ^{mm}					
781	54.80	20.30 9.00	8.1	サヌカイト	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。二次調整は一側縁全面に施す。		A36・4・1333
782	41.40	23.15 11.85	11.0	〃	先端部破損。基部は幅広く一部自然面を残す。素材は翼状剥片か。刃部に小剥離痕あり。断面は台形。風化顕著		A33・1・744
783	49.45	19.30 10.10	9.1	〃	両端及び刃部の大半破損。素材は翼状剥片か。先端部に大きく打面が残る。		A40・4・c N
784	55.50	23.80 12.80	14.3	〃	先端は尖らない。基部は幅広く自然面を残す。刃部の大半破損。翼状剥片を利用か。		A35・1・519
785	49.60	19.55 9.80	9.2	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片か。主要剥離面の先端部に背面からの小調整が見られる。刃部は直線状。		A35・3・1238
786	55.10	15.00 10.15	6.9	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片か。底面基部に別の剥離面あり。		A29・2・a N
787	44.70	19.80 7.65	6.7	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片か。先端から中央基部にかけては背面から、基部付近は主要剥離面から二次調整を施す。断面は台形。風化顕著。		A41・3・d N
788	46.85	24.35 8.25	6.7	〃	両端が尖らない。二次調整面の先端部破損。素材は翼状剥片か。基部に僅かに打面を残す。		B8・237
789	48.50	16.80 7.50	6.9	〃	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。刃部側にも二次調整を施す。刃部に小剥離痕が見られる。		A38・4・c S
790	40.25	22.50 10.05	10.1	〃	両端部破損。翼状剥片を利用か。中央部に細かい二次調整を施す。刃部は直線状を呈する。		C14・2・b N
791	48.90	23.40 8.00	9.6	〃	先端部破損。基部は尖らない。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。二次調整は基部に施す。主要剥離面中央部の背面からの調整も二次調整か		A38・1・1818
792	49.45	25.65 11.15	10.3	〃	先端は尖らない。基部は幅広く基端部破損。翼状剥片を利用か。基部に細長く打面を残す。背面の先端部には自然面あり。		A36・4・1465
793	51.45	20.15 10.15	7.8	〃	先端部破損。基部は幅広く。翼状剥片を利用か。基部に細長く打面を残す。二次調整は先端から中央部にかけて施す。		A37・4・543
794	40.95	25.50 9.25	9.6	〃	先端は薄くなり幅広く。基部も幅広く。二次調整面側破損。翼状剥片を利用か。刃部に基部調整を施す。主要剥離面先端部に微少な剥離痕が多数見られる。		A36・4・254
795	55.35	22.85 10.05	11.9	〃	先端部破損。基部は薄くなり幅広く。刃部の一部破損。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。刃部は直線状。断面は台形。風化顕著。		C15・1・c N
796	41.35	21.95 8.85	6.6	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。底面は自然面を利用。断面は台形。		A39・3・473
797	44.05	21.30 5.85	3.8	〃	先端部破損。基部は尖らないが細い。素材は翼状剥片か。二次調整は先端部に施す。刃部は直線状を呈する。断面は台形。		A40・2・641
798	41.15	19.90 8.00	5.4	〃	両端破損。素材は翼状剥片か。刃部に小剥離痕あり。断面は台形。		A39・1・d S
799	46.00	16.35 7.30	5.0	〃	両端破損。素材は翼状剥片か。二次調整は先端部にかたよる。主要剥離面には打点が残る。刃部は直線状。		C14・1・d S
800	38.50	23.85 7.80	6.5	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。二次調整は一側縁全面に施す。断面は台形。		A40・4・b N
801	19.10	17.75 9.05	7.0	〃	両端破損。翼状剥片を利用か。刃部側にも二次調整を施す。断面は台形。		A41・4・d S
802	44.10	16.75 6.20	3.6	〃	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用か。基部に小さく打面が残る。細かい二次調整を施す。		C18・1・a S
803	49.10	14.15 9.70	6.0	〃	両端破損。翼状剥片を利用か。二次調整は一側縁全面に施す。刃部はほぼ直線状。二次調整面側は外巻。		A39・2・1313
804	42.15	18.80 7.90	6.4	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。刃部側にも二次調整を施す。風化顕著。		A38・2・918
805	41.70	19.10 7.10	5.0	〃	先端部破損。基部は幅広く。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。主要剥離面の基部に自然面が見られる。		A37・4・215
806	43.55	15.55 6.75	4.6	〃	両端部破損。素材は翼状剥片か。刃部の先端から中央部にかけて調整を施す。断面は台形。		A36・1・1334

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
807	50.45	17.75	8.4	サヌカイト	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片か。刃部は基部に小さく自然面を残し、調整を施す。断面は台形。	A40・4・d S	
808	47.15	16.65	5.3	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。中央部に細い二次調整が見られる。	A37・4・b S	
809	45.15	16.60	5.8	〃	先端部破損。基部は尖る。翼状剥片を利用か。主要剥離面の基部には石核の素材面が残る。二次調整は一側縁全面に施す。断面は台形。	B10・491	
810	37.30	12.00	3.6	〃	先端から一部刃部にかけて破損。基部は尖らない。翼状剥片を利用か。先端部に打面が残る。断面は台形。	A41・5・a N	
811	14.00	19.80	6.1	〃	先端は尖る。基部の一部破損。素材は翼状剥片か。刃部側にも二次調整を施す。	A33・2・a N	
812	46.35	17.00	5.9	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片か。先端部に打面を残す。刃部に小さく基部調整を施す。	A28・2・136	
813	43.70	23.85	7.6	〃	先端は尖らない。基部の一部破損。素材は翼状剥片か。先端部に小さく打面を残す。二次調整は粗い。風化やや顕著。	A35・3・229	
814	45.35	16.55	4.3	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。断面は台形。	A35・2・294	
815	43.00	20.15	6.4	〃	先端部破損。基部はやや幅広。翼状剥片を利用か。刃部に複数の剝離痕が見られる。断面は台形。	A39・2・a N	
816	41.20	19.50	5.5	〃	両端破損。素材は翼状剥片か。一側縁全面に二次調整を施す。刃部に小さく基部調整を施す。断面は台形。	A40・2・c S	
817	28.60	15.01	4.0	〃	両端破損。素材は翼状剥片か。二次調整面側は直線状。断面は台形。	A11・1・278	
818	33.70	20.50	3.7	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。底面は2面よりなる。二次調整は先端部には施さない。	A38・4・213	
819	40.35	15.00	3.4	〃	先端は尖らない。基部は幅広。刃部の一部破損。中央部には打面を残す。主要剥離面に打点あり。二次調整は粗い。風化顕著。	A34・1・714	
820	47.65	18.80	8.7	〃	先端は尖る。刃部の一部及び基端部破損。翼状剥片を利用か。底面の大部分は自然面。先端部に細い二次調整を施す。断面は台形。	A40・3・d N	
821	39.80	18.35	5.3	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。主要剥離面の基部に剝離痕が見られるが、翼状剥片の打面か。断面は台形。	A36・2・1446	
822	44.05	16.85	7.5	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。刃部に基部調整を施す。	A37・3・d N	
823	36.25	21.00	5.7	〃	先端部及び基部の一部破損。素材は翼状剥片か。断面は台形。	A39・1・1206	
824	39.05	15.30	5.6	〃	先端部破損。基部は細くなる。素材は翼状剥片か。刃部に基部調整を施す。	B17・b N	
825	53.00	17.20	11.2	〃	先端部破損。基部は自然面を残す。素材は翼状剥片か。断面は台形。	A40・2・d S	
826	36.20	16.55	3.6	〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。中央から基部にかけて打面が残る。二次調整は先端部に施す。刃部先端部に剝離痕あり。	A29・1・b N	
827	37.55	14.75	3.8	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に小さく打面を残る。主要剥離面刃部側に剝離痕が見られる。断面は三角形。	A1・b S	
828	42.40	19.50	5.1	〃	両端及び刃部破損。翼状剥片を利用か。中央部から先端にかけて細く打面が残る。主要剥離面に打点あり。二次調整は基部付近にかたよる。	A40・4・c N	
829	40.10	23.20	7.00	〃	先端部及び基部の一部破損。翼状剥片を利用か。中央部から基部にかけて打面が残る。主要剥離面に打点が見られる。	A38・1・602	
830	38.15	16.20	4.0	〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片か。断面は台形。	A25・2・c S	
831	40.00	16.35	6.40	〃	先端は尖る。基部は幅広。刃部の一部破損。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。断面は台形	A36・3・1331	
832	44.40	15.75	3.9	〃	先端は尖る。基部は尖らない。刃部の一部破損。翼状剥片を利用か。二次調整はネガ面から主要剥離面に向けて施す。刃部に基部調整あり。風化やや顕著。	A35・2・537	

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
833	39.90	19.35	4.8	サスカイト	先端部及び基部の一部破損。素材は翼状剥片か。基部に打面あり。主要剥離面には打点が残る。	A40・4・b N	
834	38.40	16.45	3.6	〃	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。二次調整は一側縁全面に施す。刃部に微少な剥離痕あり。	A26・2・282	
835	38.75	22.55	8.7	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。粗い二次調整を施す。断面は台形。風化やや顕著。	A41・5・c N	
836	44.05	24.90	6.1	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に二次調整を施さない。風化やや顕著。	A2・2・b N	
837	39.30	18.25	5.2	〃	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。刃部の先端より剥離痕あり。	A28・2・69	
838	37.30	18.60	4.0	〃	先端の一部破損。基部部破損。素材は翼状剥片か。背面に複数面あり。	A38・1・2795	
839	36.55	18.35	5.9	〃	先端部破損。基部の一部破損。翼状剥片を利用か。刃部先端部に調整を施す。	A36・4・57	
840	39.00	16.30	4.6	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。断面は台形	A33・1・918	
841	47.40	17.60	4.0	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。	C4・1・b N	
842	38.35	18.80	4.8	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。断面は台形。	A2・1・a N	
843	42.15	17.80	5.0	〃	両端部破損。素材は翼状剥片を利用か。底面は複数面よりなる。二次調整面側は山形を呈す。	A39・4・582	
844	36.70	16.60	4.3	〃	両端及び刃部破損。素材は翼状剥片か。先端部は背面から二次調整を施す。断面は台形。風化顕著。	A38・2・25	
845	37.70	17.35	4.1	〃	先端は尖らない。基部部破損。翼状剥片を利用か。刃部に微少な剥離痕あり。	A41・4・c S	
846	35.80	19.20	3.9	〃	先端は尖る。基部部破損。翼状剥片を利用か。折損した刃部をそのまま使用か。断面は台形。	A39・3・1000	
847	29.90	14.95	2.6	〃	先端は尖る。基部部破損。素材は翼状剥片か。先端部の二次調整は細かい。刃部は直線状。二次調整面側は外彎を呈す。	A38・3・b N	
848	38.50	15.65	4.6	〃	先端は尖る。基部部破損。素材は翼状剥片か。刃部に細かい基部調整を施す。風化やや顕著。	A36・1・2182	
849	37.15	15.85	3.4	〃	両端が尖らない。二次調整面側基部が破損。素材は翼状剥片か。先端から中央基部より二次調整を施す。	A38・2・55	
850	38.65	18.45	5.3	〃	先端部破損。基部は薄くなり幅広。翼状剥片を利用か。刃部に微少な剥離痕あり。断面は台形。	A38・2・2740	
851	40.40	18.35	2.9	〃	先端部破損。基部は尖らない。素材は薄い翼状剥片か。底面は2面よりなる。	A38・1・4282	
852	39.90	19.65	5.4	〃	両端部破損。素材は翼状剥片か。刃部は山形。二次調整面側は直線状を呈す。	A33・2・254	
853	39.0	14.90	3.7	〃	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。底面は基部方向からの加撃。	A39・2・296	
854	42.40	18.35	5.5	〃	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。二次調整は一側縁全面に施す。刃部基部に剥離痕あり。	A34・1・1390	
855	42.05	21.25	6.9	〃	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。中央部から基部にかけて打面が残る。主要剥離面は打点あり。二次調整は先端部にかたよる。	A39・5・399	
856	38.00	20.20	5.3	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。	A36・2・2018	
857	34.55	18.40	3.0	〃	両端部破損。翼状剥片を利用か。底面は幅狭い。二次調整面は山形を呈す。	A33・1・551	
858	35.80	11.95	3.5	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。断面は台形。	A25・2・57	

番号	法 量		重量	石 質	備 考	出土地点
	長さ	幅 厚さ				
859	33.25	19.70	4.4	〃	両端破損。素材は翼状剥片か。断面は台形。	A36・3・1419
860	31.70	18.15	4.2	〃	両端破損。素材は翼状剥片か。刃部の基部に微少な剝離痕あり。風化顕著	A36・2・1036
861	37.45	19.35	3.3	〃	先端は尖らない。基部は薄くなり幅広。刃部の中央先端寄りから基部にかけて折損。翼状剥片を利用か。断面は扁平な台形。風化やや顕著。	A37・3・a S
862	37.50	15.00	3.6	〃	先端は尖る。基部部破損。素材は翼状剥片か。刃部中央基部よりに剝離痕あり。断面は台形。	B18・386
863	39.10	16.90	4.2	〃	先端部破損。基部はやや幅広。素材は翼状剥片か。底面中央部に二次調整面に打点をもつ剝離面あり。刃部中央部に小剝離痕あり。	A3・1・146
864	36.75	15.95	3.1	〃	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。先端から中央基部よりにかけて長く打面が残る。底面は先端部に残る。基部に二次調整を施す。	C24・1・b N
865	37.80	14.60	2.4	〃	先端から二次調整面の中央部まで、及び基部部破損。翼状剥片を利用か。基部には打面が残る。二次調整は中央部付近に1面しか見られない。	C17・1・a S
866	46.20	17.25	5.2	〃	先端部破損。基部は尖る。翼状剥片を利用か。刃部基部よりに小剝離痕が見られる。	A40・4・b N
867	33.95	15.50	2.9	〃	先端は尖る。基部は幅広。刃部基部が破損。素材は翼状剥片か。一側縁全面に二次調整を施す。断面は台形。	A37・3・a S
868	39.45	15.25	4.7	〃	先端部破損。基部は尖らない。翼状剥片を利用か。基部には打面が残る。打面側を刃部とし基部調整を施す。	A35・5・325
869	38.60	15.55	3.5	〃	両端部破損。翼状剥片を利用か。二次調整は一側縁全面に丁寧に施す。	A38・2・214
870	43.65	15.65	3.8	〃	両端が尖る。刃部先端部破損。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。主要剝離面の刃部側に基部調整を施す。	A39・2・d S
871	36.70	15.00	3.0	〃	先端は尖らない。基部は幅広。刃部先端から中央基部よりかけて破損。素材は翼状剥片か。断面は台形。	A39・3・b N
872	29.70	11.50	1.6	〃	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。先端部に僅かに打面が残る。刃部はほぼ直線状を呈する。	A35・2・c N
873	38.45	19.10	4.3	〃	両端が尖らない。刃部の一部破損。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。	A1・b S
874	36.20	20.00	4.4	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。中央部に打面が残る。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈する。風化顕著。	A40・3・c N
875	32.10	15.90	3.7	〃	両端部破損。翼状剥片を利用か。刃部に細かい基部調整を施す。	C7・1・b N
876	37.35	17.25	3.8	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈す。	A38・2・3557
877	38.05	18.25	3.8	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。	A36・5・482
878	39.35	19.10	5.1	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。背面に複数のネガ面あり。二次調整は粗い。断面は台形。	B24・a S
879	36.70	17.45	4.0	〃	先端部破損。基部は尖る。素材は翼状剥片か。刃部に基部調整を施す。刃部のほぼ全面に小剝離痕が見られる。	A37・4・305
880	46.45	16.65	4.5	〃	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。風化やや顕著。	A39・1・374
881	37.85	16.70	4.2	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。断面は台形。	A39・1・725
882	35.70	15.00	3.1	〃	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。断面は台形。	A24・1・b N
883	37.80	16.25	3.8	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面が残る。	A40・5・c S
884	28.90	15.55	4.8	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。刃部基部に小剝離痕が見られる。断面は台形。	A32・2・a S

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	厚さ					
885	32.05	12.00	2.8	サヌカイト	先端は尖らない。基部は幅広く一部破損。翼状剥片を利用か。基部に僅かに打面を残す。刃部中央部欠失。	A40・4・742	
886	30.40	13.30	1.9	〃	先端部破損。基部に自然面を残す。素材は翼状剥片か。底面に小剥離が見られる。断面は台形。	B21・144	
887	34.50	13.85	3.1	〃	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。二次調整は先端部には施さない。風化顕著。	A35・2・b S	
888	32.25	14.55	3.3	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。刃部は直線状を呈する。断面は台形	A20・1・60	
889	30.00	13.60	1.6	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に僅かに打面が残る。刃部は直線状。	C10・1・a N	
890	30.15	16.25	3.1	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。断面は台形。	A1・2・217	
891	28.30	13.10	2.2	〃	先端部破損。基部はやや幅広。翼状剥片を利用か。基部に小さく打面を持つ。刃部に微少な剥離痕あり。断面は台形。風化顕著。	A38・1・1346	
892	35.00	17.95	3.6	〃	両端破損。素材は翼状剥片か。刃部に小剥離痕が見られる。	A38・5・b S	
893	30.10	19.85	2.4	〃	先端から刃部中央にかけて破損。基部は薄くなり幅広。素材は翼状剥片か。断面は扁平な台形。	A35・1・1913	
894	30.20	14.75	2.2	〃	先端は尖る。刃部基部より破損。素材は翼状剥片か。二次調整は先端から中央基部寄りにかたよる。	A40・2・758	
895	34.70	16.15	2.8	〃	先端は尖る。基部部破損。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。主要剥離面に打点あり。底面は先端部に残る。	A39・3・a N	
896	31.30	12.50	1.7	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。二次調整は先端から中央基部よりにかけて施す。刃部は直線状。二次調整面側は外彎。	A38・2・3591	
897	29.70	15.30	1.8	〃	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。基部よりに打面を残す。風化やや顕著。	A24・1・d N	
898	33.45	13.35	2.4	〃	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。刃部に複数の小剥離痕が見られる。	A35・4・204	
899	34.65	17.70	3.9	〃	先端部破損。刃部中央部折損。素材は翼状剥片か。	A21・1・242	
900	35.75	12.65	2.0	〃	先端は尖る。基部部破損。素材は翼状剥片か。底面の中央部に二次調整面側からの剥離面をもつ。	C7・11・a N	
901	36.20	15.15	2.7	〃	両端破損。翼状剥片を利用か。断面は台形。	A34・2・3484	
902	29.80	16.55	1.5	〃	先端は尖る。基部部破損。翼状剥片を利用か。二次調整は細かい。断面は扁平な台形。	A41・4・d S	
903	18.10	13.10	1.4	〃	先端は尖る。基部部破損。翼状剥片を利用か。基部に僅かに打面を残す。刃部先端部に小剥離痕あり。断面は台形。	A36・2・251	
904	31.95	11.90	2.4	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に僅かに打面を残す。刃部に基部調整を施す。	A24・1・d N	
905	30.60	17.85	2.3	〃	先端は尖らない。基部は幅広。刃部の先端部欠失。翼状剥片を利用か。断面は台形。	A40・2・a S	
906	32.95	15.50	2.8	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。中央部に細く打面を残す。刃部の基部に小剥離痕あり。風化やや顕著。	A21・1・780	
907	30.85	16.00	2.7	〃	先端部破損。基部は尖る。翼状剥片を利用か。二次調整は一側縁全面に施す。	A35・2・b N	
908	26.20	13.15	1.4	〃	先端部破損。基部は幅広。素材は扁平な翼状剥片か。二次調整面は4面。	A34・1・587	
909	34.55	12.30	2.3	〃	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。底面先端部に背面からの剥離面あり。主要剥離面基部に石核の素材面が残る。風化やや顕著。	A14・1・b N	
910	30.15	13.50	4.15	〃	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。刃部に基部調整を施す。	A41・5・a S	

番号	法 量			石 質	重量	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
911	27.95	16.15	6.40	サヌカイト	2.4	先端から中央部にかけて刃部欠失。基部は幅広。素材は翼状剥片か。二次調整は一侧縁全面に施す。断面は台形。	A27・2・c N	
912	36.85	22.95	9.10	〃	7.0	先端部破損。基部に自然面を残す。翼状剥片を利用か。刃部に基部調整を施す。	A21・1・311	
913	40.40	21.25	16.90	〃	5.4	先端は尖らない。基部部破損。翼状剥片を利用か。先端部に細く打面を残す。刃部は外彎。断面は台形。	B6・150	
914	42.65	16.20	5.80	〃	3.5	先端は尖る。基部部破損。翼状剥片を利用か。二次調整は背面側から施す。背面は底面と複数のネガ面よりなる。	C7・1・b N	
915	40.25	10.35	7.80	〃	2.8	先端は尖る。基部部破損。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。ネガ面に二次調整面側から剝離を施す。	A41・3・a S	
916	32.60	16.95	6.80	〃	2.9	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。中央基部より僅かに細く打面を残す。主要剝離面に打点あり。刃部先端部に剝離痕が見られる。風化顕著。	A35・2・702	
917	25.60	1.00	4.55	〃	1.1	先端部破損。基部はやや幅広。素材は翼状剥片か。刃部の基部に小剝離痕あり。	B1・249	
918	24.40	14.40	5.05	〃	1.6	先端は尖る。基部の大半破損。素材は翼状剥片か。断面は台形。	A38・2・3452	
919	58.20	21.45	9.40	〃	11.4	両端が尖らない。素材は翼状剥片ファーストフレイク。背面に大きく盤状剥片の打面を残す。基部に打面が見られる。刃部は内彎。二次調整面側は外彎を呈す。	A38・2・4857	
920	46.05	18.80	7.55	〃	7.1	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片ファーストフレイクか。打面は自然面を利用。刃部は外彎。断面は台形。	A41・5・102	
921	49.30	18.70	7.40	〃	11.0	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイクの可能性が考えられる。刃部に微少な剝離痕が残る。	C16・2・122	
922	36.60	14.80	6.95	〃	3.6	完形。先端は尖らない。基部は幅広。ファーストフレイクに近い翼状剥片か。刃部の先端部に調整を施す。断面は台形。	A25・1・d S	
923	19.15	12.20	5.50	〃	1.8	先端は尖る。基部部破損。ファーストフレイクに近い翼状剥片の可能性あり。主要剝離面中央部に背面からの剝離痕が見られる。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈す。	C10・2・b S	
924	35.95	14.10	6.25	〃	3.1	先端は尖らない。基部部破損。ファーストフレイクに近い翼状剥片か。背面基部に基端方向からの剝離面を残す。	A38・2・2881	
925	35.85	15.25	7.60	〃	3.9	完形。先端は尖らない。基部は尖る。ファーストフレイクに近い横長剥片を利用。刃部に基部調整を施す。断面は台形。	C18・1・b S	
926	36.85	17.70	6.25	〃	4.4	両端が尖らない。素材はファーストフレイクに近い翼状剥片か。背面の扁平な面は打面か。刃部は複数の剝離面よりなる。	B22・a N	
927	53.05	13.65	7.95	〃	5.9	完形。先端は尖る。基部は尖らない。ファーストフレイクに近い翼状剥片の可能性あり。二次調整は一侧縁全面に施す。断面は台形。風化顕著。	A32・2・b S	
928	37.60	23.15	7.00	〃	5.7	先端は尖らない。基部部破損。ファーストフレイクに近い横長剥片を利用。先端部から中央にかけて細長く打面を残す。主要剝離面に打点あり。刃部先端から基部寄りにかけて調整を施す。	A38・2・2826	
929	61.35	28.95	10.00	〃	19.0	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片の可能性あり。背面及び主要剝離面基部に自然面を残す。底面は先端方向からの加撃。断面は台形。	B12・83	
930	64.00	20.00	7.75	〃	9.4	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片を利用か。打面側先端部を刃部とし、両側縁に二次調整を施す。背面に長く自然面を残す。断面は台形。	B7・1015	
931	49.80	17.45	10.60	〃	7.6	完形。先端は尖らない。基部は自然面を残す。ファーストフレイクに近い翼状剥片を利用か。底面は先端方向からの加撃。背面に自然面を残す。二次調整は一侧縁全面に施す。風化顕著。	A35・1・1033	
932	46.25	15.25	7.95	〃	3.9	完形。先端は尖る。基部は尖らない。横長剥片を利用。背面中央部から基部には自然面を残す。底面は、刃部先端部方向からの加撃。	A36・3・1643	
933	44.90	15.25	7.50	〃	3.4	完形。両端が尖る。横長剥片を利用。背面基部に小さく自然面を残す。基部に細長く打面を残す。	A35・2・42	
934	39.40	16.05	8.35	〃	3.7	完形。両端が尖る。横長剥片を利用。背面中央部から基部にかけて自然面を残す。基部に打面を残す。主要剝離面に打点あり。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。風化顕著。	A36・2・126	
935	34.10	16.45	7.90	〃	3.5	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は横長剥片。背面打面側中央先端寄りから基部にかけて自然面を残す。基部に小さく打面を残す。二次調整は先端部のみ施す。	B24・b S	
936	34.50	14.20	7.20	〃	2.9	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は横長剥片。背面中央部から基部にかけて自然面を残す。底面中央部に剝離面が2面見られる。	A1・1・207	

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
937	29.85	15.00	2.2	サヌカイト	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は横長剣片。背面中央部から基部に自然面を残す。刃部先端部に小剥離痕あり。風化顕著。断面は台形。先端が尖る。基部は尖らない。素材は横長剣片。背面に大きく自然面を残す。底面は基端部からの加撃。刃部は外彎。	A34・2・b S	B14・b S
938	36.85	15.10	2.8	〃	完形。両端が尖る。横長剣片を利用。背面は打面側中央部から基部に自然面を残す。刃部先端部付近に調整を施す。風化やや顕著。	A35・4・831	
939	49.45	15.50	4.4	〃	完形。両端が尖る。横長剣片を利用。背面中央部から基部に自然面を残す。刃部側にも二次調整を施す。	A39・2・472	
940	43.25	17.15	10.55	〃	両端破損。横長剣片を利用。背面中央基部寄りに自然面を残す。刃部は直線状。二次調整面側は外彎を呈す。風化顕著。	A36・3・211	
941	34.50	15.35	4.1	〃	先端は尖らない。基端部破損。扁平な横長剣片を利用。背面下半部はほぼ自然面が残る。底面は中央部から基部に細長く残る。	A38・3・179	
942	33.80	18.00	3.4	〃	先端はやや幅広。基端部破損。横長剣片を利用。二次調整は先端部は背面から、中央先端部寄りから基部には主要剥離面から施す。刃部中央から先端にかけては小剥離痕が多数見られる。	B12・726	
943	82.25	27.50	20.0	〃	両端が幅広。刃部一部欠失。肉厚な横長剣片を利用。背面基部には自然面を残す。二次調整は粗い。	A38・1・345	
944	61.45	24.55	15.90	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長剣片を利用。主要剥離面には打面の一部を残す。背面にネガ面は見られない。	A31・1・169	
945	64.20	24.60	11.15	〃	完形。両端が尖らない。素材は横長剣片。大型のナイフ。先端部に二次調整を施していない面が残る。刃部側にも二次調整を施す。背面刃部側先端付近に自然面を残す。形要剥離の二次調整面側に複数の剥離面あり。	A10・1・36	
946	72.70	22.50	23.8	〃	完形。先端が尖る。基部は幅広。薄い横長剣片を利用。二次調整は中央基部寄りから基部にかけて施す。基部調整あり。断面は扁平な台形。風化顕著。	A2・2 d S	
947	67.25	24.60	6.00	〃	先端部破損。基部は尖らない。横長剣片を利用。中央部に打面を残す。主要剥離面に打面あり。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈す。	A26・1・327	
948	50.25	24.45	10.6	〃	完形。両端が尖らない。横長剣片を利用。底面は2面よりなる。二次調整は基部寄りに1面だけ施す。刃部はほぼ直角の山形。	A35・2・101	
949	42.60	28.85	8.00	〃	両端が尖る。刃部の先端部欠失。素材は横長剣片。底面は複数面よりなる。断面は三角形形状。風化顕著。	C7・2・a N	
950	56.30	17.95	9.35	〃	完形。両端が尖らない。基部に自然面を残す。肉厚な横長剣片を利用。刃部側にも二次調整を施す。	B9・613	
951	66.75	33.55	13.50	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。横長剣片を利用。刃部側基部に自然面を残す。基部調整あり。	A41・4・d S	
952	49.50	27.65	6.35	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。横長剣片を利用。主要剥離面の基部に調整を施す。刃部は内彎。断面は台形。	A38・2・3042	
953	42.85	32.80	8.95	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は横長剣片。先端部には二次調整を施さない。刃部に基部調整を施す。	A24・1・d N	
954	42.90	20.60	6.00	〃	完形。先端が鋭く尖る。基部は尖らない。素材は横長剣片。先端部に主要剥離面以前の面が残る。底面基部に刃部からの剥離面あり。断面は台形。	A36・3・1978	
955	52.40	14.70	9.40	〃	完形。先端は尖る。基部に自然面を残す。素材は横長剣片。刃部に基部調整あり。二次調整は一側縁全面に施す。	A42・5・30	
956	56.70	21.00	10.85	〃	完形。先端は尖らない。基部はやや幅広。横長剣片を利用。刃部に基部調整を施す。基部に打面を残す。背面の打面側には二次調整を除きなくなった自然面が残る。	B5・695	
957	48.20	23.35	15.90	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。横長剣片を利用。先端部に小さく打面を残す。刃部は山形。二次調整面側は直線状を呈す。	A28・1・a N	
958	43.50	25.00	10.65	〃	完形。両端が尖らない。横長剣片を利用。二次調整は基部にかたよる。断面は台形。	A41・5・176	
959	41.60	27.50	8.75	〃	完形。先端は尖らない。基部は薄くなり幅広。横長剣片を利用。底面先端部に二次調整面側からの剥離面あり。	A38・4・297	
960	40.45	23.15	7.40	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。横長剣片を利用。底面は複数面からなる。二次調整は先端から中央基部寄りにかけて施す。断面は台形。	C12・1・b S	
961	38.65	25.40	8.45	〃	完形。両端が尖らない。素材は横長剣片。二次調整は先端部には施さない。刃部中央から基部にかけて調整を施す。背面に複数	A39・4・167	
962	45.35	25.05	7.00	〃	のネガ面あり。		

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
963	55.45	26.10	10.7	サヌカイト	完形。先端はやや幅広。基端は尖らない。扁平な横長剣片を利用。刃部の中央部付近には二次調整を施す。風化顕著。	B13・a N	
964	45.80	22.95	10.3	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長剣片を利用。底面基部に剥離面あり。	A36・4・222	
965	45.05	21.40	8.8	〃	先端は尖らない。基部は幅広。横長剣片を利用。主要剥離面基部に石核の側面を残す。	A37・4・218	
966	45.35	16.55	6.2	〃	両端が尖る。横長剣片を利用。二次調整は一側縁全面に施す。刃部中央部に小剥離痕あり。	A27・2・22	
967	44.25	19.55	5.3	〃	先端は薄くなく幅広。基端は尖らない。横長剣片を利用。二次調整は基部付近にかたよる。刃部にも二次調整を施す。主要剥離面打面側には複数の剥離痕あり。	A38・3・b N	
968	40.00	21.70	6.0	〃	完形。先端は幅広で自然面を残す。基端は尖らない。横長剣片を利用。主要剥離面刃部側に小剥離痕あり。断面は三角形。	A37・4・34	
969	39.00	17.15	5.2	〃	完形。先端は幅広。基端は尖らない。横長剣片を利用。二次調整はネガ面側から施す。主要剥離面側の中央部には自然面を残す。刃部の大半は細長い剥離面を残す。	B8・462	
970	35.60	18.30	3.9	〃	完形。先端は尖らない。基部はやや幅広。横長剣片を利用。基部には打面を残す。刃部中央部に複数の小剥離痕あり。風化やや顕著。	A35・5・233	
971	36.35	17.55	4.0	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。横長剣片を利用。二次調整は一側縁全面に施す。風化顕著。	A35・4・217	
972	36.00	21.25	4.8	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。横長剣片を利用。底面の中央部から基部にかけて細長く刃部側からの剥離面を残す。	A35・3・946	
973	60.20	21.00	7.9	〃	完形。先端は尖らない。基端は尖らない。横長剣片を利用。二次調整は背面のネガ面から主要剥離面に向けて施す。主要剥離面の基部付近に調整を施す。風化顕著。	B22・b S	
974	32.70	21.45	5.3	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。横長剣片を利用。主要剥離面の打面側を刃部とする。二次調整は基部に細く施す。	A32・1・403	
975	44.75	22.65	5.3	〃	先端部破損。基端は尖る。横長剣片を利用。基部に打面を小さく残す。主要剥離面に打点あり。刃部は2面よりなる。二次調整は中央部に施す。断面は台形。	A38・2・4117	
976	28.20	24.45	5.7	〃	完形。先端が尖る。基部は幅広。横長剣片を利用。細かい基部調整を施す。風化やや顕著。	A40・4・253	
977	33.10	25.35	4.2	〃	完形。先端は尖らない。基端は尖る。素材は横長剣片。先端部に小さく打面を残す。主要剥離面に打点あり。背面先端部に刃部からの剥離面あり。	B10・118	
978	29.45	18.55	3.4	〃	完形。両端が尖らない。素材は横長剣片。刃部に微少な剥離痕あり。刃部は直線状。二次調整面側は山形。	A36・3・1178	
979	41.20	23.10	6.6	〃	完形。先端は尖る。基端は尖らない。横長剣片を利用。主要剥離面は3面よりなる。刃部先端部に微少な剥離痕あり。刃部は外彎。二次調整面側は山形。	A7・1・2271	
980	38.85	21.10	5.8	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長剣片を利用。二次調整面先端寄りから基部に自然面が残る。二次調整は先端部に背面から施す。基部調整あり。主要剥離面刃部側先端部に複数の小剥離痕あり。	A38・2・4041	
981	45.40	18.05	5.9	〃	完形。先端は尖る。素材は横長剣片。二次調整面先端部には自然面が残る。背面基部部に小剥離痕あり。背面にはネガ面は見えない。	A36・2・1902	
982	42.05	19.60	5.9	〃	完形。先端は尖る。基部は薄くなり幅広。横長剣片を利用。基部に打面が残る。主要剥離面に打点あり。断面は台形。風化やや顕著。	A39・5・143	
983	44.15	15.80	3.6	〃	完形。先端が尖る。基端は尖らない。横長剣片を利用。二次調整面基部に自然面を残す。	A41・4・287	
984	42.15	15.00	4.2	〃	完形。両端が尖らない。素材は横長剣片。二次調整は先端から中央部に2面施す。底面に刃部からの剥離面あり。	A38・1・3804	
985	34.15	15.30	2.5	〃	完形。先端は尖る。基端は尖らない。横長剣片を利用。二次調整は粗い。断面は台形。	A35・3・b S	
986	33.65	18.20	3.0	〃	完形。両端が尖らない。横長剣片を利用。打面側を刃部とし、二次調整を粗く施す。	A29・2・b N	
987	34.85	19.30	3.7	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長剣片を利用。刃部先端部に調整を施す。断面は台形。風化顕著。	A34・1・1181	
988	35.75	14.80	4.2	〃	完形。両端が尖る。横長剣片を利用。刃部に基部調整を施す。断面は台形。	A13・1・133	

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
989	44.95	22.10	8.4	サヌカイト	両端が尖る。刃部先端部欠失。横長裂片を利用。基部には二次調整を施さない。主要剥離面基部には石核の側面が残る。完形。先端は尖る。基部は幅広。横長裂片を利用。刃部先端部に調整を施す。主要剥離面は2面よりなり、刃部側の面を剥いだ後、打面側の面を剥離したものが。	A21・1・727 A39・5・a N	
990	41.80	16.20	5.6	〃	完形。両端が尖らない。扁平な横長裂片を利用して打面を残す。主要剥離面に打点あり。断面は台形。	A12・1・b S	
991	36.35	14.55	1.9	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は横長裂片。刃部の中央部は破損か。主要剥離面基部から先端にかけては。先端方向からの剥離面が3面見られる。	A36・3・2269	
992	33.35	13.00	2.8	〃	完形。先端は尖らない。基部はやや幅広。素材は横長裂片。主要剥離面には大きく打面が残る。	A17・1・58	
993	36.40	16.05	3.5	〃	完形。先端は尖らない。基部は薄くなり幅広。横長裂片を利用。基部には打面を残す。主要剥離面に打点が見られる。二次調整は先端から中央部にかけて施す。刃部に細長い剥離面をもつ。風化やや顕著。	A30・1・b N	
994	35.45	18.00	3.4	〃	完形。両端が幅広。横長裂片を利用。主要剥離面打面側に。背面からの打点のない剥離面が見られる。刃部、二次調整面側ともほぼ直縁状を呈する。	A40・3・873	
995	39.15	21.65	7.3	〃	完形。両端が尖らない。基部は横長裂片。二次調整は中央先端寄りから基部に粗く施す。断面は台形。	A38・2・3788	
996	40.05	18.01	6.75	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は横長裂片。刃部の先端部に小調整を施す。風化顕著。	A34・2・d N	
997	43.25	18.70	6.3	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長裂片を利用。二次調整は一側縁全面に施す。主要剥離面中央部には、刃部側と打面側からの小剥離痕が見られる。	A36・5・324	
998	30.10	10.65	1.8	〃	完形。両端が尖る。横長裂片を利用。中央部に打面を僅かに残す。主要剥離面に打点あり。基部には二次調整を施さない。刃部先端部に小剥離痕あり。風化やや顕著。	A39・2・945	
999	30.25	19.60	2.4	〃	完形。両端が幅広。横長裂片を利用。中央部に打面を残す。主要剥離面に打点あり。刃部先端部に小剥離痕あり。	A35・1・820	
1000	30.25	20.65	4.2	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は横長裂片。二次調整は先端部のみ施す。背面先端部に二次調整面方向からの剥離面あり。断面は台形。	A27・1・d S	
1001	33.00	21.40	7.05	〃	完形。先端は尖る。基部は横長裂片。二次調整面先端部には刃部方向からの剥離面あり。風化顕著。	A38・2・295	
1002	41.00	18.75	9.25	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。素材は横長裂片。背面にネガ面は見られない。刃部は先端から基部にかけて細長い剥離面が残る。	C18・1・231	
1003	35.00	21.15	8.00	〃	完形。両端が尖らない。基部は幅広。横長裂片を利用。基部には打面が残る。主要剥離面に打点あり。	B21・31	
1004	34.95	20.25	6.95	〃	完形。両端が尖る。素材は横長裂片。二次調整は先端から中央部にかけて施す。刃部は外彎を呈する。風化やや顕著。	A39・2・1447	
1005	36.95	16.10	8.20	〃	完形。両端が幅広。横長裂片を利用。主要剥離面を刃部側に施し、大きな打面を残す。二次調整は一側縁全面に施す。刃部は直縁状を呈する。断面は台形。	A38・5・1	
1006	41.15	17.60	9.60	〃	完形。両端は尖らない。横長裂片を利用。中央部に背面からの細長い剥離痕あり。主要剥離面は平坦面で打点は見られない。	A38・4・36	
1007	39.80	14.60	6.70	〃	完形。両端は尖る。横長裂片を利用。先端から中央部に二次調整を施す。基部に打面を残す。主要剥離面には打点あり。主要剥離面刃部側下半部に別の平坦な剥離面を持つ。	A4・1・c S	
1008	36.90	17.00	6.95	〃	完形。基部は尖る。横長裂片を利用。二次調整は主要剥離面側から両側縁に施す。	A24・2・8	
1009	43.75	13.20	6.85	〃	完形。先端は幅広く、基部は尖らない。横長裂片を利用。刃部には3面からなる。先端部には背面から二次調整を施す。断面はほぼ台形。	B9・885	
1010	38.80	20.90	7.45	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長裂片を利用。刃部の中央先端寄りから基部にかけては主要剥離面側から調整を施す。断面はほぼ台形。	B6・522	
1011	39.55	16.45	7.80	〃	完形。両端とも幅広。横長裂片の利用。二次調整面側の先端から中央部に自然面があり。基部には打面が残る。刃部下半部に主要剥離面側からの調整痕あり。断面はほぼ台形。	A37・5・b N	
1012	37.40	18.70	7.65	〃	完形。両端は幅広。横長裂片を利用。背面には複数のネガ面あり。二次調整は細かい。刃部に微少な剥離痕が残る。	B12・811	
1013	31.30	18.05	5.70	〃	完形。両端は幅広。横長裂片を利用。基部には複数のネガ面あり。二次調整は背面側から主要剥離面に向けて施す。	B12・811	
1014	32.10	18.45	6.00	〃	完形。両端は幅広。横長裂片を利用。基部には複数のネガ面あり。二次調整は背面側から主要剥離面に向けて施す。	B12・811	

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
1015	36.85	18.25	6.85	4.1	〃	完形。先端は尖る。基端は幅広。横長裂片を利用。背面には一側縁全面に二次調整を施す。打面を中央基部寄りに小さく残す。断面は台形。		A 25・2・223
1016	36.20	15.15	6.55	3.3	〃	完形。先端は幅広。基端はやや鋭い。横長裂片を利用。基部に僅かに自然面を残す。二次調整は丁寧に施す。刃部は2面よりなる。		B 21・733
1017	38.90	17.20	11.55	5.1	〃	完形。両端は尖る。横長裂片を利用。背面には先端から基部にかけて二次調整を粗く施す。刃部中央付近に小剥離面が見られる。断面は台形。		A 38・4・635
1018	48.40	16.10	9.35	6.1	〃	完形。先端は尖る。基端は尖らない。横長裂片を利用。背面には複数のネガ面あり。二次調整面は背面側から基部には細かく施す。刃部側中央先端寄りから基端にかけて二次調整を施す。先端部には微少な剥離面が見られる。		A 24・1・d S
1019	41.55	19.80	9.80	5.8	〃	完形。先端は尖る。基端は幅広。横長裂片を利用。主要剥離面は加撃方向の異なる2面よりなる。二次調整は下半部に施す。先端破損。横長裂片を利用。先端から基部にかけて二次調整を施す。主要剥離面先端に二次調整面側からの小剥離面あり。刃部は外彎。		A 29・2・b N
1020	37.80	12.40	4.60	2.2	〃	完形。両端は尖らない。横長裂片を利用。背面にはネガ面がない。二次調整は主要剥離面にはほぼ直角に細かく施す。		A 41・4・a S
1021	37.50	10.35	4.55	1.2	〃	完形。両端は尖らない。横長裂片を利用。先端から基部にかけて二次調整を施す。主要剥離面の基部には末端方向からの剥離面が残る。		B 9・74
1022	34.30	12.55	4.55	30.25	〃	完形。先端は尖らない。基端は幅広。二次調整は一側縁全面に粗く施す。主要剥離面基部には石核の側面と思われ剥離面が残る。背面からの小剥離面が2面見られる。		A 29・1・b N
1023	27.40	15.95	7.35	2.1	〃	完形。先端は尖らない。基端は幅広。横長裂片を利用。二次調整は一側縁全面に施す。主要剥離面二次調整面側中央部に背面からの小剥離面が2面見られる。		A 38・5・b S
1024	27.80	18.15	8.00	2.5	〃	完形。両端は少し幅広。横長裂片を利用。二次調整は一側縁全面に施す。刃部は外彎。断面はほぼ台形。		A 28・2・b S
1025	21.50	12.00	6.85	1.6	〃	完形。先端は尖る。基端は尖らない。横長裂片を利用。粗い二次調整を施す。主要剥離面の刃部側中央から基端にかけて細長い剥離面あり。又主要剥離面の二次調整面側にも打点の残る剥離面が3面見られる。風化顕著。		A 35・2・b N
1026	29.15	14.40	6.35	1.7	〃	完形。先端は尖る。基端は幅広。横長裂片を利用。二次調整は粗い。刃部に主要剥離面側からの小剥離面が見られる。風化顕著。		C 7・2・c N
1027	28.05	14.70	7.25	2.5	〃	完形。先端は少し尖り基部はやや幅広。横長裂片を利用。刃部は外彎。断面は三角形に近い台形。		A 37・4・a S
1028	30.10	14.80	7.65	2.4	〃	完形。両端も幅広。横長裂片を利用。背面には複数のネガ面を持つ。二次調整は中央部に1面だけ施す。主要剥離面の先端部に平坦な剥離面あり。ナイフ形石器か。風化顕著。		A 25・1・c S
1029	32.35	11.35	6.90	2.2	〃	完形。先端は尖らず。基部は幅広。横長裂片を利用。先端から中央にかけて打面を残す。主要剥離面に打点を残す。風化顕著。		A 25・2・a S
1030	30.15	16.55	5.05	2.4	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長裂片を利用。二次調整は細かい。刃部、二次調整面側共外彎。断面は三角形。		A 40・4・664
1031	28.65	13.75	6.45	1.9	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長裂片を利用。刃部、二次調整面側共外彎。断面は三角形。		A 42・5・215
1032	29.00	14.90	6.25	2.3	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長裂片を利用。刃部、二次調整面側共外彎。断面は三角形。		A 38・3・b N
1033	31.85	14.10	4.25	1.9	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長裂片を利用。刃部、二次調整面側共外彎。断面は三角形。		B 18・1006
1034	29.00	10.70	6.65	1.3	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長裂片を利用。刃部、二次調整面側共外彎。断面は三角形。		B 14・535
1035	28.80	18.80	6.15	2.9	〃	完形。両端も幅広。横長裂片を利用。二次調整は中央部にのみ施す。刃部は直線状である。風化顕著。		B 12・a N
1036	28.80	11.70	6.80	2.1	〃	完形。両端も幅広。横長裂片を利用。二次調整が3面施されていて粗雑である。刃部は直線状である。風化顕著。		C 18・1・a N
1037	29.75	14.60	7.90	2.5	〃	完形。両端も幅広。横長裂片を利用。二次調整が3面施されていて粗雑である。刃部は直線状である。風化顕著。		A 38・3・522
1038	31.95	15.80	5.10	1.9	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長裂片を利用。中央部より先端にかけて二次調整を施す。主要剥離面に打点を残す。断面は三角形。		A 36・3・2032
1039	29.35	13.00	6.40	2.1	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長裂片を利用。刃部は外彎。断面は三角形。風化顕著。		B 19・195
1040	29.15	16.00	5.60	1.9	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。横長裂片を利用。底面は先端から中央部にかけて残る。一側縁全体に二次調整を施す。風化顕著。		A 39・2・531

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
1041	29.15	17.25 6.45	2.4	〃	〃	完形。先端はやや尖り、基部は薄く幅広。横長裂片を利用。先端から基部にかけて全面に二次調整を細かく施している。断面は台形。	A37・2-822
1042	26.45	19.15 5.80	2.6	〃	〃	完形。両端が幅広。横長裂片を利用。先端から基部にかけて二次調整を丁寧に施す。刃部は2面よりなり中央部に主要剥離面側からの小剥離痕が見られる。断面は台形。風化顕著。	A38・2-1766
1043	35.30	12.45 8.40	2.3	〃	〃	完形。先端は尖り、基部は薄く幅広。横長裂片を利用。先端に自然面あり。二次調整は下半部に施す。底面の先端に背面からの小剥離痕を残す。	A39・3-1108
1044	29.60	16.45 7.65	2.6	〃	〃	完形。先端は尖り、基部はやや厚く幅広。横長裂片を利用。先端に自然面あり。先端から基部にかけて二次調整が施されている。	A27・2-193
1045	26.95	15.10 6.10	2.3	〃	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。横長裂片を利用。背面下部に末端方向からの剥離痕あり。先端から基部にかけて二次調整を施す。	A6・1035
1046	26.00	9.80 5.75	1.0	〃	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。横長裂片利用のナイフ。二次調整は主要剥離面にほぼ直角に行う。刃部は外彎。断面は三角形。刃部に微少な剥離痕あり。風化顕著。	A25・2・c N
1047	28.45	9.85 5.25	1.2	〃	〃	完形。両端が尖らない。横長裂片を利用。二次調整は上半部に粗く施す。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈す。風化顕著。	C18・1・a N
1048	25.50	11.70 5.30	1.3	〃	〃	完形。先端も基部も尖らない。横長裂片を利用。二次調整は下半部に細かく施す。底面は2面よりなる。	C6・1-284
1049	22.15	12.30 4.55	1.0	〃	〃	完形。先端は薄く幅広。基部も幅広。横長裂片を利用。二次調整は全て主要剥離面側から施す。刃部は内彎を呈する。断面は台形。風化やや顕著。	A41・2-38
1050	23.50	10.70 4.55	0.9	〃	〃	完形。両端が尖る。横長裂片を利用。主要剥離面の基部に末端方向からの剥離を施す。二次調整は背面側から行う。断面は台形。	A36・4・1523
1051	20.05	18.60 6.35	1.7	〃	〃	完形。先端は尖らず、基部は薄く幅広。横長裂片を利用。先端から基部にかけて二次調整を施す。	B16・282
1052	28.40	9.25 3.90	0.9	〃	〃	完形。先端は尖り、基部は尖らない。横長裂片を利用。背面は底面と思われる平坦な2面のみ残る。二次調整は背面から一側縁全面に施す。風化やや顕著。	A8・1-241
1053	24.70	8.70 4.30	0.6	〃	〃	完形。両端がやや尖る。横長裂片を利用。二次調整は一側縁全体に施されている。断面は三角形。基部調整を小さく行う。	B4・614
1054	26.95	9.15 2.40	0.4	〃	〃	完形。両端が尖る。横長裂片を利用。背面は1面。二次調整は先端から基部寄りにかけて施す。主要剥離面の基部に背面からの小調整が見られる。	A40・3・d N
1055	19.95	9.25 3.45	0.6	〃	〃	完形。先端はやや尖り、基部は幅広で横長裂片を利用。背面。主要剥離面は1面ずつ。一側縁に両面から二次調整を施す。	A26・1-438
1056	17.90	9.70 3.65	0.5	〃	〃	完形。先端はやや尖るが基部は薄く幅広で横長裂片を利用。二次調整は一側縁全面に細かく施す。断面は三角形を呈す。	A23・2・b S
1057	22.00	7.00 6.80	1.0	〃	〃	完形。両端が尖らない。横長裂片を利用。主要剥離面の先端部に上方からの剥離面を残す。基部に小剥離痕あり。底面中央部に背面からの小剥離痕が残る。	C14・1・a N
1058	63.80	33.70 8.40	15.8	〃	〃	先端部破損。基部は薄く幅広。横長裂片を利用。中央から基部にかけて打面を残す。主要剥離面に打点あり。先端部から基部にかけて細かい二次調整を施す。背面基部に末端方向からの剥離面が見られる。風化顕著。	B21・1938
1059	59.25	41.00 16.40	24.9	〃	〃	先端部破損。基部は幅広。横長裂片を利用。背面の二次調整面側上半部に自然面を残す。素材は肉厚で幅広である。刃部は山形。二次調整面側はほぼ直線状。断面は台形を呈す。	A35・3・1021
1060	52.70	22.45 11.85	15.4	〃	〃	刃部上半部及び基部の一部欠失。基部側は幅広。横長裂片を利用。基部に自然面を残す。中央よりやや基部寄りに打面を残し、主要剥離面に打点を残す。風化顕著。	C13・1・d N
1061	59.85	32.80 10.05	17.5	〃	〃	先端部破損。先端は尖る。横長裂片を利用。先端から基部にかけて二次調整を施す。背面刃部側下半部に自然面を残す。	A39・3-496
1062	43.55	13.50 8.65	3.7	〃	〃	先端部破損。基部はやや幅広。横長裂片を利用。背面下半部に粗く二次調整を行うが、打点部は折れる。主要剥離面の刃部側基部には底面からの小剥離痕が複数見られる(基部調整が)。風化顕著。	A36・2-797
1063	41.70	14.05 7.90	3.5	〃	〃	完形。両端とも尖っている。翼状裂片を利用が。打面は一側縁全面に残す。打面上端部に背面からの小剥離痕が見られる。背面下半部のネガ面の縁辺に二次調整を行う。刃部の上半部に主要剥離面側から調整を施し。下半部は折損面を利用。	A34・2・a N
1064	42.50	27.50 12.20	12.3	〃	〃	刃部の中央部欠失。基部は幅広。横長裂片を利用。先端から中央にかけて二次調整が施されている。主要剥離面の刃部側基部に小剥離痕が見られる。	A38・2-903
1065	52.25	33.75 7.00	5.8	〃	〃	刃部先端部と基部を僅かに欠失。先端は尖る。基部はやや幅広。横長裂片を利用。背面先端から中央にかけて二次調整を施す。断面は台形。	A38・4・a N
1066	42.55	25.55 4.75	4.6	〃	〃	両端破損。基部は幅広。扁平な横長裂片を利用。背面にはネガ面は残らない。刃部は外彎する。	A36・2-28

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
1067	43.50	28.20	6.3	サヌカイト	基部は幅広く縁辺を欠失。横長裂片を利用。基部に打面を残す。背面には幅広い底面が残っている。	A34・2・d N	A34・2・d N
1068	46.25	22.35	8.1	〃	基部破損。横長裂片を利用。背面に複数のネガ面あり。二次調整は一側縁全面に施す。断面はほぼ三角形。	A39・1・715	A39・1・715
1069	49.75	24.90	10.2	〃	基部破損。横長裂片を利用。刃部の中央部に二次調整を行う。断面は三角形。	C8・1・a N	C8・1・a N
1070	53.15	17.90	12.1	〃	両端とも破損。肉厚な横長裂片を利用。底面全体と背面の一部に自然面を残す。二次調整は細かい。断面は三角形。	A40・2・d S	A40・2・d S
1071	47.65	22.00	8.9	〃	先端破損。基部は尖る。横長裂片を利用。背面の先端から基部にかけて二次調整を施す。基部には背面からの剥離面を残す。断面はほぼ三角形。	A35・3・1288	A35・3・1288
1072	49.00	35.40	14.25	〃	刃部上半部破損。基部は幅広。肉厚な横長裂片を利用。	A29・1・c S	A29・1・c S
1073	45.05	25.35	9.30	〃	先端破損。基部は幅広。横長裂片を利用。背面と二次調整面の一部に自然面を残す。中央先端より打面と主要剥離面に打点を残す。風化顕著。	C17・b N	C17・b N
1074	54.50	26.45	8.55	〃	刃部の中央先端寄りから基部にかけて破損。横長裂片を利用。二次調整は一側縁全面に丁寧に施す。	A35・4・231	A35・4・231
1075	44.25	25.45	10.1	〃	基部破損。横長裂片を利用。二次調整は粗く3面施す。主要剥離面の先端に石核の側面を残す。断面は台形。	A36・2・1737	A36・2・1737
1076	56.15	23.25	8.05	〃	両端破損。横長裂片を利用。背面の先端と基部に二次調整を施す。刃部の先端部に調整を施す。断面は三角形。	A40・5・239	A40・5・239
1077	47.05	20.80	6.7	〃	先端破損。基部はやや幅広。横長裂片を利用。底面上半部は二次調整面方向からのネガ面、二次調整は一側縁全面に施す。	A35・3・1151	A35・3・1151
1078	51.20	15.20	9.40	〃	基部破損。先端は尖る。横長裂片を利用。背面の二次調整面側中央から基部にかけて自然面が残る。先端から基部にかけて二次調整を施す。断面は台形。	A36・5・38	A36・5・38
1079	46.00	13.80	5.6	〃	両端破損。横長裂片を利用。刃部の中央部に二次調整を施す。主要剥離面は平坦な2面よりなる。	A38・2・1352	A38・2・1352
1080	35.05	16.00	4.4	〃	先端破損。基部は幅広。横長裂片を利用。二次調整は一側縁全面と刃部の先端寄りから基部にかけて施す。風化顕著。	A30・1・c S	A30・1・c S
1081	45.05	20.00	6.0	〃	先端は尖る。基部破損。横長裂片を利用。底面の下半部は未端方向からの剥離面、刃部は中央から先端よりにかけて主要剥離面側から小剥離を残す。	A39・2・974	A39・2・974
1082	33.00	17.80	9.05	〃	先端は尖る。基部破損。横長裂片を利用。粗い二次調整を施す。	A39・2・1408	A39・2・1408
1083	41.45	18.35	4.5	〃	先端破損。基部は幅広。横長裂片を利用。底面が狭い。底面は刃部方向からの3面の剥離面。主要剥離面の基部には打点のない剥離痕を3面持つ。	A38・5・a N	A38・5・a N
1084	32.70	15.45	2.8	〃	基部破損。先端は尖らない。横長裂片を利用。背面の先端から基部まで二次調整を施す。刃部、中央部に主要剥離面側からの小剥離痕を残す。	A38・1・4790	A38・1・4790
1085	38.60	14.70	2.9	〃	先端破損。基部は幅広。横長裂片を利用。二次調整は一側縁全面に丁寧に施す。	A27・2・63	A27・2・63
1086	48.35	18.97	8.8	〃	先端破損。基部は幅広。横長裂片を利用。主要剥離面の先端部に細長い剥離面を残す。石核の側面から二次調整は粗い。	C14・1・c N	C14・1・c N
1087	31.40	19.45	5.1	〃	内部の下半部欠失。基部に打面を残す。主要剥離面に打点あり、二次調整は先端部に施す。背面にはネガ面はない。断面は三角形。	C18・1・c N	C18・1・c N
1088	32.05	18.85	6.85	〃	刃部の先端から基部にかけて欠失。横長裂片を利用。先端から基部まで二次調整を施す。	A38・4・900	A38・4・900
1089	48.15	16.65	9.10	〃	両端破損。横長裂片を利用。背面の中央部から基部にかけて二次調整を施す。断面は三角形。	A24・2・84	A24・2・84
1090	42.20	19.40	5.50	〃	先端部破損。基部は尖る。横長裂片を利用。底面の基部に調整を施す。断面は台形。	B21・973	B21・973
1091	41.40	18.30	8.6	〃	両端破損。横長裂片を利用。背面の中央部から基部にかけて二次調整を施す。二次調整の上半部は背面からの加撃。断面は三角形。	A36・4・92	A36・4・92
1092	18.60	9.45	0.4	〃	先端は尖る。刃部の下半部破損。横長裂片を利用。背面の先端から基部まで二次調整を施す。背面にはネガ面がない。	A39・2・786	A39・2・786

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅					
1093	36.45	19.30	3.8	〃	基端破損。先端は尖らない。横長裂片を利用。底面は2面よりなる。背面の先端から基端にかけて二次調整を施す。断面は三角形。	A38・5・b N	
1094	37.15	18.90	4.7	〃	先端破損。基部は幅広。横長裂片を利用。二次調整は基部に施す。背面先端部に上方からの剥離面あり。断面は三角形。	A40・2・496	
1095	44.35	21.55	5.0	〃	先端破損。基部は尖る。横長裂片を利用。底面は下半部に細く残る。上半部はネガ面。断面は台形。	B7・332	
1096	44.10	18.10	6.6	〃	両端破損。横長裂片を利用。底面は2面よりなる。背面にはネガ面がない。中心部から基端にかけて、打面を残す。主要剥離面には打点あり。風化顕著。	A39・1・d S	
1097	40.75	18.65	5.9	〃	先端破損。刃部を一部欠失。横長裂片を利用。粗い二次調整を施す。	C13・1・b N	
1098	39.60	16.20	3.9	〃	先端は尖る。基部は幅広。刃部を僅かに欠失。横長裂片を利用。粗い二次調整を施す。主要剥離面の先端部に背面からの剥離面あり。断面は台形。	C14・2・43	
1099	26.60	11.85	1.3	〃	基端部破損。先端は尖る。横長裂片を利用。二次調整面は先端部と底面の中央部に自然面を残す。二次調整は中央先端寄りから基端にかけて丁寧に施す。	A40・5・b S	
1100	46.55	22.90	8.5	〃	基端部破損。先端は幅広。横長裂片を利用。主要剥離面の先端部に石核の側面を残す。粗い二次調整を施す。	A40・3・d N	
1101	37.55	22.40	7.2	〃	基端部破損。先端は尖らない。横長裂片を利用。基部に自然面を残す。刃部は直線状を呈する。風化顕著。	C5・2・a N	
1102	40.20	20.40	5.2	〃	先端破損。基部は幅広。横長裂片を利用。二次調整は先端から基端にかけて施す。底面は2面よりなる。刃部の基部に主要剥離面側からの小剥離痕あり。	A34・2・535	
1103	42.25	23.95	7.0	〃	先端部及び刃部の一部破損。背面基部に末端方向からの剥離痕が複数残る。	A35・2・727	
1104	38.15	15.40	3.7	〃	先端部破損。基部はやや幅広。横長裂片を利用。上半部は主要剥離面側から下半部は背面側から二次調整を施す。刃部は外巻。二次調整面は山形を呈する。風化顕著。	A35・3・d N	
1105	35.25	19.70	4.1	〃	先端破損。基部は幅広で自然面を残す。横長裂片を利用。二次調整は丁寧に施す。刃部は直線状を呈する。	A39・4・75	
1106	39.35	18.80	5.9	〃	両端破損。基部は幅広。横長裂片を利用。主要剥離面の打面側には細長い剥離面が残る。刃部側に主要剥離面側から二次調整を施す。	A25・1・a N	
1107	39.10	19.50	4.7	〃	基端部破損。先端は尖らない。横長裂片を利用。刃部の中央部から基端にかけて主要剥離面側から調整を施す。主要剥離面は末端方向からの剥離か。	A40・4・b S	
1108	39.80	20.30	5.1	〃	先端破損。基部は幅広。横長裂片を利用。二次調整は下半部にかたよる。主要剥離面の打面側上半部に背面からの剥離面あり。断面はほぼ三角形。	A17・1・65	
1109	35.35	18.30	3.1	〃	先端破損。基部は尖る。横長裂片を利用。背面の先端から中央部にかけて二次調整を施す。基部には背面側からの小剥離痕が見られる。刃部の基部に細長い剥離面が見られる。	A36・5・274	
1110	35.40	17.85	3.8	〃	両端破損。横長裂片を利用。二次調整は下半部にかたよる。上半部には打点のないネガ面を持つ。風化顕著。	A40・2・b S	
1111	45.00	17.95	6.1	〃	基端部破損。先端は尖らない。横長裂片を利用。主要剥離面の打面側には細長い剥離面を持つ。二次調整は粗く施す。風化顕著。	A38・3・a S	
1112	37.90	19.90	4.6	〃	先端破損。基部は尖る。横長裂片を利用。背面下半部に自然面を残す。二次調整は先端から基部より粗く施す。断面は台形。	A35・3・647	
1113	36.60	15.95	3.3	〃	基端部破損。先端は鋭く尖る。横長裂片を利用。底面は2面よりなる。二次調整は上半部に施す。基部には主要剥離面より古い背面からの剥離痕を残す。断面は台形。	A41・4・a N	
1114	32.10	15.85	3.2	〃	基端部破損。先端は幅広。横長裂片を利用。刃部は複数面からなる。主要剥離面打面側上半部に背面からの剥離痕を2面持つ。	B20・193	
1115	32.65	17.95	3.5	〃	基端部破損。先端は幅広。横長裂片を利用。粗い二次調整を施す。主要剥離面刃部側基部より小剥離痕あり。	A14・1・a N	
1116	33.10	18.00	3.0	〃	両端破損。横長裂片を利用。底面は下半部は刃部側からの複数の剥離痕が残る。刃部は直線状を呈する。風化顕著。	A38・1・627	
1117	30.00	12.40	1.3	〃	先端部破損。基部は幅広。薄い横長裂片を利用。背面は先端から基部まで二次調整を施す。断面は台形。	B11・407	
1118	28.95	10.90	2.2	〃	先端部破損。基部は幅広。横長裂片を利用。二次調整は粗く下半部は打点付近で折損する。	A38・1・3860	

番号	法 量			石 質	重 量	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
1119	34.15	18.55	7.65	サヌカイト	3.6	基端部破損。先端は幅広。縦長剥片を利用。底面は複数面よりなる。背面は先端から基端にかけて二次調整を施す。断面は三角形。		A24・1・d S
1120	29.85	21.45	5.10	〃	2.9	先端破損。基部は幅広。縦長剥片を利用。主要剥離面の下半部に背面からの細い剥離直を残す。刃部は外彎。二次調整面側は山形を呈す。		A22・1・a S
1121	37.30	15.90	7.50	〃	1.3	先端破損。基部は幅広。縦長剥片を利用。二次調整は中央先端寄りから基端にかけて施す。主要剥離面の打面側先端部には背面からの剥離面が細く残る。		A41・3・d N
1122	28.45	13.55	5.70	〃	2.0	基端部破損。先端は少し尖る。縦長剥片を利用。背面には複数のネガ面あり。底面は基部に小さく残る。		A38・2・1981
1123	33.50	15.45	4.80	〃	2.2	先端破損。基部は幅広。縦長剥片を利用。背面基部に末端方向からの小剥離痕が複数見られる。刃部は外彎。二次調整面側は直線状を呈する。		A40・2・d S
1124	36.50	14.15	8.60	〃	3.1	両端破損。縦長剥片を利用。中央先端寄りから基端にかけて打面を残す。主要剥離面に打点あり。底面は2面よりなる。断面はほぼ台形。		B15・e N
1125	49.45	18.80	10.75	〃	7.3	先端破損。基部は幅広。縦長剥片を利用。二次調整は上半部にかたよる、下半部は背面からの剥離痕を持つ。断面は三角形。		A41・5・d N
1126	25.15	14.77	4.95	〃	1.5	刃部上半部破損。中央部に細かい二次調整を施す。		A39・4・c N
1127	24.95	12.20	4.30	〃	1.2	基端部破損。先端は幅広。縦長剥片を利用。二次調整は先端部にのみ施す。下半部は剥片剥離を行う前の折損面を利用。主要剥離面先端部に背面からの剥離痕を持つ。		A40・3・b S
1128	22.10	15.90	6.45	〃	2.0	完形。両端は幅広。縦長剥片を利用。二次調整は先端部に施さない。風化やや顕著。		A40・2・458
1129	22.30	10.65	3.15	〃	0.6	両端破損。縦長剥片を利用。二次調整は一側縁全面に施す。背面、主要剥離面共1面ずつ。断面は三角形。		A40・3・c S
1130	28.05	14.20	6.95	〃	2.4	基端部破損。先端は尖る。縦長剥片を利用。底面は下半部に残る。上半部は刃部方向からのネガ面、二次調整は丁寧に施す。風化顕著		C5・2・a N
1131	24.25	10.95	6.05	〃	1.1	先端破損。基部は少し尖る。縦長剥片を利用。背面の上半部は二次調整を施さない。断面は三角形。		B18・d N
1132	34.70	14.05	6.00	〃	2.5	両端が尖る。刃部の中央部破損。縦長剥片を利用。二次調整は一側縁全面に面から、細かく施す。		A8・1・47
1133	34.90	15.60	6.30	〃	2.5	基端部破損。先端は尖る。縦長剥片を利用。背面の基部には主要剥離面側から、主要剥離面の先端から基部よりにかけては背面から二次調整を行う。断面は台形。		A35・2・d N
1134	29.80	14.60	4.70	〃	1.8	刃部の上半部破損。主要剥離面の先端から基部にかけての二次調整面側に自然面を残す。二次調整は先端から基端まで細かく施す。縦長剥片を利用。		A25・1・c N
1135	37.95	17.00	6.25	〃	3.7	基部破損。先端は幅広。二次調整面の中央部に自然面を残す。風化やや顕著。縦長剥片を利用。		A39・2・110
1136	37.55	24.05	6.70	〃	4.6	先端破損。基部は幅広。基部に打面を残す。二次調整は基部に2面施す。背面基部には、末端方向からの剥離痕あり。縦長剥片を利用。		A39・4・62
1137	42.55	16.10	6.70	〃	5.2	先端部破損。基部は尖らない。二次調整は先端部に施さない。刃部は中央から基部に細い剥離面を残す。縦長剥片を利用。		A39・3・837
1138	55.35	16.00	8.70	〃	5.2	先端破損。基部は幅広。両側縁の基部に主要剥離面側から二次調整を施す。縦長剥片を利用。		A36・2・2738
1139	47.70	20.60	7.95	〃	7.1	先端破損。基部は尖る。縦長剥片を利用。二次調整は打面側の中央から基部にかけてと刃部側全面に施す。		A34・2・b S
1140	48.60	23.70	8.90	〃	7.8	先端破損。基部は幅広。縦長剥片を利用。基部にはわずかに打面を残す。底面は自然面を利用。二次調整は基部に粗く施す。		B24・b S
1141	28.15	15.15	6.65	〃	2.7	先端は尖らない。基部は幅広。刃部先端寄りから基端にかけて破損。縦長剥片を利用。二次調整は背面側から施す。		B18・568
1142	43.90	15.95	9.40	〃	4.4	完形。両端が尖る。縦長剥片利用の切出し形ナイフ。基部には細く打面を残す。底面下半部は基部方向から剥離を施す。		A41・4・d S
1143	32.60	18.25	5.75	〃	3.3	完形。先端部は幅広。基部は尖る。両側縁に二次調整を施す。断面は台形。		B16・791
1144	39.40	10.60	7.05	〃	1.6	完形。先端は鋭く尖る。基部は尖らない。素材は横長剥片、刃部中央先端寄りから基部に二次調整を施し切出し形にする。打面側の二次調整は一側縁全面に施し、外彎を呈す。		B4・991

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
1145	27.90	11.45 ^{mm} 4.75 ^{mm}	1.0 ^g	サヌカイト	完形。両端が尖る。薄い縦長剥片利用の切出し形ナイフ。刃部下半部に調整を施す。		A40・5・33
1146	28.60	14.65	1.3	〃	完形。先端は幅広。基部は尖らない。縦長剥片利用の切出し形ナイフ。二次調整は主要剥離面の打面側全面と反対側の基部付近に施す。断面は扁平な台形。		B22・b S
1147	31.10	12.25	1.8	〃	先端部破損。基部は尖らない。素材は縦長剥片。二次調整は背面側から施す。基部にも調整を施し、切出し形に整形。風化顕著。		A40・2・d N
1148	30.90	11.80	1.2	〃	先端部幅広。基部破損。縦長剥片を利用。両側縁に二次調整を施し切出し形ナイフに整形。断面は台形。		A38・1・2537
1149	35.40	17.40	2.4	〃	先端部破損。基部は尖らない。縦長剥片を利用。主要剥離面の打面側は背面側から、反対側は主要剥離面から二次調整を施し、切出し形に整形する。		C4・1・c N
1150	25.45	10.05	1.8	〃	先端は尖る。基部破損。縦長剥片利用の切出し形ナイフ。打面側の先端部に調整を施し、基部を刃部とする。反対側の側縁は全面に二次調整を施す。断面は三角形状。		A12・1・292
1151	24.55	11.75	1.4	〃	先端は尖る。基部破損。縦長剥片利用の切出し形ナイフ。主要剥離面刃部基部と背面刃部先端部に調整を施す。刃部には微小な剥離痕が見られる。		B3・1002
1152	25.10	9.90	0.8	〃	両端が尖らない。刃部一部欠失。薄い縦長剥片を利用。刃部中央部から基部に調整を施し切出し形ナイフとする。断面は扁平な台形。		B14・b N
1153	36.85	12.15	1.9	〃	完形。先端は鋭く尖る。基部は尖らない。薄い縦長剥片を利用。基部に主要剥離面側から調整を施す。		B14・7
1154	37.20	13.60	3.5	〃	先端は尖る。基部は幅広。刃部の一部欠失。縦長剥片を利用。基部に主要剥離面側から調整を施す。断面は三角形。		A8・2・d N
1155	71.10	35.20	21.5	〃	完形。両端が尖らない。縦長剥片を利用した大形のナイフ。側面は上半部に二次調整、下半部は自然面を残す。基部には側面側には背面側から、刃部側には主要剥離面側から調整を施す。断面は台形。風化顕著。		A33・2・c S
1156	75.60	33.10	18.8	〃	完形。両端がやや尖る。縦長剥片利用か。主要剥離面の加撃点と逆方向を基部とする側面基部に二次調整を施す。刃部に多数の小剥離が見られる。		C8・1・61
1157	61.70	36.30	18.2	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。縦長剥片利用のナイフ。側面先端部と基部の刃部側に二次調整を施す。主要剥離面の側面に剥離痕が見られる。		A34・2・c N
1158	47.35	24.75	5.6	〃	先端部破損。基部は幅広。縦長剥片を利用。背部下半部には階段状剥離が見られる。片側縁にはほぼ全面に調整を施す。風化顕著。		A25・1・d S
1159	30.05	17.15	5.2	〃	完形。先端は幅広。基部は尖らない。縦長剥片を利用。両側縁に二次調整を施す。断面は台形。		C18・1・c S
1160	41.60	16.85	4.6	〃	完形。先端は尖らず自然面を残す。基部は尖る。背面側から一側面に二次調整を施す。風化顕著。縦長剥片を利用。		A39・3・d N
1161	34.90	15.00	2.9	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。縦長剥片を利用。主要剥離面側から一側縁全面に二次調整を施す。主要剥離面刃部側の中央部から基部にかけて調整を施す。		A42・4・a S
1162	44.45	21.40	6.9	〃	先端は尖らない。基部は幅広。刃部先端部欠失。二次調整は先端部には施さない。刃部側の中央部から基部にかけて調整を施す。縦長剥片を利用。		B5・569
1163	45.25	7.90	4.9	〃	先端部破損。基部は幅広。縦長剥片を利用。側面先端部から基部付近まで自然面が残る。主要剥離面の基部と先端部に調整が見られる。風化顕著。		A38・2・b S
1164	42.20	21.20	5.6	〃	先端部及び刃部の一部破損。基部は幅広。縦長剥片を利用。基部に複数の剥離面と小調整が見られる。		B5・495
1165	30.70	21.95	4.4	〃	先端部破損。基部は幅広。縦長剥片を利用。一側縁全面と基部に二次調整を施す。縦長剥片を利用。		C8・1・115
1166	30.25	19.00	2.9	〃	先端部破損。基部は幅広。縦長剥片を利用。側面の一部と基部に自然面を残す。刃部に基部調整を施す。		A41・4・a N
1167	23.85	14.90	2.4	〃	先端は幅広。基部破損。縦長剥片を利用。底面は自然面を残す。		B20・614
1168	29.50	14.90	2.0	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。縦長剥片を利用。主要剥離面の加撃方向を先端部とする。刃部に基部調整を施し、切出し形ナイフに整形。断面は台形。		A10・1・a N
1169	28.85	12.15	1.5	〃	完形。両端が尖る。縦長剥片利用の切出し形ナイフ。二次調整は一側縁全面に主要剥離面側から施す。主要剥離面刃部に基部調整を施す。風化顕著。		B6・212
1170	32.20	16.00	1.7	〃	完形。両端が尖る。縦長剥片を利用。側縁全面に二次調整を施す。主要剥離面の加撃方向と逆方向を刃部とし基部調整を施し、切出し形ナイフとする。		A11・1・c S

番号	法 量			石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ				
1171	27.90	10.50	4.60	1.4	サヌカイト	先端はやや幅広。基端部破損。縦長剥片利用の切出し形ナイフ。一側縁全面及び刃部側の基部に、二次調整を施す。	B18・e S
1172	47.35	18.60	6.15	4.7	玻璃質安山岩	先端は尖る。基部は幅広。縦長剥片を利用。二次調整は一側縁全面と刃部の基部に施す。刃部側先端部は新しい剥離痕か。断面は台形。	A39・3・c N
1173	30.00	15.50	4.90	1.5	サヌカイト	先端は尖る。基端部破損。玻璃質安山岩に類似石材の横長剥片利用。刃部先端部に小調整を施す。	A10・1・55
1174	27.30	11.80	8.75	2.1	〃	先端は尖る。基端部破損。玻璃質安山岩に類似石材の横長剥片を利用。刃部先端部から中央にかけて剥離痕が4面見られる。断面は三角形状を呈する。	A2・1・341
1175	52.15	17.65	8.00	7.4	〃	先端は尖る。基部は幅広。刃部の一部欠失。玻璃質安山岩に類似石材を使用。背面にはネガ面が3面あり。刃部は直線状を呈する。断面は台形。	A42・5・a N
1176	56.00	22.05	9.45	9.3	〃	先端は尖らない。基部は尖る。玻璃質安山岩に類似石材の縦長剥片を利用。側面の基部に自然面を残す。刃部側先端部に二次調整を施す。左図下部の剥離痕が主要剥離面か。	C17・2・a N
1177	52.75	24.20	6.20	7.4	〃	先端部破損。基部は尖る。玻璃質安山岩に類似石材、翼状剥片利用の可能性あり。先端部に打面が残る。刃部中央から基部より剥離痕あり、断面は台形。	A37・4・570
1178	52.85	16.00	7.00	5.7	〃	両端破損。玻璃質安山岩類似石材、背面にネガ面が3面見られる。二次調整は一側縁全面に細かく施す。断面は台形。	A35・3・670
1179	37.55	12.85	7.90	3.7	〃	両端破損。玻璃質安山岩類似石材。背面には複数のネガ面が見られる。主要剥離面の打面側中央から基部に剥離痕が2面ある。	A3・1・c S
1180	38.15	14.90	8.35	4.2	〃	先端は尖らない。基端部破損。玻璃質安山岩類似石材の横長剥片利用。主要剥離面の先端部に剥離痕が2面見られる。背面上半部両側縁に細かい剥離痕が残る。背面に縦裂きの剥離痕を持つ。	A5・1・a N
1181	31.05	17.15	10.15	4.0	〃	両端部破損。玻璃質安山岩類似石材。背面にネガ面は見られない。刃部は外彎。断面は三角形を呈する。	A5・1・b N
1182	55.80	28.15	10.35	—	遺物不明	先端から刃部上半部破損。基部は幅広。素材は横長剥片、二次調整は先端部に施さない。	
1183	28.35	17.00	6.40	2.6	玻璃質安山岩	先端部破損。基部は尖る。横長剥片を利用。主要剥離面に打点と僅かに打面を残す。二次調整は背面から施す。背面刃部に基部調整を施す。	C14・1・684
1184	26.00	12.15	5.55	1.7	〃	先端は尖らない。刃部下半部から基部にかけて破損。横長剥片を利用。二次調整は主要剥離面から一側縁全面に施す。	C16・1・531
1185	30.05	18.40	7.15	2.7	〃	先端部破損。基部は尖る。横長剥片を利用。二次調整は上半部にかたよる。底面は2面よりなる。	A37・1・335
1186	24.40	9.60	6.50	0.9	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。二次調整は背面から一側縁全面に施す。	A41・4・d S
1187	18.55	11.00	4.60	0.8	〃	完形。先端部は幅広。基部は尖る。小形の切出し形ナイフ。両側縁に二次調整を施す。	A35・2・b S
1188	19.15	8.00	4.05	0.7	〃	先端は尖らない。基端部破損。縦長剥片を利用。断面は台形。	A39・3・1037
1189	21.05	9.95	5.00	0.8	〃	先端部破損。基部は尖る。両側縁に主要剥離面と背面の両方から二次調整を施す。断面は台形。縦長剥片を利用。	A21・1・535
1190	27.50	11.30	4.45	1.6	〃	先端部破損。基部は尖らない。縦長剥片を利用。背面は複数の剥離面よりなる。	A40・4・d S
1191	21.95	9.15	6.70	1.2	〃	先端は尖る。基部はやや幅広。縦長剥片利用。背面には自然面を残す。基部調整を施し切出し形に整形。	A13・1・d S
1192	41.15	12.65	6.05	2.7	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。縦長剥片を利用。二次調整は両側縁の先端部に小さく施す。断面は台形。	C13・1・430
1193	25.30	10.65	5.00	1.1	〃	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。縦長剥片を利用。二次調整は基部と先端部に小さく施す。	A20・1・27
1194	29.95	8.05	4.40	1.0	〃	先端部破損。基部は尖る。縦長剥片を利用。二次調整は一側縁全面と刃部の基部に施し切出し形ナイフとする。断面は台形。	C8・1・100
1195	21.05	9.95	5.00	0.8	〃	完形。先端は鋭く尖る。基部は尖らない。縦長剥片を利用。主要剥離面から一側縁全面に二次調整を施す。刃部の下半部に背面から調整を施し切出し形にする。	A21・1・535
1196	37.95	17.45	7.65	4.9	流紋岩	完形。先端は尖らない。基部はやや幅広。翼状剥片ファーストフレイク。刃部は外彎。断面は台形。	A29・1・c S

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
1197	42.35	16.55	4.8	流 紋 岩	先端は尖る。基部は直線状を呈する。	基部に打面調整の面を残す。刃部は外彎。二次調整面は直線状を呈する。	B9・376
1198	48.95	24.60	13.2	〃	先端部破損。基部は幅広。国府型ナイフと思われ。主要剥離面打面側先端より剥離痕が1面見られる。断面は台形。		A39・2・d N
1199	72.45	17.95	14.1	〃	先端部及び刃部の一部破損。基部は尖らない。背面にネガ面が残らない。断面は三角形。		B23・a S
1200	56.55	13.30	14.2	〃	完形。両端が尖る。中央から基部にかけてネガ面を残す。刃部は外彎。二次調整面側はほぼ直線状を呈す。		B17・424
1201	44.00	16.95	5.2	〃	先端部破損。基部は幅広。国府型ナイフか。複数の面で底面を形成。二次調整は基部に施さない。断面は台形。		B24・20
1202	40.15	17.65	5.0	〃	両端破損。背面にネガ面は見られない。断面は三角形状を呈する。		A22・1・c N
1203	21.35	21.00	2.7	〃	ナイフ形石器の破片。背面にネガ面は見られない。		B1・8・a S
1204	14.25	9.30	0.6	黒 曜 石	完形。先端は尖らず、基部は尖る。刃部中央から基部に調整を施し切出し形ナイフに整形。縦長剥片を利用。		A34・2・888
1205	12.95	11.10	0.7	〃	先端部破損。基部は尖らない。切出し形ナイフ。両側縁に二次調整を施す。縦長剥片を利用。		A18・1・33
1206	30.45	12.30	1.4	サヌカイト	完形。先端、基部とも尖るが、先端は特に鋭い。小形で幅広。刃部はゆるく外彎し、主要剥離面の打面側は山形。打面全体と刃部の先端部に主要剥離面側から二次調整を施す。断面は四角形。		A22・23・1
1207	32.40	16.00	2.9	〃	完形。先端は鋭く尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。打面全体と刃部の先端部に主要剥離面側から二次調整を施す。断面は台形。		A35・3・b S
1208	36.80	13.05	2.1	〃	基部部破損。先端は鋭く尖る。翼状剥片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部の先端部に主要剥離面側から二次調整を施す。		A2・1・a S
1209	34.80	14.60	2.5	〃	完形。両端が尖る。翼状剥片を利用。主要剥離面の基部には打面が残る。打面側の先端から基部よりにかけてと、刃部の先端部に二次調整を施す。断面は台形。		A15・1・a N
1210	39.95	14.20	3.0	〃	先端部は鋭く尖る。基部部破損。翼状剥片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部の上半部に主要剥離面側から二次調整を施す。		C20・1・a N
1211	43.70	15.10	3.4	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。底面は2面よりなる。主要剥離面の打面側中央から先端にかけての一部を除いた縁辺と刃部の先端部に主要剥離面側から二次調整を施す。		A38・3・d N
1212	47.05	14.95	4.4	〃	先端は尖る。基部部破損。縦長剥片を利用か。背面基部に末端方向からの剥離面が残る。主要剥離面の打面側と刃部先端部に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部はゆるく外彎を呈する。		A39・3・1143
1213	51.95	17.05	6.1	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用。打面側に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部先端部に小調整が見られる。断面は台形。		A41・3・688
1214	58.40	18.40	7.6	〃	先端部欠失、基部は幅広。背面に大きくネガ面が残る。底面は基部に小さく残る。主要剥離面の打面側と刃部の先端部に丁字に二次調整を施す。		A8・1・88
1215	48.80	16.20	6.2	〃	先端は尖る。基部は幅広。縦長剥片を利用か。基部に細く打面を残す。打面側に主要剥離面側から先端から基部よりにかけて二次調整を施す。刃部側には粗く4面の剥離痕を残す。断面は台形。		A10・2・16
1216	67.95	17.90	9.8	〃	先端部破損。基部は尖らない。主要剥離面打面側の下半部に背面側からの調整（打面調整）を残し、反対側上半部には底面から調整を施す。		A35・2659
1217	64.50	18.00	9.60	〃	先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片。打面側に主要剥離面側から丁字に二次調整を施すほか、刃部の先端部にも細かな調整を行う。		A38・3・d S
1218	60.20	30.25	8.85	〃	先端は尖る。基部は尖らない。縦長剥片を利用。基部に細く打面を残す。打面側に主要剥離面側から粗い二次調整を施す。刃部は2面からなり先端部に主要剥離面側から細かい調整が行われる。断面は台形。		A36・2・2805
1219	83.90	19.05	16.0	〃	完形。基部から先端に向って鋭く尖る。細身で大形。刃部には縦横剥離が認められるのでナイフとしての機能は薄い。刃部先端部は主要剥離面側から二次調整を施す。断面は三角形。		A36・3・506
1220	31.40	16.35	3.2	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。刃部は外彎。主要剥離面の打面側と基部及び刃部先端部に僅かに主要剥離面側から調整を施す。主要剥離面の下部に別の剥離痕が見られる。		A25・1・d N
1221	42.10	11.20	8.80	〃	先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。打面側は先端から基部にかけて、刃部は先端部に主要剥離面側から二次調整を施す。断面は台形。		A7・2・21
1222	38.60	17.90	7.25	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。縦長剥片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部上半部に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部は外彎を呈する。		C17・1・d S

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
1223	39.55	18.00	5.1	サヌカイト	充形。先端は尖る。基部は幅広。主要剥離面の打面側下半部と刃部の先端と基部に主要剥離面側から二次調整を施す。主要剥離面の先端には刃部側から、下端には打面側からの剥離痕を残す。	A39・4・279	
1224	40.75	15.70	4.3	〃	充形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部の先端部と、基部に細かい二次調整を主要剥離面側から施す。	C12・1・a N	
1225	38.35	13.90	3.3	〃	先端は尖る。基部は尖らなない。刃部を僅かに欠失。主要剥離面の打面側と先端部と基部に主要剥離面側から二次調整を施す。打面側中央部に小剥離痕を背面から一面だけ施す。断面は三角形。	A21・1・537	
1226	32.15	20.55	4.2	〃	充形。両端が尖らなない。主要剥離面は打撃の方向が異なる2面よりなる先端部には打面が残る。打面側と刃部の先端と基部には主要剥離面側から粗く二次調整を施す。	A40・4・274	
1227	47.65	19.00	6.8	〃	充形。先端は尖る。基部は尖らなない。主要剥離面の打面側と刃部下半部には主要剥離面側から二次調整を施す。背面下半部は複数の剥離面を持つ。刃部上半部には、横長剥片に背面からの調整が行われる。	A38・2・2	
1228	50.10	19.65	8.3	〃	充形。先端は尖らなない。基部は幅広。主要剥離面の打面側と刃部の先端と基部に主要剥離面側から二次調整を行う。刃部中央部にも主要剥離面側から大きく剥離痕を残す。	A25・2・152	
1229	55.50	20.05	9.2	〃	先端部破損。基部は尖らなない。横長剥片に背面からの剥離痕を残す。断面は台形。	A26・2・246	
1230	65.00	19.10	9.8	〃	充形。両端が尖らなない。翼状剥片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部の先端部と基部に主要剥離面側から二次調整を施す。断面は台形。	A28・2・172	
1231	69.80	18.00	9.9	〃	先端は尖る。基部は幅広。打面側と刃部を僅かに欠失。主要剥離面の打面側と刃部の先端部及び基部に主要剥離面側からの二次調整を施す。底面に刃部側からの打点のない剥離痕を持つ。断面は台形。	A38・4・733	
1232	76.65	17.85	12.7	〃	先端は尖る。基部は幅広。刃部を一部欠失。細身で大形。主要剥離面の打面側と基部に主要剥離面側からの二次調整を施す。主要剥離面刃部側上部に底面からの調整痕が見られる。	C5・1・d S	
1233	74.40	23.65	12.7	〃	先端部破損。基部は尖る。幅広で大形。基部に打面を残す。主要剥離面の打面側と刃部の先端部と基部に主要剥離面側から二次調整を施す。断面は台形。	A36・2・1466	
1234	29.50	14.80	2.0	〃	充形。先端は尖らなない。基部はやや幅広。主要剥離面の打面側と刃部の上半部には主要剥離面側から二次調整を施す。断面は台形。	A19・1・15	
1235	33.60	14.60	2.9	〃	先端は尖らなない。基部破損。調整はすべて主要剥離面側に行う。打面側上半部及び刃部の先端から中央基部よりにかけて背面側から細かい二次調整を施す。打面側下半部は主要剥離面側から調整を施す。背面打面側には剥離痕は打面調整か。	A38・2・150	
1236	31.60	16.20	3.9	〃	先端部破損。基部はやや幅広。主要剥離面の打面側と刃部中央基部よりにかけて主要剥離面側から二次調整を施す。断面は三角形。	A5・1・163	
1237	35.50	15.00	3.4	〃	先端は尖る。基部破損。翼状剥片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部の先端から基部よりにかけて二次調整を丁寧に施す。打面側は山形。刃部側はゆるい外彎を呈する。	A36・1・2105	
1238	36.30	10.70	2.6	〃	充形。先端、基部共尖らなない。細身。背面には打撃方向の異なるネガ面を3面もつ。打面側と刃部側の上半部には主要剥離面側から二次調整を施す。	A2・2・233	
1239	37.60	15.20	4.4	〃	充形。先端は尖らなない。基部はやや幅広。横長剥片を利用か。打面側全域と打面側の基部の一部を除いた全域に主要剥離面側から二次調整を施す。	A35・4・197	
1240	40.40	18.60	4.9	〃	先端は尖らなない。基部破損。翼状剥片を利用。主要剥離面の打面側は粗い二次調整を施す。刃部側の上半部には細かい調整を主要剥離面側から施す。	A37・455	
1241	51.50	17.00	6.5	〃	先端部破損。基部は薄くなり幅広。翼状剥片フリーストフレイクを利用。背面下部には盤状剥片の打面を残す。主要剥離面打面側と刃部側の上半部に主要剥離面側から調整を施す。	A42・5・d S	
1242	46.40	16.20	4.4	〃	充形。両端が尖る。横長剥片を利用か。打面側と刃部の先端から基部よりにかけて主要剥離面側から細かい二次調整を施す。先端は細く尖らなない。	A39・4・863	
1243	42.20	16.70	4.4	〃	充形。先端は尖る。基部は薄く幅広。翼状剥片を利用か。打面側と刃部の先端寄りから中央部にかけて主要剥離面側から二次調整を施す。	A35・2・b S	
1244	49.80	19.55	8.30	〃	先端はやや幅広。基部破損。横長剥片を利用か。基部に打面を残す。主要剥離面の打面側と、刃部の上半部には主要剥離面側から二次調整を施す。	C14・105	
1245	55.65	21.00	9.0	〃	先端は尖らなない。基部破損。横長剥片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部の上半部には主要剥離面側からの二次調整を行う。刃部側の調整はやや乱れる。	A34・1・821	
1246	60.00	21.45	9.1	〃	充形。先端は尖らなない。基部は幅広。横長剥片を利用。主要剥離面の打面側と刃部先端から基部よりにかけて主要剥離面側から二次調整を施す。石材は風化気味。	C5・1・a s	
1247	70.55	29.00	25.8	〃	充形。先端は尖らなない。基部は幅広。肉厚、大形の横長剥片を利用。打面側及び刃部先端から基部よりにかけて細かく丁寧な二次調整を主要剥離面側から施す。主要剥離面基部縁に未端方向からの小剥離痕が見られる。	A11・1・291	
1248	28.15	12.75	1.9	〃	充形。先端はやや幅広。基部は幅広。先端と両側縁に主要剥離面側から二次調整を施す。主要剥離面の刃部側の下半部に3面、背面からの調整を施す。	B1・85	

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
1249	41.75	14.55	5.05	3.1	サスカイト	完形。先端は尖る。基部は幅広。横長裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部側を除く全域と刃部側全域に主要剥離面側から二次調整を施す。		A36・1・15
1250	38.35	16.10	5.15	3.6	〃	先端は尖らない。基部破損。扁平な横長裂片を利用。主要剥離面の打面側と刃部の先端部を除く全域に主要剥離面側から二次調整を施す。断面は台形。		A35・2・b N
1251	40.15	16.05	7.05	3.8	〃	完形。両端が尖らない。横長裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部の先端部から基部よりにかけて主要剥離面側から二次調整を施す。主要剥離面の先端に剥離痕が残る。		C18・1・490
1252	39.55	15.80	7.15	4.3	〃	完形。先端は尖る。基部には打面を残す。主要剥離面の打面側と刃部全域に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部の調整は打面側より細かい。		A40・3・676
1253	47.55	14.25	7.75	5.1	〃	完形。両端が尖る。翼状裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部側の調整は打面側より細かい。		A40・5・a S
1254	55.00	19.10	7.25	7.5	〃	完形。先端は両側からの調整で尖る。基部は薄くなり幅広。翼状裂片を利用。主要剥離面の打面側と刃部全域に主要剥離面側からの丁寧な二次調整を行う。断面は台形。		A39・1・290
1255	58.25	18.95	10.65	10.5	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部の基部を除きほぼ全域に主要剥離面側から二次調整を施す。		A36・2・2730
1256	53.85	25.80	12.45	12.8	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広で自然面を僅かに残す。横長裂片を利用。主要剥離面の上部に打面を残す。主要剥離面の打面側には大きく4面の剥離痕を残す。刃部の先端は細かく下部は粗い二次調整を主要剥離面側から施す。		A41・4・c S
1257	65.05	19.45	6.50	8.4	〃	完形。先端は尖らない。基部は幅広。翼状裂片を利用。主要剥離面の下部に右移の側面を残す。打面側と刃部には主要剥離面側から細かく丁寧な二次調整を施す。刃部の調整は打面側よりかなり小さい。		A36・3・1162
1258	53.65	22.85	9.90	12.4	〃	完形。先端は尖らない。基部は薄くなり幅広。横長裂片を利用。上半部に長く打面を残す。打面側の上半部は打面を加撃点として調整を施す。下半部と刃部は主要剥離面側から二次調整を施す。		A13・1・113
1259	40.10	13.00	6.55	3.6	〃	先端は鋭く尖る。基部破損。翼状裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部の先端部に主要剥離面側から二次調整を施す。断面は台形。		A35・3・b N
1260	58.70	16.65	7.00	6.4	〃	先端部破損。基部は尖らない。翼状裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部の先端部に丁寧な二次調整を主要剥離面側から施す。		A11・1・92
1261	48.45	16.40	6.75	4.9	〃	両端破損。横長裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部の先端及び基部に主要剥離面側からの二次調整を施す。刃部上半部に打点のない剥離痕を1面もつ。		A39・1・300
1262	47.65	17.60	7.55	4.9	〃	完形。両端が尖るが、基部は側面の調整により鋭い。翼状裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部の上部及び基部に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部中央部は石材が薄く調整を行わない。		C4・1・b N
1263	78.05	20.85	8.35	13.5	〃	先端は尖らない。基部破損。大形の翼状裂片を利用。主要剥離面の打面側と刃部の上半部及び基部に主要剥離面側から細かい二次調整を施す。主要剥離面刃部側下半部に底面からの調整痕が見られる。		C6・1・418
1264	41.55	12.25	9.10	4.3	〃	先端部破損。基部はやや幅広。主要剥離面の打面側と刃部の先端部と基部に主要剥離面側から二次調整を施す。打面側の中央部に背面からの調整痕が小さく残る。刃部の調整は粗い。断面は三角形。		A11・1・324
1265	45.35	15.30	5.85	4.1	〃	先端部破損。基部はやや尖る。扁平な横長裂片を利用か。打面側と刃部の全域に主要剥離面側から細かい二次調整を施す。		A26・1・303
1266	42.30	21.60	7.95	6.3	〃	完形。両端が尖る。横長裂片を利用。基部に小さく打面を残す。主要剥離面の打面側の先端から基部よりにかけてと刃部全域に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部は山形。打面側は直線状を呈する。		A9・1・303
1267	65.55	15.80	8.15	7.2	〃	完形。両端が尖る。翼状裂片を利用。主要剥離面の打面側と刃部全域に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部上半部の調整は非常に細かい。断面は台形。		A38・2・2458
1268	28.65	8.95	5.75	1.3	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。小形。細身。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。打面側の調整は主要剥離面側に対して直角に施す。		B21・4513
1269	44.95	13.10	4.65	3.3	〃	完形。両端が尖らない。横長裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。石材は風化気味。断面は台形状を呈する。		C20・1・426
1270	27.60	9.85	3.40	1.1	〃	完形。両端が尖らない。小形。横長裂片を利用か。主要剥離面は複数面よりなる。背面両側縁には主要剥離面側から細かな二次調整を施す。		A19・1・c N
1271	35.80	9.55	4.50	1.7	〃	完形。両端が尖らない。細身。横長裂片を利用か。両側縁に主要剥離面側から丁寧な二次調整を施す。石材は風化気味。		A23・1・a S
1272	24.80	8.15	3.30	0.4	〃	完形。先端が尖る。基部は尖らない。小形。背面には底面もネガ面も残らない。主要剥離面側から両側縁に二次調整を施す。断面は台形。		C17・1・b N
1273	27.75	11.35	4.35	1.3	〃	完形。先端は尖る。基部はやや尖る。小形。幅広。横長裂片を利用か。打面側に主要剥離面側から丁寧な二次調整を施す。刃部もほぼ全域に主要剥離面側から調整を施す。		A2・1・b N
1274	23.70	10.20	2.65	0.3	〃	完形。両端が尖る。小形。薄く幅広。横長裂片を利用か。主要剥離面の打面側及び刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部の調整は粗い。刃部、打面側共山形を呈す。断面は扁平な台形。		A22・165

番号	法 量		重量	石 質	観 察	出土地点
	長さ	幅 厚さ				
1275	25.85	8.00	0.6	サヌカイト	完形。両端が尖る。横長裂片を利用か。細身。小形。打面側、刃部共に主要剥離面側から細かく丁寧な二次調整を施す。	B21・2513
1276	23.90	13.20	0.3	〃	完形。先端は尖る。基部はやや尖る。横長裂片を利用。小形。幅広。主要剥離面の打面側及び刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部上半部の調整は粗い、刃部は鋭い山形を呈す。	A21・1・682
1277	20.65	9.40	1.1	〃	上部破損。基部は尖らない。横長裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。主要剥離面基部に背面側からの調整が残る。断面は四角形。	B18・b N
1278	23.25	14.65	1.9	〃	先端は尖らない。下部破損。横長裂片を利用。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部の調整は打面側より細かい。	A37・1・2590
1279	28.75	13.00	2.0	〃	先端は尖る。基部破損。横長裂片を利用か。両側縁に主要剥離面側から細かい二次調整を施す。断面は扁平な台形。	C16・1850
1280	34.55	17.10	2.8	〃	先端は尖る。基部破損。翼状裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部の調整は打面側より細く丁寧。主要剥離面の刃部側に背面側からの剥離痕を複数残す。	C13・2・251
1281	31.45	15.15	2.4	〃	先端は尖る。基部破損。横長裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。断面は台形。	A38・2・138
1282	44.75	12.85	4.9	〃	先端はやや幅広。基部破損。横長裂片を利用。先端部に打面を残す。主要剥離面の打面側と刃部の上半部に主要剥離面側からの二次調整を施す。主要剥離面基部に背面側からの剥離痕を4面残す。	C3・1・22
1283	28.45	15.55	2.3	〃	先端部破損。基部は幅広。横長裂片を利用か。基部に細く打面を残す。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側からの二次調整を施す。刃部の調整は打面側より粗い。	A21・1・218
1284	54.15	19.85	5.45	〃	完形。先端はやや尖る。基部は幅広。薄い縦長裂片を利用か。背面は2面で共に先端方向からの加撃。主要剥離面は末端方向からの加撃。主要剥離面の先端部と基部に背面側からの二次調整を施す。先端部の調整は細かい。	A38・1・2639
1285	36.90	18.30	5.8	〃	先端は尖らない。基部破損。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。背面側の調整は細かい。主要剥離面基部に背面側からの剥離痕が残る。	B12・475
1286	34.90	20.20	5.5	〃	完形。先端は尖らない。基部は中央基部より粗い。横長裂片を利用か。背面は2面で共に先端方向からの加撃。主要剥離面は末端方向からの加撃。主要剥離面の先端部と基部に背面側からの二次調整を施す。背面側の調整は細かい。	A31・1・182
1287	31.00	17.60	3.2	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。横長裂片を利用か。背面中央刃部より自然面を残す。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。断面は四角形。	C12・1・49
1288	51.95	14.00	4.8	〃	完形。先端はやや尖る。基部は鋭く尖る。横長裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部の先端部に主要剥離面側からの二次調整を施す。主要剥離面基部に背面側からの剥離痕を残す。	A38・1・2049
1289	50.25	16.70	4.9	〃	完形。先端は尖る。基部は尖らない。横長裂片を利用か。基部に打面を残す。主要剥離面の打面側と刃部の先端部に主要剥離面側からの二次調整を施す。刃部に使用痕と思われ微少な剥離痕が残る。断面は台形。	A39・2・219
1290	50.20	16.85	6.1	〃	完形。両端が尖る。横長裂片を利用か。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。打面側の下部と刃部の先端部の調整は特に細かい。刃部は外彎。打面側は直線状を呈する。	A38・1・5042
1291	75.80	21.75	11.35	〃	先端部破損。基部は幅広。翼状裂片を利用か。大形。主要剥離面の打面側と刃部の上半部に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部に剥離痕が認められナイフとしての機能はうすい。	A38・1・1329
1292	84.25	21.45	12.85	〃	先端は尖る。基部破損。翼状裂片を利用。肉厚で大形。基部に僅かに打面を残す。打面側は主要剥離面側からの二次調整を施す。刃部先端部に背面側からの剥離痕を1面残す。主要剥離面は横長裂片による。	A39・2・1007
1293	43.15	16.10	3.9	〃	完形。先端は尖る。基部は薄くなり幅広。横長裂片を利用か。基部より粗い。横長裂片を利用か。基部に打面を残す。主要剥離面の打面側と刃部の先端部に主要剥離面側からの二次調整を施す。断面は四角形。	A38・1・4106
1294	42.90	18.25	4.4	〃	完形。先端は尖る。基部は薄くなり幅広。基部に打面を残す。主要剥離面の打面側と刃部の先端部にかけて主要剥離面側からの二次調整を施す。断面は三角形を呈する。	A33・2・88
1295	45.45	17.75	5.5	〃	完形。先端はやや尖る。基部は幅広。横長裂片を利用。主要剥離面の打面側と刃部の先端部にかけて主要剥離面側から二次調整を施す。打面側先端面側から丁寧な調整を施す。断面は台形。	A38・4・782
1296	49.10	16.50	4.9	〃	先端部破損。基部はやや尖る。翼状裂片を利用。主要剥離面の基部部に石核の側面を残す。打面側と刃部の先端部から基部よりにかけて主要剥離面側から丁寧な調整を施す。断面は台形。	A36・1・2539
1297	34.90	14.95	5.55	〃	完形。先端は鋭く尖る。基部は幅広。基部に打面を小さく残す。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部側の調整は打面側より細かい。	A23・1・d N
1298	42.25	13.30	8.15	〃	完形。先端は尖る。基部は幅広。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から粗い二次調整を施す。石材は風化気味。	C14・1・b S
1299	52.15	20.70	9.55	〃	完形。両端は尖らない。基部に自然面を残す。横長裂片を利用か。打面側と刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部先端部の調整は細かい。断面は台形。	A38・2・2592
1300	52.30	18.75	5.20	〃	先端は尖る。基部破損。翼状裂片を利用。主要剥離面の打面側と刃部の上半部に主要剥離面側から細かい二次調整を施す。主要剥離面の基部には末端方向からの剥離痕を残す。断面は台形。	A38・2・1

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ mm	幅 mm					
1301	30.40	14.65	2.5	サヌカイト	先端部破損。基部は幅広。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から二次調整を施す。刃部の調整は打面側より細かい。断面は台形。	A.23・1・a S	
1302	36.45	18.60	4.4	〃	先端部破損。基部は幅広。横長剥片を利用。主要剥離面の打面側と刃部の先端寄りから中央にかけて主要剥離面側から二次調整を施す。刃部側の調整は細かい。断面は台形。	A.38・3・999	
1303	45.15	21.20	6.3	〃	先端部破損。基部は幅広。主要剥離面の打面側と刃部の先端部に主要剥離面側から二次調整を施す。断面は三角形。	A.38・5・131	
1304	53.65	20.75	8.1	〃	先端は尖る。基部破損。翼状剥片を利用。主要剥離面の打面側と刃部の先端部に主要剥離面側から丁字に二次調整を施す。刃部の調整は細かい。	A.38・1・2038	
1305	55.75	19.15	7.2	〃	先端は尖らない。基部及び側縁の一部破損。主要剥離面の打面側と刃部に主要剥離面側から丁字に二次調整を施す。断面は扁平な台形。	A.38・2・4119	

第49表 舟底形石器観察表

番号	法 量		石 質	重 量	観 察	出土地点
	長さ	幅 厚さ				
1	33.80	14.70	サヌカイト	3.0	完形。小形。上端、下端とも尖っている。底面の下部に大きな剥離面を持つが、上部は側面から調整する。甲板面は1面で横剥き。側面は甲板面から粗い調整を施す。	B14・44
2	45.30	12.00	〃	6.5	完形。上端は尖る。下端は幅広。底面は中央部から下端に大きな剥離面を持つ。甲板面は1面で横剥き。側面は甲板面から粗い調整を施す。断面は台形。	C11・1・227
3	45.35	18.25	〃	8.0	下端を欠失する。上端は尖る。底面は中央部に大きな剥離面を持つ。甲板面は1面で横剥き。断面は台形。	A39・3・977
4	49.00	17.95	〃	7.9	中央部をわずかに欠失する。上端は幅広。下端は尖る。底面は中央部に大きな剥離面を持つ。甲板面は1面で縦剥き。側面は甲板面から粗い調整を施す。	A40・2・b S
5	57.80	14.90	流 紋 岩	6.6	完形。細身。上端、下端とも尖っている。断面は台形。底面は大きく、横剥きか。甲板面は1面で横剥き。側面は甲板面から調整を施す。	C18・1・b S
6	54.25	22.65	サヌカイト	10.6	完形。上端、下端とも尖っている。断面は台形。底面は大きな剥離面であり、側面は粗い調整を施す。甲板面は1面で縦剥きか。	A26・2・588
7	39.50	12.55	〃	4.0	完形。上端は尖っている。下端は幅広。底面に大きな剥離面を持たない。側面の調整は粗い。幅に対して高さは高い。甲板面は横剥き。	B18・e S
8	48.60	17.05	〃	5.8	中央部をわずかに欠失する。上端は尖る。下端は幅広。底面の一部に自然面を残す。甲板面は1面で横剥き。断面は三角形状。	A23・1・a N
9	50.85	26.25	〃	25.4	上端と下半分を欠失する。復元すると長さ10cm以上か。器体はやや幅広で分厚い。上部の底面は側面方向からの剥離面であるが中央部は自然面。甲板面は1面で一方の側縁に調整を持つ。	C15・2・208
10	38.70	19.20	〃	6.7	下端部を欠失する。上端部は幅広。底面には大きな剥離面を持ち、側面は粗い調整を施す。甲板面は1面で横剥き。断面は台形。	A40・3・629
11	28.40	16.60	〃	5.2	下端部を欠失する。上端部は尖っている。小形。甲板面は1面で一方の縁辺には調整を施す。	B8・689
12	45.90	14.00	〃	6.1	完形。上端、下端とも尖っている。底面の一部に打痕が見える。甲板面は1面で横剥き。側面は甲板面から調整を施す。	A36・3・40
13	40.10	17.20	〃	6.3	完形。上端部は尖る。下端部は幅広。断面は台形。甲板面は1面で横剥き。底面の下端部には調整のない剥離面が残る。側面は甲板面から粗い調整を施す。	A36・3・1877
14	39.30	12.20	〃	3.2	完形。上端、下端とも尖っている。細身。断面は台形。側面は甲板面から調整を施す。甲板面は1面で横剥き。底面の大きな剥離面は上端までのびる。	A38・2・4235
15	51.35	18.40	〃	9.4	上端部を欠失する。下端部は尖っている。断面は台形。甲板面は小さな剥離面も加えて2面からなり、いずれも横剥きである。側面は甲板面から調整を施す。	A25・2・c S
16	79.15	17.30	〃	18.9	完形。上端部、下端部とも尖っている。細身で分厚い。側面は甲板面から粗い調整を施す。甲板面は1面で横剥き。甲板面の上端部と下端部に小さな剥離面を施す。	C8・1・101
17	93.40	22.00	〃	26.7	完形。上端部は尖っている。下端部は幅広。細身。底面に自然面を残す。側面は甲板面から粗い調整を施す。甲板面の下端部に小さな剥離面を施す。	A12・1・c N
18	92.00	21.95	〃	27.2	完形。上端部、下端部とも尖っている。横剥きの甲板面は1面で、一方の側縁に調整を施す。断面は台形状。	C3・1・b N
19	39.40	18.10	〃	6.3	下端部を欠失。上端部は尖っている。甲板面の上部部に調整を持つ。一方の側面には細かな調整を施す。断面は台形。甲板面は横剥き。	A15・1・51
20	19.00	14.40	〃	2.2	上端部、下端部とも欠失。小形。甲板面は1面で横剥き。側面は調整を施す。断面は台形。底面は複数面。	A40・4・718
21	56.30	19.30	〃	10.8	下端部を欠失する。上端部は幅広。底面は逆の方向から剥離された2面の大きな剥離面からなる。甲板面は横剥きである。断面は台形。	B8・891
22	38.20	14.15	〃	4.7	上端、下端とも欠失する。断面は台形。甲板面は横剥き。底面は横剥きの大きな剥離面からなる。	C18・1・b S
23	44.35	19.95	〃	6.6	完形。上端、下端とも尖っている。断面は三角形で底面に自然面を残す。側面は甲板面から調整を施すが一部は未調整。甲板面は1面で横剥き。	A39・3・a N
24	55.00	12.40	〃	8.7	上端部を欠失。下端部は幅広。底面は全部自然面である。甲板面は1面で横剥き。側面は粗い調整を施す。断面は三角形。	A3・2・228
25	51.30	16.40	〃	7.1	完形。上端、下端ともやや幅広。断面は三角形。側面は甲板面から調整する。甲板面は1面で横剥き。底面は縦方向の大きな剥離面からなる。	A39・4・c S
26	59.00	14.20	〃	8.6	完形。上端、下端とも尖っている。断面は不整な台形。甲板面は1面である。底面は大きな横方向の剥離面。側面の一部は底面から調整する。甲板面は自然面の可能性もある。	A36・2・2856

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
27	35.40	13.00 8.40	2.8	サヌカイト	完形。上端、下端とも尖っている。小形。底面には大きな剝離面を持たない。側面は甲板面から粗い調整を施す。甲板面は1面で横剥ぎ。	B12・744	
28	39.40	13.20 10.60	4.4	〃	完形。上端は尖っている。甲板面は1面で横剥ぎ。底面と一部の側面にかけて自然面を残す。側面は甲板面から調整を施す。	B12・326	
29	33.50	10.70 9.10	3.3	〃	完形。上端、下端とも尖っていない。小形。甲板面の上部に側面側から調整を施す。側面は甲板面から調整を施す。側面の調整は粗い。甲板面は横剥ぎ。	B2・1171	
30	42.4	12.60 9.40	4.1	〃	完形。上端、下端とも尖っていない。側面は甲板面から調整を施す。甲板面は1面で横剥ぎ。	B22・305	
31	26.7	14.90 9.80	2.2	〃	下部を欠失する。上端部は尖っている。甲板面は横剥ぎ。側面は甲板面側と底面側に2段に調整を施す。	A21・1・271	
32	30.80	18.40 10.50	5.1	〃	上端、下部を欠失する。断面は台形。底面に打痕を残す。側面は粗い調整を施す。甲板面は1面で横剥ぎ。	A7・1・15	
33	40.0	18.40 11.00	6.6	〃	下部を欠失する。上端は尖っている。側面は甲板面から丁寧な調整を施す。甲板面は横剥ぎ。	A38・2・1215	
34	40.65	15.45 9.30	5.9	〃	下端を欠失する。上端部は鋭く幅広。断面は台形。側面は甲板面から丁寧な調整を施す。底面は一方の側面から施された複数の剝離面からなる。	B18・b S	
35	51.85	14.50 9.85	8.0	〃	下部を欠失する。器体は細身。上端部は鋭い。一方の側面の調整は粗い。底面には一方の側面から調整を施されている。甲板面は横剥ぎ。	A37・3・c N	
36	43.60	12.60 14.40	7.8	〃	上端部、下端部とも欠失する。細身。側面の調整は雑で粗い。甲板面は1面で横剥ぎ。底面は稜から左右に調整を施す。	C16・2・486	
37	69.00	18.20 13.70	16.8	〃	上端部と下端部を欠失する。細身。復元すれば長さは10cm以上。側面は甲板面から調整を施し、底面には稜から左右に調整を施す。甲板面は1面である。	C17・1・a N	
38	33.80	11.80 7.40	2.7	〃	下部を欠失する。上端部は尖っている。小形。断面は台形。底面は大きな剝離面からなる。甲板面は2面で、さらに小さな剝離が施されている。	A38・2・543	
39	42.30	12.95 8.45	4.3	〃	下部を欠失する。上端部は尖っている。側面の調整は甲板面から施している。甲板面は3面で横剥ぎ。	A7・1・24	
40	58.30	26.45 11.65	21.1	〃	完形。上端部、下端部とも尖っている。甲板面は3面で、剝離方向は異なる。器体は幅広く分厚い。側面の調整は粗い。	A39・4・559	
41	47.60	27.00 11.45	13.4	〃	完形。器体は幅広く上端、下端とも尖らない。側面の調整は粗く剝離角度は小さい。甲板面は4面からなり、剝離方向が異なる。	A34・2・b N	
42	57.00	30.10 12.70	21.4	〃	完形。器体は幅広く上端、下端とも尖らない。甲板面横剥ぎで一方向の側縁に調整を持つ。断面は分厚い。側面の調整は細かく、底面にも周囲から調整を施す。	A29・1・b S	

第50表 尖頭器観察表

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm}	厚さ ^{mm}					
1	31.0	22.3	6.2	3.8	サヌカイト	完形。小形で幅広。先端は尖っているが、基部は平らである。片面は周縁にのみ調整を施す。基部に自然面を残す。		B21・242
2	38.6	26.7	8.4	8.1	〃	完形。小形で幅広。先端は尖っているが、基部は平らである。片面は周縁にのみ調整を施している。		A11・1・c N
3	39.1	24.3	7.3	5.9	〃	完形。小形で幅広。先端は尖っているが、基部は平らである。両面とも周縁に調整を施している。縦長剥片を利用。		A39・2・d S
4	42.1	28.3	6.7	6.3	〃	完形。小形で幅広。先端は尖っているが基部は平らである。両面とも全面に調整を施している。		A2・1・c S
5	48.3	25.6	10.0	10.7	〃	完形。小形で幅広。先端は尖っているが基部は丸くなる。両面とも全面に調整を施しているが先端と基部の調整が細かい。		A37・2・403
6	37.7	22.1	7.6	6.5	〃	基部を欠失する。先端部は尖っていない。両面とも全面に調整を施している。		A2・2・382
7	36.1	17.2	6.4	3.8	〃	先端部を欠失する。基部は丸くなる。両面とも全面に調整を施している。		A21・1・717
8	41.6	18.4	4.3	3.4	〃	完形。小形で幅広。先端も基部も尖っている。両面の側縁に調整を施している。		B4・486
9	39.1	17.8	4.3	3.6	〃	先端部を欠失する。基部は尖っている。側縁にのみ細かく調整を施している。		A11・1・319
10	57.7	26.7	5.8	9.1	〃	先端部を欠失する。基部は尖っている。側縁にのみ調整を施す。		C16・2・340
11	32.4	17.3	4.2	2.3	〃	先端部を欠失する。基部は尖っている。両面ともほぼ側縁に調整を施している。		A4・1・184
12	44.4	16.2	6.5	4.0	〃	先端部を欠失する。基部は尖っている。両面とも側縁から調整を施している。		A39・3・d N
13	85.50	22.20	10.00	18.6	〃	完形。両端部とも尖っている。両面とも全面に調整を施している。接合資料。		B2・966 A1・2・221
14	57.0	20.9	9.9	12.0	〃	完形。両端部とも尖っている。両面とも側縁に調整を施している。左図の中央部には自然面が残る。		A39・3・b N
15	78.0	26.8	23.6	34.6	〃	先端部を欠失する。基部は幅広。厚手の作りで、左図の左上部には未調整の大きな剝離面を持つ。		C17・1・d S
16	57.10	15.00	5.85	5.3	〃	完形。両端部とも尖っている。左図は全面に調整を施すが、右図は両端部と片側の側縁に調整を施している。細身である。接合資料。		B13・b N A13・1・b S
17	48.4	16.3	8.0	5.7	〃	完形。両端部とも尖っている。両面とも比較的大きな剝離を施している。		A25・2・113
18	65.4	22.3	9.1	12.4	〃	完形。先端は尖っているが基部は丸い。両面とも全面に丁寧な調整を施している。		A36・3・29
19	93.4	20.4	10.2	16.2	〃	完形。両端とも尖っている。両面とも全面に調整を施している。切断したのち、一方には切断面から加工を施す。細身である。接合資料。		C15・1・520 C14・1・455
20	37.6	10.1	2.7	0.9	〃	完形。両端が尖っているが基部は茎状をなす。先端と基部にわずかに調整を施す。小形で細かい。		C7・1・78
21	51.6	18.5	6.4	5.7	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。両面の一部の側縁のみ調整を施す。		C13・2・134
22	51.60	18.00	6.15	5.9	〃	完形。先端、基部とも尖り、基部は茎状となる。両面とも丁寧に調整され、断面は凸レンズ状を呈する。		A36・3・688
23	61.1	24.6	8.0	10.6	〃	完形。先端、基部とも尖る。有舌尖頭器である。両面とも周縁から細かい調整を施している。		A2・2・a N
24	56.6	26.1	7.3	10.1	〃	完形。先端は尖っているが基部は平らである。両面の側縁に調整を施している。		C4・1・c S
25	50.6	23.7	9.5	8.8	〃	完形。先端は尖っているが、基部は平らである。片面は一部にのみ調整を施しているが、他面は全面に調整を施している。		A13・1・d N
26	67.4	19.2	8.2	10.6	〃	完形。先端、基部とも尖っている。左図は全面に調整を施している。右図は周縁に調整を施している。		B13・a N

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm}	厚さ ^{mm}					
27	41.80	20.85	8.50	7.7	サヌカイト	基部を欠失する。両面とも全面に調整を施す。下部は幅広い茎状のつくりとなる。		A35・4・524
28	37.20	18.35	5.30	4.5	〃	先端部を僅かに欠失する。断面三角形の縦長剥片を用い基部のみわずかに調整する。茎部は幅広い茎となる。		B12・1
29	29.4	21.5	5.7	3.8	〃	基部を欠失する。側縁部にのみ調整が施されている。		A3・1・327
30	29.0	18.6	6.4	3.8	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。両側縁には片面ずつ、方向を違えて錯行状の調整を施す。		C14・1・d N
31	41.2	19.0	5.9	5.1	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。両側面の側縁は細かく丁寧に調整されている。		A21・1・212
32	40.1	27.6	6.7	6.6	〃	先端部及び基部を欠失する。側縁部にのみ調整が施されている。		C16・2・537
33	22.0	18.0	4.8	1.6	〃	基部を欠失する。両面とも側縁に調整を施している。先端部は尖っている。		A21・1・536
34	44.6	29.1	4.6	7.3	〃	基部を欠失する。両面とも側縁に調整を施している先端部は尖っている。		A5・1・110
35	90.05	28.25	7.05	19.4	〃	基部を欠失する。両面とも側縁に細かな調整を施している。細身である。先端部は尖っている。		C11・1・868
36	70.4	23.0	8.7	13.2	〃	基部を欠失する。両面の側縁に調整を施している。先端部は尖っている。		A1・b S
37	57.7	30.9	6.5	11.0	〃	先端部を欠失する。両面とも基部には調整を施していないが茎状となる。両側縁の一部の調整を施している。		A1・2・145
38	51.2	29.8	9.0	13.0	〃	先端部、基部を欠失する。両面とも一部の側縁に調整を施す。		B10・580
39	56.35	25.20	11.30	13.5	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。調整は側縁に限られる。		C15・1・b N
40	51.9	30.0	8.0	11.2	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。左図は全体に調整を施しているが、右図は両側縁の一部に調整を施している。		B18・b S
41	59.0	24.1	12.7	16.9	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。左図は両側縁に調整を施し、先端から基部の中央に自然面を残す。右図は両側縁の一部に調整を施している。		B14・c N
42	29.60	14.20	6.55	3.1	〃	完形。先端は尖っているが、基部は平らである。両面とも側縁から調整を施している。		A34・3・1071
43	28.8	8.5	2.7	0.8	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。小さくて細身。片面は一部の側縁に調整を施し、他面は全体に調整を施している。		A38・2・1212
44	26.3	18.1	4.6	2.0	〃	先端、基部とも欠失する。側縁にのみ細かな調整を施す。		A37・2・278
45	31.2	16.3	6.5	2.7	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも側縁の一部に調整を施す。		B14・c N
46	29.9	20.6	13.1	6.2	〃	先端を欠失する。基部は尖っている。両面とも側縁に調整を施す。		B22・c N
47	50.2	25.0	11.8	14.4	〃	先端、基部を欠失する。左図は両側縁に調整を施している。右図は全面に調整を施している。		C7・1・a N
48	55.4	29.5	10.1	15.7	〃	先端を欠失する。基部は尖らない。左図は両側縁に調整を施す。右図の基部には少し自然面を残す。		C11・1・145
49	42.6	24.4	8.0	8.2	〃	先端、基部を欠失する。両面とも側縁に調整を施している。左図の先端部に小さな自然面が2つ残る。		C12・1・457
50	36.9	20.8	6.5	4.3	〃	基部を欠失する。左図の中央部には調整が加えられていない。		A39・4・a S
51	29.8	18.0	7.8	2.8	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。左図は両側縁に調整を施しているが、右図は先端部の両側縁にのみ調整を施している。		B19・e S
52	37.8	26.2	7.9	5.2	〃	基部を欠失する。両面とも比較的大きな調整が施されている。		C15・1・622

番号	法 量			重量	石 質	観 察	出土地点
	長さ	幅	厚さ				
53	39.9	28.8	8.4	7.4	サヌカイト	先端、基部を欠失する。左図は両側縁の先端部のみを調整するが、右図は全面に調整を施している。	C16・1・1145
54	34.7	23.4	9.0	6.2	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。右図の中央部には調整が施されていない。	C16・1・1587
55	35.2	21.9	4.8	3.2	〃	先端、基部、中央部を欠失する。左図は両側縁のみ調整を施している。右図は全面に調整を施している。	A40・3・c S
56	46.9	17.3	10.2	10.4	〃	先端、基部を欠失する。両面とも両側縁から剥離を施すが、右図の中央部の一部には調整が及んでいない。	A10・2・14
57	33.6	31.5	6.4	7.9	〃	先端、基部を欠失する。両面の両側縁から調整を施している。	A38・1・2413
58	28.9	23.5	10.0	8.8	〃	先端、基部を欠失する。右図は両側縁にわずかに調整を施している。	C4・1・a S
59	54.5	23.7	12.1	16.0	〃	先端、基部を欠失する。左図は全面に調整を施す。右図は先端部のみ剥離を施す。	A14・1・a S
60	98.4	58.6	21.3	122.0	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも側縁部から調整を施すが、古い剥離が部分的に残っている。61と同一個体と思われる。	B20・e S
61	57.3	63.2	16.6	63.1	〃	先端部を欠失する。基部は丸い。両面とも粗い調整を施している。大形である。60と同一個体と思われる。	B20・e S
62	27.0	15.5	7.0	1.6	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。小形である。両面とも全面に調整を施している。	C14・1・a N
63	23.3	20.0	5.1	2.6	〃	先端、基部を欠失する。左図は片側をわずかに調整を施す。右図は全面に調整を施している。	A40・2・d S
64	23.3	11.5	6.6	1.0	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも丁寧な調整を施している。	B20・1090
65	26.2	13.1	7.4	2.3	瑛 安 璃 山 質 岩	基部を欠失する。小形である。先端は尖らない。両面とも丁寧な調整を施している。	C5・1・d S
66	26.9	19.4	5.8	2.5	サヌカイト	先端、基部を欠失する。両面とも側縁部から調整を施している。	C11・1・615
67	32.4	16.5	5.9	3.1	〃	先端、基部を欠失する。両面ともやや大きな剥離を施す。小形である。	C17・1・174
68	37.4	12.4	8.6	2.7	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。左図は両側縁から細かく丁寧な調整を施すが、他方の調整は粗い。細身である。	C14・2・205
69	36.7	33.8	8.6	8.7	〃	基部を欠失する。幅広。先端は尖っている。両面とも先端部と側縁に細かな調整を施している。	A40・4・a N
70	39.6	24.1	10.7	9.6	〃	先端部を欠失する。基部は尖っている。両面ともやや大きな調整を施している。	C14・1・808
71	33.3	16.6	9.0	4.7	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも全面に調整を施している。	B15・c S
72	33.0	13.0	5.5	2.1	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも側縁から全面に調整を施している。	A2・2・12
73	66.45	25.80	9.85	—	遺物不明	先端、基部を欠失する。両面ともやや粗い剥離を全面に施している。	C16・2・513
74	57.5	22.7	11.9	15.2	サヌカイト	先端、基部を欠失する。両面とも全面に及ぶ調整を施している。	B16・131
75	37.8	8.2	8.4	4.0	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも側縁から細かな調整を施している。	B13・a S
76	54.1	27.0	13.6	—	〃	基部と先端部をわずかに欠失する。両面とも粗く大きな剥離を施したのち側縁の一部に細かな調整を施している。	C7・2・134
77	67.3	24.9	10.5	16.9	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも側縁から全面に調整が施されている。	A34・2・275
78	50.2	12.0	9.3	6.8	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。小形で、両面とも丁寧な調整が施されている。	C14・1・635

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
79	44.0	24.7	8.7	8.4	サヌカイト	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも全面に丁寧な調整を施している。		B9・664
80	21.0	13.6	5.3	1.1	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも側縁から調整を施している。		A16・1・b N
81	22.0	22.7	7.0	2.9	〃	先端部を欠失する。基部は尖っている。両面とも丁寧な調整が施されている。		A42・5・a S
82	14.3	13.6	4.8	0.9	〃	先端、基部を欠失する。左図は片側縁に調整を施している。右図は全面に調整を施している。		B3・194
83	16.3	22.7	5.9	2.7	〃	先端、基部を欠失する。両面とも側縁から調整を施している。		A32・2・189
84	27.2	18.4	6.0	3.1	〃	先端、基部を欠失する。両面とも側縁から調整を施している。		A32・1・394
85	29.0	22.1	8.2	4.0	〃	基部を欠失する。先端部はやや尖る。両面とも側縁から調整を施している。		A2・1・b S
86	31.9	20.7	7.8	3.5	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。		B17・c N
87	28.0	22.4	9.4	6.5	〃	先端、基部を欠失する。両面とも側縁から丁寧な調整を施している。		A41・4・d N
88	24.2	20.2	6.3	2.7	〃	先端部を欠失する。基部はやや尖る。両側縁から細かい調整を施している。		A4・1・46
89	25.0	43.9	14.6	19.9	〃	先端、基部を欠失する。両面とも側縁から調整を施す。		B18・a N
90	29.4	17.3	7.8	4.4	〃	先端、基部を欠失する。両面の側縁から調整を施す。		B18・c N
91	31.3	28.5	10.3	8.1	〃	先端を欠失する。基部は丸い。両面とも側縁から調整を施し、断面は凸レンズ状をなす。		B9・729
92	30.7	17.8	6.3	3.0	〃	先端の一部、基部を欠失する。左図は先端部に調整を施している。右図は片側縁に調整を施す。		C15・1・a S
93	32.6	26.9	9.0	8.7	〃	先端、基部を欠失する。両面とも側縁から調整を施している。		B19・697
94	37.9	20.7	6.3	4.3	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも全面に調整を施している。		A35・3・d S
95	44.3	28.3	13.0	14.5	〃	先端の一部及び基部を欠失する。両面とも全面に丁寧な調整を施している。		A37・1・1693
96	39.2	23.4	9.5	6.6	〃	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも調整はやや粗い。		C17・1・c S
97	35.8	32.6	12.2	15.6	〃	先端部を欠失する。基部は丸い。左図は基部に細かく調整を施している。右図は両側縁から調整を施している。		A39・4・d N
98	38.5	27.3	9.9	12.8	〃	先端、基部を欠失する。両面とも両側縁から全面にわたって調整を施している。		A1・2・c N
99	42.7	28.8	8.6	9.3	〃	基部を欠失する。先端部は尖っている。両面とも両側縁から調整を施している。		C14・2・b S
100	82.15	50.25	10.60	30.0	〃	基部を欠失する。先端部は尖っている。両面とも両側縁から全面にわたって調整を施し、断面は凸レンズ状をなす。接合資料。		A37・3・c N B20・b S
101	55.0	37.9	11.0	18.0	〃	基部を欠失する。先端部は尖っている。両面とも両側縁から調整を施しているが、側縁部以外はやや粗い。器形は幅広である。		A13・1・b S
102	44.8	27.0	8.0	9.2	〃	先端、基部を欠失する。両側縁から丁寧な調整を施す。		C17・1・c N
103	36.4	35.0	14.2	21.4	〃	先端、基部を欠失する。一方の側縁の調整は粗く、他方の側縁には階段状剥離がみられる。		A39・3・895
104	36.4	29.7	11.1	11.1	〃	先端、基部を欠失する。両面とも側縁から調整を施している。		A39・2・c S

番号	法 量			石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ				
105	40.5	33.5	10.0	〃	先端、基部を欠失する。両面とも側縁から調整を施す。		A18・1・b S
106	36.5	34.4	11.7	〃	先端、基部を欠失する。両面とも両側縁から調整を施し、断面は凸レンズ状となる。		B20・d S
107	51.2	30.9	11.7	〃	先端の一部及び基部を欠失する。両面とも全面に調整が施されているが、側縁の調整は細かい。		A35・4・357
108	40.70	20.00	6.55	遺物 不明	完形。三角形の頭部をもつ。基部にのみわずかな調整を施して、莖状にする。ナイフ形石器とすべきか。		
109	38.90	18.15	7.80	サヌカイト	完形。三角形の頭部を持つ。基部は莖状となる。片側の側縁に調整を施す。		B9・348
110	39.65	23.50	6.70	〃	莖の一部と先端部を欠失する。三角形の短い莖をもつ有舌尖頭器である。両面とも全面にわたって側縁から調整を施す。		南端小砂浜探

第51表 彫器観察表

番号	法 量			石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ				
1	53.15	27.85	14.25	サヌカイト	下端部を欠失する。両面加工品を素材とし、上端の斜上方から加撃し、交叉刃型刃部をつくりだす。		A40・2・c S
2	55.10	26.15	11.45	〃	完形。板状サヌカイトを素材とし、素材の一方の側面には上下端から調整を施す。下端から上方に加撃し、側刃型彫刃面をつくりだす。		A39・3・a N
3	22.40	16.45	6.00	〃	下部を欠失する。小形品。両面加工品を素材とし、右図の上端の左斜上方から加撃し、斜刃型刃部をつくりだす。		C20・1・637
4	64.75	37.30	16.60	〃	完形。板状サヌカイトを素材とし、上端から加撃して側刃型の彫刃面をつくりだす。		C11・1・793
5	59.15	32.60	15.60	〃	完形。両面加工品を素材とし、下端は左図の左方から加撃し、横刃型刃部をつくりだす。上端は同図の右斜上方から加撃して打面をつくりだす。同図右端に上方から種状剝離を行って刃部をつくりだす。		A41・5・a N

第52表 スポール観察表

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
1	40.80 ^{mm}	13.15 ^{mm} 8.80 ^{mm}	3.2 ^g	サヌカイト	完形。側面の調整が片面しかないので縦長剥片の初期の剥片の可能性もある。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。下端部に自然面が残る。	B21・2338	
2	36.50	14.50	4.4	〃	両端部を欠失する。側面の調整は両面に施す。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A35・5・b S	
3	40.00	9.45	4.5	〃	上端部を欠失する。側面の両面から調整を施している。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A39・5・b S	
4	40.35	9.20	5.5	〃	上端部を欠失する。側面の両面から調整を施している。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A35・1・409	
5	31.45	14.35	3.3	〃	上端部を欠失する。両側面に調整を施している。調整は断口面から施す。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A38・5・185	
6	33.55	18.40	7.7	〃	上端部を欠失する。断面は三角形で両側面には細かく丁寧な調整を施す。主要剥離面側には2面の剥離面があり、上方からの剥離が新しい。	A28・2・d N	
7	41.40	9.95	4.3	〃	両端部を欠失する。断面は三角形で両側面には細かく丁寧な調整を施す。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A39・4・c N	
8	49.10	11.95	5.3	〃	上端部を欠失する。側面の調整は一方の縁辺にのみわずかに施す。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。縦長剥片の初期の剥片の可能性もある。	A39・3・c N	
9	41.35	10.55	7.1	〃	両端部を欠失する。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。断面は三角形で両面に調整を施している。	A38・2・1245	
10	41.30	11.55	3.3	〃	下端部を欠失する。ネガ面とポジ面を持つ。側面一方はわずかに残らない。この側面には細かな調整は認められないが、他の側面には細かな調整が丁寧な調整が施されている。	A39・3・c N	
11	42.00	15.45	6.1	〃	上端部を欠失する。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。両側面に調整を施す。	C18・1・d S	
12	52.40	12.50	5.7	〃	上端部を欠失する。断面は三角形で片方の側面にのみ調整を施す。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。縦長剥片の初期の剥片の可能性もある。	B17・471	
13	51.10	9.40	5.3	〃	下端部を欠失する。両側面に細かな二次調整を施す。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A39・3・d S	
14	62.50	11.00	4.4	〃	完形。両側面の調整は細かく丁寧な調整が施されている。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A38・3・151	
15	59.85	17.15	7.4	〃	下端部を欠失する。一方の側面にはのみ、調整を施している。縦長剥片の初期の剥片の可能性もある。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	C6・1・62	
16	60.85	21.55	19.2	〃	両端部を欠失する。両側面には丁寧な調整が施されている。主要剥離面からの調整も認められる。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A39・2・1387	
17	41.45	10.85	6.2	〃	両端部を欠失する。ネガ面とポジ面を持つので、刃部再生又は彫刀面作成に伴う剥片かもしれない。上端部は薄くて幅広い。一方の側面の調整はネガ面からなされている。	A39・2・c N	
18	42.90	19.35	10.0	〃	下端部を欠失する。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。両側面には丁寧な調整が施されている。	A39・2・c S	
19	54.65	22.70	14.6	〃	上端部を欠失する。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A35・5・477	
20	59.90	14.35	7.4	〃	上端部を欠失する。ネガ面とポジ面を各1面ずつ持つ。一方の側面の調整は、ネガ面からなされている。刃部再生ないしは彫刀面作成に伴うスポールか。	A40・3・380	
21	48.75	16.25	13.80	〃	完形。彫刀面と思われる複数の鱗状剥離を持っているので刃部再生剥片と思われる。	A38・1・712	

第53表 石錐観察表

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅					
1	36.15	16.95	2.4	サヌカイト	完形。薄い剝片を利用し、一方を尖らせて刃部とする。刃部の調整は片面の両側に施すが、他の面には施されていない。	A36・1・1058	
2	38.80	20.00	4.5	〃	完形。薄い剝片を利用する。刃部は尖って右方に曲っている。刃部の調整は上端部の片面の両側に施す。一方の側縁に自然面を残す。	A36・2・663	
3	26.70	35.70	6.0	〃	刃部の先端を欠失する。刃部の調整は片面のみある。	A8・2・c N	
4	38.30	27.10	6.0	〃	完形。剝片を利用し、下端部には主要剝離面の打点を残す。刃部の調整は片面のみで、一方の側縁は大きな1回の剝離ですませるが、他の側縁には細かな調整を施す。この調整は器体の下端近くまで及んでいる。	A39・3・b S	
5	34.35	31.10	6.6	〃	完形。剝片を利用する。刃部の調整は片面の両側に施す。基部の一部は両面から調整する。	B9・119	
6	36.70	32.45	11.6	〃	完形。やや分厚い剝片を利用する。刃部の調整は片面の片側のみに施す。基部にも調整を施す。	A39・5・b S	
7	40.10	26.85	13.8	〃	完形。横長剝片石核を利用する。刃部の調整は片面の両側に細かく丁寧な剝離を施す。	C16・1・582	
8	23.35	24.05	2.4	〃	完形。薄い剝片を利用する。刃部の調整は両面の両側に施す。	A6・2・193	
9	35.00	21.10	3.8	〃	完形。薄い剝片を利用する。刃部の調整は両側の片面ずつに錯行状に施す。	C11・2・111	
10	33.30	29.55	4.7	〃	完形。薄い剝片を利用する。刃部の調整は一方の側縁の両面に施す。刃部には使用時のものと思われる磨滅がある。	A37・4・c S	
11	30.30	21.30	2.8	〃	完形。薄い剝片を利用し上端部を尖らせて刃部とする。刃部の調整は両面に施している。	A36・3・656	
12	51.10	75.60	42.2	〃	完形。大形で、上端部を尖らせて刃部としている。刃部の調整は片面の両側に施す。刃部の裏面には先端からの小剝離が認められる。	A40・2・686	

第54表 削器・掻器観察表

番号	法		重量	石質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
1	61.9	32.2	23.9	サヌカイト	削器。翼状剥片石核を転用。石核末端部の側縁に調整を施す。調整は底面側から行う。刃部は外湾する。	B5・181	
2	33.50	69.60	20.9	〃	削器。交互剥離石核の末端部側縁を調整する。調整は片面側からのみ行う。直線刃。	A38・1・5	
3	42.10	65.15	29.8	〃	削器。交互剥離石核を転用。石核の剥片剥離は一方の縁辺の表裏から各1枚ずつを剥離。刃部の調整は両面側から行うが、調整の部位を異にする。外湾刃。	A38・5・107	
4	59.1	37.0	24.6	〃	削器。石核転用。一方の側縁に、片面から調整を施す。直線刃	C11・2・172	
5	31.20	42.70	18.9	〃	削器。翼状剥片石核を転用。石核末端部の側縁に底面から調整を施す。直線刃。	C10・1・c S	
6	37.70	53.10	22.1	〃	削器。石核転用。石核の側縁を片面から調整を施す。	A39・4・d N	
7	51.10	87.75	103.0	〃	削器。石核転用。石核の側縁に調整を施す。調整は片面側から行う。	A40・4・b S	
8	43.6	43.3	25.5	〃	掻器。石核転用。三角形をなす器体の二辺を刃部となす。調整は片面側からのみ行う。	A17・1・a S	
9	48.6	30.5	16.7	〃	削器。石核転用。一方側縁に片面側から調整を施す。直線刃。	B23・123	
10	27.40	73.85	33.0	〃	削器。石核転用。石核打面側に調整を施す。刃部の反対側には自然面を残す。	C9・2・b S	
11	56.40	67.45	62.1	〃	削器。石核転用か。上端部は片面から調整を施しているが下端部は両面から調整を施す。	A33・2・386	
12	57.4	41.9	29.3	〃	削器。石核転用。一側縁に片面側から調整を施し、反対側からもわずかに調整を施す。外湾刃。	A23・2・a S	
13	53.9	22.0	15.7	〃	削器。剥片利用。一方側縁に片面から調整を施す。刃部は内湾刃。	B3・841	
14	33.8	22.9	11.4	6.5 玻璃質安山岩	削器。縦長剥片を利用。一方の側縁に調整を施す。調整は主要剥離側から行う。	A3・2・212	
15	41.5	36.1	9.6	9.8	削器。横長剥片利用。打面側側縁に主要剥離側から二次調整を施す。刃部は外湾刃。	C13・2・184	
16	37.90	28.35	11.30	9.9	削器。縦長剥片を利用。両側縁に主要剥離側から調整を施す。	A22・2・a N	
17	56.85	63.60	42.2	サヌカイト	削器。横長剥片利用。主要剥離面の末端部に細かな丁寧な調整を施す。細部調整剥片とすべきか。	B24・a N	
18	24.1	20.4	10.5	2.7 玻璃質安山岩	削器。横長剥片利用。主要剥離面の末端部に細かな調整を施す。	A25・2・c N	
19	31.80	55.20	7.25	14.3 サヌカイト	削器。翼状剥片利用。主要剥離面の末端部に調整を施す。直線刃。	A38・3・1257	
20	22.75	76.30	7.50	15.9	削器。翼状剥片利用。末端部の縁辺に粗い調整を施す。直線刃。	C7・2・132	
21	19.55	34.45	5.60	4.2	削器。横長剥片を利用。主要剥離側からわずかな調整を施す。直線刃。	A37・2・1548	
22	24.50	37.90	5.90	5.1	削器。横長剥片を利用。主要剥離側から末端部に類歯状の調整を施す。直線刃。	A40・4・a S	
23	55.85	68.45	11.55	30.1	削器。横長剥片を利用。側縁部に粗い調整を施す。	B7・7	
24	18.95	12.00	3.85	0.8 玻璃質安山岩	掻器。短側縁、長側縁に調整を施す。短側縁の両面には細かな調整を施す。長側縁の調整は粗い。	B2・947	
25	16.50	45.40	4.75	3.4 サヌカイト	削器。横長剥片を利用。剥片の末端部に背面側から細い二次調整を施す。	A37・1・325	
26	33.10	57.05	8.30	13.8	削器。横長剥片利用。末端部の縁辺に主要剥離側から二次調整を施す。主要剥離面の打点は除去される。	A40・3・c S	

番号	法 量		石 質	観	察	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm} 厚さ ^{mm}				
27	21.50	27.00 4.35	サヌカイト	削器。横長剥片を利用。横長剥片の側縁を調整する。調整は片面側からのみ行う。	B9・864	
28	27.80	53.00 9.50	〃	削器。翼状剥片を利用。翼状剥片を剥離後、主要剥離面側から打点付近の打面部を大きく剥離。底面のリング・フィッシャーから見て、フリーストプレートに近い剥片であろう。底面側から調整を施す。	A34・1・1113	
29	26.10	36.95 3.35	〃	削器。横長剥片利用。縁辺の両面に二次調整を施す。直線刃。	C18・1・c N	
30	32.40	45.80 7.85	〃	削器。横長剥片利用。剥片の末端部の側縁に調整を施す。調整は底面から行う。刃部は外湾する。	C13・1・14	
31	62.45	123.05 14.20	〃	削器。横長剥片を利用。対応する2辺に調整を施すが、短辺は鋭い刃部をなさない。	A10・1・d N	
32	34.80	39.05 4.60	〃	削器。横長剥片を利用か。両側縁に主要剥離面から調整を施す。	A24・2・74	
33	42.80	40.75 6.80	〃	削器。横長剥片を利用か。下図の上端部に調整を施す。直線刃。	C6・1・281	
34	37.75	61.10 7.25	〃	削器。薄い板状の剥片を利用。一縁辺の両面に調整を施す。直線刃。	A39・3・a S	
35	38.35	57.00 8.40	〃	削器。横長剥片を利用。対応する2辺に調整を施すが、一方は両面に加工している。	A25・2・100	
36	29.65	60.20 7.25	〃	搔器。短側縁、長側縁に調整する。長側縁の調整は粗雑である。	A1・b S	
37	26.35	56.75 4.75	〃	削器。薄い板状の横長剥片を利用。縁辺部の両面に二次調整を施す。外湾刃。	A29・1・d N	
38	43.45	62.00 14.15	〃	削器。横長剥片を利用。素材は分厚い。縁辺に片面側から調整を施す。内湾刃。	A35・3・472	
39	29.05	58.85 4.60	〃	削器。横長剥片を利用。対応する2辺に調整が施されている。	C5・1・d S	
40	83.50	82.25 13.70	〃	削器。縁辺に調整を施す。調整は粗く、鋭い刃部をなさない。	C19・1・a S	
41	51.70	103.60 10.50	〃	削器。一方の側縁に主要剥離面から調整を施す。直線刃。	A35・3・249	
42	56.15	96.65 9.45	〃	削器。横長剥片を利用。側縁の両面に細かな二次調整を施す。外湾刃。	A40・2・667	
43	32.20	64.75 6.90	〃	削器。三角形をなす2辺に調整を施す。	A23・1・b S	
44	55.95	89.10 9.60	〃	削器。横長剥片を利用。対応する2辺の両面に調整を施して刃部としている。	B21・1917	
45	46.65	28.45 5.45	〃	削器。縦長剥片を利用。両方の側縁に主要剥離面から調整を施す。	C10・1・136	
46	35.70	23.85 6.70	〃	削器。縦長剥片を利用。長三角形をなす2辺に両面から調整を施す。	A35・3・126	
47	111.00	56.10 29.55	〃	長側縁、短側縁に調整。素材は分厚い縦長剥片である。長側縁の両面から調整を施す。短側縁の調整は粗雑である。	C6・1・469	
48	24.95	35.90 7.20	〃	削器。縦長剥片を利用。主要剥離面側に打点が残る。両側縁に調整を施す。	B22・d N	
49	34.05	47.45 9.70	〃	搔器。長側縁、短側縁に調整する。長側縁・短側縁とも丁寧な調整を施し、削器と搔器の機能を持つ。	A39・5・241	
50	52.5	39.2 18.8	〃	搔器。短側縁のみに粗い調整を施す。素材は分厚い。横長剥片石核の転用である。	B7・1010	
51	48.80	65.45 20.60	〃	長側縁、短側縁に調整。素材は分厚い横長剥片である。削器と搔器の機能を持つ。	A24・1・d N	
52	47.00	57.45 13.35	〃	長側縁、短側縁に調整を施す。素材は分厚い。短側縁の二次調整は粗雑である。	A42・5・313	

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
53	35.20	56.25	18.5	サヌカイト	長側縁、短側縁とも丁寧な調整を施す。削器と搔器の機能を持つ。		A28・1・b N
54	52.25	49.50	48.2	〃	搔器。石核を利用。短側縁のみに調整。素材は分厚い。先端部に二次調整を施す。		A35・2・454
55	57.60	60.40	51.2	〃	搔器。短側縁のみに調整する。調整は片面側からのみ行われている。刃部は強く外湾する。		A37・3・593
56	51.60	31.10	17.1	〃	搔器。横長裂片を利用。短側縁に二次調整を施す。主要剥離面に打点が残る。		A39・4・693
57	46.30	29.50	14.6	〃	搔器。横長裂片を利用。刃部は尖った器体の先端に二次調整を施してついている。		A38・2・4295
58	95.55	41.65	139.0	〃	搔器。短側縁のみに調整。刃部には両面から二次調整を加える。側縁に自然面を残す。素材は分厚い横長裂片。		A37・3・448
59	41.95	36.85	18.9	〃	円形搔器。横長裂片を利用。ほぼ全周に二次調整を施す。刃部は主要剥離面側から調整を施す。		A39・5・c N
60	28.50	28.85	7.5	〃	搔器。短側縁のみに細かな調整する。		A6・1・383
61	28.35	25.20	5.60	〃	円形搔器。上辺を除くほかの縁辺に調整を施す。調整は一部では両面から行われている。		A37・2・373
62	28.10	19.20	4.95	〃	円形搔器。刃部は部分的に両面から調整を施す。		C12・1・b N
63	49.10	43.20	24.5	〃	円形搔器。上辺を除く縁辺に片面側から調整が施されている。調整は下辺のみが特に丁寧であり、搔器とすべきかもしれない。		A7・1・217
64	49.65	31.10	14.7	〃	搔器。薄い板状裂片の短側縁のみに調整する。		A7・2・b S
65	42.00	33.65	6.80	〃	円形搔器。薄い板状裂片を利用。ほぼ全周に二次調整を施す。調整は両面から施す。		A4・2・d S
66	31.30	35.65	7.70	〃	円形搔器。薄い板状裂片の全周に二次調整を施す。主要剥離面の打点は除去されている。		C10・2・928
67	41.95	40.55	5.85	〃	薄い板状裂片を利用。四角形の各辺に調整を施す。楔状石器の素材の可能性もある。		C13・2・187
68	73.6	33.0	6.7	〃	薄い板状裂片を利用。左図の右側縁と下部に、右図は上部と右側縁に調整を施す。		B11・494
69	110.0	53.5	20.4	〃	左図の左側縁と両端部は細かい二次調整を施しているが、右側縁は粗い二次調整を施す。右図は両端部と左側縁に細かな二次調整を施す。翼状裂片石核の転用と思われる。		B8・108
70	53.85	32.10	7.85	〃	長方形の板状裂片を利用。左図の両側縁と上部に調整を施し、右図は下部に調整を施す。		C12・2・a S
71	47.80	32.90	7.85	〃	長方形の板状裂片を利用。左図の左側縁は片面から二次調整を施しているが、両端部は両面から調整を施している。		C11・1・426
72	43.60	39.45	8.70	〃	長方形の板状裂片を利用。バナナの体部の上辺を除く各辺に調整を加えている。		A23・2・b N
73	64.70	49.20	21.75	〃	短冊形。左図の左側縁に自然面を残す。同図右側縁と下部及び左側縁の一部（裏面）に調整を施す。		B7・664
74	72.40	51.05	8.90	〃	下端部を欠失する。体部の左右に挟りを入れる。上端部は両面から調整を施し、両側縁には粗い調整を施す。		C16・1・1242
75	162.40	76.15	12.65	〃	大形の長方形板状を素材とし、左図の左辺下方には自然面が残る。体部の縁辺を片面ないし両面から調整するが刃部は純い。打刃石敏か。		B23・258
76	18.00	53.55	12.25	〃	鋭い長側縁の一部に調整を加える。調整は中央部が途切れ、上下に分かれる。左図上部の調整は、尖りぎみの体部上端まで施されている。		B36・4・38
77	22.15	34.45	8.80	〃	横長裂片を利用。縁片末端の縁辺の一部を背面側から調整する。対応する縁辺部には自然面が認められる。		A39・5・320
78	22.20	31.60	5.40	〃	三角形の小裂片の鋭い縁辺に、片面側から調整している。		C5・1・a S

番号	法 量			石 質	観 察	出土地点
	長さ	幅	厚さ			
79	47.65	53.10	12.50	サヌカイト	三角形の小剥片の鋭い縁辺に、片面側から細かな剥離を丁寧に施す。	A38・1・4131
80	30.75	32.35	7.90	〃	不整四角形の剥片を素材とし、細かな調整を加えて直線状と内湾する刃部をつくっている。	A37・3・430
81	45.15	28.95	6.80	〃	三角形の小剥片の鋭い縁辺に、細かな調整を施している。	A36・3・2254
82	43.55	33.20	5.50	〃	縦長剥片を利用。鋭い縁辺の両面に不規則な小剥離がある。	B6・191
83	38.60	31.30	16.00	〃	剥片の鋭い長側縁の両面に不規則な小剥離を持つ。	B18・711
84	20.60	32.30	9.85	〃	横長剥片石核を利用。鋭い縁辺に片面側から細かな調整を施す。	B1・171
85	26.40	39.05	8.85	〃	剥片の鋭い長側縁に不規則な小剥離が両面に認められる。	A28・2・190
86	29.50	38.00	10.85	〃	剥片の両側縁にわずかな調整を施す。調整は片面側からのみ行い、側縁のごく一部にとどまる。	B8・742

第55表 楔状石器観察表

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点	
	長さ	幅 厚さ						
1	29.05	10.90	2.3	サヌカイト	完形。柱状を呈し、図の下端は尖る。上・下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を持つ。両側は下方から加撃して切断する。	完形。柱状を呈し、図の下端は尖る。上・下縁には両面とも階段状剥離を主体とした調整を持つ。両側は下方から加撃して切断する。	A24・1・b S	
2	31.90	10.05	2.1	〃	完形。柱状を呈し、上縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。両側は上方から加撃して切断する。	完形。柱状を呈し、上縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を持つ。両側は上方から加撃して切断する。	A8・2・b N	
3	31.3	9.7	3.6	〃	完形。柱状を呈し、上縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。両側は上方から加撃して切断する。	完形。柱状を呈し、上縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。両側は上方から加撃して切断する。	B12・8	
4	23.95	9.95	1.8	〃	完形。柱状を呈し、上・下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を持つ。両側は上・下方から加撃して切断する。	完形。柱状を呈し、上・下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を持つ。両側は上・下方から加撃して切断する。	C18・1・713	
5	24.10	9.55	2.4	〃	完形。柱状を呈し、上・下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を施す。左図の右側面は上方から加撃して切断する。	完形。柱状を呈し、上・下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を施す。左図の右側面は上方から加撃して切断する。	A3・1・d N	
6	29.0	14.7	5.4	〃	完形。柱状を呈し、上・下縁には両面に階段状剥離を主体とする調整を施す。左図の右側面は上方から加撃して切断する。右側面は上・下から加撃している。	完形。柱状を呈し、上・下縁には両面に階段状剥離を主体とする調整を施す。左図の右側面は上方から加撃して切断する。右側面は上・下から加撃している。	B21・543	
7	34.3	12.1	6.1	〃	完形。三角形状を呈し、下縁の両面とも階段状剥離を主体とする調整を施す。両側は下方から加撃して切断する。	完形。三角形状を呈し、下縁の両面とも階段状剥離を主体とする調整を施す。両側は下方から加撃して切断する。	A39・1・c S	
8	25.00	18.50	3.0	〃	完形。三角形状を呈し、下縁の片面に階段状剥離を主体とする調整を持つ。両側は上・下方から加撃して切断する。	完形。三角形状を呈し、下縁の片面に階段状剥離を主体とする調整を持つ。両側は上・下方から加撃して切断する。	A36・3・475	
9	29.80	6.30	4.75	〃	完形。柱状を呈し、上縁の片面に階段状剥離を主体とする調整を持つ。両側は下方から加撃して切断する。	完形。柱状を呈し、上縁の片面に階段状剥離を主体とする調整を持つ。両側は下方から加撃して切断する。	A40・2・c N	
10	43.8	20.7	10.5	〃	完形。長方形状を呈し、下縁の両面に階段状剥離を主体とする調整を持つ。一方の側面は上方から加撃して切断する。	完形。長方形状を呈し、下縁の両面に階段状剥離を主体とする調整を持つ。一方の側面は上方から加撃して切断する。	C16・2・254	
11	25.00	22.40	5.85	〃	完形。不整な三角形状を呈し、上・下縁の両面に階段状剥離を主体とする調整を施す。左図の右側面は上方から加撃して切断する。	完形。不整な三角形状を呈し、上・下縁の両面に階段状剥離を主体とする調整を施す。左図の右側面は上方から加撃して切断する。	A37・4・a N	
12	34.8	14.8	5.6	〃	完形。柱状を呈し、上・下縁には片面に階段状剥離を主体とする調整を施す。左図の右側面は上方から加撃して切断する。	完形。柱状を呈し、上・下縁には片面に階段状剥離を主体とする調整を施す。左図の右側面は上方から加撃して切断する。	C18・1・99	
13	26.0	24.3	6.0	〃	完形。方形状を呈し、上・下縁には両面に階段状剥離を主体とする調整を持つ。上縁に小さな自然面を残す。	完形。方形状を呈し、上・下縁には両面に階段状剥離を主体とする調整を持つ。上縁に小さな自然面を残す。	B21・804	
14	27.35	25.65	5.55	〃	完形。方形状を呈し、上・下縁と一方の側面に階段状剥離を主体とする調整を施す。右図の左側縁は上方から加撃して切断する。	完形。方形状を呈し、上・下縁と一方の側面に階段状剥離を主体とする調整を施す。右図の左側縁は上方から加撃して切断する。	A2・2・b S	
15	25.15	26.85	10.25	〃	完形。正方形状を呈し、上・下縁と一方の側縁に階段状剥離を主体とする調整を持つ。一方の側縁は上方から加撃して切断する。	完形。正方形状を呈し、上・下縁と一方の側縁に階段状剥離を主体とする調整を持つ。一方の側縁は上方から加撃して切断する。	C11・1・297	
16	32.0	25.7	8.6	6.3 玻璃質安山岩	完形。正方形状を呈し、上・下縁と一方の側縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。一方の側縁は上方から加撃して切断する。	完形。正方形状を呈し、上・下縁と一方の側縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。一方の側縁は上方から加撃して切断する。	A39・2・c S	
17	30.5	21.4	10.9	8.5 サヌカイト	完形。方形状を呈し、上縁の片面と下縁の両面に階段状剥離を主体とする調整を施す。左図の右側面は下方から切断する。	完形。方形状を呈し、上縁の片面と下縁の両面に階段状剥離を主体とする調整を施す。左図の右側面は下方から切断する。	A10・1・d N	
18	27.30	16.60	5.30	〃	下端部を欠失する。柱状を呈し、上縁の片面と一方の側縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。	下端部を欠失する。柱状を呈し、上縁の片面と一方の側縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。	C11・2・1	
19	36.6	11.3	4.4	2.0	〃	完形。柱状を呈し、上・下縁と一方の側縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。一方の側縁は上方から加撃して切断する。	完形。柱状を呈し、上・下縁と一方の側縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。一方の側縁は上方から加撃して切断する。	A5・1・d S
20	48.4	24.1	8.6	10.3	〃	完形。三角形状を呈し、一側縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。他方の側面は上方から加撃して切断する。	完形。三角形状を呈し、一側縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。他方の側面は上方から加撃して切断する。	C16・2・2
21	39.40	39.30	11.40	17.5	〃	完形。不整な四角形を呈し、上・下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を持つ。左図の右側縁には自然面を残す。	完形。不整な四角形を呈し、上・下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を持つ。左図の右側縁には自然面を残す。	A36・4・46
22	41.15	12.25	7.35	6.4	〃	完形。柱状を呈し、上・下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を施す。	完形。柱状を呈し、上・下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を施す。	A2・2・98
23	40.0	19.0	11.7	10.4	〃	完形。三角形状を呈し、下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を施す。中央の図の上部には自然面が残る。右図の左側面は上方より切断する。	完形。三角形状を呈し、下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を施す。中央の図の上部には自然面が残る。右図の左側面は上方より切断する。	A4・2・361
24	28.70	11.45	6.60	2.3	〃	完形。柱状を呈し、下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を持つ。両側は下方から加撃して切断する。	完形。柱状を呈し、下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を持つ。両側は下方から加撃して切断する。	A23・2・a S
25	21.2	21.0	4.4	1.7 玻璃質安山岩	完形。方形状を呈し、下縁の片面には階段状剥離を主体とする調整を施す。	完形。方形状を呈し、下縁の片面には階段状剥離を主体とする調整を施す。	A38・5・b N	
26	39.20	21.85	12.20	10.8	〃	完形。柱状を呈し、下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を持つ。上縁には自然面を残す。	完形。柱状を呈し、下縁には両面とも階段状剥離を主体とする調整を持つ。上縁には自然面を残す。	C17・1・319

番号	法 量			重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm}	厚さ ^{mm}					
27	34.4	18.6	6.2	4.7	サヌカイト	完形。柱状を呈し、上縁と下縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。右図の右側面は上方から加撃して切断する。	A6・1・8	
28	30.10	13.85	5.80	2.6	〃	完形。柱状を呈し、上・下縁には階段状剥離を主体とした調整を施す。両側は上方と下方から加撃して切断する。	A37・3・b N	
29	31.7	23.0	5.7	5.5	〃	完形。方形状を呈し、上・下縁には両面に階段状剥離を主体とした調整を施す。右図左側面は上方から加撃して切断する。	A38・2・110	
30	29.7	17.1	5.3	2.4	玻璃質安山岩	完形。三角形を呈し、上縁の両面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A38・1・986	
31	24.5	11.8	8.1	3.2	サヌカイト	完形。柱状を呈し、上縁と下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。左図左側面は上方から加撃して切断する。	C4・1・d N	
32	23.2	24.8	4.0	2.3	〃	完形。三角形状を呈し、下縁の両面に階段状剥離を主体とした調整を施す。左図の右側には折れ面と思われる面を持つ。	A40・3・608	
33	26.00	12.65	5.25	2.8	〃	完形。方形状を呈し、上・下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。左図の右側には折れ面と思われる面を持つ。	A40・3・c N	
34	20.10	10.05	2.65	0.9	〃	完形。長方形を呈し、上・下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A36・1・534	
35	28.4	14.6	11.9	1.6	〃	完形。柱状を呈し、上・下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。右図の左側には折れ面と思われる面を持つ。	A3・1・c S	
36	23.4	23.5	4.6	2.6	〃	完形。三角形状を呈し、中央図の左側には上下からの加撃がなされている。	B20・108	
37	16.40	22.70	4.35	1.8	〃	完形。長方形状を呈し、上・下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。右図の左側には折れ面と思われる面を持つ。	B3・458	
38	24.6	18.3	4.1	2.3	〃	完形。長方形状を呈し、上・下縁には階段状剥離を主体とした調整を施す。一方の側縁には折れ面と思われる面を持つ。	C16・1・1680	
39	34.95	15.85	5.10	2.7	〃	完形。柱状を呈し、一側縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。	B・12・c S	
40	28.65	16.20	4.65	2.4	〃	完形。長方形状を呈し、上縁の片面と下縁及び一方の側縁の両面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A39・3・25	
41	37.4	21.2	5.4	5.4	〃	完形。長方形状を呈し、一側縁と上・下縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。一方の側縁に折れ面と思われる面を持つ。	A29・1・c S	
42	31.0	15.8	8.9	5.2	〃	完形。長方形状を呈し、上・下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A39・2d S	
43	34.2	17.7	4.5	2.7	〃	完形。三角形状を呈し、一方の側縁の両面には階段状剥離を主体とするとする調整が施されている。	A10・1・164	
44	31.1	22.7	6.9	5.2	〃	完形。三角形状を呈し、上縁に階段状剥離を主体とした調整を施し、両側に折れ面と思われる面を持つ。	C8・1・7	
45	27.5	14.8	5.0	2.0	〃	完形。柱状を呈し、一側縁の両面と上・下端に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A2・1・c S	
46	33.60	14.50	4.70	2.3	〃	完形。柱状を呈し、一側縁に階段状剥離を主体とした調整を持つ。	A37・1・3519	
47	32.15	16.85	6.15	3.4	〃	完形。長方形状を呈し、一側縁及び下縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A39・1・d S	
48	30.1	21.0	5.0	3.2	〃	完形。三角形状を呈し、上縁の両面には階段状剥離を主体とした調整を施す。	C10・1・36	
49	22.7	16.4	2.7	1.1	玻璃質安山岩	完形。長方形状を呈し、一側縁の両面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A39・4・c S	
50	15.20	22.15	3.65	1.5	サヌカイト	完形。長方形状を呈する。一側縁に折れ面と思われる面を持ち、両面とも周囲から調整が施されている。	B13・389	
51	34.15	31.15	5.65	7.5	〃	完形。方形状を呈し、上・下縁の両面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	B10・186	
52	33.7	19.7	4.2	3.1	〃	完形。長方形状を呈し、上・下縁の片面には階段状剥離を主体とした調整を施す。	A36・1・441	

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm} 厚さ ^{mm}					
53	30.20	17.80 3.65	2.0	サヌカイト	完形。三角形を呈し、二辺の両面には階段状剥離を主体とする調整を施す。		A37・2・1156
54	24.6	23.2 5.6	3.3	玻璃質安山岩	完形。方形を呈し、下縁と側縁に調整を施す。		A39・2・398
55	20.35	25.35 4.55	2.5	サヌカイト	完形。方形を呈し、上・下縁には階段状剥離を主体とする調整を施す。		A24・2・b S
56	29.6	15.5 4.4	2.2	〃	完形。柱状を呈し、上縁の片面と下縁の両面に階段状剥離を主体とする調整を施す。		C11・1・486
57	31.6	20.8 12.7	5.4	〃	完形。三角形を呈し、上・下縁と側縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。		B4・155
58	28.2	31.4 5.4	8.1	〃	完形。方形を呈し、上縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。		A4・2・245
59	35.75	25.80 4.80	4.9	〃	完形。方形を呈し、側縁と下縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。		A39・4・367
60	30.9	22.7 4.0	2.7	〃	完形。三角形を呈し、上縁と下縁の両面には階段状剥離を主体とする調整を施す。		A36・1・331
61	30.00	19.20 4.70	2.8	〃	完形。三角形を呈し、上縁の片面と下縁の両面に階段状剥離を主体とする調整を施す。		A21・1・813
62	46.6	19.5 8.1	5.2	〃	完形。柱状を呈し、上縁の片面に階段状剥離を主体とする調整を施す。		B6・627
63	34.9	22.6 5.0	3.9	〃	完形。長方形を呈し、片面の上下縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。		A40・3・a S
64	18.55	31.00 6.10	4.2	〃	完形。長方形を呈し、周縁の両面に階段状剥離を主体とした調整を施す。		A35・2・d S
65	22.50	31.80 3.90	3.6	〃	完形。長方形を呈し、周縁から階段状剥離を主体とした調整を施す。		A38・2・1839
66	26.00	29.30 6.45	4.6	〃	完形。方形を呈し、周縁の両面に階段状剥離を主体とした調整を施す。		B14・c N
67	45.40	49.45 7.20	20.1	〃	完形。方形を呈し、周縁から階段状剥離を主体とした調整を施すが、特に右図左縁の両面が顕著である。		A39・4・b N
68	40.40	45.45 7.40	14.3	〃	完形。方形を呈し、下縁と両側縁の両面及び上縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。		A27・2・a N
69	29.75	35.80 6.15	6.9	〃	完形。長方形を呈し、上縁と側縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。		A28・2・153
70	21.65	26.65 4.90	2.8	〃	完形。長方形を呈し、下縁と両側縁の両面に調整を施す。		A39・3・1397
71	20.30	18.95 5.80	2.6	〃	完形。方形を呈し、両側縁と下縁の両面と上縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。		A4・2・200
72	18.55	32.70 5.25	4.0	〃	完形。長方形を呈し、上縁と側縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。		A10・1・c S
73	23.95	28.80 6.30	5.0	〃	完形。方形を呈し、周囲から階段状剥離を主体とした調整を施す。		A33・1・45

第56表 二次調整ある剥片計測表

番号	法			重量	石質	出土地点	番号	法			重量	石質	出土地点
	長さ	幅	厚さ					長さ	幅	厚さ			
1	26.20	9.45	3.70	0.9	サヌカイト	A4・1・bN	27	34.75	17.60	7.80	3.0	玻璃質安山岩	B2・40
2	34.75	17.00	4.90	3.6	〃	A39・5・aN	28	22.55	11.65	3.60	1.0	〃	C14・2・bN
3	30.60	15.55	5.55	2.6	〃	B11・85	29	25.10	16.25	3.60	1.3	〃	A39・3・cS
4	30.35	21.25	4.75	3.0	〃	A35・2・dN	30	22.80	21.70	5.75	1.8	〃	A10・1・122
5	35.15	18.15	5.45	2.5	〃	A37・3・aS	31	14.90	8.70	2.90	0.4	〃	A9・1・103
6	48.30	24.80	4.95	5.3	〃	A36・2・3049	32	14.40	10.45	2.00	0.4	〃	B1・378
7	25.00	15.30	2.90	0.8	〃	A2・1・401	33	21.05	15.25	5.60	1.7	〃	A1・1・cN
8	28.00	12.45	6.25	1.6	〃	C12・2・148	34	20.80	17.80	3.55	1.3	〃	C9・1・cN
9	32.25	13.55	6.60	1.9	〃	C11・1・775	35	15.10	16.55	5.70	1.2	〃	C16・1・1692
10	41.90	13.15	6.90	2.6	〃	A3・1・321	36	24.30	18.20	6.40	2.7	〃	A39・2・393
11	23.50	9.00	5.95	1.2	〃	B16・203	37	28.45	20.85	7.45	4.3	〃	A36・4・119
12	27.20	10.10	5.70	-	〃	A26・1・205	38	27.30	10.90	6.15	1.8	〃	A12・1・aN
13	34.75	16.85	9.65	3.2	〃	B・8・295	39	22.90	11.20	4.45	0.9	〃	A24・1・dS
14	29.10	23.25	11.15	6.9	〃	A40・5・dN	40	27.90	27.00	7.15	5.6	流紋岩	A42・3・dS
15	44.95	15.60	12.10	6.4	〃	A40・4・536	41	15.70	4.65	3.35	0.2	サヌカイト	A42・4・264
16	37.60	26.90	8.40	7.3	〃	C15・1・688	42	30.15	8.60	3.40	0.7	〃	A36・3・1992
17	36.25	40.65	10.10	15.0	〃	A37・3・bS	43	29.75	8.95	4.75	1.3	〃	B18・589
18	23.20	26.70	11.50	7.8	〃	A17・1・aS	44	26.95	10.45	4.20	0.8	〃	A37・1・3051
19	32.40	19.40	9.85	4.7	〃	C15・1・694	45	30.50	6.55	3.60	0.9	〃	A38・1・1816
20	30.00	15.25	9.55	5.0	〃	B15・314	46	36.65	11.25	6.55	1.8	〃	C17・1・cN
21	23.05	19.10	6.80	2.8	玻璃質安山岩	A39・2・393	47	32.90	10.70	4.95	1.7	〃	C13・2・aN
22	28.20	19.35	7.30	4.3	〃	A36・4・119	48	31.75	9.55	6.10	1.5	〃	A38・3・1073
23	43.00	13.65	8.65	6.0	サヌカイト	A24・1・cS	49	32.30	8.05	8.00	1.5	〃	A37・1・2037
24	27.30	10.90	6.15	1.8	玻璃質安山岩	A12・1・aN							
25	55.90	21.20	8.45	10.8	サヌカイト	A15・592							
26	72.80	16.25	8.50	10.8	〃	A36・3・2211							

第57表 横長剥片石核観察表

番号	法 量		重量	石 質	剥離 角度	剥離 痕		観 察	出土地点
	長さ	幅				長さ	幅		
1	39.5	28.1	7.4	サヌカイト	—	40.80	14.05	翼状剥片石核。完形。背面・底面とも1面の剥離面、上端に自然面を持つ。打面調整は4面。翼状剥片の剥離は稜上加撃。薄い盤状剥片を素材とする。	C4・1・c N
2	42.3	25.2	10.0	〃	117°	41.15	12.00	翼状剥片石核。下端を僅かに欠失。打面調整は石核両端のみで、中央部には施さない。底面は作業面側から剥離。翼状剥片の剥離は石核の背面を加撃。	A39・2・1575
3	50.6	30.1	18.5	〃	104°	41.40	16.00	翼状剥片石核。完形。底面の剥離は下方から行う。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を2面残す。	A36・2・1437
4	48.1	33.0	16.8	〃	121°	—	—	翼状剥片石核。上端を僅かに欠失。打面調整は下半部のみにし、上半は山形になった石核背面を利用。素材は分厚い盤状剥片。	A21・1・126
5	47.0	35.1	16.3	〃	101°	—	—	翼状剥片石核。完形。石核の背面、底面とも1面の剥離面からなり、両者とも作業面側から剥離。扁平な石核。	A37・1・287
6	44.0	33.6	13.8	〃	121°	32.45	12.00	翼状剥片石核。下端を僅かに欠失。背面は2面よりなり、一方の面には打撃痕が残る。翼状剥片の剥離面には剥離痕を2面残す。	B25・123
7	48.3	33.6	13.6	〃	124°	29.95	10.30	翼状剥片石核。完形。背面・底面とも一面ずつからなる。打面調整は石核両端のみ施す。翼状剥片の剥離は石核の背面を加撃。	A12・1・a S
8	41.4	38.5	12.0	〃	114°	34.70	16.70	翼状剥片石核。完形。背面は3面よりなる。打面調整は中央部を細かく施す。	A35・4・540
9	47.0	31.7	16.6	〃	—	39.40	21.45	翼状剥片石核。完形。背面上端部に自然面を残す。作業面では翼状剥片を剥離した後、複数の小剥離を施す。翼状剥片の剥離は打面調整の剥離面を加撃。	A20・1・54
10	47.1	40.0	18.4	〃	—	44.25	13.10	翼状剥片石核。完形。底面は1面よりなり作業面側から剥離。翼状剥片の剥離は背面を加撃し、打撃痕を残す。	A35・3・7767
11	54.60	31.20	15.60	〃	130°	49.25	16.60	翼状剥片石核。完形。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を上端部に残す。背面縁辺には面から調整を施し、スクレイパー転用の可能性あり。	A40・3・b S
12	59.0	27.7	14.3	〃	113°	58.40	20.50	翼状剥片石核。完形。打面調整は粗い。翼状剥片の剥離は打面調整の剥離面のなす稜付近を加撃する。	A2・1・416
13	46.7	38.9	14.3	〃	133°	42.20	18.35	翼状剥片石核。完形。背面は3面よりなる。底面は1面で上端方向から剥離。打面調整は3面で翼状剥片の剥離は打面調整の稜上加撃。	A21・1・724
14	56.7	27.9	12.7	〃	125°	51.20	14.60	翼状剥片石核。完形。底面は1面で作業面側から剥離。翼状剥片の剥離は石核の背面を加撃し、打撃痕を残す。	A38・1・3354
15	55.5	36.6	20.9	〃	124°	48.25	22.85	翼状剥片石核。完形。素材は肉厚な盤状剥片。石核上端部に自然面を残す。打面調整は上端部が細かい。	A39・2・1299
16	52.0	40.2	17.2	〃	120°	—	—	翼状剥片石核。上端破損。打面の中央部には細かい打面調整を施す。翼状剥片剥離の打点は打面調整によって除去される。	A38・3・898
17	48.4	44.3	9.4	〃	140°	44.55	14.05	翼状剥片石核。完形。下端には自然面を残す。扁平な石核。背面・底面とも1面の剥離面。翼状剥片の剥離は石核の背面を加撃。	A39・2・1205
18	67.4	37.8	16.7	〃	—	54.60	21.40	翼状剥片石核。完形。背面上半部縁辺に自然面を残す。打面調整は下部に細かく施す。翼状剥片の剥離面には古い剥離面を残す。	A37・4・b S
19	69.5	29.0	13.4	〃	115°	65.05	15.90	翼状剥片石核。完形。背面は3面からなり1面は自然面。翼状剥片の剥離は打面調整の稜上加撃。	A41・4・b N
20	73.4	42.3	19.2	〃	127°	10.60	25.70	翼状剥片石核。上端破損。背面縁辺下半部には自然面を残す。打面調整は上下端部のみ施す。翼状剥片の剥離は石核背面を加撃。	B11・50
21	57.0	30.6	13.1	〃	—	43.50	13.45	翼状剥片石核。上端破損。下端には自然面を残す。打面調整は大きく2面施す。底面上端部に調整痕がある。打面調整を伴った交互剥離石核の可能性あり。	A39・2・1475
22	76.3	24.0	14.0	〃	—	57.10	24.20	翼状剥片石核。完形。背面縁辺は上端部を除き自然面が残る。底面は下部に細く残る。	A1・1・55
23	96.9	48.3	19.5	〃	116°	—	—	翼状剥片石核。完形。背面の大半に自然面を残す。翼状剥片の剥離面には複数の剥離痕が見られる。	A8・1・187
24	63.45	22.85	10.65	〃	—	32.80	11.70	翼状剥片石核。完形。背面には自然面を残す。底面は1面で作業面側から剥離、打面調整は細かい。翼状剥片の剥離面に剥離痕を多数残す。	A39・3・c S
25	60.4	25.5	11.4	〃	—	59.35	25.25	翼状剥片石核。下端に自然面を残す。翼状剥片の剥離面の下半部縁辺を欠失する。底面は上部に細長く残る。翼状剥片の剥離は打面調整の稜上加撃。	A33・2・891
26	83.9	31.5	22.6	〃	112°	59.10	21.00	翼状剥片石核。完形。背面縁辺に自然面が残る。背面は2面。底面は1面で、作業面側から剥離。翼状剥片の剥離面は打面調整の剥離面を加撃。	A38・3・111

番号	法 量			重量	石 質	剥離 角度	剥離 痕		観 察	出土地点
	長さ	幅	厚さ				長さ	幅		
27	49.8	35.0	16.5	21.1	サヌカイト	-	35.90	13.65	翼状剥片石核。完形。背面2面のうち1面は自然面。打面調整は上半部と下端部に施す。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を残す。	A35・5・223
28	75.8	38.1	15.4	33.0	〃	116°	55.00	21.05	翼状剥片石核。完形。背面は1面。底面は2面よりなる。上端部の打面調整は細かい。翼状剥片の剥離面の打点は打面調整によって除去される。	A35・2・478
29	67.3	50.5	23.6	54.1	〃	-	66.70	23.75	翼状剥片石核。完形。背面は1面で作業面側から剥離。翼状剥片の剥離は打面調整と自然面がなす稜を加撃。	A18・2・c N
30	57.60	35.10	16.00	20.1	〃	121°	57.90	27.75	翼状剥片石核。完形。背面は1面の剥離面。打面調整は粗く。翼状剥片の剥離は打面調整の稜を加撃する。	A37・4・c S
31	67.0	35.0	11.7	20.4	〃	-	53.35	14.80	翼状剥片石核。底面の縁辺を僅かに欠失。底面は1面の剥離面。背面の上部に自然面を持つ。	A38・2・4044
32	65.9	36.4	15.5	24.2	〃	-	50.90	17.50	翼状剥片石核。下端を僅かに欠失。背面に自然面を残す。底面は1面の剥離面。上部には小剥離面を持つ。	B20・486
33	46.8	55.7	15.4	40.0	〃	133°	47.35	21.00	翼状剥片石核。完形。背面・底面とも1面の剥離面。上端に自然面を持つ。	A35・3・178
34	76.2	41.4	17.7	43.9	〃	-	48.45	16.00	翼状剥片石核。底面の中央を僅かに欠失。背面の下部に自然面を持つ。底面の下部には古い翼状剥片の剥離面を残す。底面は1面の剥離面。	A14・1・a N
35	80.85	24.20	12.15	50.0	〃	-	66.40	24.95	翼状剥片石核。完形。背面に自然面を残す。底面には翼状剥片の古い剥離面を残す。素材は扁平。	A40・4・81
36	72.2	31.4	18.8	40.6	〃	113°	53.00	18.00	翼状剥片石核。完形。背面・底面とも1面の剥離面。翼状剥片剥離痕は複数残る。素材は分厚い。	A5・2・159
37	62.9	36.7	10.1	21.8	〃	112°	32.90	14.00	翼状剥片石核。下端と作業面を僅かに欠失。背面は2面の剥離面。翼状剥片の剥離は打面調整の剥離面を加撃する。	A39・2・c N
38	60.5	21.9	56.6	17.6	〃	123°	19.05	21.45	翼状剥片石核。下端を僅かに欠失。下半部に打面調整がかたよる。上半部は石核の背面を利用。	B25・124
39	65.1	44.0	14.2	29.8	〃	-	52.30	19.30	翼状剥片石核。打面の中央を僅かに欠失。背面は2面の剥離面。打面調整の剥離は細かい。	A34・2・180
40	72.7	44.0	16.7	45.1	〃	114°	52.00	18.35	翼状剥片石核。完形。底面は1面の剥離面。下端部には古い翼状剥片の剥離面を残す。背面は2面より、1面は自然面。	C15・1・730
41	86.0	40.9	16.9	34.9	〃	115°	71.10	19.65	翼状剥片石核。打面部の下部を僅かに欠失。上部の打面に自然面を残す。	A39・3・920
42	110.7	23.0	23.9	48.8	〃	141°	86.80	27.65	翼状剥片石核。完形。背面及び底面の縁辺に自然面が残る。打面調整は上・下部に施し、翼状剥片の剥離は背面の中央部を加撃する。	A41・3・a S
43	74.9	33.3	23.2	54.5	〃	117°	65.65	20.80	翼状剥片石核。完形。底面・背面とも1面の剥離面。素材は分厚い。	B7・797
44	65.2	45.2	11.8	28.4	〃	-	47.80	30.55	翼状剥片石核。下端部を僅かに欠失。背面は2面よりなり、1面は自然面。底面の縁辺部には細かな調整を持つ。	A39・3・1005
45	66.0	40.9	13.6	43.4	〃	109°	40.60	20.85	翼状剥片石核。完形。背面は複数の剥離痕からなり、打面の反対側の側縁からも剥離が施されている。底面の下端部に未端方向からの剥離面を残す。素材は分厚い。	C14・1・856
46	73.3	28.9	23.6	39.6	〃	99°	45.05	20.05	翼状剥片石核。完形。背面には自然面を残す。底面は1面の剥離面。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を残す。	A37・2・1883
47	81.5	65.0	23.2	94.2	〃	-	-	-	翼状剥片石核。下端部を僅かに欠失。背面の縁辺には自然面を残す。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕が見られる。	A18・1・b S
48	60.3	30.4	12.0	17.1	〃	108°	50.05	18.50	翼状剥片石核。完形。下端に自然面を残す。底面は1面の剥離面。素材は扁平。翼状剥片の剥離は背面を加撃する。	A35・4・363
49	57.0	32.6	12.9	23.4	〃	121°	56.30	12.65	翼状剥片石核。完形。底面は1面の剥離面。背面は複数の剥離面からなる。	A35・3・351
50	41.0	35.9	11.7	14.4	〃	124°	36.60	14.00	翼状剥片石核。完形。小形の石核。底面には翼状剥片剥離痕のほか、縁辺から剥離が施されている。	A35・4・600
51	40.9	33.8	14.0	15.2	〃	124°	30.45	18.65	翼状剥片石核。完形。下端に自然面を残す。底面は1面の剥離面。背面は複数の剥離面からなる。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を残す。	A38・1・2183
52	52.3	27.3	30.0	27.5	〃	94°	-	-	翼状剥片石核。完形。背面の縁辺に自然面を残す。素材は分厚い。打面調整は上・下端部に残り、背面の中央部には打撃痕が残る。	A36・2・2960

番号	法 量			重量	石 質	剝離 角度	剝離 痕		観 察	出土地点
	長さ	幅	厚さ				長さ	幅		
53	62.6	41.6	23.2	52.3	サヌカイト	-	39.20	19.55	翼状剥片石核。完形。背面は複数の剝離面からなる。底面は1面で下部に調整を持つ。素材は分厚い。	A27・2・245
54	48.8	42.0	16.9	23.9	〃	115°	28.10	18.20	翼状剥片石核。縁辺部を僅かに欠失。底面の上部に自然面を残す。背面の上部から下端まで自然面を残す。翼状剥片石核の剝離面には古い剝離痕を残す。	A33・2・a N
55	56.40	30.15	16.20	21.8	〃	110°	48.10	26.15	翼状剥片石核。上端を僅かに欠失。翼状剥片の剝離面には複数の剝離痕を残す。	A22・1・b N
56	48.8	31.6	10.7	12.5	〃	-	47.60	23.60	翼状剥片石核。完形。底面は1面の剝離面。両端部に打面調整を残す。翼状剥片の剝離痕は打面調整によって除去されている。	B5-222
57	51.3	20.4	21.7	28.4	〃	109°	41.00	21.70	翼状剥片石核。完形。素材は分厚い。翼状剥片の剝離面には古い剝離痕を残す。打面調整は上部のみ施されている。底面の上部部にボジティブな打点部が残る。	A2・2・a S
58	46.8	44.6	16.4	19.8	〃	113°	40.90	19.35	翼状剥片石核。完形。背面の上部に自然面を残す。底面は1面の剝離面。翼状剥片の剝離面には古い剝離痕を残す。	A38・2・4569
59	45.8	40.6	15.5	20.6	〃	-	33.75	12.30	翼状剥片石核。完形。底面は2面の剝離面。素材は分厚い。	A35・1・487
60	49.0	33.6	10.5	16.7	〃	-	-	-	翼状剥片石核。完形。底面は1面で上端方向から加撃されている。底面の縁辺に調整が施されている。	A34・2・107
61	44.3	32.0	16.2	18.7	〃	-	35.05	14.80	翼状剥片石核。完形。底面は1面の剝離面。素材は分厚い。打面調整は打面部の全体に施されている。	A25・1・a S
62	73.5	38.3	16.3	34.5	〃	-	32.90	15.45	翼状剥片石核。完形。打面調整の下端には自然面を残す。翼状剥片は並列して剝離されている。	A35・4・501
63	50.6	42.8	16.4	20.9	〃	136°	36.70	21.55	翼状剥片石核。上部をわずかに欠失。背面には自然面を残し、上部には打面調整が施されていない。底面は2面の剝離面。	A38・1・2657
64	41.8	38.1	20.8	28.8	〃	118°	36.00	36.30	翼状剥片石核。完形。打面調整は整った山形をなさない。石核縁辺部には複数の細かい剝離痕が見られる。	A5・1・161
65	59.3	27.1	11.9	12.2	〃	-	36.55	15.60	翼状剥片石核。完形。扁平な石核。底面は末端方向からの剝離。背面は2面よりなる。打面部の全体に調整が施されているが、翼状剥片の剝離痕は下方にまたがる。	A27・1・d S
66	59.8	30.7	19.4	25.0	〃	109°	36.50	16.00	翼状剥片石核。完形。背面には自然面を残す。粗い打面調整を施す。翼状剥片の剝離面に古い剝離痕を残す。	A39・2・1141
67	59.8	39.8	23.8	41.1	〃	-	40.05	19.85	翼状剥片石核。完形。肉厚な盤状剥片を素材。打面調整は細かい。翼状剥片の剝離面には古い剝離痕が複数残る。	C13・1・784
68	52.4	34.4	15.3	19.3	〃	116°	45.65	19.30	翼状剥片石核。完形。左図の底面に右端方向からの大きな剝離面が残る。翼状剥片の剝離は打面調整の大きい剝離面を加撃。	B7・1087
69	51.2	40.4	12.0	17.4	〃	102°	35.95	12.90	翼状剥片石核。完形。扁平な盤状剥片を素材。底面は末端方向からの剝離。打面調整は粗く、翼状剥片の剝離痕の下部にも小剝離痕を2面残す。	A38・2・4216
70	42.75	25.00	14.80	15.6	〃	117°	33.65	22.10	翼状剥片石核。完形。背面は2面よりなる。底面は下端方向からの剝離。粗い打面調整を施す。翼状剥片の剝離は打面調整の剝離面を加撃。	A38・2・3270
71	59.6	55.5	16.2	49.2	〃	124°	-	-	翼状剥片石核。下端部欠失。背面には大きく自然面が残る。底面は下端方向からの剝離。打面調整は粗く山形に整形されない。	B8・443
72	62.4	42.5	14.0	23.8	〃	-	41.65	24.20	翼状剥片石核。完形。薄い盤状剥片を素材。背面・底面とも1面。打面調整は粗く3面。翼状剥片の剝離は打面調整の剝離面を加撃し打撃痕を残す。	A35・4・757
73	60.6	35.6	11.7	21.9	〃	-	-	-	翼状剥片石核。上端部欠失。背面は複数面よりなり縁辺とも剝離痕が見られる。翼状剥片の剝離面には古い剝離痕が残る。	B2・706
74	63.7	70.6	13.0	33.5	〃	145°	42.90	16.20	翼状剥片石核。完形。薄い盤状剥片を素材。背面は2面よりなる。底面は1面で上端方向からの剝離。翼状剥片の剝離は打面調整の稜付近を加撃。	A38・3・185
75	62.5	31.9	17.2	34.4	〃	96°	-	-	翼状剥片石核。背面の一部欠失。肉厚な盤状剥片を素材。背面下部には自然面を残す。背面には末端からの複数の剝離痕が残る。翼状剥片の剝離面には古い剝離痕を複数残す。	A21・1・99
76	38.0	54.4	17.3	20.7	〃	118°	41.20	23.70	翼状剥片石核。完形。上端部及び下端部の一部に自然面を残す。底面・背面とも1面。打面調整は粗い。	A24・2・b S
77	47.8	25.7	15.3	19.1	〃	116°	40.45	21.80	翼状剥片石核。完形。背面は3面。底面は残っていない。翼状剥片の剝離面は1面で、打面調整は丁寧に施されている。	A34・1・1311
78	66.75	46.00	16.25	37.5	〃	-	-	-	翼状剥片石核。完形。背面と底面の縁辺は自然面。翼状剥片の剝離面に古い剝離痕を持つ。	A34・1・1407

番号	法 量			重量	石 質	剥離 角度	剥離 痕		観 察	出土地点
	長さ	幅	厚さ				長さ	幅		
79	57.1	56.7	13.5	26.5	サスカイト	-	49.65	20.60	翼状剥片石核。宍形。背面・底面とも1面。側面上部に自然面を残す。打面調整は上端から下部付近にかけて細かく施す。翼状剥片の剥離は打面調整の稜上加撃。背面・底面とも下部に剥離を残す。打面調整は打面部の上下両端部に施す。	B18・727 A3・1・348
80	69.3	69.4	19.3	90.2	〃	118°	49.80	20.60	翼状剥片石核。宍形。背面・底面とも作業面方向からの剥離。打面調整は上部に細かな調整を施す。	A35・4・842
81	42.6	29.7	14.8	9.6	〃	138°	21.90	13.25	翼状剥片石核。宍形。扁平な盤状剥片を素材。底面上端部には盤状剥片の打撃が残る。作業面側の下部には自然面を残す。打面調整は上端と下端に施す。	B12・589
82	79.4	57.2	15.3	59.3	〃	123°	57.80	17.35	翼状剥片石核。宍形。底面は1面で作業面側から剥離。翼状剥片の剥離面は数回の加撃による複数の剥離面を持つ。	A38・2・4193
83	52.7	18.5	14.0	17.1	〃	90°	-	-	翼状剥片石核。宍形。底面は1面で作業面側から剥離。翼状剥片の剥離面は数回の加撃による複数の剥離面を持つ。	A36・5・435
84	56.1	41.1	17.4	34.9	〃	120°	39.60	17.25	翼状剥片石核。宍形。底面は1面で作業面側から剥離。翼状剥片の剥離面は数回の加撃による複数の剥離面を持つ。	A36・2・1718
85	57.0	29.7	21.5	32.8	〃	114°	46.85	19.90	翼状剥片石核。宍形。背面と底面の縁辺に自然面を残す。打面調整は粗く山形をなさない。翼状剥片剥離面には古い剥離痕が残る。	A40・3・d N
86	47.30	30.80	10.15	11.6	〃	141°	37.60	18.00	翼状剥片石核。宍形。打面調整は細かく、打面全体に施す。打面中央よりやや上部を加撃して、石核幅いっぱい翼状剥片を剥離する。	A31・2・246
87	44.2	48.0	13.9	28.5	〃	111°	46.50	13.90	翼状剥片石核。宍形。背面・底面とも1面。底面は上端方向から剥離。打面調整は上部が細かい。翼状剥片の剥離は打面調整の稜上加撃。	A39・4・57
88	50.10	34.65	16.70	18.3	〃	-	-	-	翼状剥片石核。宍形。底面は1面。打面下半部は背面を利用する。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を残す。	A37・2・3082
89	38.4	39.6	14.5	13.6	〃	135°	38.60	27.25	翼状剥片石核。宍形。底面は1面で下端方向からの剥離。打面調整は粗く、翼状剥片の剥離は背面を加撃か。	A39・4・d N
90	18.00	39.85	10.75	17.4	〃	-	39.20	15.45	翼状剥片石核。宍形。背面・底面とも1面の剥離面。打面調整の面は2面で大きい。翼状剥片の剥離面の下部に古い剥離痕が残る。背面下端に調整を施し、スクレイパーに転用か。	A34・2・750
91	24.60	48.05	16.85	57.0	〃	105°	47.60	17.95	翼状剥片石核。宍形。上端及び縁辺には自然面が残る。背面・底面は1面で作業面側から剥離。分厚い素材を用いる。	A38・2・4873
92	74.2	55.0	22.7	52.3	〃	130°	58.90	26.80	翼状剥片石核。宍形。縁辺には自然面を残す。打面調整は3面で上半部は大きい。翼状剥片の剥離面は打面調整の稜上加撃。背面下半部に剥離痕が見られる。	A31・2・35
93	60.3	22.1	12.9	11.9	〃	-	33.60	15.35	翼状剥片石核。宍形。打面調整は下半部にのみ施す。翼状剥片の剥離は背面の稜上加撃する。	A37・2・1150
94	52.2	36.2	15.2	17.5	〃	132°	50.30	11.45	翼状剥片石核。宍形。背面・底面とも1面の剥離面。打面調整は上端と下部に小さく残る。翼状剥片の剥離は打面調整の稜上加撃。	B21・930
95	56.5	36.2	15.0	51.4	〃	123°	59.55	15.35	翼状剥片石核。宍形。底面は自然面。打面調整は上半部に残る。翼状剥片の剥離は打面調整を越え、背面を加撃。	A40・5・c S
96	63.7	27.6	12.5	16.4	〃	123°	58.90	13.25	翼状剥片石核。宍形。背面は自然面。打面調整は1面の剥離面。打面調整は下半部に残る。翼状剥片の剥離は打面調整を越え、背面の自然面を加撃。	A24・2・221
97	57.2	24.8	10.0	18.2	〃	132°	35.05	10.10	翼状剥片石核。宍形。扁平な盤状剥片を素材。底面下端部、背面一部に自然面を残す。打面調整は下半部に残る。翼状剥片の剥離は背面を加撃。	A42・4・b S
98	59.50	22.70	10.80	10.8	〃	109°	54.95	21.20	翼状剥片石核。宍形。背面・打面上端部に自然面を残す。打面調整は下部に残る。底面の上端・下端に剥離痕あり。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を残す。	A39・2・c S
99	64.20	29.55	15.65	27.8	〃	136°	-	-	翼状剥片石核。上端及び下端欠失。底面は自然面を利用。背面は3面よりなる。翼状剥片の剥離は粗い打面調整の稜上加撃。	A30・2・b S
100	41.1	26.4	13.9	13.2	〃	102°	-	-	翼状剥片石核。下部破損。底面・背面とも1面の剥離面。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を残す。作業面の打点は打面調整によって除去される。	A35・2・866
101	40.6	19.2	12.2	10.3	〃	113°	-	-	翼状剥片石核。下部欠失。底面は1面で作業面側から剥離。上半部の打面調整は細かい。翼状剥片の剥離は打面調整の稜上加撃。	A37・2・2050
102	37.0	28.7	15.7	12.5	〃	122°	-	-	翼状剥片石核。下部欠失。底面は1面。打面調整は石核両端に1面ずつ施す。翼状剥片の剥離は石核の背面を加撃。	C16・1・1236
103	45.0	31.1	18.8	18.2	〃	121°	32.20	12.70	翼状剥片石核。上部破損。下端欠失。底面は1面の剥離面。翼状剥片剥離の打点は打面調整によって除去される。	A37・2・2636
104	41.2	39.2	12.4	14.0	〃	114°	-	-	翼状剥片石核。上部破損。下端欠失。底面の縁辺に調整を施し、スクレイパーに転用か。翼状剥片の剥離は打面調整の稜上加撃する。	

番号	法 量		重量	石 質	剥離 角度	剥離 痕		観	察	出土地点
	長さ	幅				長さ	幅			
105	48.0	32.8	15.9	サヌカイト	-	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。背面には大きく自然面を残す。打面調整は3面で粗い。		A37・3・d N
106	50.0	37.0	25.9	〃	141°	-	-	翼状剥片石核。上部部破損。背面には大きく自然面を残す。下部部には自然面が残る。打面調整は中央部にみられない。翼状剥片の剥離は背面を加撃する。		A35・3・206
107	48.2	27.4	20.1	〃	-	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。背面・底面とも1面の剥離面。打面調整は細かく、その稜上加撃して翼状剥片を剥離する。		A37・1・2183
108	41.3	29.5	17.3	〃	123°	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。背面・底面とも1面の剥離面。背面上端部に底面からの複数の剥離痕が残る。		A35・1・1968
109	50.5	21.0	12.6	〃	-	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。背面2面、底面は1面。翼状剥片の剥離は打面調整の稜上加撃する。		A32・2・c S
110	76.35	41.70	51.1	〃	90°	64.75	18.60	翼状剥片石核。上部部破損。下部欠失。背面及び側面は自然面。打面調整は上部に1面残る。翼状剥片の剥離は打面と背面の稜上加撃する。		A40・2・c S
111	69.40	44.45	39.9	〃	130°	-	-	翼状剥片石核。上部部破損。背面には大きな自然面を残す。底面は1面。打面調整は細かく施す。		A40・2・a S
112	51.8	43.1	21.1	〃	-	41.45	20.90	翼状剥片石核。下部部破損。上部に自然面を残す。底面・背面とも1面の剥離面。打面調整は上端・下端に残る。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を残す。		A38・3・1246
113	56.6	23.0	17.6	〃	123°	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。底面は1面の剥離面。打面調整の上半部は細かい翼状剥片の剥離は打面調整の面を加撃する。		A36・1・1602
114	49.9	32.7	13.5	〃	-	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。底面は1面、背面は2面からなる。作業面側の上半部には小剥離痕が3面残る。		A37・3・28
115	34.50	59.50	15.90	〃	112°	-	-	翼状剥片石核。上部部破損。背面及び底面の一部に自然面を残す。打面調整は丁寧に施す。		A38・2・3614
116	50.65	44.05	21.70	〃	129°	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。背面には自然面を多く残す。作業面の上部には複数の剥離痕が施される。なお、中央部は上下逆。		B13・a N
117	43.5	33.8	17.4	〃	109°	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。底面は1面で作業面側から剥離。背面には縁辺から剥離が施され中央部に自然面を残す。		A37・2・2235
118	45.2	26.3	11.7	〃	-	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。背面・底面とも1面の剥離面。打面調整は上端と下端に残る。翼状剥片の剥離は石核背面を加撃する。		A20・1・c N
119	58.70	52.95	19.45	〃	117°	-	-	翼状剥片石核。上部部破損。底面は1面で作業面側から剥離。背面縁辺には調整を施し、スクレイパーに転用か。粗い打面調整を施す。		B8・表採
120	47.3	35.1	13.5	〃	123°	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。背面は自然面。底面は1面。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を小さく1面残す。剥離は打面調整の剥離面を加撃する。		C18・1・663
121	57.15	43.60	35.6	〃	132°	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。上部に自然面を残す。背面・底面とも1面の剥離面。作業面側から剥離。翼状剥片の剥離は石核の背面を加撃する。		A41・4・a N
122	56.7	54.4	18.3	〃	124°	-	-	翼状剥片石核。上部部破損。下部に一部欠失。背面・底面は1面の剥離面。縁辺の両面に調整を施しスクレイパーに転用。翼状剥片の剥離は打面調整の稜上加撃する。		B17・314
123	58.35	33.45	15.00	〃	125°	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。背面は3面・底面は1面の剥離面よりなる。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を1面残す。		A30・1・a S
124	57.9	39.6	11.7	〃	127°	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。背面の一部に自然面を残す。底面は一面で上端部に自然面を残す。打面調整は粗い。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を2面残す。		B8・731
125	58.30	30.50	13.10	〃	115°	34.45	18.40	翼状剥片石核。上部部破損。底面は1面。背面は複数面よりなる。作業面上部に剥離痕を2面残す。翼状剥片の剥離は打面調整の稜上加撃する。		A39・4・b N
126	52.8	50.1	13.7	〃	140°	-	-	翼状剥片石核。上部部破損。扁平な盤状剥片を素材。背面には自然面を残す。翼状剥片の剥離は打面調整の稜上加撃する。		A37・2・1904
127	14.3	42.8	14.30	〃	67°	-	-	翼状剥片石核。上部部破損。底面は1面で作業面側から剥離。背面縁辺には底面からの複数の剥離痕が見られる。上部に細かな打面調整を施す。		A39・5・a S
128	67.0	33.2	13.9	〃	127°	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。底面上半部に細長く上端方向からの剥離痕あり。打面調整は中央部に施さない。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を残す。		B21・1268
129	76.45	48.65	9.65	〃	114°	39.80	15.75	翼状剥片石核。上・下部部破損。底面下部に下端方向からの剥離面あり。底面上半部の縁辺には背面からの調整痕あり。翼状剥片剥離面には古い剥離痕が複数残る。		C18・1・a S
130	86.8	47.5	23.6	〃	-	-	-	翼状剥片石核。下部部破損。肉厚な盤状剥片を素材とする。底面は1面で、縁辺部に複数の小剥離痕あり。打面調整は中央部が細かい。		A24・2・125

番号	法 量		重量	石 質	剥離 角度	剥 離 痕		観 察	出土地点
	長さ	幅				長さ	幅		
131	9.45	40.00	32.3	サヌカイト	-	41.05	19.40	翼状剥片石核。側縁中央部破損。底面は1面で作業面側から剥離している。打面調整は細かく、翼状剥片の剥離痕は2面残るほか、作業面上端部にも小剥離痕が残る。	A41・3・d N
132	68.7	23.00	74.7	〃	112°	-	-	翼状剥片石核。上端部破損。底面は1面で作業面側から剥離。打面調整は細かく施す。翼状剥片の剥離痕は2面残り、打点が異なる。	A38・1・3822
133	77.0	43.3	40.8	〃	141°	-	-	翼状剥片石核。上端・下端及び側縁を欠失。翼状剥片の剥離痕は1面で打点は打面調整によって除去されている。	A26・1・329
134	52.4	39.1	19.8	〃	-	-	-	翼状剥片石核。下部破損。背面は大半が自然面。底面は1面で作業面側より剥離。翼状剥片の剥離面には打点を異にする2面の剥離痕あり。	A34・2・d N
135	56.6	39.6	25.5	〃	-	43.10	14.50	翼状剥片石核。完形。翼状剥片の剥離面には古い剥離面を残す。底面縁辺に打面調整を施し、背面側から翼状剥片を剥離する。作業面の転移か。	A24・2・700
136	53.9	29.0	28.5	〃	112°	20.80	13.85	翼状剥片石核。完形。背面の一方の縁辺の打面調整は粗く、他方の縁辺は細かく施し2ヶ所から翼状剥片を剥離する。	A36・1・2394
137	50.5	40.0	25.0	〃	150°	24.80	21.25	翼状剥片石核。完形。背面の両側縁に打面調整を施し、両方から翼状剥片を剥離する。	A37・1・2530
138	52.3	23.0	12.4	〃	113°	38.50	14.05	翼状剥片石核。完形。背面の片側縁には細かく打面調整を施し、他方の側縁にはやや粗く施して、2ヶ所から翼状剥片を剥離する。	B23・276
139	40.9	44.8	26.1	〃	-	39.55	25.90	翼状剥片石核。完形。下端には自然面を残す。背面両側縁に打面調整を施し翼状剥片を2ヶ所から剥離。	A30・1・c N
140	55.0	18.0	34.4	〃	114°	39.80	16.05	翼状剥片石核。完形。翼状剥片を両側縁から剥離する。底面は下部にわずかに残る。	A3・1・68
141	55.20	33.95	12.80	〃	134°	45.35	21.80	翼状剥片石核。側縁の一部欠失。背面は両側縁に打面調整を施す。2ヶ所から翼状剥片を剥離。	A39・4・c S
142	60.6	35.6	22.2	〃	129°	41.45	15.00	翼状剥片石核。完形。背面上端部と下端部一部に自然面を残す。両側縁に粗く打面調整を施して両側縁から翼状剥片を剥離する。	C17・1・311
143	61.30	31.05	16.30	〃	126°	46.25	2.00	翼状剥片石核。下部の縁辺欠失。打面調整は両側縁とも一部にししか施さず、背面の山形を利用し、2ヶ所から翼状剥片を剥離。	A40・5・a S
144	68.4	31.5	29.7	〃	-	66.00	20.35	翼状剥片石核。完形。背面は両側縁を打面調整する。底面には大きな翼状剥片の剥離面が2面見られる。	A42・5・d S
145	52.30	31.60	10.10	〃	115°	27.00	17.65	翼状剥片石核。下部の縁辺欠失。両側縁に粗い打面調整を施し、翼状剥片を剥離する。	A10・1・a S
146	69.0	52.8	62.1	〃	125°	-	-	翼状剥片石核。縁辺部の一部欠失。下縁部と一方の側縁部に打面調整を施し、2ヶ所から翼状剥片を剥離する。	B2・292
147	64.7	30.8	12.7	〃	-	39.40	16.55	翼状剥片石核。完形。背面上半部に自然面を残す。打面調整は上端から中央に施す。翼状剥片は上・下で2面剥離する。	A37・2・365
148	43.6	27.0	11.6	〃	-	-	-	翼状剥片石核。下部破損。右図右側と左図右側から翼状剥片を剥離する。	A35・2・c N
149	71.1	51.3	24.6	〃	113°	42.30	23.40	翼状剥片石核。上端部欠失。打面調整は上・下端に粗く施す。背面下部には自然面を残す。翼状剥片の剥離は石核背面の中央部を加撃する。	A2・1・c N
150	71.9	35.4	16.0	〃	-	41.50	13.40	翼状剥片石核。背面、縁辺中央部に自然面を残す。打面調整は上半部に施し、下半部は石核背面の山形を利用。翼状剥片の剥離面には古い剥離痕を残す。	A35・1・1792
151	53.8	36.4	17.9	〃	129°	42.20	12.40	翼状剥片石核。縁辺の一部欠失。打面調整は下半部に施し、上半部は石核の背面を利用し山形とする。底面は作業面側からの剥離。	A36・5・471
152	65.6	42.1	14.8	〃	137°	49.35	21.00	翼状剥片石核。完形。石核背面の山形を利用し、翼状剥片を剥離。作業面の上部には古い剥離痕を残す。	A37・2・2029
153	59.4	38.4	16.2	〃	-	40.00	12.45	翼状剥片石核。完形。側縁は自然面。打面は山形をなす石核の背面を利用し、翼状剥片を剥離する。底面は1面で作業面側から剥離。	A34・2・443
154	61.0	49.2	21.0	〃	105°	51.50	23.35	翼状剥片石核。完形。背面上半部は自然面。打面調整は下端に大きく施す。翼状剥片の剥離は打面調整の剥離面を加撃したものと、背面の自然面の下端部を加撃したものとが残る。	A36・2・3078
155	43.0	39.6	13.0	〃	-	33.60	13.50	翼状剥片石核。完形。背面の2面のなす山形を利用し、翼状剥片を剥離する。剥離面には古い剥離痕が残る。	A7・1・110
156	74.0	33.6	13.2	〃	141°	-	-	翼状剥片石核。下部破損。上半部の大きな剥離面と下半部の自然面がなす山形を利用し翼状剥片を剥離。	A36・2・2915

番号	法 量			重量	石 質	剥離 角度	剥離 痕		観 察	出土地点
	長さ	幅	厚さ				長さ	幅		
157	62.8	43.9	15.3	36.4	サヌカイト	-	-	-	翼状剥片石核。上部破損。下端の一部に自然面を残す。打面調整は下半部の一面で、上半部は石核の背面を利用して、翼状剥片を剥離する。	B16・76
158	53.6	28.1	13.0	17.5	〃	97°	38.65	19.35	翼状剥片石核。下部破損。打面上半部と背面の一部に自然面を残す。自然面と下半部の1面の打面調整のなす山形を利用して翼状剥片を剥離。	A34・2・909
159	34.5	56.1	17.3	17.2	〃	-	21.55	17.00	翼状剥片石核。完形。左図下辺では、石核背面の山形の稜上を加撃して翼状剥片を剥離する。	A38・2・3837
160	45.7	32.6	13.6	22.1	〃	-	-	-	翼状剥片石核。上部破損。石核背面の2面のなす山形の稜上を加撃して翼状剥片を剥離する。底面は1面で作業面側から剥離。左図左側は平坦な底面を打面として横長剥片を剥離。	B14・148
161	49.6	34.3	15.8	20.2	〃	-	31.60	17.65	翼状剥片石核。完形。左図左側の縁辺は、上部のみ打面調整を施して翼状剥片を剥離する。左図の右上部の剥離も翼状剥片剥離痕か。	A37・1・2583
162	43.2	34.1	33.0	14.0	〃	-	39.00	14.55	翼状剥片石核。完形。石核上縁と右図の左側縁で翼状剥片を剥離する。上縁での剥離は、底面と翼状剥片剥離面のなす山形を利用する。	A14・1・a N
163	52.70	30.50	10.5	23.3	〃	120°	41.45	19.30	翼状剥片石核。完形。背面に多数の剥離を施し、左図の左側と右側上端部の2面の翼状剥片を剥離。打点はいずれも稜上加撃。	A29・1・b N
164	59.2	41.0	23.7	44.2	〃	-	42.85 55.50	31.50 19.20	翼状剥片石核。完形。2ヶ所から翼状剥片を剥離する。右図左側上部にはポジティブな剥離面を持つ。	B2・811
165	54.4	35.8	18.2	23.5	〃	131°	-	-	翼状剥片石核。下部破損。石核の両側縁から翼状剥片を剥離する。	A38・1・4369
166	55.6	27.0	13.0	15.3	〃	93°	-	-	翼状剥片石核。完形。背面左側部に自然面を残す。底面・背面とも作業面側から剥離。翼状剥片の剥離2面残り、後者は背面を加撃している。	A23・1・c S
167	47.0	43.7	16.6	28.4	〃	108°	39.60	18.00	翼状剥片石核。完形。右図の翼状剥片の剥離は粗い打面調整の稜上を加撃。左図の横長剥片の剥離は、石核底面の平坦面を加撃。左図左上方の調整から石核転用の石核の可能性あり。	A29・2・a N
168	39.2	39.8	14.2	19.8	〃	118°	33.40	19.60	翼状剥片石核。完形。翼状剥片の剥離は粗い打面調整と背面のなす稜上を加撃。左図左側は平坦な背面を打面として横長剥片を剥離。	B18・49
169	47.3	33.1	10.8	20.5	〃	100°	-	-	翼状剥片石核。完形。底面は1面。背面上部には平坦な底面を打面して横長剥片を剥離。翼状剥片の剥離は右図左側で行う。剥離面には古い剥離痕が3面残る。	A38・5・90
170	69.2	52.5	15.3	41.3	〃	124°	31.00 41.95	23.55 21.10	翼状剥片石核。完形。左図の翼状剥片の剥離は打面調整の稜上を加撃し剥離面には古い剥離痕を下部に残す。右図の横長剥片の剥離は平坦な底面を打面として加撃。	A35・3・244
171	41.4	26.4	9.5	7.3	〃	-	30.00	8.60	翼状剥片石核。下部部が縁辺の一部を欠失。底面・背面とも1面の剥離面、翼状剥片の剥離は石核背面を加撃。剥離面には古い剥離痕が3面残る。右図下部では平坦面を打面として横長剥片を剥離。	A39・1・88
172	39.7	34.6	13.2	15.2	〃	117°	-	-	翼状剥片石核。上端及び側縁一部欠失。背面は1面。左図側縁に、背面の平坦面を利用して横長剥片を剥離。右図左側縁に、背面の平坦面を打面とした横長剥片を剥離。翼状剥片の剥離	C14・1・257
173	17.2	33.85	11.6	16.6	〃	124°	35.25	22.00	翼状剥片石核。完形。下部に自然面を残す。底面側縁に背面を打面とした横長剥片を剥離。翼状剥片の剥離面は打面調整の剥離面を加撃剥離面には古い剥離痕を残す。	A39・5・c S
174	48.6	43.3	12.6	18.3	〃	-	32.45	19.00	翼状剥片石核。完形。側縁には自然面を残す。翼状剥片の剥離は細かい打面調整の稜上を加撃。左図上部は平坦な背面を打面として横長剥片を剥離している。	A39・2・987
175	25.4	31.6	15.3	17.0	〃	140°	44.30	11.75	翼状剥片石核。完形。右図中央部に自然面を残す。右図左側の横長剥片は平坦な背面を打面として剥離。右側は背面のなす山形部分に打面調整を施し、翼状剥片を剥離。	A39・1・52
176	53.0	33.1	56.8	26.3	〃	-	48.40	18.60	翼状剥片石核。完形。底面は1面で作業面側から剥離。翼状剥片の剥離は、石核背面と、下部に施した打面調整のなす稜を加撃する。右図右側は底面を打面として横長剥片を剥離。	C13・2・252
177	58.65	29.70	15.15	19.3	〃	132°	34.40 52.30	11.00 11.30	翼状剥片石核。完形。打面調整は上端と下端に施す。左図の翼状剥片は石核背面を加撃。右図左下半部は平坦な底面を打面として横長剥片を剥離している。	A39・2・d N
178	63.6	42.0	18.6	35.9	〃	-	-	-	翼状剥片石核。完形。打面調整は下部に施す。左図右側の大きな翼状剥片剥離後、打点付近に小剥離痕を3面残す。左側下部は背面と剥離面のなす山形の稜上を加撃して小さな翼状剥片を剥離。	A29・1・b S
179	77.6	33.2	13.3	43.8	〃	-	31.00 31.25	58.10 15.00	翼状剥片石核。完形。背面側縁中央部に自然面を残す。図中央は打面調整を施したのち、加撃し翼状剥片を剥離。剥離面には古い剥離痕を複数残す。左図は平坦な背面を打面として横長剥片を剥離。	B21・522
180	13.25	44.0	10.4	17.5	〃	-	22.30	9.80	翼状剥片石核。完形。底面は1面で作業面側から剥離。右図は翼状剥片を剥離した後、小剥離を2面施す。背面上部に自然面を残す。左図左側では底面を打面に横長剥片を剥離し、翼状剥片を並列剥離している。	A41・5・d N
181	52.3	43.6	18.1	28.5	〃	128°	46.80	17.00	翼状剥片石核。完形。底面は1面で作業面側から剥離。翼状剥片の剥離は背面の平坦面を加撃。打面調整は上部のみ施す。側縁の上端と下端に調整が見られるので石核転用の産器か。	C14・1・400
182	60.7	43.0	17.2	50.0	〃	-	-	-	翼状剥片石核。完形。上端及び側縁に自然面を残す。翼状剥片は、背面と打面調整のなす山形を利用し加撃。打点は剥離面下部から下端にかけての調整で除去。産器に転用か。	A3・1・813

番号	法 量			重量	石 質	剝離 角度	剝離 痕		観	出土地点
	長さ	幅	厚さ				長さ	幅		
183	15.25	47.25	18.3	36.4	サスカイト	118°	—	—	翼状剥片石核。完形。背面上部付近に自然面を残す。打面調整は粗い。左図の翼状剥片剝離面には古い剝離痕が残る。右図は底面を利用して横長剥片を並列剝離。	C17・2・a N
184	73.5	47.5	20.3	51.9	〃	—	41.70	22.35	翼状剥片石核。完形。下部に自然面を残す。翼状剥片の剝離は打面調整の稜上加撃。底面上部に平坦な背面を打面として小さく横長剥片を剝離している。	A37・3・245
185	50.1	31.2	18.2	16.5	〃	113°	34.80	13.20	翼状剥片石核。翼状剥片の剝離は石核背面のなす山形を利用して稜上加撃か。底面側には背面からの剝離面が複数残る。下部部破壊。底面は1面で作業面側からの剝離。右図左側に打面調整を施し、小形の翼状剥片を並列剝離する。	A36・5・506 B16・420
186	54.0	39.6	14.1	23.2	〃	112°	24.40 21.85	11.50 11.55	翼状剥片石核。完形。右図右側は翼状剥片の剝離痕を持ち、左側の両面には小形の横長剥片の剝離痕を持つ。	A29・1・c N
187	50.00	41.20	22.60	35.2	〃	123°	43.00	24.25	翼状剥片石核。完形。右図右側は翼状剥片の剝離痕を持ち、右図右側では交互剝離で横長剥片を剝離。	B12・c S
188	65.5	34.8	16.2	27.5	〃	135° 125°	28.70 48.30	19.60 18.40	翼状剥片石核。上部部欠失。右図左側は打面調整の稜上付近を加撃し翼状剥片を剝離。右図右上と左図左上は交互剝離で横長剥片を剝離。	A2・2・a N
189	72.0	40.0	22.9	54.0	〃	90°	—	—	翼状剥片石核。完形。右図右側では翼状剥片の剝離を行い、右図左側では交互剝離で横長剥片を剝離。	A39・4・a N
190	19.80	35.30	16.70	30.0	〃	123°	49.25	18.00	翼状剥片石核。側縁中央部欠失。右図左縁を打面として翼状剥片を剝離。右図下と左図左下の剝離面は横長剥片を剝離したもの。	C14・1・847
191	69.3	36.6	17.0	33.5	〃	123°	35.50	23.00	翼状剥片石核。完形。左図の左縁に部分的に打面調整を施し、翼状剥片を剝離。側縁上半部では交互剝離を施し横長剥片を剝離している。	A34・2・531
192	54.1	27.3	16.4	17.5	〃	105°	36.80	15.60	翼状剥片石核。完形。背面下部に自然面を残す。右図の左縁では粗い打面調整を施して、翼状剥片を剝離。反対側では交互剝離を施し、横長剥片を剝離しているが、底面側側縁は打面調整の可能性あり。	A29・1・a S
193	74.0	51.3	23.7	60.7	〃	96°	49.80 33.60	25.35 18.55	翼状剥片石核。肉厚な盤状剥片を素材。左図右側は打面調整でその稜上加撃して翼状剥片を剝離。反対側では交互剝離を行っている。	A37・1・2382
194	51.3	31.6	12.4	18.0	〃	127°	—	—	完形。縁辺に自然面を残す。2面の打面調整で山形をなし、その稜上近くを加撃し翼状剥片を剝離。左図左側の背面は背面に剝離面を加撃し横長剥片を剝離。右図下部は底面と剝離面のなす稜上加撃し横長剥片を剝離。	A37・2・1959
195	45.6	37.3	11.6	14.0	〃	145°	38.20 29.35	15.00 22.60	完形。打面調整は上端と下端に1面ずつ施す。翼状剥片の剝離は背面を加撃。右図右上部は底面を加撃して横長剥片を剝離。	A38・2・4265
196	66.2	44.7	14.4	32.2	〃	123°	—	—	完形。右図左辺で翼状剥片を剝離。左図下部、左下半部は背面の平坦面を打面として横長剥片を剝離。	A38・5・84
197	56.5	46.1	15.3	29.9	〃	129°	29.00	25.55	完形。扁平な石核。細かな打面調整は上半部にかたよる。翼状剥片の剝離は打面調整の稜上加撃する。背面左半部及び下部で横長剥片を剝離	A25・1・b N
198	60.4	35.5	13.6	22.4	〃	138°	56.00	22.30	完形。右図右側の翼状剥片の剝離は打面調整と自然面のなす稜上加撃。右図右上部及び左図左下半部から横長剥片を剝離。	A38・1・4289
199	88.5	31.7	18.2	35.0	〃	94°	40.00	18.00	完形。上部と下端に自然面を残す。剥片剝離は3面。左図の2面は稜上近辺を加撃。右図の打点は除去されている。	A40・4・b N
200	55.7	53.3	16.8	32.6	〃	—	51.20	16.20	翼状剥片石核か。完形。下部に自然面を残す。背面右側に2面の大きな剝離痕を持つ。この2面のなす山形の稜上付近を加撃し、大きな剥片を剝離する。	A38・1・2807
201	54.9	26.7	9.5	10.5	〃	134°	29.40	10.75	完形。背面上半部の剝離痕を加撃し、左図の剝離痕を剝離。背面下半部の剝離痕の打点は、左図下半部に施した小調整によって除去。	A38・2・3945
202	50.0	30.5	14.5	18.8	〃	94°	33.65	11.50	完形。上端に自然面を残す。翼状剥片石核か。背面の大きな剝離痕2面のなす稜上付近を加撃し、右図左側の剝離痕を剝離。剝離面上部には古い剝離痕を残す。	B10・828
203	56.7	33.6	17.4	25.5	〃	—	—	—	完形。左図右側の2面の剝離面を打面として加撃して右図左側の剝離痕2面剝離。右図上端・下端に小調整が施されている。	A2・1・567
204	57.4	32.0	13.4	18.6	〃	142°	—	—	完形。翼状剥片石核か。左図右側の剝離痕を打面とし、右図左辺の剥片を剝離。	B16・703
205	48.7	28.3	13.6	14.3	〃	—	35.40	6.40	上端一部欠失。翼状剥片石核か。右図下半部の大きな剝離面を打面として左図右側の剝離痕を剝離。	C14・1・940
206	59.0	30.8	13.5	18.2	〃	—	—	—	完形。翼状剥片石核か。右図左側の剝離痕の打点は左図右上半部の小剝離面によって除去される。左図の縁辺下部に末端部方向からの剝離痕が見られる。	A35・2・397
207	71.4	36.6	17.4	43.3	〃	115°	53.10	17.45	完形。下端部に自然面を残す。翼状剥片石核か。背面に大きな剝離痕を2面施した後、上半部に小調整を加え、左図右側の大きな剝離痕を剝離する。	A37・3・615
208	77.4	37.5	26.2	42.2	〃	113°	—	—	完形。上部と下部に自然面を残す。左図右側縁に小剝離を施し、右図左側から剥片を剝離。なお、この剝離痕の打点は除去されている。	

番号	法		重量	石質	剝離角度	剝離痕		観	察	出土地点
	長さ	幅				長さ	幅			
209	61.4	28.3	13.3	サヌカイト	133°	47.0	18.4	完形。薄い板状の素材を利用。右図左側の2面の剝離痕の上面を打面として、左図右側の大きな剝離痕を剝離。剝離面上半部に小剝離痕が複数見られる。また、左図左側と、その裏面から1面の横長剝片を剝離する。A 35・1・1155		A 35・1・1155
210	66.0	30.3	24.2	〃	110°	35.85	15.00	完形。側縁には自然面を残す。交互剝離石核。左図右側には2面の剝離面。右図左中央に1面を剝離。B 6・187		B 6・187
211	80.5	50.4	56.2	〃	-	75.80	48.65	完形。肉厚な素材。翼状剝片石核か。底面・背面とも1面の剝離面。背面に2面の大きな剝離面を施し、その稜上加撃し、右図左側の剝離痕を剝離する。A 14・1・b N		A 14・1・b N
212	57.1	33.2	15.5	〃	135°	43.50	13.25	完形。翼状剝片石核か。背面の2面の剝離面のなす山形の稜上加撃し、左図右側の剝離痕を剝離。B 11・800		B 11・800
213	83.6	55.7	61.3	〃	-	-	-	完形。肉厚の素材。交互剝離石核か。上部部に自然面が残る。右図左側上半部の剝離痕は左図右側の剝離痕によって、またその剝離痕は右図下半部の剝離痕によって打点を除去される。A 35・3・1195		A 35・3・1195
214	56.5	31.4	21.4	〃	-	40.65	16.20	完形。下部縁辺に自然面を残す。右図左上半部の剝離痕は左図右側の2面の剝離面のなす稜上加撃。右図右側と左図左側で交互剝離を行い複数の剝離面を剝離する。A 38・1・3616		A 38・1・3616
215	54.4	26.0	10.9	〃	-	24.60	8.00	上部部欠失。右図左側の表裏で剝片を剝離する。交互剝離石核か。C 16・1・1377		C 16・1・1377
216	60.75	37.25	19.0	〃	125°	37.80	16.05	側縁一部欠失。交互剝離石核か。左図右側に2面の剝離を施して、その下面を打面とし右図左側の剝離痕を剝離する。左図下半部は平坦面を利用し、横長剝片を剝離する。A 38・2・1670		A 38・2・1670
217	44.5	40.0	14.0	〃	157°	-	-	下部破損。左図右側に2面の剝離面を施しその稜上近くを加撃して右図左側の大きな剝離痕を剝離。左図左側に調整を施し石核転用の前部とする。A 27・2・202		A 27・2・202
218	46.9	35.1	20.9	〃	138°	-	-	側縁部破損。翼状剝片石核か。背面上半部に自然面を残す。背面の上下の剝離面がなす稜上加撃し右図左側の剝離痕を剝離。A 38・2・3798		A 38・2・3798
219	50.75	32.05	21.5	〃	-	-	-	上部破損。翼状剝片石核か。背面の2面の大きな剝離面の稜上加撃し、左図右側の剝離痕を剝離。稜上には打撃痕が残る。A 29・1・b N		A 29・1・b N
220	58.7	35.2	27.8	〃	-	-	-	下部破損。翼状剝片石核か。背面左側の剝離痕の稜上加撃し、左図右側の大きな剝離痕を剝離。底面は作業面側から剝離。A 39・2・245		A 39・2・245
221	60.7	43.1	38.0	〃	130°	-	-	上部破損。交互剝離石核か。翼状剝片石核の可能性あり。背面は自然面を残す。B 12・b N		B 12・b N
222	74.15	47.00	43.3	〃	117°	56.35	27.40	側縁一部欠失。左図右側に2面の大きな剝離痕をもち、稜上加撃して右図左側の大きな剝離痕を剝離。交互剝離石核、あるいは翼状剝片石核か。B 17・d N		B 17・d N
223	61.7	30.4	30.5	〃	-	35.90	16.80	完形。左図上部の剝離痕は打面調整面を加撃。下面の剝離面は裏面の小剝離によって打点が除去されている。B 12・71		B 12・71
224	54.0	36.1	17.0	〃	-	34.35	14.05	側縁下部欠失。片側の表裏に並列の剝離面を持つ。左図左縁にも、平坦面を加撃した横長剝片の剝離痕をもつ。A 37・2・634		A 37・2・634
225	72.1	56.4	58.2	〃	-	-	-	完形。一面は作業面側から剝離した剝離面、他面は自然面を持つ。一方の側縁の表裏に複数の横長剝片の剝離痕をもつ。A 34・2・768		A 34・2・768
226	69.1	44.5	42.8	〃	142°	35.60	22.80	完形。左図左上の剝離痕は打面調整の稜を加撃。A 37・2・536		A 37・2・536
227	64.0	27.6	16.6	〃	88°	-	-	完形。左図に自然面を残す。一方の側縁の表裏で複数の剝片を剝離する。A 33・1・610		A 33・1・610
228	63.4	53.3	41.5	〃	142°	56.70	18.05	側縁一部欠失。交互剝離石核か。3面の剝離痕を持つ。左図上面の剝離痕は石核の平坦面を加撃、下面は石核の平坦面と剝離痕のなす稜上加撃。右図下半部の剝離面の打点は除去されている。A 37・1・668		A 37・1・668
229	62.5	28.7	24.2	〃	122°	29.55	10.90	完形。両側縁から横長剝片を剝離する。B 12・873		B 12・873
230	46.50	29.40	21.5	〃	120°	30.10	16.15	下部破損。上部に自然面を残す。右図左側に2面。左図右側下半部で1面の剝離痕を交互剝離で剝離している。A 38・2・3527		A 38・2・3527
231	60.70	27.45	33.9	〃	122°	57.25	18.10	完形。左図右側の2面の剝離痕のなす稜上加撃し、右図の大きな剝離痕を剝離する。交互剝離石核か。また、左図上半部でも横長剝片を剝離。A 30・1・d N		A 30・1・d N
232	43.0	44.3	15.8	〃	-	31.10	12.15	完形。交互剝離石核か。左図右側2面の剝離面のなす稜上加撃して右図左側の剝離痕を剝離。右図右側の剝離痕は石核の平坦面を加撃して剝離する。B 24・b S		B 24・b S
233	67.9	32.4	32.7	〃	-	40.75	21.05	完形。右図上半部左側は剝離面のなす稜上を、右側は剝離面を加撃する。左図下部にも剝離痕が残る。A 42・4・c S		A 42・4・c S
234	55.40	38.35	25.2	〃	142°	-	-	側縁一部欠失。交互剝離石核か。右図右側の剝離痕は左図左側の2面の剝離痕のなす稜付近を加撃する。左図右上半部の剝離痕は平坦面を加撃。A 40・4・b S		A 40・4・b S

番号	法		重量	石質	剥離 角度	剥離痕		観	察	出土地点
	長さ	厚さ				長さ	幅			
235	67.6	28.2	31.6	サヌカイト	-	23.85	21.65	完形。右図左側に並列剥離を行う。左図左縁下部に調整痕が見られ、石核転用の掻器か。	B8・1136	
236	56.4	39.0	34.4	〃	-	-	-	完形。右図左側の剥離面のなす山形の稜上加撃して左図右側の翼状剥片を剥離。右図右側の剥離痕は自然面を打面にして剥離している。	B9・388	
237	43.3	31.0	10.6	〃	120°	25.60	24.00	横長剥片石核。完形。両面で1面ずつ交互剥離で剥離。右図上半部縁辺に小剥離痕が見られる。	A38・1・4355	
238	58.9	24.5	16.1	〃	94°	36.30	18.60	横長剥片石核。完形。稜上加撃して両面で1面ずつ交互剥離する。左図下半部及び右図でも横長剥片を剥離か。	A1・1・87	
239	58.5	25.6	19.0	〃	-	-	-	下端欠失。右図左側縁の表裏で横長剥片を剥離する。また、右図右側縁は翼状剥片の剥離か。	A31・1・279	
240	44.9	31.1	18.4	〃	-	29.80	17.00	横長剥片石核。完形。両面で1面ずつ交互剥離。右図右側縁の複数の小剥離痕は削器への転用の調整か。	A37・1・3751	
241	54.25	21.60	12.6	〃	-	-	-	翼状剥片石核。完形。底面・背面は1面ずつ。翼状剥片の剥離痕は石核の幅と同じで打面調整の剥離面を加撃。	A29・2・b N	
242	56.05	19.95	18.9	〃	120°	-	-	横長剥片石核。完形。分厚い板状の素材を利用。両面で1面ずつ交互剥離する。左図下半部は末端方向から加撃で剥片剥離を行ったものか。	A38・2・2044	
243	49.3	32.8	18.7	〃	118°	31.60	26.25	横長剥片石核。完形。両面で1面ずつ稜上加撃で横長剥片を剥離する。	A38・1・2799	
244	62.0	34.7	27.8	〃	-	51.00	28.80	右図の左側縁の表裏から1面ずつ交互剥離で横長剥片を剥離する。左図左側を底面とする翼状剥片石核の可能性もある。	C16・1・620	
245	77.2	40.8	93.6	〃	-	-	-	横長剥片石核。完形。肉厚な板状の素材。交互剥離で、左図及び中央図から1面ずつ剥離する。	A37・3・540	
246	66.8	35.9	23.1	〃	-	48.30	24.60	横長剥片石核。完形。交互剥離で、両面から1面ずつ剥離。右図左側は稜上加撃で剥離。	A30・1・c N	
247	71.8	33.1	35.7	〃	-	44.85	18.90	横長剥片石核。完形。交互剥離で両面から1面ずつ大きな横長剥片を剥離。	B12・137	
248	93.9	47.2	77.6	〃	-	66.80	17.75	下部破損。左図左上半部に自然面を残す。交互剥離石核と思われるが、左図右側の剥片には刃部に自然面を持つので有効な剥片の可能性が少ないので打面調整と見る事も出来る。	A39・5・c S	
249	52.4	28.2	17.9	〃	118°	-	-	横長剥片石核。完形。両面から1面ずつ剥離。右図下部部に複数の剥離痕あり。	A2・2・336	
250	66.0	24.0	28.4	〃	-	37.55	14.40	横長剥片石核。完形。両面で1面ずつの交互剥離を行う。	B10・653	
251	73.95	42.90	43.3	〃	-	38.30	29.10	横長剥片石核。上部縁辺欠失。右図右側と左図下半部は稜上加撃の交互剥離。右図左上半部の平坦な剥離面上には多数の打撃痕が残る。	A5・1・b N	
252	65.7	33.6	31.6	〃	-	38.50	14.00	横長剥片石核。上部破損。側縁の一部に自然面を残す。交互剥離で表裏から横長剥片を剥離する。	A2・1・a N	
253	71.2	42.1	54.3	〃	-	49.30	21.20	横長剥片石核。完形。左図上部部に自然面を残す。両面で1面ずつ交互剥離で横長剥片を剥離する。	A37・2・2310	
254	77.6	35.0	36.9	〃	-	-	-	横長剥片石核。完形。両面で1面ずつ横長剥片を剥離。左図下部には横長剥片剥離痕があるほか、両面下部には調整痕が見られる。石核転用の掻器か。	A26・1・113	
255	51.2	27.4	17.6	〃	100°	28.65	18.70	横長剥片石核。側縁の一部欠失。交互剥離で、左図は上半部に、中央図は下半部に剥離痕を残す。	A36・2・170	
256	49.4	34.1	21.1	〃	70°	27.50	22.60	横長剥片石核。下部破損。両面に1面ずつ交互剥離を行う。左図左上半部の調整は削器として用いたために施したものか。	A3・1・285	
257	55.4	40.4	30.8	〃	144°	51.35	33.70	横長剥片石核。下部破損。左図右側の剥離痕は、右図左側と両面1面ずつの交互剥離。左図左側は裏面下部の剥離面に対応する打面調整の可能性あり。	C20・1・407	
258	47.4	29.2	9.1	〃	133°	-	-	横長剥片石核。下部欠失。薄い板状の素材を利用。両面で1面ずつ交互剥離で横長剥片を剥離。片側縁に調整を施し、石核転用の削器とする。	A40・4a S	
259	50.1	27.5	14.4	〃	148°	33.05	12.80	横長剥片石核。上部に自然面を残す。左図左側にボジティブな打撃が残されている。両面1面ずつの剥片を交互剥離で剥離。	A35・2・364	
260	58.3	47.9	33.1	〃	-	-	-	横長剥片石核。上部の一部を破損。右図の左側縁の両面で、横長剥片を交互剥離する。	B22・561	

番号	法		重量	石質	剝離 角度	剝離痕		観	出土地点
	長さ	幅				長さ	幅		
261	46.25	32.45	18.4	サヌカイト	-	38.85	18.50	横長剥片石核。下部及び側縁の一部破損。交互剝離で右図左側縁の両面から1面ずつ剝離する。左図右側の剝離痕は後上を加撃して剝離する。	A33-2-265
262	59.7	37.6	41.1	〃	103°	42.15	18.10	横長剥片石核。右図の左側縁の両面から、交互剝離で1枚ずつの横長剥片を剝離する。両面の剝離とも、それぞれ裏面の剝離面を打面とする。	A1-2-101
263	39.1	31.4	13.4	〃	140°	36.70	18.35	横長剥片石核。完形。交互剝離で両面から1枚ずつ横長剥片を剝離する。両剝離痕とも裏面の剝離面を加撃する。	A35-4-b N
264	52.0	40.2	18.6	〃	116°	31.00	18.60	横長剥片石核。完形。交互剝離で両面から1面ずつ横長剥片を剝離する。右図上端は掻器への転用のための調整痕か。	B11-893
265	51.3	43.4	21.9	〃	133°	-	-	横長剥片石核。完形。一方の側縁の上半部に自然面を残す。剝離面を加撃して交互剝離で両面から1面ずつ横長剥片を剝離する。	C13-1-794
266	46.3	33.6	13.3	〃	114°	27.55	10.35	横長剥片石核。完形。交互剝離で両面に1面ずつ横長剥片の剝離痕を残す。剝離面を加撃。	A25-2-80
267	46.8	39.3	18.5	〃	112°	-	-	横長剥片石核。完形。右図左側縁の表裏から交互剝離で1面ずつ横長剥片を剝離する。さらに、右図右側縁からも横長剥片を剝離する。	A37-1-2665
268	67.0	35.4	36.4	〃	121°	61.30	36.35	横長剥片石核。完形。交互剝離で両面に1面ずつ横長剥片の剝離痕を残す。右図左下半部の剝離面には打撃痕を残す。	B10-200
269	60.6	64.2	13.4	〃	123°	-	-	横長剥片石核。完形。上縁に自然面を残す。薄い板状の素材を利用。交互剝離で両面から1面ずつの横長剥片を剝離。上縁に細かい調整を施し削器に転用する。	A36-2-1906
270	47.8	28.5	18.1	〃	107°	-	-	横長剥片石核。下部破損。交互剝離で両面に1面ずつの横長剥片の剝離痕を残す。それぞれの剝離は、裏面の剝離面を打面とする。	A24-1-c N
271	40.6	31.2	16.0	〃	103°	21.80	26.65	横長剥片石核。側縁下半部破損。右図の左側縁部の両面から、交互剝離で横長剥片を剝離する。剝離に伴う打面調整が両面に認められる。	A39-2-1429
272	40.90	28.95	13.35	〃	-	-	-	横長剥片石核。下部破損。剝離面を加撃して両面から1面ずつ、交互剝離で横長剥片を剝離する。	A39-3-a S
273	59.6	31.7	11.7	〃	119°	-	-	横長剥片石核。上部及び側縁、下部破損。両面から1面ずつ横長剥片を交互剝離する。左図右側の剝離面には右図左上半部の剝離痕を残す。	A38-3-1033
274	55.5	32.2	18.2	〃	-	-	-	横長剥片石核。縁刃一部欠失。一方の側縁の両面でそれぞれ複数の横長剥片の剝離を行う。	A39-2-1393
275	41.7	31.5	13.3	〃	116°	32.75	11.95	横長剥片石核。完形。右図の左側縁部と上縁部の両面から横長剥片を剝離する。	A34-2-a N
276	63.0	31.6	25.1	〃	110°	-	-	横長剥片石核。完形。右図の左側縁部の両面から、それぞれ2面の横長剥片を剝離する。	A36-2-2134
277	54.1	44.1	15.2	〃	-	27.00	21.45	横長剥片石核。完形。右図左側で2面、左図右側で2面の横長剥片を剝離する。	B4-648
278	60.0	36.8	12.5	〃	-	-	-	横長剥片石核。完形。片側縁の両面で複数の横長剥片を剝離する。	B19-295
279	64.6	43.8	18.2	〃	-	53.00	42.35	横長剥片石核。完形。下端部に自然面を残す。右図左側に2面の剝離痕。左図右側に2面の剝離痕を残す。	A5-1-96
280	76.7	37.6	22.9	〃	-	50.60	23.00	横長剥片石核。下部破損。右図右側に自然面を残す。片側縁の両面で5面の横長剥片剝離痕を残す。	A30-1-a S
281	75.0	34.4	16.2	〃	-	40.35	13.30	横長剥片石核。完形。右図左側縁の表裏から、2面ずつの横長剥片を並列して剝離する。	A36-2-40
282	81.0	34.8	20.6	〃	109°	50.30 34.00 61.25 59.55	21.85 15.90 21.20 21.20	横長剥片石核。石核両側縁の両面から横長剥片を剝離する。	A36-1-2138
283	57.6	35.0	17.3	〃	110°	20.90	15.00	横長剥片石核。完形。両側縁の両面で交互剝離し、複数の横長剥片を剝離する。	A1-1-c N
284	48.7	25.2	17.4	〃	-	-	-	横長剥片石核。完形。両側縁の両面に横長剥片の剝離痕を持つ。剝離に際しては過去の剝離面のなす稜を加撃する。	A42-4-a S
285	53.0	31.2	15.8	〃	-	32.80	14.90	横長剥片石核。完形。両側縁の両面5ヶ所から横長剥片を剝離する。剝離に際しては過去の剝離面を加撃する。	A35-2-262
286	93.3	43.0	18.3	〃	-	26.20	17.45	横長剥片石核。上部破損。左図の左側に自然面を残す。片側の表裏で横長剥片を剝離する。加撃は剝離面のなす稜上。左図下部の小剝離は右図下部の剝離に対応する打面調整か。	A38-5-130

番号	法 量			石 質	剥離 角度	剥 離 痕		観 察	出土地点
	長さ	幅	厚さ			長さ	幅		
287	53.6	45.4	25.9	サヌカイト	-	38.60 37.35	10.55 18.55	横長剥片石核。宍形。肉厚な素材を利用。両側縁の両面で横長剥片を剥離する。また、剥片剥離より小さな剥離痕が石核全体に多数見られる。	A 28・2・78
288	50.7	33.3	15.0	〃	-	40.80	15.20	横長剥片石核。下部破損。片側縁辺部で複数の剥離を行う。右図左側の剥離は稜上加撃。	A 38・4・199
289	52.8	36.3	11.7	〃	-	-	-	横長剥片石核。下部破損。両側縁から横長剥片を剥離する。	A 35・2・469
290	47.6	36.9	17.6	〃	130°	-	-	横長剥片石核。下部破損。表裏にわたって側縁に1面ずつの横長剥片剥離痕を持つ。右図左側の剥離は稜上加撃する。	A 35・2・884
291	61.25	27.20	9.45	〃	138°	-	-	横長剥片石核。薄い板状の素材を用いる。上部破損。片側縁辺部に複数の剥離痕を持つ。反対側縁の両面に多数の小剥離が見られる。	C 18・1・a N
292	56.1	41.9	17.8	〃	125°	41.20	15.90	横長剥片石核。下部破損。片側縁辺部の両面に2面ずつの横長剥片剥離痕を持つ。右図左側中央部の剥離が最終に行われ、裏面の剥離のなす稜を加撃する。	A 24・2・211
293	70.5	36.7	22.6	〃	-	-	-	横長剥片石核。下部破損。肉厚の板状素材を用いる。片側縁辺部の両面に複数の剥離を施す。	A 38・2・169
294	67.2	33.6	14.0	〃	138°	35.40	12.75	横長剥片石核。下部破損。片側縁辺部に4面の剥離痕が見られる。反対側縁辺部の下半部に調整が施されている。前器として利用か。	B 8・1133
295	63.00	30.95	12.50	〃	-	-	-	上部破損。下端に自然面を残す。左図にも剥離が行われているが、中央図を打面調整とする翼状剥片石核の可能性もある。	A 38・2・3526
296	76.4	30.0	16.6	〃	-	44.40	21.25	横長剥片石核。下部破損。片側縁で複数の交互剥離を施す。左図の剥離より右図の剥離が新しく、両面とも稜上加撃する。右図上部の剥離が最終剥離。	B 7・629
297	67.6	45.1	11.1	〃	-	44.25	19.10	横長剥片石核。上部及び縁辺の一部破損。薄い板状素材を用いる。片側縁辺部の両面で複数の横長剥片を剥離する。左図の剥離より右図の剥離が新しい。	A 42・5・b S
298	55.6	22.4	15.8	〃	-	-	-	翼状剥片石核。底面は1面で、作業面側から加撃。打面調整は丁寧。	A 2・2・c N
299	56.6	23.8	14.4	〃	-	38.85	14.45	横長剥片石核。下部破損。左図の大半は自然面。右図に1面、左図に2面の横長剥片剥離痕を持つ。	A 8・1・220
300	49.15	36.70	17.90	〃	119°	-	-	横長剥片石核。上部破損。両面の両側から横長剥片を剥離。4面の剥離痕を持つ。	A 38・2・2548
301	37.6	30.5	17.9	〃	102°	-	-	横長剥片石核。上部破損。両面の両側から小形の横長剥片を剥離する。	B 16・103
302	56.7	32.4	14.6	〃	124°	-	-	横長剥片石核。上部破損。両側縁の両面に5面の横長剥片剥離痕を持つ。稜上加撃した剥離は認められない。	A 38・2・4417
303	55.5	41.8	25.9	〃	-	-	-	横長剥片石核。下部破損。右図右側に自然面を持つ。肉厚の素材を利用。右図左側と左図上部に大きな剥離面が残る。	C 14・1・949
304	48.9	48.7	14.2	〃	-	-	-	横長剥片石核。宍形。左図右側縁に自然面を残し、自然面を打撃して石核幅の剥離痕を残す。上部の片側縁でも両面に1面ずつ交互剥離を行う。	A 37・1・1938
305	71.5	40.9	17.2	〃	-	-	-	横長剥片石核。宍形。側縁上部に自然面を残す。右図左側と左図右側の剥離は交互剥離で剥離面を加撃して剥離する。反対側縁で平坦面を打面として剥離を行っている。	A 18・1・b S
306	77.3	31.9	21.6	〃	110°	-	-	横長剥片石核。側縁の一部欠失。右図右側に自然面を残す。右図左側の両面から複数の横長剥片を剥離する。左図左側は自然面を打面として並列剥離する。	A 37・1・2994
307	68.0	37.0	12.5	〃	-	-	-	横長剥片石核。側縁の一部と下端に自然面を残す。左図左側の両面で交互剥離を行い、左図左側では平坦面を加撃して剥離する。	A 23・2・85
308	166.3	70.9	32.4	〃	-	44.35 43.15	24.60 18.85	大形の横長剥片石核。宍形。右図の左側上部の小剥離は、裏面の剥離に対する打面調整の可能性がある。中央左図の右側下部は自然面を打面として剥離。左図は小形の横長剥片を並列して剥離する。	A 8・1・70
309	52.5	32.0	21.0	〃	-	-	-	横長剥片石核。宍形。左図上面を除き、左右両面と下面の3面から横長剥片を剥離する。	A 36・2・1858
310	59.0	36.6	12.2	〃	-	-	-	横長剥片石核。宍形。右図左側縁と下縁の両面から交互剥離で横長剥片を剥離する。右図右側縁でも平坦面を打面にして剥離を行っている。	A 37・1・2275
311	62.1	33.2	19.3	〃	-	-	-	横長剥片石核。宍形。両側縁の両面から横長剥片を剥離する。	A 30・2・a S
312	42.7	30.8	11.5	〃	133°	41.05	12.75	宍形。右図左側縁では平坦面を打面として剥離する。右図上端には縁辺に調整を施し撻器に転用か。	A 39・3・245

番号	法		重量	石質	剝離 角度	剝離痕		観	察	出土地点
	長さ	幅				長さ	幅			
313	51.0	33.7	13.9	サヌカイト	139°	43.65	16.75	横長剥片石核。完形。右図左側縁と下縁の両面で横長剥片を剝離する。	A2・1・777	
314	60.1	40.5	28.3	〃	—	46.50 33.25	16.15 12.80	完形。右図左側縁と下縁の両面から、それぞれ1面ずつの横長剥片を剝離する。	B2・1083	
315	43.1	43.9	24.0	〃	—	—	—	側縁の一部欠失。右図の左辺の両面から横長剥片を剝離するが、左図右辺の剝離痕は小さい。右図下部には未端方向からの剝離痕が見られる。	A39・3・432	
316	53.00	30.25	12.90	〃	133°	—	—	横長剥片石核。完形。両側縁及び下縁で複数の横長剥片を剝離する。	A38・2・3081	
317	65.80	36.20	20.05	〃	120°	—	—	横長剥片石核。側縁の一部欠失。上端に自然面を残す。片側縁の両面に1面ずつ剝離が施されている。左図左上半部の剝離痕は平坦面を加撃する。	A39・2・d S	
318	63.8	36.5	33.1	〃	—	—	—	横長剥片石核。完形。右図右側縁に1面、左側縁で2面の横長剥片剝離が行われている。右図右側縁の剝離痕は平坦面を加撃する。	A37・2・2481	
319	59.6	31.0	18.6	〃	130° 136°	33.80 47.40 27.25	18.85 18.95 14.40	横長剥片石核。完形。片側面に1面ずつの剝離痕を持つ。また、左図左下半部には平坦面を加撃して剝離する。	B10・386	
320	66.3	38.3	29.0	〃	95°	—	—	横長剥片石核。上部破損。肉厚な板状素材を用いる。片側縁の両面で複数の横長剥片を剝離すると共に、左図左側は平坦面を加撃して剝離する。	B17・b N	
321	44.0	35.8	15.6	〃	115°	32.25	19.90	横長剥片石核。下半部破損。片側縁に交互剝離を行う。左図上部には平坦面を加撃して小剝離痕が見られる。	A26・1・236	
322	40.2	41.8	12.8	〃	—	—	—	下部破損。右図左側縁に交互剝離を行ない、右側縁にも小剝離を施す。左図左側縁には調整が施されている。	A37・1・3308	
323	46.4	29.2	12.2	〃	97°	—	—	側縁の一部欠失。右図左側縁では両面から1面ずつの横長剥片を剝離し、右図右側では平坦面を加撃して横長剥片を剝離する。	A32・1・363	
324	58.90	40.65	15.00	〃	120°	33.30	12.35	横長剥片石核。完形。両側縁の両面から横長剥片を剝離する。右図左側の剝離痕は翼状剥片の剝離痕とみなすこともできる。	B14・c N	
325	58.95	37.10	20.45	〃	117°	34.25	19.00	両側縁の両面から横長剥片を剝離する。左図左上部の剝離は細かいので、打面調整の可能性がある。	B18・d S	
326	36.8	33.3	13.8	〃	126°	—	—	完形。右図の平坦面を打面として上・下縁で横長剥片の剝離を行う。さらに、右図左側縁の両面で交互剝離を行い、1面ずつの横長剥片を剝離する。	A35・3・a S	
327	84.45	68.60	26.85	〃	120°	55.40	43.35	横長剥片石核。完形。右図下半部は自然面。右図左縁の両面で交互剝離を行い、左図左縁でも横長剥片を剝離する。右図左縁の両面に細かな調整が施されている。	A32・1・557	
328	53.2	29.1	16.8	〃	—	32.05	24.65	横長剥片石核。完形。両側縁部を加撃して横長剥片を剝離する。左図右上部には細かな調整が施されている。	A40・5・c N	
329	60.1	24.8	24.1	〃	—	32.80	16.75	横長剥片石核。完形。右図右側縁の両面に交互剝離を並列して施し、中央右図の左側中央部からも横長剥片を剝離する。	A24・2・93	
330	81.6	43.9	26.2	〃	108°	—	—	横長剥片石核。完形。肉厚の素材、左図左側には自然面を残す。片側縁の両面に複数の剝離痕を残す。左図右上半部の剝離痕は上端からの加撃。	B3・491	
331	55.85	34.30	17.90	〃	107°	38.45	18.90	横長剥片石核。完形。両側縁及び下端の両面から横長剥片を剝離する。	A8・1・c N	
332	53.4	35.9	14.2	〃	115°	29.65	16.75	横長剥片石核。完形。右図左側縁の両面で交互剝離を行うほか、右図右側縁の下部や下端からも剥片を剝離している。	A35・1・1595	
333	54.0	26.8	13.1	〃	—	—	—	完形。左図右下半部に自然面を残す。右図右側縁の両面から2面ずつの横長剥片を剝離すると共に、右図左側縁からも1面剝離している。	A36・5・202	
334	66.8	34.3	20.9	〃	—	—	—	横長剥片石核。完形。両面から複数の横長剥片を交互剝離で剝離する。	A3・2・512	
335	45.8	35.0	13.0	〃	112°	—	—	横長剥片石核。完形。両面にわたって周囲から横長剥片を剝離する。	A6・1・443	
336	41.4	30.8	20.1	〃	—	—	—	横長剥片石核。完形。不定方向から両面にわたって複数の横長剥片を剝離する。	A38・1・4393	
337	40.6	44.4	17.2	〃	127°	38.80	15.90	横長剥片石核。完形。両面にわたって不定方向から複数の横長剥片を剝離する。左図上端部の平坦面に打撃痕が残る。	B2・604	
338	45.2	33.9	19.4	〃	—	36.10	13.40	横長剥片石核。完形。両面に不定方向から加撃した複数の剝離痕が残る。	A35・2・a N	

番号	法		重量	石	質	剝離 角度	剝離 痕		観	出土地点
	長さ	幅					長さ	幅		
339	53.0	45.1	21.0	40.4	サ	—	—	—	横長剥片石核。完形。右図右下半部に自然面を残す。左図には、上端・右側縁・末端の3方向からの剝離痕が残る。右図の剝離痕は上端・左側縁から加撃している。	A6・1・371
340	40.7	25.8	13.9	9.8	〃	—	—	—	完形。三角形状をなす石核の3方向から横長剥片を剝離する。	A35・5・310
341	54.3	33.0	15.8	16.1	〃	125°	34.20	28.70	完形。周囲から加撃して両面の不定方向から加撃する。左図上半部に調整を持つ。削器に転用。	A7・1・21
342	61.4	42.7	22.0	37.2	〃	126°	40.60	26.30	完形。周囲から加撃して両面から横長剥片を剝離する。	A39・1・151
343	53.4	32.8	27.3	31.0	〃	—	—	—	横長剥片石核。完形。左図の剝離痕は上端方向からの加撃。縦長剥片の剝離痕。右図左下半部や中央図下部には横長剥片の剝離痕が残されている。	A39・3・708
344	59.1	33.0	19.8	27.2	〃	—	38.00	22.15	横長剥片石核。側縁の一部欠失。左図及び右図の上部には自然面が残る。剝離痕は右図左側縁の両面と下部に残る。	A35・1・334
345	54.0	36.6	21.5	31.0	〃	—	—	—	横長剥片石核。片側縁辺の上半部欠失。剝離痕の加撃方向は不定。中央右図下部の平坦面に打撃痕が見える。	A26・1・203
346	52.9	31.4	13.8	23.4	〃	119°	37.45	13.65	横長剥片石核。完形。右図右側には自然面を残す。右図左側の剝離は左方向から加撃する。一方、左図右上半の剝離は上端方向から加撃する。	A38・1・3727
347	57.7	36.2	20.5	26.8	〃	146°	37.35 36.05	20.60 22.05	横長剥片石核。完形。石核両側縁から横長剥片を剝離する。	A38・1・3617
348	42.8	50.0	17.8	27.1	〃	—	—	—	横長剥片石核。完形。側縁の一部に自然面を残す。剝離は不定方向から加撃。左図右下半部の剝離は細かく施されている。	A37・3・580
349	50.1	40.9	15.0	18.8	〃	—	—	—	横長剥片石核。縁辺の一部欠失。左図では不定方向から剥片を剝離する。右図の大きな剝離面にはボジテイな打撃を残す。	A23・1・b N
350	57.1	39.3	13.3	21.0	〃	126°	38.40	12.50	定形。石核の周囲から加撃し、両面から横長剥片を剝離する。左図右側の剝離は、右図左側を打面調整とする翼状剥片の剝離の可能性がある。	A40・2 c N
351	61.7	43.8	17.9	37.5	〃	—	—	—	完形。上端部を除き、石核の両面にわたって周囲から横長剥片を剝離する。	A23・1・d N
352	56.30	29.10	14.45	17.8	〃	121°	34.95	15.15	完形。石核全体にわたって不定方向から加撃し、両面から横長剥片を剝離する。	A23・1・b N
353	55.4	36.1	18.6	21.2	〃	115°	37.10	19.85	横長剥片石核。完形。石核両面の周囲から横長剥片を剝離する。中央右図右側の平坦面に打撃痕を残す。	A35・4・833
354	46.20	36.80	9.80	12.7	〃	138°	—	—	側縁の一部欠失。薄い板状の素材を用いる。右図左側縁の両面と、左図下縁に横長剥片の剝離痕を残す。	A38・2・904
355	51.4	42.6	15.9	22.8	〃	—	33.65	11.45	横長剥片石核。完形。三角形状をなす石核の二辺の両面から小形の横長剥片を剝離する。中央右図の下縁部に自然面を残す。	A39・3・1107
356	43.4	34.3	13.7	17.5	〃	99°	—	—	横長剥片石核。完形。三角形状の石核の周囲から、両面にわたって横長剥片を剝離する。左図左下部には細かい調整を持つ。	A21・1・74
357	62.0	40.4	16.2	33.3	〃	—	28.35	17.25	横長剥片石核。完形。片側縁辺の両面と左図下端部から横長剥片を剝離する。	B25・120
358	62.2	43.1	14.5	31.7	〃	119°	37.05	25.20	横長剥片石核。完形。両側縁上部の両面から横長剥片を剝離する。	A35・3・925
359	69.8	25.3	28.3	37.0	〃	114°	57.70	24.65	側縁の一部欠失。右図左側縁の両面から複数の横長剥片を剝離する。上端部に調整が施されており、右核転用の強靱の可能性もあり。	A34・2・798
360	69.6	36.8	31.0	64.1	〃	91°	—	—	完形。片面の大半に自然面が残る。右図左側縁の両面に複数の剝離痕を残す。左図下端には下端方向から剝離された剝離痕を残す。	B1・521
361	60.6	54.7	17.5	45.4	〃	103°	28.00	17.10	横長剥片石核。完形。不定方向から加撃して両面の周縁部に複数の剝離痕を残す。	A37・2・2234
362	51.05	38.65	14.05	21.7	〃	136°	—	—	上端・下端とも一部破損。右図左側の剝離痕は、左図右側を打面調整と見ると瀬戸内技法で剝離されたものと考えられる。左図左側の2面の剝離痕は共に平坦面を加撃する。	C20・1・a S
363	41.2	33.5	12.7	15.6	〃	—	22.00	32.65	上部破損。中央左図は左右から加撃して横長剥片を剝離する。右図は下端方向から縦長剥片を剝離する。	A24・2・142
364	36.8	20.6	12.6	9.9	〃	127°	31.80	12.85	完形。下端に自然面を残す。上下左右から加撃し、両面から横長剥片を剝離する。	A38・1・3479

番号	法		重量	石質	剝離角度	剝離痕		観	察	出土地点
	長さ	幅				長さ	幅			
365	53.5	29.2	18.9	18.4	30.35	22.00	—	完形。横長剥片石核。左図及び中央図下部から横長剥片を剝離する。	B9・392	
366	52.8	46.6	14.9	39.5	30.10	14.45	—	横長剥片石核。完形。下端に僅かに自然面を残す。左図右側の剝離は共に平坦面を加撃。右図の大きな剝離面にはボジティブな打摺が残る。	B18・470	
367	60.0	46.7	11.5	19.6	—	—	131°	完形。右図左側縁に2面の横長剥片剝離痕を持つ。	C18・1・625	
368	51.4	42.1	12.2	26.9	37.75	16.85	—	完形。右図左側縁の剝離面は共に平坦面を加撃して剝離する。右図右側縁には微小な調整が顕著に施されている。	A35・4・a S	
369	50.5	33.8	15.6	20.2	22.40	12.20	125°	横長剥片石核。完形。下部に自然面を残す。右図左側の剝離面は平坦面を加撃して剝離する。	A35・5・94	
370	67.8	58.8	15.4	40.0	33.25	22.00	—	横長剥片石核。完形。下部に自然面を残す。左図右側の剝離面は平坦面を加撃して剝離する。左図左上部に上端方向からの調整痕が残る。撻器に転用か。	A32・2・343	
371	62.6	34.3	22.9	36.9	38.00	19.80	—	横長剥片石核。完形。横長剥片の剝離痕は平坦面を加撃して剝離する。右図の右側と中央左図の左側上部には細かい剝離痕を施している。	A39・1・269	
372	37.8	31.7	14.1	10.6	27.70	17.40	—	横長剥片石核。完形。右図左側の剝離面は裏面の平坦面を加撃して剝離する。右図右側縁には使用痕と思われる小剝離痕が残っている。	A31・1・203	
373	55.0	32.5	16.7	24.8	—	—	125°	完形。片側縁辺に自然面を残す。右図の平坦面を加撃して横長剥片を剝離する。	B21・2306	
374	77.8	43.6	22.4	72.2	—	—	115°	横長剥片石核。完形。片側縁辺は自然面。右図の平坦面を剝離して横長剥片を剝離する。左図右下半部には細かい剝離が施されている。	A36・2・1889	
375	49.0	39.4	12.0	18.8	24.60	12.40	123°	横長剥片石核。完形。片側縁辺は自然面。横長剥片の剝離は左図の平坦面を加撃する。右核の両面はいずれも上端方向から剝離する。	A34・2・78	
376	48.7	39.8	26.6	29.5	—	—	131° 121°	横長剥片石核。完形。右図の左側剝離面にはボジティブな打摺を残す。剥片の主要剝離面や打面を加撃して小形の横長剥片を剝離する。	A38・5・30	
377	45.50	37.40	13.20	23.8	30.85	13.25	—	横長剥片石核。完形。左図両側の横長剥片は裏面の平坦面を加撃して剝離する。	A22・2・a S	
378	56.6	40.4	14.0	21.7	—	—	—	横長剥片石核。完形。左図右側の剝離面にはボジティブな打摺が残る。このボジティブな剝離面を加撃し、右図の2面の横長剥片剝離面をつくる。	A21・1・415	
379	54.2	45.0	17.0	30.9	32.90	16.60	—	横長剥片石核。平坦面を加撃して左図上部の横長剥片を剝離。右図左側とその裏面で交互剝離。	B16・721	
380	76.5	58.1	33.1	118.7	—	—	—	横長剥片石核。完形。肉厚の素材を用いる。左図右上半部に大きく自然面を残す左図の一部と右図の全体から小剥片を剝離する。右図右側は二次調整か。	A37・1・2176	
381	53.4	46.5	15.5	20.9	39.00	16.65	123°	横長剥片石核。片側縁欠失。左図下部に自然面を残す。右図左右の剝離痕共平坦面を加撃する。	B5・375	
382	59.20	42.65	20.00	35.0	45.25	21.30	129°	横長剥片石核。片側縁欠失。右図下半部に自然面を残す。平坦面を加撃して横長剥片を剝離する。	A42・3・d S	
383	53.8	41.6	15.2	26.4	32.00	28.60	—	横長剥片石核。下部破損。上端に自然面を残す。横長剥片の剝離は平坦面を加撃。右図右側に複数の調整痕を残す。	A38・4・c N	
384	53.0	29.7	13.5	11.3	—	—	129°	上部破損。側縁一部欠失。右図左側の剝離は平坦面を加撃。	B24・b S	
385	61.5	37.2	15.8	27.3	44.25	16.90	121°	横長剥片石核。下部破損。左図の平坦な面を打面にして両側縁から横長剥片を剝離する。	A37・2・449	
386	29.4	33.8	12.2	11.4	32.30	21.00	—	上部破損。右図左側の剝離は稜付近を加撃。右図右側縁に細かい調整痕が見られる。右核転用の削器か。	B19・723	
387	42.6	32.0	13.7	15.6	—	—	—	下部破損。右図左側の剝離は稜付近を加撃して横長剥片を得る。	B17・273	
388	65.4	40.7	22.5	36.5	36.20	11.45	—	完形。板状の自然面を利用。片側縁で複数の横長剥片を交互剝離で剝離。	A28・2・b N	
389	57.5	32.9	20.6	27.0	35.00	22.50	—	完形。両面が1面ずつの剝離痕を残す。先端部に小調整を施す。撻器の機能を持つか。	A2・2・a N	
390	45.0	35.6	20.4	30.5	23.95	20.80	115°	横長剥片石核。完形。左図中央部に自然面を残す。不定方向から両面にわたって横長剥片を剝離する。	A34・2・780	

番号	法 量			重量	石 質	剥離 角度	剥 離 痕		観 察	出土地点
	長さ	幅	厚さ				長さ	幅		
391	43.7	33.6	19.4	29.6	玻璃質安山岩	-	-	-	片側縁破損。周囲から横長剥片及び縦長剥片を剥離する。側縁には細かい剥離痕を施す。	A 2・1・4
392	46.3	25.9	12.7	15.9	〃	-	26.45	18.40	横長剥片石核。完形。左図左側に自然面を残す。片側縁の両面に複数の剥離痕を残す。	A 21・1・163
393	46.5	45.8	19.1	37.5	〃	-	-	-	完形。右図上下端に自然面を残す。周囲から縦長剥片・横長剥片を剥離する。	A 39・2・1278
394	76.4	47.8	18.7	49.5	流 紋 岩	-	73.40	21.25	翼状剥片石核。完形。底面は作業面側から剥離。打面調整は粗い。翼状剥片の剥離は打面調整の剥離面を加撃。背面は複数面よりなる。	B 12・337
395	64.9	25.4	15.1	27.8	〃	-	-	-	翼状剥片石核。側縁の一部欠失。打面調整の上部は細かい。翼状剥片の剥離痕の下部には複数の小剥離痕が見える。底面下半部に背面からの剥離面が残る。	A 2・1・656
396	85.1	29.6	30.4	71.3	〃	-	34.80	22.45	横長剥片石核。縁辺の一部を欠失。片側縁の両面に複数の剥離痕を残す。	B 10・611 B 10・542
397	47.90	25.45	17.75	14.1	〃	125°	-	-	側縁の一部欠失。不定方向から複数の剥片を剥離する。打面は平坦な剥離面。	A 42・5・404
398	67.20	60.85	25.35	110	サヌカイト	-	-	-	分厚い剥片を素材とし、素材の一端に自然面を残す。自然面の部分を除く縁辺では両面から不規則な小形の剥片を剥離している。	B 1・454
399	33.25	23.45	19.60	17.7	チャート	-	-	-	不規則な多面体をなす。平坦な打面から小形の横長剥片を剥離するが、作業面を打面として石核の側面からも小形の剥片を剥離している。	B 4・7

第58表 翼状剥片観察表

番号	法 量		重量	石 質	剝離 角度	観 察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
1	45.60	14.05	13.4	ス カ イ ト	130°	上端部破損。底面に打点を持つファーストフレイク。打面調整は粗く2面。刃部は外彎。打面部はほぼ直線状を呈する。断面は扁平な平行四辺形。	A37・4・b S
2	30.45	21.15	6.3	〃	—	上・下端部共破損。底面に打点を持つファーストフレイク。打面調整は2面。背面に複数の小剝離痕を持つ。	A35・2・c N
3	61.80	15.45	18.2	〃	134°	完形。上・下端が尖る。底面に打点を持つファーストフレイク。打面調整は打面全体に丁寧に施す。刃部、打面部共ゆるく外彎する。断面は分厚い四角形。	A41・3・247
4	37.35	23.50	5.1	〃	121°	上端部破損。下端は薄くなり尖る。底面に打点を持つ、ファーストフレイク。打面調整は細かい。断面は薄い平行四辺形。	A37・3・b S
5	63.40	17.70	8.4	〃	111°	完形。上・下端が尖る。底面に打点を残すファーストフレイク。打面調整は打面全体に丁寧に施す。中央部付近は自然面を利用。刃部はゆるく外彎する。	A38・5・16
6	71.15	25.40	20.8	〃	133°	完形。上端・下端に自然面を残す。底面に打点を持つ、ファーストフレイク。打面調整は打面全体に細かく施す。刃部上半分は内彎、下半分は外彎。打面部は山形を呈す。	A37・2・1358
7	45.95	20.60	4.80	〃	127°	底面下部を欠失するが、ファーストフレイクと思われ。打面調整は打面全体に施すが、上半部の調整は幅狭。刃部は直線状。打面部は山形。	A3・2・b N
8	51.15	17.40	6.4	〃	124°	上端部破損。ファーストフレイクと思われる。底面下半部は折損か。打面調整は丁寧に施すが下部には自然面を残す。刃部はゆるい外彎。打面部は山形を呈する。	A38・1・5047
9	51.40	25.25	9.4	〃	92°	上端部及び下端の一部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。刃部は直線状。打面部は山形を呈する。断面は四角形。	B18・115
10	45.30	21.00	6.15	〃	—	下端部破損。ファーストフレイクか。打面調整は粗く3面。上端部は薄くなっているため打面調整を施さない。断面は扁平な平行四辺形。	C8・2・106
11	42.50	16.35	8.55	〃	—	完形。打面調整は上端部に細かく施す。背面には翼状剥片の剝離痕と底面を各1面ずつ持つ。刃部は外彎。断面は四角形。	A24・1・d S
12	33.85	20.90	7.65	〃	108°	上端・下端の一部欠失。打面調整は粗い。背面にネガティブな横長の剝離痕を2面持つ。下部の剝離痕は下端方向からの剝離である。	A7・2・c S
13	34.30	8.25	5.25	〃	112°	完形。上端は尖る。下端に自然面を残す。打面調整は粗く施す。背面は翼状剥片の剝離痕と底面を1面ずつ持つ。刃部はゆるく外彎。断面は平行四辺形。	A39・2・c S
14	36.90	12.95	4.95	〃	—	完形。底面は3面の剝離痕からなり、いずれも刃部側からの剝離。	A22・1・a S
15	30.25	13.80	4.35	〃	112°	完形。両端が尖る。幅広で扁平。打面調整は粗い。主要剝離面の打点は山形の頂上。刃部は中央部から下端にかけてゆるく外彎。打面部は山形を呈す。	A40・2・538
16	35.45	11.55	3.40	〃	91°	完形。上端が尖る。下端は尖らない。細身で小形。打面調整は下端部が細かい。断面は四角形。	B17・d N
17	38.70	15.90	4.15	〃	124°	完形。両端が尖る。背面は翼状剥片の剝離痕と底面よりなる。打面調整は打面全体にわたり細かい。刃部は外彎。打面部は山形。断面は扁平な平行四辺形。	A40・2・25
18	36.70	11.05	4.15	〃	124°	完形。両端が尖る。扁平で小形。打面調整は上端付近から下端にかけて施す。刃部はゆるやかに外彎する。断面は平行四辺形。	B8・100
19	41.50	15.60	4.65	〃	121°	下端部破損。打面調整は上半部に施す。断面は平行四辺形。	A38・3
20	38.10	18.20	4.80	〃	—	上端は尖る。下端部破損。打面調整は粗く施す。背面は底面と翼状剥片剝離痕を1面ずつ持つ。底面は下部に残らない。断面は四角形。	A37・4・319
21	43.85	19.80	7.55	〃	—	完形。両端が尖る。打面調整は中央部は粗く1面で下部に小さく施す。打面部の上端には打面調整以前の面を残す。刃部はゆるく外彎。断面は四角形。	A38・2・4385
22	42.60	16.60	5.55	〃	—	完形。打面調整は打面全体に施す。底面上端部に上端方向からの剝離痕を持つ。刃部は外彎。打面部は直線状。	A40・3・530
23	48.90	17.35	4.85	〃	115°	両端が尖る。刃部を僅かに欠失。背面には翼状剥片の剝離痕と底面を1面ずつ持つ。打面調整は全体に丁寧に施す。刃部は外彎。打面部は山形を呈する。	A40・3・788
24	54.55	25.30	7.15	〃	—	完形。両端が尖る。打面調整は上端部に施さない。背面上部にネガティブな小剝離痕を2面持つ。刃部は外彎。断面は四角形。	A36・4・1441
25	51.25	21.70	6.85	〃	119°	完形。両端が尖らない。幅広。打面調整は上端に施さない。背面の翼状剥片の剝離痕の下部に古い剝離痕を残す。刃部は外彎。	B9・181
26	49.25	21.20	5.40	〃	—	完形。粗い2面の打面調整の下部に新たに細かく調整を施す。背面は翼状剥片の剝離痕と底面を1面ずつ持つ。刃部は外彎。	A37・1・9288

番号	法 量		重量	石 質	剝離 角度	観 察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
27	59.60	20.55	7.5	サヌカイト	126°	上端破損。底面は上部で消滅。打面調整は打面全体に丁寧に施す。断面は扁平な四角形。	A37・2・2502
28	66.85	28.40	15.5	〃	—	両端が尖る。刃部の中央部欠失。主要剝離面の打点は山形の頂上に残る。打面調整は全体に施されるが、下半部が細かい。刃部は外彎。打面は山形を呈する。	B22・c N
29	62.80	23.55	16.1	〃	111°	底面は薄く下端は肉厚。打面調整は打面全体に丁寧に施す。主要剝離面の刃部側に底面からの小剝離痕を2面持つ。断面は四角形。	A37・1・3726
30	66.60	19.00	8.8	〃	117°	上端破損。下端は薄くなり尖る。底面は下部付近で消滅。打面調整は全面に丁寧に施す。断面は四角形。	A8・2・a N
31	60.75	23.25	8.40	〃	109°	上端破損。打面調整は打面全体に丁寧に施すが、下半部が上半部より細かい。打点は山形の頂上にある。刃部はゆるい外彎。打面は山形。	A40・2・d S
32	47.45	18.35	5.8	〃	111°	上端部に自然面を残す。下端を僅かに破損。打面調整は全体に細かく施す。刃部はほぼ直線状、打面は山形を呈する。断面は四角形。	A39・3・1066
33	50.75	19.10	6.7	〃	—	下端が尖らない。打面調整は上端部のみ薄くなっているため施さない。背面の翼状剝片の剝離痕の下部に古い剝離痕を小さく残す。	A33・2・c N
34	53.00	24.00	8.65	〃	90°	刃部を僅かに欠失。底面は下半部に残る。下半部の打面調整は粗い。断面は三角形を呈する。	A36・1・2230
35	52.25	15.55	5.60	〃	122°	上端は鋭く尖る。下端破損。打面調整は下半部に施す。刃部はゆるやかに外彎し、打面側は山形。断面は四角形。	A37・2・3171
36	49.75	15.85	5.0	〃	133°	完形。上端は鋭く尖る。底面は下部付近で消滅。打面調整は上端よりから下端に施す。背面の下部にネガティブな剝離面が残る。	A37・4・757
37	61.00	18.60	6.35	〃	123°	完形。上端は尖る。下端は幅広。打面調整は打面全体に施す。背面下部には石核の側面を残す。断面は平行四辺形。	A38・2・4012
38	69.25	28.50	6.15	〃	134°	上端部及び刃部を僅かに破損。背面には翼状剝片の剝離痕と底面を1面ずつ残す。打面調整は全体に施す。断面は平行四辺形。	A25・2・200
39	41.75	19.25	8.5	〃	—	完形。上端は薄く幅広。下端は肉厚で自然面を残す。打面調整は打面全体に施す。背面には翼状剝片の剝離痕と底面を1面ずつ持つ。刃部はゆるい外彎。	A38・2・3551
40	36.15	15.30	4.1	〃	126°	完形。両端は尖らない。打面調整は上・下端を除いて施す。背面には複数のネガティブな剝離面を残す。底面は2面よりなる。樹長剝片か。	A2・2・b S
41	43.00	26.00	6.0	〃	107°	完形。上端は薄い。打面調整は全体に細かく施す。刃部に主要剝離面からの剝離痕が見られる。刃部はゆるい外彎し、打面は山形を呈する。断面は四角形。	A3・2・b N
42	49.95	18.45	6.65	〃	—	完形。両端は尖らない。打面調整は粗い。翼状剝片の剝離痕の上端部打面側に打点を残す剝離痕が見られる。刃部上半部に主要剝離面側からの調整を持つ。	A27・2・b N
43	49.85	25.25	5.45	〃	113°	完形。上端に僅かに自然面を残す。下部は幅広。打面調整は打面全体に丁寧に施す。背面下部部には、上部の翼状剝片剝離痕より新しい剝離痕が残る。	A40・2・c N
44	50.00	19.30	7.30	〃	—	完形。上端部に自然面を残す。打面調整は全体に細かく施す。背面の翼状剝片の剝離痕の下部に古い剝離痕を残す。	A39・4・d S
45	44.80	15.75	5.35	〃	109°	上端は鋭く尖る。刃部を僅かに欠失。底面は上端部に小さく残る。打面調整は打面全体に丁寧に施す。	A37・3・912
46	51.55	16.40	5.80	〃	—	刃部を僅かに欠失。底面は下部ほど細くなる。上端部の打面調整は細かい。刃部は直線状を呈する。断面は扁平な四角形。	A18・1・d N
47	55.45	23.15	7.25	〃	103°	下端部の一部破損。打面調整は粗い。背面上半部に小剝離痕が認められる。	A35・4・283
48	55.35	23.20	13.5	〃	137°	下端及び打面の一部欠失。下端部に自然面を残す。粗い打面調整を施す。断面は四角形。	A26・1・242
49	62.55	18.00	11.70	〃	110°	完形。上端は尖る。下端は薄くなり幅広。打面調整は乱れる。翼状剝片の剝離痕の下部にネガティブな剝離面を2面持つ。	A35・3・81
50	42.75	15.75	7.65	〃	—	完形。底面は2面よりなる。打面調整は打面全体に細かく施す。背面下部には末端方向からの剝離痕が2面残る。	A24・2・a S
51	62.05	17.30	5.20	〃	—	完形。上端は尖る。打面調整は打面全体に施す。上端部の調整は細かい。断面は平行四辺形。	B6・732
52	60.45	25.65	18.9	〃	98°	完形。上半部は肉厚。下半部は薄い。上端に自然面を残す。底面は2面よりなり、下半部は刃部側からの剝離面が細かく残る。	A36・4・542

番号	法 量		重量	石 質	剝離 角度	観	察	出土地点
	長さ	幅						
53	44.60	23.95	9.1	サヌカイト	-	完形。上端に自然面を残す。打面調整は全体に施す。刃部は直線状を呈する。断面は四角形。	A24・1・d N	
54	51.20	19.95	4.4	〃	-	完形。両端が尖る。打面は幅狭で上端に自然面を残す。断面は薄い四角形。	A3・1・d N	
55	50.45	16.45	4.6	〃	101°	上端は尖る。打面部を僅かに欠失。上端には打面調整を施さない。翼状剥片の剝離痕の上部に作業面よりは古い剝離痕を残す。	A7・1・a S	
56	49.60	20.65	8.5	〃	130°	完形。両端は尖る。翼状剥片の剝離痕の下部に複数のネガティブな剝離痕を残す。	A29・1・b S	
57	53.10	18.85	7.40	〃	-	完形。打面調整は全体に施す。刃部はゆるい外彎。打面部は山形を呈する。断面は四角形。	A23・2・a N	
58	54.35	19.50	7.65	〃	-	完形。両端が尖る。底面は下端部付近で消滅。刃部は外彎。打面は山形を呈する。断面は四角形。	A35・4・339	
59	54.00	25.95	8.1	〃	-	完形。底面下半部は刃部方向からの剝離痕。打面調整は上端と下端に施さない。背面下端部には下端方向からの剝離痕が残る。	A37・2・2598	
60	62.80	19.00	8.60	〃	137°	完形。下端が尖る。底面は中央下部よりで消滅。打面調整は打面全体に施すが、中央部の調整は粗い。	A40・4・140	
61	46.90	19.00	6.2	〃	-	完形。打面調整は打面全体に粗く施す。底面は縁辺に細く僅かに残る。背面下部には下端方向からの剝離痕が見られる。	A23・1・c S	
62	62.80	21.60	11.9	〃	-	上端は尖る。下端は破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。底面は下端部付近で消滅。刃部はゆるく外彎し、打面部は山形。	C4・1・d N	
63	55.55	19.40	6.80	〃	-	上端破損。打面調整は全体に丁寧に施す。底面は中央下部よりで消滅。	A35・2・c N	
64	53.65	18.70	5.80	〃	-	下部破損。背面の翼状剥片の剝離痕には古い剝離痕を残す。刃部に微小な剝離痕が認められる。	A39・2・d S	
65	60.00	18.65	7.55	〃	-	完形。両端は尖らない。打面調整は打面全体に丁寧に施す。断面は扁平な四角形。	C18・1・b N	
66	55.10	17.55	9.40	〃	-	完形。背面の翼状剥片の剝離痕は3面認められる。断面はやや肉厚の四角形。	A41・3・a S	
67	64.50	28.15	9.00	〃	-	完形。両端が尖る。底面は下部付近で消滅。断面は四角形。	A25・1・d S	
68	47.80	30.40	7.25	〃	-	完形。幅広。背面刃部側の下部には折損面かと思われる面が残る。翼状剥片の剝離痕の下部に末端方向からの剝離痕が見られる。	A36・4・909	
69	58.35	28.85	8.55	〃	-	下端部破損。底面は下端部付近で、細くなり消滅し、刃部方向から加撃する。断面は四角形。	B16・212	
70	66.80	19.60	12.05	〃	-	完形。上端は尖る。下端は尖らない。打面調整は粗く打面全体に施す。翼状剥片剝離痕の両端に4面のネガティブな剝離面を見る。	C16・2・549	
71	41.05	19.75	5.80	〃	-	下部破損。打面調整は打面全体に細かく施す。刃部、打面側共、ほぼ直線状を呈する。断面は四角形。	A37・5・297	
72	47.30	26.45	8.40	〃	124°	幅広。打面調整は細かく施す。背面には2面の剝離痕を持つ。横長剥片の可能性あり。刃部は外彎。断面は四角形。	A36・3・2292	
73	50.75	25.60	9.70	〃	133°	完形。主要剝離面の上部に平坦な剝離面を持つ。背面は底面と翼状剥片の剝離痕を1面ずつ持つ。	A39・3・231	
74	52.80	31.15	10.10	〃	87°	完形。打面調整は上半部に大きく2面施す。背面の上部に上端方向からの剝離面を持つ。横長剥片か。刃部は直線状。	A40・5・1	
75	59.70	26.65	6.70	〃	147°	上端は尖る。刃部を僅かに破損。下端部に自然面を残す。底面に打点を持つフリーストフレイクか。打面調整は打面全体に丁寧に施す。断面は四角形。	A39・3・512	
76	58.10	24.85	7.70	〃	95°	刃部中央部及び下端の一部欠失。底面は上端と下端に細かく残る。	A39・4・d S	
77	65.15	24.75	6.25	〃	141°	完形。打面調整は打面全体に施す。翼状剥片の剝離痕の上部に小さな剝離面を残す。主要剝離面の刃部側に底面からの小剝離痕を残す。	B20・850	
78	53.70	15.15	6.40	〃	108°	両端が尖る。刃部の下部破損。打面調整は全体に施す。底面に主要剝離面側から複数の調整を施す。	B14・1・b S	

番号	法 量		重量	石 質	剥離 角度	観 察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
79	52.85	27.80	13.2	サヌカイト	115°	完形。上端に僅かに自然面を残す。底面は加撃方向の異なる2面よりなる。刃部は外彎。断面は四角形。上端部破損。下端に僅かに自然面を残す。主要剥離面の打点は山形に調整された頂点にある。刃部は直線状。打面は山形。	A38・4・502
80	58.20	18.60	11.0	〃	117°	下端の一部破損。打面は自然面を残す。底面は上端方向から剥離されている。背面には2面の翼状剥片の剥離痕を持つ。刃部、打面完形。両端が尖る。打面調整は粗いが上半部に細かい調整を施す。	A35・3・1053
81	69.90	21.00	20.1	〃	93°	下部破損。背面には底面と翼状剥片の剥離痕を1面ずつ持つ。主要剥離面は2面よりなる。	A38・2・1267
82	66.85	29.55	16.6	〃	104°	下部破損。背面には底面と翼状剥片の剥離痕を1面ずつ持つ。主要剥離面は2面よりなる。	B7・717
83	57.50	20.25	7.0	〃	—	下部破損。主要剥離面の打点は山形に調整された頂点にある。背面上端部には上端方向からの加撃と思われる剥離痕が見られる。	A36・4・773
84	48.95	21.90	5.8	〃	—	上端は尖る。下部破損。打面調整は細かい。背面には2面の翼状剥片の剥離痕を残す。	A28・2・170
85	43.85	16.55	5.9	〃	126°	上端部破損。底面は2面よりなる。フーストブレイク。	A38・4・d N
86	42.90	16.80	5.35	〃	130°	下部破損。翼状剥片剥離痕の加撃点付近に小剥離痕を持つ。刃部はゆるく外彎。	A38・5・a S
87	84.40	25.55	8.80	〃	112°	完形。両端が尖る。大形。背面には複数のネガティブな面を残す。打面下部に細かい調整を施す。刃部はほぼ直線状を呈する。	A35・2・820
88	65.30	15.00	12.2	〃	137°	上端部破損。打面調整は中央から下端にかけて施す。背面下部には翼状剥片剥離痕と並列する小剥離痕を持つ。	A39・2・719
89	63.45	18.45	9.1	〃	110°	上端部破損。底面は2面よりなる。フーストブレイク。	A39・2・905
90	72.05	25.70	24.4	〃	133°	下端を僅かに欠失。背面上部には古い翼状剥片の剥離痕を残す。主要剥離面上部に加撃点の遠い剥離面が見られる。上半部の調整は細かい。	A38・3・63
91	69.95	29.85	5.70	〃	134°	上端に自然面を僅かに残す。打面は幅狭。背面下端部にネガティブな剥離面を小さく残す。断面は扁平な平行四辺形。	A38・3・d N
92	64.30	25.75	7.45	〃	—	刃部を僅かに欠失。刃部上部はゆるく外彎し、下半部はほぼ直線状を呈する。	A37・5・c S
93	55.40	27.25	8.35	〃	133°	刃部の上半部及び下端を欠失。打面調整は上半部にかたよる。背面には翼状剥片の剥離痕と思われるネガティブな剥離痕を3面持つ。	A37・1・2648
94	51.15	22.70	8.40	〃	141°	完形。下端に自然面を残す。打面調整は粗く施す。背面上部に上端方向からの剥離痕あり。	B1・196
95	44.10	21.20	13.1	〃	—	上端及び下端の一部欠失。下端には自然面を残す。打面調整は粗く施す。断面は四角形。	A39・3・b N
96	59.95	28.40	8.00	〃	130°	完形。上端部は薄くなる。底面は2面よりなる。背面上端部にネガティブな剥離面が細く残る。	A40・4・551
97	63.40	14.50	5.65	〃	—	刃部側の下部破損。打面調整は全体に施すが、下半部が細かい。	C5・1・b S
98	72.45	27.75	9.25	〃	118°	完形。上端が尖る。下端に僅かに自然面を残す。主要剥離面の打点は山形に調整された頂点にある。断面は平行四辺形。	A5・1・158
99	55.90	29.10	8.95	〃	130°	完形。下端部に自然面を残す。打面調整は打面全体に丁寧に施す。主要剥離面刃部側に背面側からの小剥離痕を複数残す。	A34・1・964
100	49.00	13.65	3.85	〃	123°	両端破損。打面調整は全体に丁寧に施す。断面は薄い四角形。	A36・5・297
101	76.70	26.90	11.65	〃	—	完形。打面調整は粗い。刃部上半部に主要剥離面側から調整が施され、また下半部には微小な剥離痕が見られるのでナイフに使用された可能性あり。	B23・317
102	78.15	21.25	11.15	〃	123°	下端を僅かに欠失。主要剥離面上部に石核の側面を残す。背面下部にネガティブな剥離面あり、刃部は直線状。断面は平行四辺形。	A34・2・159
103	34.40	12.55	4.00	〃	—	両端破損。断面は四角形。	A23・1・b S
104	35.35	16.70	3.90	〃	—	下部破損。底面は2面よりなる。断面は薄い四角形。	A27・1・a S

番号	法 量		重量	石 質	剝離 角度	観 察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
131	44.70	27.15	12.8	サヌカイト	—	下部破損。上端は幅広く縁辺に小剝離痕あり。粗い打面調整を施す。背面にはネガティブな剝離面を4面持つ。	A8・1・d N
132	43.90	18.15	7.4	〃	124°	下部破損。打面調整は打面全体に丁寧な四角形。	A31・d N
133	51.90	20.80	6.8	〃	—	上端は尖る。下部破損。主要剝離面の上半部刃部側に自然面を残す。背面下半部に古い翼状剝片の剝離痕を残す。	A39・2・1236
134	54.05	19.70	9.5	〃	—	上端は幅広く。下部破損。底面の下半部は幅狭。刃部はほぼ直線状を呈する。	A41・4・43
135	52.15	19.25	7.0	〃	124°	上端は尖る。下部破損。底面は中央下部よりで消滅。打面調整は打面全体に丁寧に施す。	B22・555
136	43.15	20.70	5.4	〃	—	両端破損。底面は上端付近で消滅。断面は四角形。	A41・3・d N
137	31.20	12.90	2.8	〃	140°	両端破損。刃部は直線状。断面は平行四辺形。	A24・1・c S
138	49.15	21.15	10.2	〃	120°	上端は尖る。下部破損。粗い打面調整を施す。刃部は外彎。打面部は山形を呈する。	A38・3・723
139	52.40	17.30	7.5	〃	—	上端に自然面を残す。下部破損。底面上部に打撃痕を残す。	C7・1・2051
140	59.30	23.00	8.9	〃	130°	上端が尖る。下部破損。打面調整は打面全体に施す。断面は扁平な四角形。	A39・1・202
141	43.85	22.40	7.35	〃	117°	両端破損。細かい打面調整を施す。断面はやや肉厚な四角形。	C15・1・369
142	55.55	13.65	8.6	〃	—	上端は尖る。下部破損。粗い打面調整を施す。翼状剝片剝離痕の下部には主要剝離面側からの小剝離痕を残す。ナイフ形石器か。	A7・2・a S
143	52.00	26.50	8.7	〃	124°	下部破損。細かい打面調整を施す。背面には複数のネガティブな剝離痕を残す。	A12・1・c S
144	44.85	26.30	7.9	〃	—	下部破損。幅狭な打面を持つ。背面にはネガティブな剝離面が2面ある。断面は四角形。	A36・1・1187
145	56.15	19.50	8.5	〃	112°	下部破損及び刃部を僅かに欠失。底面は中央先端よりで消滅。背面はネガティブな剝離面を3面残す。上半部の打面調整は細かい。	A40・3・d S
146	67.40	15.40	7.2	〃	148°	上端は尖る。下部破損。打面調整は打面全体に施されるが上半部は特に細かい。断面は扁平な平行四辺形。	A35・3・737
147	65.55	21.35	9.6	〃	76°	上端は尖る。下部破損。底面は上端部に残る。背面にはネガティブな剝離面が2面残る。	A36・3・2206
148	63.00	25.00	7.0	〃	110°	下部破損。刃部はゆるく外彎する。打面部は山形。	A33・2・30
149	50.45	20.85	11.1	〃	—	下部破損。背面にはネガティブな2面の剝離面を持つ。刃部はゆるく外彎する。	A24・a N
150	61.55	19.25	6.7	〃	—	上端は尖る。下部破損。底面は中央付近で消滅。打面調整は打面全体に施す。翼状剝片剝離痕の上部にネガティブな小剝離痕が残る。	C15・1・707
151	46.15	31.30	7.40	〃	115°	両端破損。幅広く。打面調整は打面全体に細かく施す。底面は細長く残る。	C18・1・b S
152	50.80	24.25	11.4	〃	141°	下部破損。刃部の上部欠失。背面は翼状剝片の剝離痕と底面を1面ずつ持つ。	A39・3・d N
153	69.45	27.25	12.2	〃	—	両端が尖る。刃部下半部破損。打面調整は打面全体に施すが下半部の調整が特に細かい。断面は三角形状を呈する。	A13・1・b N
154	69.85	24.55	14.5	〃	—	下部破損。復元すれば長さ9cm前後で大形。刃部、打面部ともあまり外彎しない。背面上端部には翼状剝片剝離痕と平行して小さな剝離痕あり。	B9・1018
155	60.90	27.55	15.5	〃	101°	上端は尖る。下部部は薄くなり破損。上半部の打面は幅広。	A37・4・851
156	49.55	25.90	15.4	〃	112°	下部破損。背面下部にはネガティブな剝離痕が残る。刃部には主要剝離面側からの小剝離痕が複数見られる。	A39・1・407

番号	法 量		重量	石 質	剝離 角度	観	察	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm}						
105	35.50	21.60	6.4	サヌカイト	-	上端部破損。背面にはネガティブな剝離面を2面残す。		A23・1・b N
106	32.95	20.75	6.3	〃	127°	両端破損。粗い打面調整を施す。底面は狭い。刃部は直線状。打面部は山形を呈す。		A19・1・a S
107	39.65	17.90	7.9	〃	99°	完形。上端は尖り、肉厚。下端は薄い。刃部はゆるく外彎する。断面は四角形。		A14・1・a S
108	42.15	20.05	5.0	〃	130°	下部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。主要剝離面の打点は山形に調整された頂点にある。刃部は直線状を呈する。		A37・1・1250
109	36.90	18.25	6.2	〃	-	下部破損。底面の上・下両部に打撃痕を残す。背面にはネガティブな剝離面を3面持つ。		A22・1・a S
110	41.15	14.20	3.9	〃	133°	上端は尖る。下部破損。背面にはネガティブな剝離面を3面持つ。		A23・1・d N
111	49.75	16.50	5.1	〃	-	上端に自然面を残す。下部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。断面は薄い四角形。		A37・2・2739
112	48.55	14.95	4.5	〃	-	上端は尖る。下部破損。底面は中央付近で消滅。打面調整は打面全体に施す。		A23・1・d S
113	37.50	17.40	4.7	〃	-	上端は尖る。下部破損。細かい打面調整を施す。刃部はゆるく外彎する。断面は平行四辺形。		B23-359
114	48.00	16.90	6.0	〃	122°	上端は尖る。下部破損。背面上部に古い翼状剥片の剝離痕を持つ。打面調整は打面全体に細かく施す。断面は扁平な四角形。		A37・1・3521
115	52.20	16.35	8.8	〃	-	下部破損。底面は2面よりなる。断面は四角形。		A26・2・564
116	41.05	16.80	4.7	〃	-	下部破損。底面は上半部に残る。刃部中央部に主要剝離面側からのわずかな調整を持つ。		A35・2・380
117	38.65	18.15	4.1	〃	110°	下部破損。打面の中央部は自然面。主要剝離面はその部分を加撃して剝離。刃部は直線状を呈する。		A14・1・b S
118	41.20	16.75	4.5	〃	126°	上端は薄くなり尖る。下部破損。打面調整は上部に施さない。刃部はゆるく外彎する。		A35・3・1265
119	33.85	19.10	3.6	〃	-	下部破損。打面の上部は自然面。背面上部には、上端方向からの剝離痕を残す。		A23・1・b N
120	51.90	21.30	7.8	〃	106°	両端破損。背面に底面を残さない。主要剝離面の打点は山形に調整された頂点にある。		A13・1・a N
121	46.00	20.65	5.2	〃	-	両端破損。上部の打面は非常に幅狭。断面は扁平な平行四辺形。		A37・3・700
122	44.40	23.40	7.0	〃	85°	上端は尖る。下部破損。打面調整は粗く施す。底面は上半部に残る。		A25・1・c N
123	43.30	23.15	6.5	〃	125°	下部破損。翼状剥片剝離痕の打面側下部に主要剝離面側からの剝離痕を持つ。ナイフ形石器か。		A39・2・a S
124	39.25	17.65	5.7	〃	-	上端から刃部上半部にかけて欠失。下部破損。底面は下部に細く残る。		C12・1・b N
125	47.45	21.55	9.2	〃	106°	下部破損。主要剝離面の上部部に背面側からの小剝離痕を持つ。		A36・3・1029
126	47.15	17.65	7.0	〃	-	両端破損。背面にはネガティブな剝離面を3面残す。刃部はゆるく外彎する。		A37・2・3045
127	44.70	22.00	7.5	〃	100°	上端は尖る。下部破損。刃部はゆるく外彎。断面は四角形。		A25・2・b N
128	46.35	24.00	7.1	〃	114°	両端破損。幅広。打面調整は粗く施す。刃部は直線状を呈する。断面は扁平な四角形。		A42・5・a N
129	41.45	21.65	4.1	〃	125°	下部破損。上半部の打面調整は細かい。刃部は直線状。打面は山形を呈する。		A39・5・b N
130	51.50	19.35	5.9	〃	109°	上端は尖る。下部破損。底面は下端に至る程細い。打面調整は打面全体に丁寧に施す。断面は薄い四角形。		A38・4・453

番号	法 量			重量	石 質	剝離 角度	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ						
157	57.60	18.55	11.35	12.8	サヌカイト	103°	上端は尖る。下端部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。翼状剥片剝離痕の上部には古い剝離痕を小さく残す。	A37・1・2672	
158	50.05	27.90	7.70	13.8	〃	130°	下端部破損。幅広。粗い打面調整を施す。背面には2面の幅広い剝離痕を残す。刃部はあまり外彎しない。	A34・2・677	
159	58.55	30.60	12.90	38.6	〃	102°	両端及び刃部破損。粗い打面調整を施した後、上端部と下部に細かい調整を施す。断面は肉厚な四角形。	A41・5・c S	
160	59.70	31.15	10.85	14.6	〃	-	下部破損。主要剝離面の打点は山形に調整された頂点にある。	A23・1・b N	
161	54.30	19.15	5.15	6.7	〃	-	下部部破損。刃部はゆるく外彎する。打面調整は丁寧。	A37・1・8342	
162	49.35	25.75	7.80	8.6	〃	111°	両端部破損。打面調整は打面全体に施す。背面上端部とネガティブな小剝離痕が残る。刃部はほぼ直線状を呈する。	A39・3・539	
163	53.45	25.10	7.70	10.5	〃	138°	下端部破損。主要剝離面と翼状剥片剝離痕の打点はゆるく外彎し、打面部は直線状を呈する。	A36・2・2271	
164	61.00	24.00	8.70	15.0	〃	108°	両端部破損。底面は3面よりなる。粗い打面調整を施した後、部分的に細かい調整を行う。	B22・d N	
165	65.05	21.25	5.50	11.1	〃	113°	上端は尖る。下端部及び刃部を僅かに欠失。打面調整は打面全体に施す。刃部はゆるく外彎する。扁平な四角形。	C7・1・c S	
166	70.75	20.55	7.80	11.4	〃	118°	上端は尖る。下端部破損。復元すると8cm位の大形。細身。刃部はゆるく外彎する。	A27・1・a N	
167	60.60	28.45	7.10	11.6	〃	115°	下部部破損。上端僅かに自然面を残す。底面は2面よりなり微小な剝離痕が見られる。	A38・1・4711	
168	52.65	22.45	7.60	7.7	〃	-	上端が尖る。下部破損。主要剝離面上部に僅かに自然面を残す。背面は底面と翼状剥片剝離痕を1面ずつ持つ。断面は四角形。	C6・1・12	
169	71.75	18.00	5.40	9.7	〃	-	両端部破損。細身。復元すると8cm位の大形。打面調整は打面全体に丁寧に施す。	A37・3・b N	
170	60.40	36.60	9.15	17.9	〃	105°	下部破損。上端部に自然面を残す。粗い打面調整を施す。	A36・4・1428	
171	51.05	20.00	8.90	10.7	〃	-	両端及び刃部の一部破損。主要剝離面の上部には加撃点の遠い剝離面を残す。	A38・3・80	
172	40.65	16.20	6.25	4.3	〃	127°	両端部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。背面は2面のネガティブな剝離面よりなる。	A37・2・2057	
173	53.95	14.55	7.00	6.5	〃	-	上端は尖る。下部部破損。上端僅かに自然面を残す。翼状剥片の剝離痕の上部に打面部から小剝離が施される。刃部はゆるく外彎する。	A17・1・c N	
174	47.05	26.60	7.65	8.9	〃	114°	刃部上半部欠失。下部部破損。背面は上端方向からの加撃された平坦な1面よりなる。フェーストフレイクの可能性もあり。	A39・3・a S	
175	71.50	31.25	11.05	28.6	〃	-	下部部破損。復元すれば8cm位の大形。粗い打面調整を施す。刃部はゆるく外彎する。断面は四角形。	A36・1・812	
176	67.55	26.45	8.50	17.0	〃	129°	下部部破損。粗い打面調整を施した後、上部と下部に細かい調整を施す。	A6・1・484	
177	58.90	34.00	8.85	33.5	〃	123°	下部部破損。幅広。背面打面側下部に主要剝離面側からの小剝離痕あり、上部の打面調整は幅狭。	A41・3・366	
178	72.45	40.80	15.15	47.5	〃	128°	下部部破損。復元すれば8cm位の大形。やや肉厚。打面調整は打面全体に細かく施す。主要剝離面は複数よりなる。刃部に複数の小剝離痕あり。	A37・2・994	
179	71.85	28.60	9.10	23.4	〃	119°	下部部破損。復元すれば8cm以上の大形。打面調整は打面全体に丁寧に施す。背面打面側下部に打面側からの小剝離痕あり。	A37・2・318	
180	54.90	19.40	7.15	12.9	〃	-	下半部破損。底面は上端方向からの加撃。	A39・3・d N	
181	54.20	21.05	7.40	12.1	〃	110°	上端部及び側縁下部部破損。並列剝離でネガティブな剝離痕を2面残す。	A39・4・d S	
182	44.85	17.80	5.15	6.3	〃	113°	上端部破損。刃部はゆるく外彎する。打面部は山形。	A36・2・2283	

番号	法 量			重量	石 質	剝離 角度	観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ						
183	34.50	12.35	3.10	1.5	サヌカイト	126°	上端部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。断面は薄い四角形。		C16・2・128
184	34.70	13.20	3.35	—	〃	—	上端部破損。打面調整は細かい。翼状剥片剝離痕の打面側に小剝離痕が見られる。		B1・208
185	43.25	15.85	5.55	6.1	〃	—	上端部及び刃部の一部破損。下端に自然面を残す。上半部の打面調整は細かい。		A39・3b S
186	51.05	18.80	6.45	7.1	〃	—	上端部及び刃部の大半を欠失。底面は細長く残る。翼状剥片剝離痕の上端部にネガティブな小剝離痕を残す。		C17・1・b S
187	55.55	19.80	8.30	11.9	〃	119°	上端部破損。刃部は直線状。打面側は山形を呈する。断面は四角形。		A4・2・b S
188	58.00	25.75	12.70	11.7	〃	—	上端部破損。打面調整は打面全体に施す。翼状剥片剝離痕の打点部付近を再度加撃しネガティブな剝離面を残す。		C16・1・1487
189	58.05	25.60	8.25	16.7	〃	126°	上端部破損。粗い打面調整を施す。刃部はゆるく外彎。		A36・5・65
190	92.00	21.25	9.90	15.4	〃	—	上端部破損。下端に自然面を残す。大形。背面には翼状剥片剝離痕以外にネガティブな小剝離痕を打面側に持つ。刃部は直線状を呈する。		A41・3・231
191	57.60	19.40	11.25	13.7	〃	—	上端部破損。打面調整は粗い。刃部は直線状を呈する。		C14・1・d N
192	43.75	22.85	8.50	10.3	〃	—	上端部破損。打面調整は粗い。断面は四角形。		A39・2・2072
193	35.30	16.90	7.60	6.4	〃	105°	両端部破損。背面の上部と打面側に小剝離痕を複数持つ。刃部は2面よりなる。断面はやや肉厚な四角形。		A22・2・a S
194	42.90	21.05	6.30	7.8	〃	—	両端部破損。打面調整は下半部に残る。上半部は主要剝離面側から二次調整を施す。刃部はゆるく外彎する。断面は四角形。ナイフ形石器か。		C14・2・a S
195	36.70	16.65	3.60	3.8	〃	126°	両端部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。刃部に微小な剝離痕が見られる。		A27・1・c S
196	50.45	23.60	5.00	7.5	〃	112°	両端部破損。背面は底面と翼状剥片の剝離痕の一面ずつよりなる。断面は扁平な四角形。		A36・4・508
197	54.15	22.25	6.95	8.8	〃	121°	両端部破損。打面調整は下半部に残る。上半部は主要剝離面側から二次調整を施す。背面上部にはネガティブな小剝離痕が見られる。ナイフ形石器か。		A33・1・483
198	54.55	29.15	5.20	15.1	〃	144°	両端部破損。打面調整は粗い。刃部はゆるく外彎する。		A26・1・114
199	58.15	27.20	13.15	20.5	〃	—	両端部破損。背面の上端と下端にはネガティブな小剝離面を3面残す。断面は平行四辺形。		A38・1・4637
200	54.80	41.45	7.85	19.7	〃	92°	両端部破損。幅広。打面調整は下部に施さない。刃部は主要剝離面からの小剝離痕を残す。		A38・3・82
201	63.00	27.00	6.80	13.7	〃	—	両端部破損。打面調整は細かい。打面部は山形を呈する。		A28・1・a N
202	56.95	26.15	8.45	15.3	〃	—	両端部破損及び刃部を欠失。背面の上部には古い翼状剥片剝離痕を上部に持つ。		A39・3・d N
203	33.00	10.40	4.45	1.4	〃	—	上端は尖る。下端部破損。背面は翼状剥片剝離痕1面のみ。打面調整は打面全体に丁寧に施す。		A23・2・a S
204	34.55	12.30	6.65	2.8	〃	—	下端部破損。打面調整は打面全体に施す。背面は翼状剥片の剝離痕1面のみ。		A38・1・4438
205	41.25	19.55	6.20	3.8	〃	—	上端部破損。刃部下半部欠失。底面なし。		B5・493
206	56.65	16.05	6.05	4.1	〃	85°	両端が尖る。刃部を僅かに欠失。背面は翼状剥片剝離痕1面のみ。打面調整は打面全体に丁寧に施す。		A5・1・d S
207	51.10	18.20	7.20	6.0	〃	111°	下端部破損。底面はない。打面調整は下半部が細かい。断面は三角形。		A39・3・930
208	42.00	20.60	6.05	5.2	〃	113°	上端部破損。下端部欠失。底面はない。断面は三角形。		A39・2・a S

番号	法 量		重量	石 質	剥離 角度	観	察	出土地点
	長さ	幅						
209	37.45	15.75	4.1	サスカイト	86°	下端部破損。刃部は蝶番剥離している。		A38・2・3836
210	54.70	15.70	3.2	〃	-	完形。上端が尖る。打面調整は下端まで施さない。背面には底面はなく、翼状剥片の剥離痕と打点付近に小剥離痕を複数持つ。		A38・2・3921
211	48.25	21.85	9.9	〃	-	上端部破損。下端を僅かに欠失。粗い打面調整を施す。背面に底面は残らない。断面は三角形。		B23・b S
212	60.75	27.80	12.0	〃	112°	下端部破損。刃部の上半部欠失。打面調整は打面全体に丁寧に施す。背面は翼状剥片の剥離痕1面だけ残る。		A15・1・b N
213	73.50	24.55	22.7	〃	-	上端は尖る。刃部を僅かに欠失。主要剥離面上部に刃部側からの剥離面を持つ。打面調整は打面全体に丁寧に施す。		B21・212
214	80.50	49.50	30.9	〃	116°	両端が尖る。打面の一部破損。刃部側上半部に自然面を残す。刃部に複数の微小な剥離痕が見られる。		A38・4・890
215	35.45	18.55	3.5	〃	120°	下端部破損。底面は上半部に残る。主要剥離面の打点は山形に調整された頂点にある。		B22・157
216	50.80	21.55	6.3	〃	-	完形。打面調整は上端を除き細かく施す。背面下端部に下端方向からの加撃された小剥離痕が見られる。		A37・1・3142
217	75.60	28.00	28.3	〃	-	完形。打面調整は打面全体に丁寧に施す。翼状剥片剥離痕の打面側上部に打面側からの多数の小剥離痕が見られる。		A38・1・4921
218	50.65	22.30	12.4	〃	91°	完形。上端に自然面を残す。底面上端部に主要剥離面側からの小剥離痕が残る。		A39・4・92
219	49.80	17.40	5.8	〃	112°	完形。上端は尖る。打面調整は打面全体に丁寧に施す。		A34・2・610
220	52.90	14.25	4.4	〃	114°	上端は尖る。下端部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。		B8・1044
221	56.30	20.95	7.2	〃	123°	完形。打面調整は打面全体に細かく施す。		C15・2・289
222	49.15	22.25	8.00	〃	-	完形。刃部ゆるく外彎する。打面部は山形。		B18・624
223	50.60	21.00	5.3	〃	115°	下端部破損。底面は加撃方向の異なる2面からなり、中央部には刃部からの小剥離痕2面残る。		B15・e S
224	68.05	22.20	8.0	〃	95°	上端は尖る。下端部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。主要剥離面の打点は山形に調整された頂点にある。		A38・1・3682
225	48.10	21.40	9.3	〃	108°	完形。両端が尖る。刃部の下端部には主要剥離面側から調整を施す。ナイフ形石器か。断面は四角形。		B3・251
226	71.20	20.45	12.2	〃	110°	完形。打面全体に打面調整を丁寧に施す。刃部の下端部に主要剥離面側から調整を施す。ナイフ形石器か。		C6・1・475
227	51.55	18.70	7.6	〃	126°	刃部の下端部欠損。打面調整は打面全体に施すが、上端部が特に細かい。背面下端部に下端方向からの剥離痕を残す。		A38・2・3973
228	56.15	25.35	12.8	〃	-	下端部破損。刃部側に主要剥離面側から複数の小剥離痕を残す。		A40・4・347
229	49.25	15.20	4.1	〃	-	下端部破損。刃部の一部破損。打面調整は打面全体に細かく施す。刃部はゆるく外彎。打面は山形を呈する。		A39・4・220
230	69.05	28.90	17.4	〃	122°	上端は尖る。刃部の一部欠失。打面調整は打面全体に丁寧に施す。刃部下半部に小剥離痕を持つ。		C12・2・a S
231	70.00	25.40	23.3	〃	109°	刃部の下端部を僅かに欠失。背面上端部に上端方向から加撃したナゲナイブな剥離面を残す。主要剥離面刃部側の上半部には多数の小剥離痕が見られる。		B19・d N
232	58.75	18.05	4.00	〃	110°	下端部破損。背面は底面と翼状剥片剥離痕の1面ずつ。打面調整は打面全体に丁寧に施す。断面は扁平な四角形。		A2・2・227
233	51.60	15.85	5.2	〃	132°	上端は尖る。下端部破損。底面は2面よりなる。主要剥離面の打点は山形に調整された頂点にある。		A38・4・206
234	40.85	17.45	4.7	〃	127°	下端部破損。上端に自然面を残す。打面調整は細かく丁寧に施す。打面は山形を呈する。		A37・4・861

番号	法 量			重量	石 質	剝離 角度	観 察	出土地点
	長さ	幅	厚さ					
235	50.00	23.70	7.30	10.2	サヌカイト	133°	両端破損。背面には2面のネガティブな剝離面を持つ。	A35・4・801
236	50.75	24.95	8.10	13.0	〃	129°	上端は尖る。下端部破損。打面調整を粗く施した後、上半部に細かい調整を行う。主要剝離面の刃部側上部に調整痕が見られる。	A39・2・984
237	53.55	17.80	4.60	6.6	〃	133°	両端破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。背面下端に主要剝離面側からの小剝離痕が残る。断面は扁平な四角形。	A34・1・不明
238	40.75	22.80	6.90	8.1	〃	—	下端部破損。打面全体に細かい調整を行う。刃部は直線状。打面部は山形を呈する。	B20・841
239	36.80	23.30	6.20	4.8	〃	119°	下端部破損。打面調整は細かい。断面は扁平な平行四辺形。	B15・a S
240	46.70	—	5.00	6.1	〃	—	下端部破損。上端に自然面を残す。背面には、底面と翼状剥片剝離痕を1面ずつ持つ。刃部上半部は内彎。下半部は外彎。	B14・204
241	45.75	16.65	8.90	5.7	〃	107°	下端部破損。下端部の打面調整は細かい。背面はネガティブな剝離面を3面持つ。	A25・1・a N
242	54.95	24.45	24.00	8.3	〃	117°	下端部破損。打面全体に丁寧な打面調整を施す。背面上端部には上端方向から加撃したネガティブな小剝離面を持つ。刃部は内彎。	A37・2・769
243	58.35	28.35	7.85	14.1	〃	—	下端部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。背面には古い翼状剥片の剝離痕を残す。刃部はゆるく外彎する。	C10・1・54
244	36.30	21.05	7.55	6.1	〃	—	上端部破損。下端は尖る。主要剝離面の打点は打面からの加撃によって除去される。断面は平行四辺形。ナイフ形石器か。	A35・5・75
245	69.65	40.85	9.00	30.7	〃	—	下端部破損。幅広。打面調整を打面全体に丁寧に施す。主要剝離面の刃部側上端と下端に背面からの剝離痕を持つ。	A42・4・253
246	61.25	33.00	12.05	25.6	〃	135°	下端部破損。刃部の一部欠失。主要剝離面側の上部に自然面を持つ。打面調整は細かい。	A24・2・a N
247	69.95	25.90	6.15	12.4	〃	—	両端破損。底面なし。背面は翼状剥片剝離痕1面のみ。打面調整は打面全体に丁寧に施す。	A35・2・465
248	55.60	20.30	8.20	7.6	〃	—	両端破損。底面なし。打面には非常に細かい調整が見られる。	A20・1・b S
249	46.75	14.95	5.55	3.8	〃	97°	下端部破損。底面なし。打面調整は細かく丁寧。	A38・4・997
250	32.70	13.90	4.50	1.8	〃	104°	完形。上端は鋭く尖る。背面は翼状剥片の剝離痕1面のみ。底面は残らない。断面は三角形。	A7・1・128
251	59.10	17.30	5.25	5.2	〃	96°	完形。両端が尖る。底面は上部に細かく僅かに残る。打面調整は全体に細かく丁寧に施される。上半部の調整は特に細かい。刃部はゆるく外彎。打面は山形。	A37・2・2380
252	63.15	29.75	11.85	13.7	〃	99°	上端は尖る。打面部と刃部を僅かに欠失。底面なし。主要剝離面の打点は山形に調整された頂点にある。打面の上半部の調整は特に細かい。断面は三角形。	B12・380
253	35.55	13.60	6.40	3.3	〃	—	上端部破損。細かい打面調整を施す。背面上端部にはネガティブな小剝離痕が3面残る。断面は三角形。	A21・1・c S
254	45.00	14.30	5.60	3.3	〃	94°	下端部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。底面は残らない。	A36・4・1180
255	53.25	14.00	6.70	5.2	〃	—	上端に僅かに自然面を残す。下端部破損。刃部に小剝離痕あり。	A38・3・665
256	46.20	19.05	6.75	5.7	〃	92°	両端破損。底面なし。打面調整は丁寧に行う。	B21・1637
257	41.95	17.80	5.55	3.0	〃	101°	完形。両端が尖る。粗い打面調整を施す。底面は上端部に小さく残る。	A30・1・d S
258	59.65	16.20	9.70	11.8	〃	136°	刃部を僅かに欠失。上端が尖る。打面調整は粗い。刃部は外彎。打面部は山形。	A36・2・2619
259	48.00	14.40	5.50	3.8	〃	115°	完形。両端が尖る。打面調整は大きく2面で構成される。背面にはネガティブな剝離痕を2面残す。	A36・2・11
260	37.05	13.25	5.15	2.6	〃	110°	完形。両端がやや尖る。主要剝離面の打点は2面の打面調整からなる山形の頂点にある。断面は四角形。	A38・2・3243

番号	法 量		重量	石 質	剝離 角度	観	察	出土地点
	長さ	幅						
261	73.45	23.00	17.4	サスカイト	103°	上端破損。主要剝離面刃部側に小剝離痕が見られる。	A40・4・588	
262	70.75	18.85	8.4	〃	-	上端破損。上半部の打面調整は細かいが、下半部の大半は自然面が残る。底面は2面よりなる。	C15・1・613	
263	41.05	2.75	-	〃	122°	下端部破損。刃部側の下半部は自然面。背面には複数のネガティブな剝離面を持つ。2面の打面調整のなす山形の頂点に打点あり。	A39・2・b S	
264	53.85	22.15	8.3	〃	110°	上端は尖る。下端部破損。粗い打面調整を施す。刃部は外彎。打面は山形を呈する。	A38・4・d N	
265	51.45	19.55	5.4	〃	-	完形。下半部の打面調整は大きい。背面上部にネガティブな小剝離痕が見られる。刃部はほぼ直線状。打面は山形を呈する。	A38・2・347	
266	57.00	19.25	10.3	〃	-	完形。下端に僅かに自然面を残す。背面上部にネガティブな小剝離面を持つ。	A40・2・721	
267	40.05	25.55	4.9	〃	133°	下端部破損。打面の上半部は自然面。主要剝離面の刃部側に小剝離痕が認められる。断面は四角形。	A36・2・684	
268	44.35	19.05	5.0	〃	113°	下端部破損。背面にはネガティブな剝離面を2面持つ。刃部は直線状。打面は山形。	A35・3・482	
269	58.10	19.45	9.7	〃	-	完形。打面調整は粗い。背面の翼状剝片剝離痕の打点部付近に複数の小剝離痕が認められる。	B8・1281	
270	62.85	21.85	21.3	〃	-	上端破損。打面は上端及び下端に自然面を残す。背面には翼状剝片の剝離痕を2面残す。	A40・2・b S	
271	54.95	18.35	6.7	〃	-	完形。両端が尖る。上端部は薄くなっている。背面にはネガティブな剝離面を3面残す。	A37・2・3046	
272	55.95	25.35	12.1	〃	124°	完形。上端は尖る。打面調整は大きく3面。背面にはネガティブな剝離面を3面持つ。	A36・3・2163	
273	67.45	20.60	17.3	〃	107°	完形。上端は尖る。主要剝離面の先端に自然面を僅かに残す。打面調整は大きく粗い。翼状剝片剝離痕の打点近くに小剝離痕が残る。	C13・1・239	
274	51.05	24.80	17.1	〃	-	完形。幅広。打面調整は粗く大きい。背面上端部に下端方向からの剝離面を持つ。底面上端部からの上端方向からの小剝離痕が残る。断面は四角形。	A39・1・275	
275	51.20	22.00	6.6	〃	125°	完形。打面調整は大きく2面。底面は加撃方向の異なる2面よりなる。刃部はゆるく外彎する。断面は扁平な四角形。	C8・1・141	
276	43.10	24.85	8.7	〃	130°	完形。下端に自然面を残す。粗い打面調整の上に細かい調整を施す。刃部上半部には主要剝離面側からの調整痕が見られる。	A39・2・343	
277	42.70	30.35	18.00	〃	115°	上端及び刃部を僅かに欠失。幅広で肉厚。背面下部に下端方向からの剝離面を残す。	B8・656	
278	44.85	23.35	10.9	〃	108°	完形。下端に僅かに自然面を残す。背面には2面の翼状剝片の剝離痕が残る。	A24・2・c N	
279	47.15	21.30	9.5	〃	147°	上端を僅かに欠失。上部は薄く下部は分厚い。打面には中央部に細かい調整が見られる。刃部はゆるく外彎する。	A35・4・557	
280	56.35	18.85	13.2	〃	-	刃部の上端部欠失。下端部破損。背面には大きく粗い調整が施される。背面にはネガティブな剝離面を2面持つ。	A11・1・c S	
281	63.65	23.30	16.2	〃	113°	完形。底面は上端付近で消滅。背面には複数のネガティブな剝離面を持つ。	B7・526	
282	75.95	27.80	14.8	〃	146°	完形。上端は尖る。打面調整は大きく、打面は2面からなる。	A38・2・4692	
283	76.10	22.00	12.1	〃	131°	完形。上端は尖る。打面調整は粗い。翼状剝片の剝離痕の打点近くに小剝離痕が見られる。刃部は外彎。	A35・1・1889	
284	72.15	29.70	16.2	〃	115°	完形。下端に自然面を残す。打面調整は粗く大きい。背面にはネガティブな剝離面を2面持ち、底面は複数面よりなる。	A39・5・46	
285	62.25	21.00	10.4	〃	-	完形。底面は上端近くで消滅。打面調整は粗く乱れる。	A35・3・948	
286	38.80	25.60	7.2	〃	-	上端破損。幅広。底面は下半部に細かく残る。粗い打面調整を施す。背面下部部に下端方向からの剝離面あり。	A38・1・3666	

番号	法		重量	石質	剝離角度	観	察	出土地点
	長さ	幅						
287	57.85	18.90	8.8	サヌカイト	136°	完形。上端は尖る。打面調整は粗いが下端部に細かい調整が行われる。刃部はゆるく外彎する。断面は四角形。	B15・371	
288	53.35	23.35	9.8	〃	—	完形。背面に複数のネガティブな剝離面あり。断面は四角形。	B18・c S	
289	63.00	16.90	8.40	〃	132°	刃部の下半部欠失。背面下半部には複数の小剝離痕あり。	C16・1・949	
290	81.55	24.65	7.10	〃	132°	完形。両端が尖る。大形の翼状剝片。打面調整は粗く大きな3面からなる。背面の下端部に小さい自然面を残す。背面には複数の小剝離痕を持つ。	A19・1・aN	
291	73.65	26.25	18.90	〃	—	完形。底面は、ネガティブな剝離面で、作業面が転移したものと考えられる。打面となる面は主要剝離面側から剝離する。	A36・5・232	
292	64.45	23.90	17.90	〃	113°	完形。上端は尖る。肉厚。底面上半部には自然面を残す。打面調整は粗く大きい。刃部は外彎。打面部は山形を呈する。断面は四角形。	A29・2・a S	
293	65.60	30.85	9.65	〃	116°	完形。上端は尖る。下半部は幅広。横長剝片か。主要剝離面の刃部側に剝離痕を2面残す。打面調整は大きく2面からなる。	B18・1076	
294	43.40	19.00	6.65	〃	98°	完形。打面調整は粗く3面施す。底面は上半部に残る。	A42・4・b S	
295	38.25	13.70	8.40	〃	110°	完形。小形。底面は上部が幅広。交互剝離の横長剝片の可能性あり。	A38・2・3541	
296	42.50	19.60	5.55	〃	135°	完形。上端は尖る。背面下端部に剝離痕を3面持つ。打面調整は粗い。	A36・3・2157	
297	48.55	20.15	5.80	〃	108°	上端破損。背面は2面のネガティブな剝離面と底面よりなる。打面調整は粗い。刃部はほぼ直線状を呈する。	A39・2・718	
298	45.75	18.75	7.00	〃	155°	完形。底面は2面よりなる。打面下部には細かい調整を持つ。	A37・1・2522	
299	52.80	13.75	7.15	〃	117°	両端破損。背面には複数のネガティブな剝離面がある。打面調整は粗い。	A33・2・303	
300	46.60	14.60	8.75	〃	123°	下部破損。上端に自然面を残す。背面には3面のネガティブな剝離面と複数の小剝離痕を持つ。打面調整は粗い。	A9・2・aN	
301	46.15	14.20	5.00	〃	110°	完形。上端は尖る。背面に複数のネガティブな剝離痕を持つ。打面調整は粗い。刃部は直線状。打面部は山形。	A35・3・b N	
302	47.45	15.35	4.75	〃	127°	下端欠失。上端には自然面を残す。背面の翼状剝片剝離痕の下部にネガティブな小剝離痕あり。	A39・2・b S	
303	41.40	18.35	6.40	〃	126°	下部破損。背面には加撃方向の異なるネガティブな剝離面を2面持つ。刃部に微小な剝離痕が見られる。	A36・1・1010	
304	50.75	23.00	10.75	〃	—	下部破損。打面調整は粗く大きい。底面下端部に小剝離面あり。刃部は直線状を呈する。	A39・5・135	
305	54.90	16.80	7.15	〃	125°	下部破損。背面に複数のネガティブな剝離面あり。粗い打面調整が施される。	A42・3・d S	
306	82.00	20.60	7.60	〃	—	完形。両端が尖る。大形。刃部には蝶番剝離が認められる。主要剝離面にはポジティブな剝離面を2面持つ。打面調整は、上部は背面、下部は主要剝離面から施される。	A39・4・797	
307	51.90	22.85	7.00	〃	108°	両端破損。底面は細く残る。打面調整は粗い。刃部は直線状。打面部は外彎する。	C18・1・aN	
308	54.90	22.15	8.50	〃	88°	完形。底面は下端部で消滅する。打面調整は粗い。	A8・1・151	
309	63.35	24.55	10.00	〃	—	上端欠失。打面調整は粗いが、中央部に細かい調整を施す。刃部下半部に主要剝離面からの調整が施される。ナイフ形石器か。	B22・397	
310	71.85	29.90	11.40	〃	115°	上端部欠失。背面にはネガティブな剝離面を2面持つ。打面調整は粗く大きい。	A35・3・1149	
311	40.70	16.55	4.40	〃	106°	上端部破損。背面には翼状剝片の剝離痕と底面を1面ずつ持つ。主要剝離面の打点は山形に調整された頂点にある。	A37・2・1109	
312	42.00	20.45	5.35	〃	—	完形。背面にはネガティブな剝離面を複数持ち、上端部の打面側には小剝離痕が見られる。	A36・1・251	

番号	法 量		重量	石 質	剝離 角度	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ						
313	51.95	16.35	5.0	サスカイト	138°	上端破損。下端は薄くなる。打面調整は下端部に施さない。背面はネガティブな剝離面を3面持つ。	C18・1・714	
314	54.55	23.10	10.9	〃	-	下端を僅かに欠失。背面のネガティブな剝離面の打点と主要剝離面の打点の位置はずれず。横長剥片か。	B13・273	
315	52.50	18.45	7.7	〃	-	完形。上端が尖る。表面に気泡が多く見られる。打面調整は粗い。	A24・2・b N	
316	66.35	19.95	10.6	〃	-	刃部の一部欠失。背面には複数のネガティブな剝離面を持つ。底面上端部に僅かに自然面を残す。打面調整は粗く大きい。	C8・1・93	
317	58.15	20.20	9.7	〃	-	完形。底面は上端付近で細くなる。下半部の打面調整は大きい。断面は四角形。	A40・5・d S	
318	56.85	16.90	4.75	〃	122°	完形。両端が尖る。底面は下半部に残る。打面調整は大きい。刃部に小剝離痕が見られる。	A36・3・1090	
319	32.70	17.60	4.1	〃	110°	完形。下端部に自然面を残す。背面上端部にネガティブな小剝離痕あり。断面は四角形。	A22・2・a S	
320	53.70	17.10	11.3	〃	-	完形。上端は鋭く尖る。底面は上端部で消滅。打面調整は粗く施す。断面は四角形。	A40・4・530	
321	53.45	15.80	6.5	〃	124°	上端欠失。背面の刃部側中央部に自然面を残す。底面なし。主要剝離面の打点は2面の打面調整からなる山形の頂点にある。	A35・4・789	
322	39.45	20.35	4.00	〃	-	下端部破損。背面にはネガティブな剝離面を2面持ち、上端部には小剝離痕あり。刃部は直線状。	A38・3・228	
323	38.00	16.15	5.75	〃	102°	下端部破損。背面には1面の底面と複数のネガティブな剝離面を持つ。	A37・1・2108	
324	49.80	17.90	3.80	〃	115°	上端は尖る。下端部破損。底面は上端部で消滅。粗い打面調整を施す。	A24・1・d S	
325	51.05	16.30	5.10	〃	108°	下端部破損。底面は上端部に細く残る。断面は三角形状を呈する。	C4・1・c S	
326	58.05	18.70	4.80	〃	-	上端は尖る。下端部破損。背面上部に打面からの細かい調整が施される。刃部に微小な剝離痕が残る。	A38・5・c S	
327	51.90	17.15	13.8	〃	135°	下端部破損。背面には底面と翼状剥片剝離痕を1面ずつ持つ。主要剝離面の刃部側に底面側からの小剝離痕が残る。	A27・2・b N	
328	64.65	21.20	6.35	〃	107°	下端部破損。打面調整は粗い。刃部は直線状。打面部は山形を呈する。	A37・1・2937	
329	62.30	24.35	6.75	〃	-	上端及び刃部を僅かに欠失。下端部破損。背面の翼状剥片の剝離痕の下部に小剝離面が見られる。刃部上端部に小剝離痕あり。	A23・1・a S	
330	66.45	20.15	7.15	〃	120°	下端部破損。上端に僅かに自然面を残す。主要剝離面の刃部側に背面側からの多数の小剝離痕が残る。	A36・5・245	
331	51.65	17.90	5.15	〃	130°	上端は尖る。下端部破損。底面は2面よりなる。刃部はゆるく外彎し、打面部は山形を呈する。	A35・3・c S	
332	40.90	18.25	5.00	〃	-	両端破損。打面上端部に自然面を残す。断面は扁平な四角形。	A38・3・b N	
333	45.15	16.00	6.90	〃	-	下端部破損。底面上端部に小剝離痕が認められる。	A37・3・b N	
334	48.10	21.30	8.40	〃	122°	下端部破損。上端部に自然面を残す。粗い打面調整を施す。断面は四角形。	A38・1・1294	
335	47.55	18.65	5.25	〃	110°	下端部破損。底面は上端部に残らない。	A39・4・811	
336	47.55	28.35	7.45	〃	118°	下端部破損。幅広。背面には1面の底面と2面のネガティブな剝離面を持つ。底面に主要剝離面側から小剝離痕あり。	C15・2・4	
337	59.30	23.00	9.85	〃	-	下端部破損。背面には1面の底面と2面のネガティブな剝離面あり。底面上端部に主要剝離面側からの小剝離痕が認められる。	B2・570	
338	65.75	19.95	6.35	〃	120°	下端部破損。背面には複数のネガティブな剝離面あり。底面は細長く残る。打面調整は粗い。	A41・2・d S	

番号	法 量		重量	石 質	剥離 角度	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ						
339	56.60	26.30	13.6	サヌカイト	115°	下端部破損。背面にはネガティブな剥離面と底面を2面ずつ持つ。刃部には多数の小剥離痕が認められる。	A27・2・d S	
340	57.85	29.35	14.0	〃	141°	下端部破損。底面は上端付近で消滅。背面にはネガティブな剥離面を2面持つ。	A2・2・404	
341	65.95	29.75	23.0	〃	—	両端破損。背面には翼状剥片の剥離痕と底面を1面ずつ持つ。主要剥離面の刃部側に背面側からの小剥離面が見られる。	A38・3・930	
342	81.80	25.55	21.2	〃	—	下端部破損。大形。背面はネガティブな剥離面2面と1面の底面を持つ。刃部は大きく内彎する。断面は四角形。	A37・1・420	
343	43.60	21.15	8.9	〃	135°	両端破損。背面の翼状剥片剥離痕の縁辺に打面側から小剥離を多数施す。	A40・4・724	
344	39.50	22.20	5.5	〃	—	両端破損。背面の翼状剥片剥離痕の縁辺に、打面側からの小剥離痕が複数見られる。刃部にも主要剥離面側からの小剥離痕あり。	A10・2・a S	
345	41.00	18.85	5.2	〃	118°	両端破損。底面は2面よりなる。刃部は直線状。打面部は山形を呈する。	A26・2・254	
346	38.60	22.20	5.7	〃	115°	両端破損。底面は細い。打面には打撃痕が残る。断面は四角形。	B19・d S	
347	40.00	11.70	7.3	〃	—	上端部破損。背面には1面の底面と複数のネガティブな剥離面を持つ。刃部は直線状を呈する。	A21・1・247	
348	45.10	19.90	7.4	〃	—	両端破損。打面調整は粗い。刃部は直線状を呈する。	A38・2・883	
349	48.15	20.10	7.4	〃	120°	上端部破損。下端は尖る。主要剥離面の刃部側に背面側からの複数の小剥離痕を持つ。	A39・466	
350	71.80	29.00	17.3	〃	110°	両端破損。復元すれば8cm位の大形。底面は下端部に小さく残る。翼状剥片剥離痕の打面側縁辺に打面側からの小剥離痕が見られる。	A33・2・202	
351	56.65	12.35	4.85	〃	140°	上端は尖る。下端部破損。背面には1面の底面と2面のネガティブな剥離面を残す。刃部はゆるく外彎する。	A39・2・1470	
352	57.05	21.00	8.60	〃	127°	上端破損。打面側の一部欠失。背面には1面の底面と複数のネガティブな剥離面を持つ。打面調整は2面からなり、上方の小剥離面には打点が見られる。また、上方の剥離は大きく横長剥片の剥離痕の可能性がある。	B9・764	
353	45.50	15.15	6.1	〃	118°	完形。上端は尖る。背面は1面の底面とネガティブな剥離面を2面持つ。主要剥離面下端部に下端方向からの小剥離痕が見られる。刃部はゆるく外彎する。	A23・1・a S	
354	41.40	20.05	6.8	〃	109°	完形。上端は尖る。打面調整は2面からなり、上方の剥離は大きい。背面は1面の底面と複数のネガティブな剥離面を持つ。刃部に小剥離痕が認められる。	A24・2・a S	
355	45.60	18.30	5.00	〃	—	完形。上端は尖る。打面調整は粗く、下方の剥離面は大きい。背面は1面の底面と2面のネガティブな剥離面を持つ。刃部に主要剥離面側からの複数の小剥離痕が残る。	B17・2・a N	
356	49.70	19.45	7.20	〃	125°	完形。上端は尖る。打面調整は大きく2面からなる。背面は2面のネガティブな剥離面と1面の底面を持つ。刃部はゆるく内彎し、打面部は山形を呈する。	B10・524	
357	60.10	17.40	10.65	〃	—	刃部の上部欠失。下端は尖る。打面調整は大きく、2面よりなる。下方の剥離面には打点が残る。	A25・1・d S	
358	75.65	34.85	14.30	〃	—	完形。幅広。上部に自然面を残す。底面の下端部に下端方向からの剥離面あり。打面は2面からなり、上方の剥離は大きい。横長剥片の可能性がある。	A34・2692	
359	53.80	20.80	9.75	〃	118°	完形。背面、上端部に石核の側面と思われる剥離面が残る。打面調整の上方の剥離面は大きく打点を持つ。刃部は外彎する。断面は四角形。	A37・2・1902	
360	81.35	33.85	17.65	〃	—	完形。大形。背面には1面の底面と複数のネガティブな剥離面を持つ。打面は3面よりなり、上方の剥離痕は大きい。横長剥片の可能性あり。	A17・1・a N	
361	46.40	22.50	5.45	〃	—	下端部及び刃部の下半部欠失。底面は刃部方向からの剥離。打面調整の上方の剥離面は大きく、打点を持つ。	A38・2・1822	
362	43.55	17.15	5.80	〃	112°	下端部破損。上端に僅かに自然面を残す。打面調整の上方の剥離面は大きく打点を持つ。刃部は外彎する。断面は平行四辺形。	A36・1・2156	
363	38.40	16.15	4.80	〃	—	上端部破損。打面は2面よりなる。下方の剥離面は大きく打点がある。断面は平行四辺形。	A37・3・230	
364	44.10	20.25	5.20	〃	130°	両端破損。背面は底面と翼状剥片の剥離痕を1面ずつ持つ。刃部は直線状を呈する。断面は扁平な四角形。	A41・5・a N	

番号	法 量		重量	石 質	剥離 角度	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ						
365	44.85	16.80	7.1	サヌカイト	115°	両端破損。背面には1面の底面と複数のネガティブな剥離面を持つ。粗い打面調整を施す。		A39・2・1625
366	45.55	19.45	8.0	〃	-	両端破損。打面調整は粗い。		A41・3・476
367	58.70	24.55	7.4	〃	-	下端部破損。刃部の一部欠失。上端に僅かに自然面を残す。背面には1面の底面と2面のネガティブな剥離面を持つ。		B16・707
368	70.00	26.20	24.5	〃	127°	下端部破損。復元すると8cm位の大型。背面上端部に上端方向からの剥離面あり。1面の底面と複数のネガティブな剥離面を持つ。打面調整は粗い。		A38・1・2729
369	58.20	15.45	3.1	〃	-	完形。両端が尖る。打面調整は打面全体に施す。背面は翼状剥片の剥離痕1面だけ持つ。刃部は外彎。打面調整は粗く2面施す。上		A38・1・4600
370	50.05	17.85	6.6	〃	118°	完形。上端が尖る。底面は下端部に小さく残る。背面にはネガティブな剥離面を複数持つ。打面調整は粗く2面施す。上		C11・2・134
371	47.45	16.55	6.4	〃	108°	下端部破損。刃部を僅かに欠失。背面に底面はなく翼状剥片の剥離痕1面のみ。		A37・4・aN
372	53.75	17.00	5.9	〃	-	上端部破損。背面は翼状剥片の剥離痕1面のみ。粗い打面調整の上に細かい調整を施す。		A39・1・d S
373	49.95	20.60	8.8	〃	116°	完形。上端は尖る。下端に自然面を残す。底面はネガティブな剥離面で作業面が転移したと考えられる。打面調整は下端部に残る。横長剥片の可能性あり。		A38・2・4751
374	61.50	20.70	15.8	〃	135°	完形。背面には複数のネガティブな剥離面を持つ。打面調整は粗く大きい。刃部側には微小な調整あり。		A37・1・3037
375	59.60	40.20	35.0	〃	-	上端縁辺欠失。底面は中央部に細く残る。背面には複数のネガティブな剥離面を持つ。横長剥片の可能性あり。		A40・3・691
376	50.25	22.40	9.7	〃	-	刃部を僅かに欠失。打面部の大半は自然面を利用。打面調整は下端部に小さく施す。		C18・1・336
377	55.40	18.35	12.1	〃	-	下端部破損。ファーストフレイクか。背面の大半は自然面で、上端部には打面側からの小剥離痕が複数見られる。		A19・1・c S
378	44.25	25.50	10.5	〃	124°	完形。背面刃部側の下端部に自然面を残す。背面にはネガティブな剥離面はない。横長剥片か。		A40・564
379	41.05	11.60	5.4	〃	110°	両端破損。背面には複数のネガティブな剥離面がある。打面調整は乱れる。		A38・3・d S
380	67.90	26.35	18.7	〃	120°	上端縁辺欠失。底面は上半部に小さく残る。背面にはネガティブな剥離面あり。打面調整は粗い。		C14・1・297
381	46.20	23.80	9.3	〃	137°	完形。背面には1面の底面とネガティブな剥離面を4面持つ。横長剥片か。打面に細かい調整が見られる。刃部に微小な剥離痕あり。		A34・1・I380
382	50.75	27.35	15.3	〃	117°	完形。横長剥片か。背面は1面の底面とネガティブな剥離面を持つ。背面のネガティブな剥離面と主要剥離面の剥離方向は異なる。		C17・124
383	69.55	27.15	23.3	〃	127°	完形。横長剥片か。両面ともポジティブな剥離面。		A6・1・222
384	41.95	13.60	4.45	〃	115°	完形。背面には1面の底面とネガティブな2面の剥離面を持つ。打面調整は上端部に1面だけ施す。下半部は自然面。		A39・2・1349
385	37.10	12.60	7.65	〃	-	完形。小形。打面部の下半部には主要剥離面側からの二次調整があり、ナイフ形石器と考えられる。		A38・2・1903
386	34.60	28.70	8.40	〃	-	完形。幅広。背面は1面の底面と加撃方向の異なる3面のネガティブな剥離面を持つ。横長剥片か。		A31・1・89
387	58.00	13.90	6.9	〃	-	完形。両端が尖る。背面には1面の底面と複数のネガティブな剥離面を持つ。打面の下部には主要剥離面側から二次調整を施す。ナイフ形石器と考えられる。		B18・c N
388	37.75	12.50	5.35	〃	-	下端部破損。背面には底面とネガティブな剥離面を1面ずつ持つ。打面の上半部は主要剥離面側から二次調整を施す。ナイフ形石器と考えられる。		A36・1・2398

第59表 横長剥片計測表

番号	法 量			重量	石 質	剥離角度	出土地点	番号	法 量			重量	石 質	剥離角度	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm}	厚さ ^{mm}						長さ ^{mm}	幅 ^{mm}	厚さ ^{mm}				
1	19.40	31.40	8.30	7.1	サヌカイト	-	A37・1・2383	27	21.50	43.10	6.65	7.6	サヌカイト	125°	A38・1・4171
2	18.80	36.40	8.60	5.2	〃	118°	A36・3・381	28	18.70	31.65	4.85	3.5	〃	109°	B7・1166
3	16.00	38.40	10.50	5.9	〃	130°	A36・1・351	29	17.20	32.40	4.35	2.3	〃	101°	B7・847
4	13.30	50.30	6.00	5.2	〃	137°	A36・4・1447	30	25.80	30.20	5.00	3.1	〃	160°	A39・4・a N
5	33.70	43.20	8.65	13.9	〃	130°	A40・3・d N	31	15.80	40.40	5.00	2.7	〃	123°	A23・1・d N
6	31.70	43.20	9.85	12.7	〃	146°	A36・2・2733	32	15.10	38.25	5.50	3.1	〃	127°	A31・4・1550
7	43.00	84.00	16.20	52.8	〃	129° 128°	A41・3・d N	33	16.00	35.40	4.75	2.4	〃	159°	A38・2・3546
8	21.30	51.00	4.90	7.0	〃	131°	A40・4・327	34	16.60	41.05	4.90	2.2	〃	129°	A36・2・29
9	14.70	22.20	7.15	2.3	〃	140°	B18・126	35	20.10	34.70	6.60	4.9	〃	125°	B18・618
10	24.00	39.80	12.80	10.0	〃	130°	A40・3・c N	36	24.80	59.30	7.20	9.4	〃	111°	A9・1・284
11	24.15	38.25	6.05	5.7	〃	102°	B17・a N	37	26.65	56.20	10.05	14.5	〃	120°	A42・4・345
12	18.70	32.50	2.25	1.5	〃	-	B8・10・381	38	25.40	71.55	11.50	22.9	〃	110°	B2・444
13	17.50	34.90	6.10	3.4	〃	93°	A40・2・c N	39	28.95	45.15	6.65	8.2	〃	120°	A2・1・b N
14	21.00	34.80	5.70	4.0	〃	100°	C15・1・a N	40	33.50	49.55	7.85	8.2	〃	114°	B3・496
15	17.55	37.65	6.50	5.0	〃	138°	A36・5・440	41	22.85	40.00	6.75	4.9	〃	-	B5・451
16	24.35	33.40	6.25	6.0	〃	138°	B9・404	42	26.45	29.30	10.50	14.6	〃	136°	B25・87
17	25.10	40.00	5.50	5.9	〃	91°	B17・a S	43	25.65	46.10	9.70	9.9	〃	131°	B21・210
18	28.25	46.35	8.10	10.0	〃	122°	B8・922	44	26.10	58.05	9.30	12.2	〃	125°	B7・1113
19	24.65	49.00	17.60	11.1	〃	126°	A35・4・568	45	28.20	43.80	8.80	10.5	〃	-	A38・2・4043
20	28.00	55.85	9.00	14.8	〃	130°	A36・5・369	46	29.80	54.05	8.05	8.4	〃	121°	A24・2・148
21	24.20	66.85	15.00	25.5	〃	85°	C14・1・685	47	19.35	43.40	7.15	7.0	〃	127°	A2・2・554
22	29.45	37.65	8.65	9.5	〃	136°	B1・396	48	28.45	56.45	8.10	10.0	〃	80°	A37・1・766
23	29.50	49.10	7.75	9.3	〃	114°	A40・2・b S	49	20.90	48.85	7.60	7.0	〃	119°	A37・2・2949
24	24.55	45.20	7.55	8.2	〃	103°	C5・1・60	50	27.10	48.05	11.10	17.8	〃	104°	A37・3・961
25	17.95	43.50	4.80	4.6	〃	122°	B8・630	51	16.00	34.90	8.30	4.9	〃	-	A39・5・c S
26	29.50	37.60	7.60	6.9	〃	122°	B5・288	52	22.40	35.00	4.45	2.2	〃	-	B10・276

番号	量			重量	石	質	剝離角度	出土地点	番号	法			重量	石	質	剝離角度	出土地点
	長さ	幅	厚さ							長さ	幅	厚さ					
53	17.90	33.35	5.15	3.4	サヌカイト		152°	B8-306	79	18.60	41.65	6.25	4.6	サヌカイト		118°	A36・3-815
54	14.55	33.20	5.25	2.1	〃		119°	A40・3-d S	80	29.85	35.75	8.10	6.8	〃		125°	B8-361
55	18.90	39.20	5.10	4.5	〃		128°	A35・1-191	81	22.00	26.90	4.30	2.3	〃		126°	B7-390
56	13.65	37.45	4.95	2.1	〃		133°	A35・2-28	82	20.10	33.20	5.75	2.1	〃		-	B7-379
57	22.35	36.05	4.75	3.3	〃		120°	B8-1233	83	24.25	28.40	8.35	4.5	〃		134°	B9-497
58	23.45	44.15	11.75	10.4	〃		123°	B9-697	84	18.85	39.25	17.45	5.1	〃		122°	A36・1-1232
59	19.50	57.20	8.70	8.0	〃		117°	B7-644	85	26.70	40.95	6.75	7.4	〃		-	B9-116
60	23.10	41.60	9.00	8.1	〃		136°	A40・5-c N	86	28.70	34.50	6.65	4.8	〃		112°	B7-436
61	36.65	59.65	14.30	29.4	〃		106°	B8-446	87	21.20	42.00	7.90	7.7	〃		113°	A40・4-739
62	37.65	80.00	8.65	37.9	〃		142°	A4・1-179	88	19.80	33.10	7.05	4.9	〃		140°	B9-755
63	31.15	67.95	11.00	20.7	〃		124°	A36・2-1963	89	17.70	43.20	6.95	6.3	〃		118°	A23・1-d N
64	12.35	20.85	5.15	1.4	〃		119°	C14・1-a N	90	24.05	41.75	6.60	8.0	〃		137°	B8-592
65	12.90	29.00	7.00	3.0	〃		123°	A10・1-b N	91	19.70	45.00	5.90	5.5	〃		126°	A36・3-479
66	10.15	33.30	4.50	1.4	〃		120°	B9-679	92	44.85	54.95	9.45	25.9	〃		-	A37・1-3447
67	20.20	32.55	5.55	2.9	〃		110°	B13-260	93	21.80	48.70	10.90	17.2	〃		127°	A38・2-4497
68	16.35	37.10	7.20	4.1	〃		-	B8-413	94	25.80	43.55	5.05	7.1	〃		128°	A40・4-416
69	23.85	35.25	6.25	4.8	〃		129°	A38・1-4261	95	28.60	38.25	7.65	7.9	〃		110°	B21-1839
70	13.55	19.60	4.85	1.2	〃		128°	B8-894	96	35.40	39.80	6.75	7.3	〃		124°	B13-830
71	20.20	29.40	6.00	3.3	〃		129°	B5-351	97	35.75	48.75	9.90	9.8	〃		116°	A40・4-178
72	16.55	27.65	5.75	2.4	〃		124°	B7-770	98	28.20	54.05	9.50	16.4	〃		-	A36・3-943
73	20.90	28.65	2.65	1.6	〃		123°	B2-963	99	29.45	55.85	17.65	9.6	〃		122°	A33・1-793
74	17.80	28.80	5.50	3.1	〃		119°	B7-597	100	28.70	49.30	9.35	14.7	〃		124°	A25・2-b N
75	25.10	31.40	6.55	4.2	〃		130°	B12-345	101	32.50	47.65	8.85	14.6	〃		121°	B8-578
76	23.00	36.25	6.25	4.4	〃		112°	C9・2-a N	102	28.00	52.20	9.5	15.3	〃		119°	A36・2-1682
77	22.40	31.75	11.50	7.9	〃		-	A28・2-c S	103	51.00	38.85	13.65	15.7	〃		122°	A31・1-96
78	20.40	33.70	6.2	4.7	〃		121°	C14・1-a N	104	34.05	33.90	7.70	7.4	〃		117°	A35・4-596

番号	法 量			重量	石 質	剝離角度	出土地点	番号	法 量			重量	石 質	剝離角度	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm}	厚さ ^{mm}						長さ ^{mm}	幅 ^{mm}	厚さ ^{mm}				
105	32.40	48.20	12.00	15.1	サヌカイト	129°	C13・2・243	131	24.00	47.95	5.70	7.1	サヌカイト	132°	B13・a S
106	35.95	49.50	8.50	11.1	〃	120°	A38・1・4329	132	30.25	49.05	9.85	14.2	〃	-	A10・2・18
107	36.70	43.35	9.30	12.3	〃	131°	A36・4・1242	133	28.35	45.00	8.80	10.6	〃	115°	A42・5・c S
108	32.90	45.30	7.45	13.4	〃	129°	B15・705	134	24.65	33.30	6.40	6.7	〃	115°	B5・231
109	44.30	56.90	13.80	33.9	〃	119°	A23・1・b N	135	32.55	30.00	7.65	10.1	〃	126°	B7・3000
110	23.75	44.30	6.50	5.0	〃	-	B7・245	136	34.45	39.30	10.00	11.7	〃	128°	A35・3・d S
111	20.85	52.00	5.50	6.4	〃	116°	A35・2・a S ヒット	137	34.65	66.85	11.70	28.9	〃	106°	B6・271
112	35.25	69.20	10.20	23.4	〃	-	A40・3・48	138	48.70	53.55	11.95	26.1	〃	129°	C13・1・349
113	33.60	56.50	9.70	18.3	〃	122°	A39・1・272	139	23.65	30.15	4.55	2.5	〃	117°	B14・95
114	9.80	26.80	3.85	1.3	〃	114°	A33・2・416	140	21.20	42.40	6.75	7.0	〃	111°	C13・518
115	14.70	31.10	5.25	3.7	〃	-	B18・d S	141	17.65	43.35	7.00	4.8	〃	156°	B2・46
116	19.40	36.55	17.10	5.4	〃	131°	C15・1・d S	142	23.35	32.65	7.10	5.4	〃	134°	C12・1・126
117	12.55	30.60	7.15	3.9	〃	126°	A39・3・c S	143	22.40	43.45	9.75	9.8	〃	126°	B13・711
118	22.35	38.85	6.00	5.2	〃	-	B10・10・89	144	23.65	49.85	8.40	9.4	〃	117°	B23・250
119	17.45	40.55	7.4	5.2	〃	134°	B4・338	145	27.80	55.75	8.10	13.4	〃	126°	A40・4・417
120	25.10	35.65	6.95	3.8	〃	147°	A37・4・d S	146	26.80	51.80	13.05	21.0	〃	114°	C13・2・227
121	26.00	30.25	5.75	3.9	〃	-	A9・1・b S	147	32.05	73.35	7.05	14.1	〃	124°	B5・211
122	28.15	27.90	5.25	4.7	〃	-	A26・2・47	148	41.95	60.00	13.10	31.5	〃	134°	A22・23・1
123	29.20	31.75	5.50	4.4	〃	97°	B14・286	149	18.55	37.20	4.05	4.0	〃	120°	B8・345
124	32.40	39.50	9.35	15.1	〃	123°	A36・4・1075	150	28.75	32.60	42.5	3.9	〃	132°	A8・1・b S
125	27.75	45.65	7.60	13.6	〃	140°	A5・1・150	151	32.65	31.75	6.60	6.4	〃	142°	B2・25
126	29.10	39.35	7.60	11.1	〃	128°	B4・34	152	24.10	36.65	8.50	6.7	〃	150°	B8・411
127	30.50	37.35	6.15	4.8	〃	-	B7・840	153	31.00	38.75	12.60	17.2	〃	126°	A34・1・1429
128	28.00	35.40	4.80	5.0	〃	101°	B13・898	154	48.50	21.60	12.85	16.0	〃	118°	A36・2・2935
129	25.35	49.40	8.75	12.1	〃	-	B11・659	155	39.80	45.55	7.65	14.5	〃	-	B13・692
130	19.80	49.60	8.00	8.5	〃	126°	C12・1・297	156	29.55	60.75	9.15	27.7	〃	127°	A2・2・28

番号	法 量			重量	石 質	剝離角度	出土地点	番号	法 量			重量	石 質	剝離角度	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm}	厚さ ^{mm}						長さ ^{mm}	幅 ^{mm}	厚さ ^{mm}				
157	31.20	71.85	9.95	24.6	サヌカイト	-	A39・2・b S	183	23.05	37.00	7.80	5.5	サヌカイト	114°	B2・1178
158	38.80	55.05	11.15	23.5	〃	137°	A24・1・d N	184	16.05	52.00	8.35	5.3	〃	-	A37・1・3388
159	25.65	39.45	9.15	8.9	〃	-	B9・917	185	19.15	37.00	9.00	7.9	〃	127°	B7・781
160	15.65	44.85	5.20	3.3	〃	122°	A41・3・d N	186	24.85	41.60	8.35	7.5	〃	115°	B26・b S
161	22.00	30.80	5.00	3.0	〃	-	B8・182	187	32.80	41.40	9.30	13.1	〃	127°	A42・3・d S
162	33.65	59.90	8.25	7.8	〃	125°	B7・1137	188	41.55	41.65	11.25	22.5	〃	116°	c 7・2・95
163	24.65	31.45	4.95	3.1	〃	110°	B7・739	189	59.90	78.25	10.75	29.2	〃	139°	A36・2・1941
164	30.50	51.10	7.55	10.2	〃	-	B3・123	190	31.15	58.15	10.95	16.6	〃	113°	A36・5・532
165	38.95	57.75	6.55	15.7	〃	113°	B7・37	191	33.60	37.00	9.05	9.7	〃	108°	B7・114
166	19.70	33.55	5.15	4.1	〃	90°	B10・301	192	17.60	29.55	5.50	2.2	〃	132°	B21・1983
167	25.85	52.25	7.25	11.6	〃	133°	A40・5・b S	193	22.30	39.40	7.85	7.1	〃	130°	A42・4・c N
168	35.45	49.30	13.75	25.2	〃	104°	A37・2・1923	194	27.40	71.15	7.90	14.2	〃	-	B9・933
169	52.65	47.40	13.10	32.7	〃	-	A38・1・2704	195	32.10	57.75	11.70	22.1	〃	113°	C11・1・310
170	24.00	51.80	5.90	7.8	〃	104°	B18・815	196	39.80	54.90	14.65	26.9	〃	114°	A9・1・285
171	25.10	40.25	6.95	3.8	〃	93°	B23・a N	197	43.45	48.50	13.00	28.1	〃	-	A37・1・722
172	30.85	38.60	8.40	8.9	〃	124°	A38・1・4297	198	43.05	50.00	8.95	17.4	〃	121°	B20・1009
173	24.30	31.30	5.50	4.6	〃	-	B9・285	199	34.55	54.30	12.30	20.9	〃	124°	B7・530
174	17.75	38.60	6.70	5.9	〃	122°	A24・1・d N	200	15.90	33.80	4.75	3.0	〃	-	B5・486
175	23.80	33.15	9.35	3.9	〃	118°	B17・d N	201	28.20	29.05	4.80	4.3	〃	-	A5・2・148
176	23.70	54.85	11.15	12.8	〃	117°	A37・2・2391	202	18.00	32.50	6.45	3.3	〃	132°	A37・4・d N
177	48.65	42.15	8.40	15.8	〃	-	B2・100	203	28.40	38.45	8.20	9.6	〃	-	A37・4・506
178	38.15	60.75	15.00	30.0	〃	134°	A20・1・92	204	19.60	39.55	3.70	5.8	〃	-	C17・1・a S
179	51.45	63.45	9.60	31.4	〃	100°	B8・816	205	24.30	40.60	8.25	8.4	〃	128°	B8・1186
180	28.55	32.10	7.25	5.7	〃	-	B15・354	206	29.15	37.10	8.85	10.2	〃	125°	B10・116
181	17.15	34.80	5.95	3.0	〃	-	B7・290	207	18.10	29.75	6.70	4.5	〃	-	B3・282
182	17.00	20.85	6.25	2.4	〃	125°	B17・c N	208	35.45	38.10	7.65	7.5	〃	127°	A36・1・259

番号	法			重量	石	質	剝離角度	出土地点	番号	法			重量	石	質	剝離角度	出土地点
	長さ	幅	厚さ							長さ	幅	厚さ					
209	29.30	50.50	8.55	12.3	サヌカイト	109°	A37・1・3135	235	48.60	48.55	8.00	18.5	サヌカイト	114°	C13・1・302		
210	26.15	42.95	11.00	14.2	〃	135°	A39・2・c N	236	31.95	62.75	9.45	12.9	〃	140°	B18・d S		
211	24.30	42.00	6.05	5.7	〃	123°	B5・454	237	16.35	36.00	6.40	12.4	〃	136°	B22・a N		
212	32.35	41.10	8.55	8.6	〃	122°	A37・1・3128	238	22.75	48.45	10.75	12.8	〃	124°	A35・3・1097		
213	22.45	36.70	8.50	6.2	〃	142°	A35・2・457	239	23.80	41.90	7.25	6.1	〃	112°	A39・2・a S		
214	27.05	35.85	7.25	7.0	〃	125°	C15・1・b N	240	14.55	33.90	6.25	3.8	〃	—	A41・5・a S		
215	33.60	45.40	9.85	12.1	〃	122°	C13・1・d S	241	34.20	44.20	7.15	9.0	〃	124°	A36・1・1467		
216	33.45	35.15	4.45	5.2	〃	—	A5・1・d S	242	19.60	37.00	6.25	5.8	〃	145°	C16・1・1765		
217	28.55	42.35	8.80	13.2	〃	130°	B12・1057	243	20.50	41.85	7.85	7.7	〃	140°	B14・180		
218	22.60	56.30	7.90	10.4	〃	105°	A35・4・a S	244	26.30	44.10	7.35	6.7	〃	—	A5・1・a N		
219	23.90	45.00	10.00	11.9	〃	123°	B10・398	245	28.85	44.75	10.65	11.6	〃	145°	A42・5・c S		
220	49.85	52.10	14.35	18.1	〃	—	C18・1・424	246	17.20	32.40	4.35	2.3	〃	163°	B7・847		
221	24.60	50.80	10.15	13.2	〃	—	A6・3・107	247	17.20	45.20	8.60	9.9	〃	125°	A38・3・b S		
222	17.85	42.45	8.05	6.4	〃	—	B2・143	248	29.40	57.45	7.75	13.4	〃	121°	B10・467		
223	23.05	51.55	10.90	13.5	〃	—	B9・27	249	29.75	49.55	11.65	12.8	〃	—	B5・604		
224	18.75	35.45	7.35	4.7	〃	103°	A36・3・1620	250	28.90	51.35	9.65	11.9	〃	115°	C14・1・b S		
225	24.55	45.85	7.95	8.3	〃	140°	A42・5・c S	251	33.45	48.45	6.65	10.0	〃	115°	B14・142		
226	33.25	54.15	10.25	16.5	〃	—	A38・2・3822	252	21.35	32.90	6.65	4.9	〃	115°	B22・419		
227	28.85	52.85	9.40	12.8	〃	121°	A12・1・138	253	29.40	52.40	8.30	14.9	〃	117°	B11・441		
228	29.50	48.80	8.00	10.2	〃	—	B18・e N	254	21.40	56.30	11.05	16.5	〃	139°	A35・1・1836		
229	27.00	49.35	7.25	9.6	〃	109°	B13・2	255	19.70	38.25	8.75	5.7	〃	89°	B21・1308		
230	17.60	29.10	4.45	2.5	〃	128°	B2・935	256	34.55	37.10	8.60	10.4	〃	116°	A35・3・1057		
231	23.55	33.80	6.40	5.6	〃	116°	B8・582	257	21.45	48.85	7.35	9.5	〃	112°	A9・1・85		
232	36.45	74.80	9.85	21.7	〃	124°	A34・1・1268	258	16.05	29.10	7.45	3.2	〃	—	B10・436		
233	31.05	82.60	18.05	52.5	〃	123°	A27・2・c N	259	34.80	46.45	12.25	9.3	〃	70°	A36・1・2585		
234	38.00	52.55	14.15	28.4	〃	145°	A25・2・74	260	21.90	35.70	9.15	7.4	〃	122°	B9・1036		

番号	法			重量	石質	剝離角度	出土地点	番号	量			重量	石質	剝離角度	出土地点
	長さ	幅	高さ						長さ	幅	高さ				
261	24.05	38.60	8.85	9.6	サスカイト	140°	A38・4・75	287	16.55	20.30	6.00	1.8	玻璃質安山岩	108°	A2・2・364
262	23.55	51.00	9.75	9.3	〃	102°	A36・3・1806	288	21.10	20.90	6.35	2.0	〃	115°	B2・454
263	32.30	50.55	8.50	11.1	〃	90°	B18・c S	289	19.30	30.75	6.20	2.5	〃	142°	A12・1・a N
264	17.65	41.65	5.75	5.8	〃	135°	A39・5・d N	290	17.25	35.20	5.30	3.3	〃	142°	B18・820
265	24.00	44.05	11.40	13.0	〃	127°	A36・2・995	291	13.50	18.75	2.95	0.7	〃	115°	A35・4・427
266	34.40	59.75	12.55	31.2	〃	125°	A38・3・a S	292	20.90	29.10	7.00	3.7	〃	140°	A38・1・3438
267	47.10	58.60	13.20	25.8	〃	132°	A37・1・1942	293	18.10	22.55	4.15	1.7	〃	—	A35・3・c N
268	24.55	39.45	8.70	11.8	〃	140°	A13・1・c N	294	22.30	31.45	8.40	5.1	〃	124°	C17・1・89
269	30.40	39.90	10.65	11.2	〃	120°	C16・1・749	295	42.00	42.35	11.50	18.4	〃	—	C16・1・1071
270	20.10	44.10	5.90	4.8	〃	119°	B26・245	296	29.05	35.30	5.45	4.6	〃	110°	A4・1・b S
271	30.30	50.35	10.05	19.0	〃	153°	B12・575	297	30.30	35.80	8.80	7.5	〃	—	C17・1・301
272	33.60	37.55	15.15	19.3	〃	101°	B14・45	298	16.50	29.50	6.75	3.8	〃	119°	C5・1・255
273	31.45	36.40	11.35	13.0	〃	135°	B19・304	299	13.55	30.70	10.75	4.3	〃	—	A42・5・156
274	36.65	67.75	16.15	35.4	〃	—	B5・241	300	44.30	47.70	8.40	16.5	〃	—	C10・1・a N
275	26.20	63.85	10.50	19.8	〃	137°	A40・4・a S	301	28.00	39.20	10.35	11.6	〃	144°	B1・20
276	22.80	59.00	13.00	19.3	〃	125°	A11・1・350	302	25.40	25.20	4.80	3.1	〃	99°	A12・1・c N
277	21.95	33.35	5.40	4.1	〃	121°	B4・924	303	11.15	15.10	3.10	0.4	黒曜石	—	C4・1・d N
278	13.85	22.75	3.10	0.9	玻璃質安山岩	116°	B25・15	304	8.00	7.60	5.8	0.8	〃	—	A3・2・38
279	11.45	26.35	4.65	1.3	〃	—	不明	305	13.35	16.80	5.80	1.3	〃	—	A53・29
280	11.90	22.40	2.65	0.7	〃	125°	C18・1・298	306	12.90	18.95	1.70	0.5	〃	—	A19・1・110
281	16.75	19.60	4.50	1.6	〃	125°	B18・732	307	10.40	10.95	4.25	0.7	〃	—	A2・1・562
282	15.25	20.00	5.85	1.4	〃	—	A39・2・c S	308	16.00	16.35	4.95	1.1	〃	—	A2・1・171
283	17.35	21.40	4.50	1.4	〃	—	B2・149	309	19.55	27.70	6.15	4.4	〃	—	A2・1・550
284	17.20	26.20	2.50	1.3	〃	—	B2・71	310	21.15	26.90	8.65	4.5	流紋岩	—	B1・475
285	12.35	23.20	4.35	1.2	〃	115°	A1・1・392	311	21.00	41.10	9.60	8.6	〃	85°	A34・1・223
286	21.55	30.90	4.05	2.8	〃	136°	A1・1・99	312	32.80	26.00	6.80	4.4	〃	131°	B2・505

番号	法			重量	石	質	剝離角度	出土地点	番号	法			重量	石	質	剝離角度	出土地点
	長さ	幅	厚さ							長さ	幅	厚さ					
313	32.20	52.10	17.55	29.1	流紋岩		-	A11・1・163	339	38.20	23.35	8.60	7.7	サヌカイト		-	A36・3・2334
314	35.05	38.10	8.20	9.5	〃		143°	B12・359	340	43.55	20.40	8.20	6.4	〃		-	B21・1625
315	21.55	36.25	8.60	7.5	〃		115°	A24・1・b S	341	30.90	15.20	5.90	2.3	〃		-	B8・1038
316	37.85	27.20	10.85	9.5	〃		-	A36・4・664	342	41.55	21.00	8.40	6.0	〃		-	A36・4・1560
317	24.90	30.85	8.55	8.3	〃		135°	A35・5・243	343	49.50	30.25	12.00	15.5	〃		-	A38・2・2741
318	31.10	46.85	13.80	14.1	〃		-	A35・2・439	344	66.65	35.25	11.15	22.8	〃		-	B9・578
319	39.15	51.20	11.90	28.5	〃		129°	B24・11	345	66.10	17.70	13.00	11.0	〃		-	A35・3・726
320	26.15	61.40	14.65	26.3	〃		116°	C14・2・250	346	59.35	27.70	16.65	20.9	〃		-	C14・1・b N
321	51.60	30.40	11.70	18.3	サヌカイト		-	C15・1・c N	347	42.55	20.80	8.20	5.0	〃		-	C14・1・637
322	43.70	18.65	7.80	4.8	〃		-	A22・2・a N	348	42.30	19.15	5.80	4.0	〃		-	A35・3・519
323	45.65	16.85	9.65	4.6	〃		-	A24・2・a S	349	39.25	16.50	10.45	4.9	〃		-	A36・2・2617
324	44.40	20.80	8.20	6.4	〃		-	A23・1・b N	350	36.10	14.45	4.25	2.0	〃		-	B17・a N
325	41.00	22.65	9.10	7.3	〃		-	A36・4・1020	351	44.20	23.15	10.00	6.6	〃		-	A23・1・b N
326	50.60	26.05	8.80	9.9	〃		-	A38・3・1251	352	37.35	19.55	7.60	3.6	〃		-	A37・2・2459
327	72.60	22.45	11.85	18.2	〃		-	C16・1・202	353	45.75	26.45	10.00	12.0	〃		-	A39・2・1251
328	30.70	13.65	3.70	1.8	〃		-	A40・4・28	354	50.60	17.45	8.20	6.1	〃		-	B24・131
329	40.00	23.40	6.45	4.8	〃		-	A9・2・a S	355	57.25	31.50	14.55	20.2	〃		-	B11・558
330	59.95	16.60	13.15	8.3	〃		-	B11・195	356	51.45	30.35	9.55	13.7	〃		-	A40・4・260
331	45.30	36.95	8.90	11.0	〃		-	A38・1・3038	357	34.35	15.80	6.80	2.6	〃		-	A201・a N
332	36.95	13.95	9.00	4.2	〃		-	B12・802	358	66.35	20.50	9.80	11.2	〃		-	A36・3・1246
333	37.35	22.80	8.95	8.2	〃		-	A26・1・109	359	56.20	30.20	10.35	17.0	被覆質安山岩		-	A35・4・a N
334	45.85	17.40	7.10	4.1	〃		-	A9・1・b S	360	31.10	15.85	7.80	3.7	〃		-	B3・626
335	52.20	22.70	10.95	9.4	〃		-	A39・2・1000	361	29.20	16.45	5.25	2.1	〃		-	B13・11
336	44.25	24.95	15.00	9.5	〃		-	B13・b S	362	16.90	38.70	6.60	4.2	〃		-	A23・1・b N
337	34.00	18.70	9.35	5.7	〃		-	A4・2・c S	363	14.60	41.30	7.65	5.1	〃		-	A37・4・b N
338	30.45	15.10	4.60	2.0	〃		-	B12・692	364	34.85	56.00	8.45	14.4	〃		-	A39・3・480

番号	法 量			重量	石 質	剝離角度	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm}	厚さ ^{mm}				
365	19.10	33.35	5.50	4.9 ^g	サヌカイト	-	B24・a N
366	15.65	40.65	5.55	2.0	〃	-	A34・2・d N
367	28.70	44.55	12.90	18.6	〃	-	A9・1・5
368	18.35	31.95	5.80	4.4	〃	-	A36・3・I765
369	24.15	37.85	9.20	9.4	〃	-	A38・3・529
370	25.35	45.15	17.15	25.4	〃	-	A13・1・a N
371	23.15	41.65	6.85	7.2	〃	-	A35・1・I701
372	24.55	48.60	10.35	13.3	〃	-	A42・5・c S
373	32.85	52.25	11.70	16.1	〃	-	A36・2・2628
374	22.00	52.00	8.20	7.2	〃	-	A39・5・130

第60表 大形剝片計測表

番号	法 量			重量	石 質	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm}	厚さ ^{mm}			
1	102.95	93.80	19.15	157.0 ^g	サヌカイト	B21・2524
2	150.95	106.90	29.45	527.0	〃	C8・I・64

第61表 縦長剥片石核観察表

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅					
1	40.60	16.15	35.3	流 紋 岩	不定形の素材を用い3面から縦長剥片を剥離する。3面の作業面の内2面は打面を共有するが、さらにその内1面の作業面の端部を加撃して、縦長剥片を剥離する。この縦長剥片も出土し、石核に接合した。	A37・3・976	
2	25.35	30.30	32.7	サ ス カ イ ト	不定形な分厚い素材を用いる。打面はボジェイブな面で打点を残し剥離の際の調整痕と思われる細かい剥離痕が見られる。縦長剥片は、一側面で2面剥離する。片側面の一部に自然面を残す。	A38・1・691	
3	26.35	49.95	35.9	〃	三角錐状の分厚い素材を用い、一側面から上方加撃で縦長剥片を剥離する。打面は素材を剥離した広い主要剥離面を用い、打面調整は見られない。	A23・1・a N	
4	38.10	12.40	14.3	〃	柱状に近い板状素材を用いる。一方の側面の稜部分を上方から加撃して小さな縦長剥片を剥離する。打面や側面には細かい調整痕が施されており、道具として用いる目的があったのかも知れない。	A35・3・695	
5	29.95	24.10	12.7	〃	柱状に近い板状素材を用いる。一側面を上方から加撃し、縦長剥片を剥離する。打面は1面で打面調整は見られない。片側面には自然面を残す。	B11・367	
6	57.10	11.55	20.40	〃	板状素材を用いる。折れ面と思われる後面の上部に打面調整を施し、その稜上加撃して縦長剥片を剥離する。縦長剥片剥離痕の下部には、縁辺から側面に向けて剥離面を施す。	B23・1323	
7	96.85	19.45	35.50	〃	大形の縦長剥片が素材か。一側面から縦長剥片を剥離する。片側面には石核調整と思われる剥離面を残す。打面には小さく打面調整が施される。	B13・a N	
8	51.00	33.75	30.90	〃	打面部破損。板状素材を用いる。縦長剥片は一側面の片側で細く剥離する。	A38・1・1529	
9	43.50	20.80	49.95	〃	上部の縁辺を欠失、両側面には横長の剥片剥離痕と打面調整があることから翼状剥片石核の転用と思われる。正面の2面の剥離面の内、右側は折れ面で、左側に縦長剥片剥離痕を持つ。翼状剥片石核の打面調整の一部を打面とする。	A40・5・b S	
10	58.65	17.25	27.85	〃	柱状に近い板状素材を用いる。正面と片側面の一部で縦長剥片を剥離する。打面には、細かい打面調整が施される。同じ打面を利用して後面でも縦長剥片を剥離する。	A36・3・452	
11	24.35	16.15	13.40	〃	柱状に近い板状素材を用いる。後面を破損。正面と片側面で上方から縦長剥片を剥離する。打面調整は施さない。	C16・1・1231	
12	29.55	23.70	20.75	〃	板状素材を用いる。一側面で2面、縦長剥片を上方から剥離する。打面には打面調整は施さず、ネガティブな剥離面が見られる。	A41・4・b N	
13	30.30	12.15	20.80	〃	板状素材を用いる。一側面で縦長剥片を剥離する。打面は小さく調整は施さない。石材は風化で白色化する。	C18・1・840	
14	34.95	16.20	20.95	〃	柱状に近い板状素材を用いる。一側面から複数の小縦長剥片を上方から剥離する。後面に下方からの縦長剥片の剥離痕か。打面調整は施さない。	C12・2・72	
15	64.80	20.50	22.45	〃	縦長剥片の剥離が進んだためか柱状を呈する。すべての側面に縦長剥片の剥離痕を持ち、下方からの加撃も少なくない。	A20・1・a N	
16	61.10	19.40	31.5	〃	柱状を呈する。三側面から縦長剥片の剥離痕が見られる。打面は小さく残り調整は見られない。右図の縦長剥片剥離痕の下部には横方向から小剥離痕が3面見られる。	B8・572	
17	56.80	14.15	34.25	〃	板状素材を用いる。一方の側面（中央左図）では上方から、片方の側面（右図）では下方からの縦長剥片剥離痕が見られる。	C12・2・a N	
18	49.80	18.85	43.85	〃	板状の素材を用いる。打面転移して、正面（右図）と上面から、縦長剥片を剥離する。石材は表面が風化する。	A4・2・363	
19	39.80	22.00	23.65	〃	柱状に近い板状素材を用いる。正面（中央図）では、上方からと下方からは小さく縦長剥片を剥離する。また下面でも、縦長剥片の剥離痕が見られる。後面は下方からの縦剥き。	B18・461	
20	55.55	14.90	44.55	〃	板状素材を用いる。上部縁辺を欠失する。両側に幅広い平坦な面を持つ。縦長剥片の剥離は正面（中央右図）と下面で行われる。下面は左図の折れ面を打面とする。	C14・1・132	
21	65.35	18.25	32.05	〃	やや肉厚な板状素材を用いる。正面（中央左図）は打面転移で上下からの加撃で縦長剥片を剥離する。後面（右図）は下方から縦長剥片剥離。下面でも剥片剥離の作業が行われる。	C11・1・793	
22	40.95	9.90	46.40	〃	薄い板状素材を利用。一側面で細い縦長剥片を2面剥離しているが、打面は上面の古い作業面を利用する。幅広い両側面には上下から加撃の剥離面が見られる。	A1・1・c N	
23	59.30	13.90	36.60	〃	板状素材を用いる。一側面で縦長剥片を剥離する。	B12・336	
24	37.45	11.95	36.45	〃	板状素材を用いる。一側面で縦長剥片を剥離。上面のかつての作業面が打面か。打面調整は施されない。	C7・2・a N	
25	49.25	17.90	33.10	〃	柱状に近い板状素材を用いる。正面で縦長剥片の剥離を行った後、打面調整を上方から施し、上面の剥離痕を剥離したと思われる。片側面には大きく自然面を残す。	A6・2・101	
26	57.15	15.65	17.40	〃	柱状を呈する。一側面で縦長剥片を上方から剥離する。両側面には横からの石核の調整痕(?)が多数施される。打面には打面調整はみられない。表面は風化が進む。	A14・1・a S	

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅					
27	43.10	23.10	46.5	サヌカイト		三角柱状を呈する。一側面を打面転移で上・下方から加撃し縦長剥片を剥離する。下方の打面は下面の折れ面(か)の作業面を利用。側面の縁辺には剥離面が残る。	B13・b S
28	44.75	15.75	33.0	〃		板状素材を用いる。両側面(正面・後面)で縦長剥片を剥離する。打面は上面の折れ面(?)を共有する。打面調整は見られない。	B12・35
29	53.35	25.30	36.6	〃		三角柱状を呈する。一側面(右図)で下方から縦長剥片を剥離する。打面には打面調整を施さない。左図上部も縦長剥片剥離痕か。	C13・1・177
30	32.00	13.00	37.70	〃		板状素材を用いる。正面(左図)は、後面の作業面を打面として上方から縦長剥片を剥離する。後面は下面を打面とし剥片剥離を行う。	C16・2・83
31	63.65	19.90	44.0	〃		板状素材を用いる。正面で3面の打面を共有する縦長剥片剥離痕を持つ。後面は自然面を残す。側面(左図)も上方からの加撃で縦長剥片の剥離痕か。	C18・1・c S
32	33.10	14.40	21.20	〃		三角柱状を呈する。正面(左図)で縦長剥片を剥離する。打面は1面で打面調整は施さない。	A21・1・697
33	41.70	10.00	40.70	〃		板状素材を用いる。上面と下面で縦長剥片を剥離する。上面は正面を、下面は後面を打面とする打面転移が認められる。正面でも小さい縦長剥片剥離痕が残る。	C18・1・849
34	48.65	14.0	30.60	〃		三角柱状を呈する。正面と後面で縦長剥片を剥離する。打面は上面を共有し打面調整が施される。側面は平坦で調整は見られない。	A4・2・243
35	32.95	23.0	24.15	〃		柱状に近い板状素材を用いる。正面(右図)で縦長剥片を剥離する。打面調整は施されない。側面には上・下から石核調整の剥離面が見られる。石材は表面が風化する。	A31・1・423
36	64.15	17.05	25.00	〃		縦長剥片の剥離が進み柱状を呈する。すべての側面に縦長剥片の剥離痕を持つ。上方からの剥離に比べ下方からの剥離は小さい。	A2・803
37	68.60	14.15	23.35	〃		柱状に近い板状素材を用いる。上端を欠失する。正面(中央右図)で、縦長剥片を剥離する。打点は見られない。側面は平坦な剥離面で調整はみられない。	C13・2・a N
38	32.80	15.20	13.60	〃		柱状を呈する。一側面(上面)で縦長剥片を剥離する。打面は平坦面で調整は施さない。下方からの小剥離痕も縦長剥片の剥離痕か。石材は表面が風化で白くなる。	C12・1・210
39	25.10	18.75	37.15	〃		不定形な素材を用いる。縦長剥片は一側面(左図)で剥離する。打面は平坦な剥離面で打面調整は見られない。石核の他の側面及び下面には石核調整と思われる剥離面を複数持つ。	A1・b S
40	40.10	20.20	27.75	〃		三角柱状を呈する。正面(中央右図)と後面(左図)で縦長剥片を剥離する。正面は上方からの加撃で打面には打面調整は施さない。下面は下方から稜上加撃する。	A10・1・c N
41	43.80	11.95	28.95	〃		やや薄い板状素材を用いる。作業面の転移が行われ、上面の縦長剥片の剥離痕を打面として正面(中央左図)で縦長剥片と剥離する。幅広い両側面は複数の剥離面よりなる。	A13・1・c N
42	55.95	16.30	50.90	〃		板状素材を用いる。正面(中央右図)で縦長剥片を剥離する。打面は縦長剥片剥離痕の可能性あり。片側面には大きく自然面を残し、上部には後面を打面とした縦長剥片剥離痕が見られる。	A11・1・d S
43	40.35	33.00	27.25	〃		不定形な素材を用いる。一側面(中央左図)で上方から縦長剥片を剥離する。打面には横方向からの大きな剥離面が見られる。片側面の下半部は折れ面を残す。	C14・1・d S
44	60.90	19.00	32.60	〃		柱状に近い板状素材を用いる。正面の稜線をはさみ両側で上方から縦長剥片を剥離する。打面には調整が施されない。後面上部に自然面を残す。	B3・160
45	32.15	10.70	24.15	〃		柱状に近い板状素材を用いる。正面(右図)で、縦長剥片を上方から剥離する。後面も縦長剥片剥離痕か。打面には調整が施されない。下面も古い縦長剥片剥離痕の可能性あり。	B17・c N
46	30.00	29.55	23.15	〃		柱状を呈する。縦長剥片の剥離痕は正面(中央右図)で上方から剥離する。打面調整は施さない。後面には上・下方向からの小剥離面を持つ。	C14・1・610
47	41.15	16.20	26.20	〃		柱状に近い板状素材を用いる。正面(左図)と後面(中央右図)で上方から縦長剥片を剥離する。打面は共有し、打面調整は見られない。	A18・1・b N
48	54.15	16.10	34.55	〃		板状素材を用いる。縦長剥片の剥離痕は正面(中央左図)と後面(右図)で上・下方向から剥離する。打面転移が行われる。片側面には全面に自然面を残す。打面調整は施さない。	B13・364
49	61.30	16.10	27.40	〃		柱状に近い板状素材を用いる。縦長剥片は正面(中央左図)では上方から、後面では上・下方から剥離する。打面調整は施さない。片側面は自然面を残す。	A12・1・47
50	42.20	18.65	27.50	〃		三角柱状を呈する。三方の側面から縦長剥片を剥離する。打面転移が行われ上・下方から加撃する。下面には打面調整を2面施す。	B19・513
51	42.80	15.25	54.8	〃		板状素材を用いる。上面・後面(右図)、正面(中央左図)と縦長剥片の作業面が転移する。正面では上・下方から加撃する。片側面の縁辺に横方向からの剥離痕を複数残す。末端部に僅かに自然面がみられる。	A38・1・686
52	39.00	18.35	37.15	〃		三角柱状を呈する。正面(中央左図)と後面(右図)で縦長剥片を剥離する。両面は打面を共有し、正面側には打面調整を施す。	C14・2・a N

番号	法 量		重 量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅 厚さ					
53	46.15	12.25 ^{mm} 31.90 ^{mm}	34.2	サヌカイト		三角柱状の板状素材を用いる。正面(中央左図)と後面(右図)で縦長剥片を剥離する。2面共打面を共有する。上面(打面)の両側に打面調整を広く1面ずつ施す。	C13・1・220
54	55.60	22.35 43.30	58.1	〃		三角柱状の板状素材を用いる。末端部を欠失、正面(中央左図)と後面(右図)で縦長剥片を剥離する。正面は上面のネガティブな剥離面を打面として剥離する。後面は上・下方から剥離する。	C11・1・359
55	41.00	15.85 27.15	25.3	〃		板状素材を用いる。正面で縦長剥片を上から剥離する。打面には打面調整を僅かに施す。片側面(右図)は複数の剥離面よりなり下部には末端方向からの小剥離面を3面持つ。	C12・1・360
56	36.15	13.10 30.25	19.0	〃		板状素材を用いる。作業面が転移して、上面と正面(中央右図)で縦長剥片を剥離する。下面は折れ面か。幅広の両側面は平坦面で右移の調整は見られない。	B11・3
57	32.85	13.60 29.15	17.5	〃		板状素材を利用する。右核は幅広の楔形を呈する。正面(中央右図)と後面(左図)には上・下方からまたは下方から縦長剥片を剥離する。打面(上面)にも縦長剥片剥離痕を持つ。	B10・723
58	50.90	15.15 43.35	41.0	〃		板状の素材を用いる。縦長剥片は正面(右図)で剥離する。打面(上面)には打面調整を大きく3面施す。	C10・1・101
59	41.0	20.50 29.35	29.5	〃		三角柱状を呈する。正面で縦長剥片を剥離する。上面(打面)はかつての縦長剥片の剥離痕か。両側面には平坦な剥離面を持つ。	A9・1・245
60	49.15	18.95 38.65	58.1	〃		四角い板状素材を用いる。正面(左図)と後面(中央右図)で上方から縦長剥片を剥離する。打面は共有し後面側には打面調整を施す。	C12・1・c S
61	55.70	16.50 30.40	34.0	〃		板状素材を用いる。正面(中央右図)と後面(左図)で縦長剥片を剥離する。正面は平坦な打面(上面)で上方から剥離する。後面はネガティブな剥離面を打面として下方から剥離する。	C15・1・280
62	30.85	14.95 36.20	23.5	〃		四角い板状素材を用いる。三方の側面から複数の縦長剥片を剥離する。3面共打面を共有する。打面調整は見られない。	B20・d N
63	35.25	13.90 30.50	17.0	〃		板状素材を用いる。正面(中央左図)で上方から縦長剥片を剥離する。打面には打面調整を1面施す。	B19・d S
64	66.90	31.80 27.40	83.5	〃		柱状に近い分厚い板状素材を用いる。正面(中央右図)と後面(左図)で上方から縦長剥片を剥離する。両面は打面を共有する。	B7・466
65	62.80	20.15 32.45	41.5	〃		三角柱状を呈する。正面(中央左図)と上面で縦長剥片を剥離する。正面は上面を打面とする。片側面には右核調整の剥離面を残す。	C17・2・71
66	60.75	24.60 28.45	46.0	〃		柱状を呈する。縦長剥片は正面(左図)と側面(中央左図)で上方から剥離する。両面共打面を共有する。打面調整は施さない。側面下部には末端方向からの剥離痕が見られる。石材は風化して表面が白い。	B3・528
67	32.25	18.45 34.05	26.6	〃		板状素材を用いる。正面(中央図)で上方から縦長剥片を剥離する。打面はかつての作業面か。片側面には上部と下部に剥離面を残す。	C13・1・121
68	47.75	17.00 41.75	52.0	〃		板状素材を用いる。縦長剥片は正面(中央図)で上方から剥離する。上面はかつての作業面に打面調整を少し施し打面としたものか。左図左側の上方からの剥離も縦長剥片の剥離痕か。	C18・1・c N
69	41.95	10.20 40.40	17.9	〃		薄い板状素材で三角形状を呈する。上面・正面・後面でそれぞれ三角形の頂点を加摩して縦長剥片を剥離する。側面は平坦な1面剥離面。	C13・2・a N
70	48.65	17.30 44.30	44.3	〃		板状素材を用いる。作業面が転移し、3面で縦長剥片を剥離する。正面(中央図)は上面を打面とし、下面の縦長剥片剥離痕は正面を打面として剥離する。	B11・190
71	70.10	31.60 33.40	27.5	〃		薄い板状素材を用いる。正面(中央左図)と後面(右図)で縦長剥片を剥離する。打面転移が行われ正面は上方、後面は下方から剥離する。側面は複数の剥離面よりなる。	B13・384
72	45.50	17.45 52.40	33.0	〃		板状素材を用いる。正面(左図)と後面(中央右図)で、縦長剥片を剥離する。下面は折れ面か。	C12・1・99
73	46.45	28.70 57.00	105.0	〃		板状素材を用いる。作業面が転移し正面(右図)上面・下面で縦長剥片を剥離する。後面(中央左図)は折れ面か。	A40・5・a S
74	42.30	12.55 43.90	35.0	〃		薄い板状素材を用いる。3面に縦長剥片剥離痕が見られる。正面(中央左図)は折れ面を打面とする。下面は後面と正面下部を打面として剥離する。	A8・2・b S
75	39.40	35.45 31.05	61.5	〃		多面体である。縦長剥片の剥離が進んだためかすべての側面に縦長剥片の剥離痕を持つ。	A13・1・a N
76	31.65	28.90 28.75	36.5	〃		柱状を呈する。2側面(中央左図・右図)から、縦長剥片を剥離する。打面は下面のネガティブな剥離面を共有する。	C14・2・b N
77	79.80	105.65 20.20	—	遺物 不明		板状素材を用いる。縦長剥片石核のブランクか。左側面大半と右側面一部に自然面が見られる。石材は白色に風化する。	A37・3・a N
78	45.85	16.60 70.65	72.50	サヌカイト		大形の素材。下部に両面から剥離を施すが末端部はつぶれている。右図右下部に縦剥きの剥離痕が見られるが剥片を剥離したものとでは考え難い。スクレイパーとして利用していたのではないか。	A12・1・95

第62表 縦長剥片計測表

番号	量			重量	石質	出土地点	番号	法			重量	石質	出土地点	番号	法			重量	石質	出土地点
	長さ	幅	厚さ					長さ	幅	厚さ					長さ	幅	厚さ			
1	17.80	12.20	3.85	0.9	サヌカイト	A36・3・317	27	37.90	26.25	8.60	12.9	サヌカイト	A36・2・2665	53	30.70	16.50	7.30	2.7	サヌカイト	A13・1・a N
2	17.70	14.00	4.15	0.9	〃	A37・2・3077	28	46.45	34.00	11.60	18.3	〃	C15・1・c N	54	37.00	12.65	5.85	2.7	〃	A40・5・b N
3	21.65	19.00	4.60	2.4	〃	B18・299	29	36.45	18.85	7.75	5.0	〃	A24・1・b S	55	38.65	16.25	8.75	4.6	〃	A36・2・2282
4	27.45	20.60	6.55	3.6	〃	A39・2・c N	30	34.05	21.20	5.30	3.8	〃	A38・1・4605	56	33.45	19.00	7.55	4.0	〃	A38・1・3287
5	33.60	25.50	5.95	4.8	〃	B10・484	31	32.25	24.05	5.15	3.2	〃	B20・1・1332	57	29.75	20.25	6.20	4.4	〃	A39・4・b N
6	29.50	21.00	7.55	5.2	〃	A35・4・767	32	33.80	26.95	8.45	6.9	〃	C13・1・b S	58	39.90	14.80	7.45	3.9	〃	A35・3・792
7	31.00	27.15	9.15	5.9	〃	C11・1・391	33	30.05	20.75	5.55	4.5	〃	B22・289	59	42.45	10.00	4.30	2.2	〃	A7・2・101
8	33.90	14.05	4.25	1.7	〃	A38・2・2495	34	19.25	12.90	3.60	0.8	〃	B7・669	60	89.80	17.15	12.85	17.1	〃	A35・2・456
9	32.60	13.75	7.90	3.2	〃	C6・2・199	35	32.90	28.80	7.35	6.3	〃	B4・550	61	37.20	26.70	8.65	12.5	〃	A37・2・2957
10	43.40	19.90	9.15	8.2	〃	C14・2・314	36	22.75	19.35	3.80	1.8	〃	A26・2・478	62	36.05	29.45	10.30	13.7	〃	A38・1・4864
11	29.35	27.55	7.40	3.8	〃	A36・1・84	37	28.35	19.00	4.55	1.9	〃	B10・724	63	38.80	22.90	12.85	10.3	〃	A36・2・1611
12	47.50	15.75	3.60	3.5	〃	C17・1・a S	38	32.95	18.90	5.20	2.7	〃	A26・1・198	64	39.85	38.35	11.65	14.4	〃	A1・1・125
13	27.20	16.90	2.95	1.1	〃	A42・5・177	39	59.05	46.35	7.85	23.0	〃	A35・4・527	65	47.20	27.45	14.35	10.5	〃	A40・2・577
14	27.65	22.90	6.70	3.1	〃	B20・1146	40	34.85	21.30	9.00	4.9	〃	B19・778	66	36.10	30.15	7.80	6.7	〃	B11・536
15	35.25	28.70	6.45	5.6	〃	A38・2・3894	41	39.30	18.10	7.70	5.7	〃	B4・586	67	42.20	38.00	9.80	9.2	〃	B4・619
16	33.60	32.40	7.00	5.6	〃	A38・1・3236	42	50.10	25.40	6.85	8.1	〃	B6・729	68	45.65	31.60	8.45	13.8	〃	A36・2・1713
17	44.75	35.60	7.45	9.2	〃	A38・1・4786	43	42.65	31.10	8.60	9.9	〃	A17・1・52	69	40.20	27.55	8.25	8.5	〃	A40・4・652
18	52.15	25.0	7.90	11.2	〃	C4・1・221	44	47.70	43.40	14.80	30.5	〃	A39・5・151	70	31.65	16.25	7.45	4.4	〃	A3・1・b S
19	36.00	29.60	7.80	9.1	〃	A3・2・22	45	30.50	20.35	5.90	2.4	〃	A14・1・b N	71	31.55	24.55	6.10	4.7	〃	B3・1・62
20	26.35	22.00	6.95	4.4	〃	B16・43	46	45.15	40.35	13.50	18.4	〃	B13・190	72	35.00	22.55	2.90	1.8	〃	B4・355
21	29.50	23.20	7.70	6.2	〃	C15・2・230	47	60.20	51.00	10.50	32.4	〃	A21・1・489	73	26.55	17.40	6.95	2.2	〃	A27・2・71
22	40.65	38.15	9.00	11.1	〃	A38・1・3038	48	28.15	16.95	5.90	2.7	〃	A39・2・35	74	37.90	23.50	7.00	3.4	〃	B11・925
23	26.20	19.90	6.45	1.5	〃	A14・1・20	49	29.15	21.80	6.30	4.1	〃	A39・1・23	75	38.95	22.45	5.75	3.7	〃	C14・2・49
24	39.80	35.25	8.95	12.5	〃	A35・3・1074	50	26.25	19.00	6.45	2.5	〃	A35・3・920	76	76.30	49.90	6.70	33.6	〃	A37・5・270
25	26.80	21.00	6.45	2.7	〃	C14・2・52	51	33.15	30.45	7.65	5.9	〃	B16・369	77	57.75	54.00	11.20	35.4	〃	B25・117
26	29.70	32.05	6.90	5.4	〃	B22・166	52	37.05	13.15	5.25	2.1	〃	B5・108	78	17.00	12.05	2.85	0.6	〃	A37・2・a S

番号	量			重量	石	質	出土地点	番号	法			重量	石	質	出土地点	番号	法			重量	石	質	出土地点
	長さ	幅	厚さ						長さ	幅	厚さ						長さ	幅	厚さ				
79	23.90	14.60	4.65	1.4	サヌカイト	B4-43	105	29.80	18.95	6.25	4.2	サヌカイト	C19-1-a N	131	38.70	22.80	4.60	5.4	サヌカイト	C13-1-755			
80	34.90	14.55	3.95	1.5	〃	A2-2-9	106	45.45	24.75	5.60	4.8	〃	B13-816	132	27.60	13.40	5.85	2.1	〃	C15-2-8			
81	29.90	18.40	6.45	4.4	〃	B21-977	107	35.95	29.55	8.00	9.8	〃	A36-3-1907	133	34.30	12.00	4.10	1.6	〃	C13-2-219			
82	32.90	23.10	4.35	1.9	〃	C7-2-122	108	31.50	28.70	7.95	7.0	〃	A38-1-5063	134	41.00	17.60	6.80	4.6	〃	A40-3-c S			
83	26.15	19.45	5.90	1.5	〃	A35-1-1072	109	50.15	38.50	10.40	22.1	〃	C18-1-528	135	47.85	16.80	6.90	4.7	〃	C13-1-740			
84	29.35	27.75	7.85	5.1	〃	A38-5-d S	110	39.80	28.60	8.00	8.6	〃	B20-762	136	36.20	22.00	11.50	8.7	〃	C7-2-104			
85	37.70	30.35	5.45	5.4	〃	C4-212	111	40.35	31.75	8.35	-	〃	A31-1-1030	137	47.00	11.20	11.20	5.6	〃	C5-1-d S			
86	32.90	28.65	7.25	7.3	〃	A36-3-1107	112	41.30	19.55	4.85	3.2	〃	A36-3-1955	138	47.45	20.40	13.90	14.3	〃	C14-1-897			
87	42.00	32.30	6.85	8.1	〃	A41-3-d N	113	50.80	17.65	4.20	2.7	〃	B20-1-1303	139	53.55	12.75	12.80	9.9	〃	C12-1-151			
88	34.00	30.60	7.85	8.1	〃	C8-2-59	114	115.40	48.45	25.60	-	〃	A37-4-578 A37-4-580	140	53.70	12.90	5.90	3.4	〃	B15-c S			
89	73.50	22.90	9.25	5.0	〃	B10-657	115	45.85	17.90	8.70	6.8	〃	B6-156	141	49.00	24.30	12.90	16.5	〃	C17-1-d N			
90	49.10	43.20	3.55	6.1	〃	A39-3-219	116	42.95	23.60	7.50	5.5	〃	B15-54	142	67.15	28.80	5.90	16.1	〃	C11-845			
91	48.95	38.90	10.25	15.7	〃	B3-155	117	92.15	21.70	18.45	36.8	〃	A37-4-578	143	53.85	14.85	10.70	6.0	〃	B12-554			
92	55.40	34.15	8.20	20.3	〃	B11-787	118	102.00	33.60	27.40	96.9	〃	A37-4-580	144	74.25	19.70	11.70	13.6	〃	B14-c N			
93	44.75	37.55	11.90	14.6	〃	A39-5-88	119	32.75	11.00	6.60	1.7	〃	A41-3-570	145	62.80	17.90	18.45	20.7	〃	B14-a S			
94	45.50	21.65	11.30	5.1	〃	B7-56	120	41.55	14.90	4.80	2.7	〃	A35-1-2035	146	95.15	19.75	12.90	26.7	〃	C5-1-136			
95	58.10	32.75	12.85	22.7	〃	B6-371	121	73.20	40.75	23.35	61.4	〃	A36-5-229	147	39.70	8.50	5.00	1.3	〃	A2-1-645			
96	32.00	12.90	4.05	1.4	〃	A1-1-133	122	22.00	11.95	4.55	1.7	〃	C11-2-86	148	40.75	27.95	10.90	4.9	〃	C13-1-232			
97	29.40	13.85	6.75	-	〃	B6-521	123	41.65	24.45	11.20	8.7	〃	A38-3-1031	149	41.45	14.50	5.40	3.2	〃	B20-c N			
98	23.15	18.65	4.95	2.1	〃	B4-713	124	52.60	16.05	8.60	4.2	〃	A28-2-d S	150	36.80	12.30	12.90	3.3	〃	C16-1-1109			
99	32.15	14.45	3.55	1.4	〃	B7-825	125	44.75	25.60	9.00	8.0	〃	C15-1-381	151	39.95	12.35	12.20	4.9	〃	A4-2-89			
100	26.90	14.95	3.90	1.8	〃	A40-4-28	126	47.15	24.80	8.70	8.2	〃	C13-2-b S	152	56.00	28.10	17.05	27.5	〃	C13-2-a N			
101	31.60	8.00	6.70	1.6	〃	C18-1-c N	127	37.55	20.75	8.35	5.7	〃	B12-b N	153	75.15	19.30	16.55	21.3	〃	A2-1-680			
102	33.90	19.95	7.25	4.2	〃	A39-2-794	128	27.20	28.45	9.30	6.3	〃	B1-4-b N	154	92.35	36.60	23.00	35.2	〃	A4-2-250			
103	34.90	15.20	4.15	1.6	〃	A37-2-1361	129	43.45	20.90	7.45	5.9	〃	C8-1-81	155	67.80	14.60	14.95	18.2	〃	A2-1-678			
104	37.10	17.35	4.85	2.6	〃	B13-813	130	56.30	31.65	9.00	13.7	〃	B8-457	156	73.45	36.70	13.00	27.4	〃	A14-1-b N			

番号	法			重量	石	質	出土地点	番号	量			重量	石	質	出土地点	番号	法			重量	
	長さ	幅	高さ						長さ	幅	高さ						長さ	幅	高さ		
157	72.55	23.80	14.90	24.5	サヌカイト	A1・1・a S	A1・1・a S	183	63.05	27.00	15.50	29.0	サヌカイト	C14・1・d S	209	48.90	25.40	12.05	18.2	サヌカイト	B11
158	23.70	9.65	5.50	1.1	〃	B18・c S	B18・c S	184	59.80	17.40	6.85	7.6	〃	C14・2・65	210	62.00	19.40	11.15	12.2	〃	C15・2・b N
159	38.40	12.20	5.85	2.5	〃	A15・1・a N	A15・1・a N	185	40.50	14.20	7.50	4.8	〃	C12・1・c N	211	74.40	13.35	12.65	13.7	〃	C5・1・d N
160	30.50	20.40	9.25	5.0	〃	C4・1・c S	C4・1・c S	186	33.45	17.40	6.40	4.3	〃	C15・1・c N	212	52.05	12.25	12.85	9.00	〃	C13・1・795
161	32.40	16.90	6.80	4.2	〃	A42・4・a S	A42・4・a S	187	26.40	17.00	9.70	3.6	〃	C12・1・a S	213	45.00	22.40	9.35	9.1	〃	C17・2・a N
162	32.30	11.95	7.90	3.0	〃	C15・1・a S	C15・1・a S	188	25.95	15.35	4.25	1.9	〃	A1・1・a S	214	34.2	9.25	4.5	1.7	〃	C18・1・630
163	44.90	13.50	5.60	3.2	〃	A19・1・c S	A19・1・c S	189	24.00	11.15	4.40	0.8	〃	B15・120	215	41.20	17.75	6.20	5.6	〃	A1・2・b N
164	52.85	10.15	8.80	4.2	〃	A29・1・c N	A29・1・c N	190	42.35	17.80	8.85	5.1	〃	C14・1・b N	216	38.80	12.20	4.30	3.2	〃	C7・1・21
165	51.30	15.00	8.90	8.2	〃	A13・1・c N	A13・1・c N	191	42.25	22.90	7.80	6.6	〃	C4・1・b N	217	49.30	23.30	10.35	15.2	〃	C12・1・a S
166	41.80	16.85	7.45	5.4	〃	A19・1・b S	A19・1・b S	192	38.35	25.00	7.45	7.2	〃	C13・2・a S	218	57.40	13.85	10.75	9.5	〃	A13・1・60
167	43.65	28.20	13.85	11.6	〃	A37・5・c S	A37・5・c S	193	52.80	11.95	9.45	8.5	〃	A39・4・c S	219	51.75	23.60	7.70	11.8	〃	C13・1・d N
168	69.15	18.35	10.00	11.0	〃	A13・1・a S	A13・1・a S	194	45.90	17.85	9.10	6.1	〃	B18・a N	220	38.40	24.00	7.95	7.7	〃	B17・a S
169	78.85	24.25	15.65	23.3	〃	A4・2・d N	A4・2・d N	195	39.70	18.85	8.35	6.1	〃	A38・3・c N	221	33.40	18.70	6.45	4.0	〃	B20・c N
170	57.65	33.15	8.95	19.1	〃	C13・1・c S	C13・1・c S	196	54.00	13.95	10.45	8.1	〃	A13・1・a N	222	51.30	15.80	21.45	35.8	〃	C14・2・a S
171	35.85	7.70	5.75	1.8	〃	A26・1・217	A26・1・217	197	66.20	12.15	10.95	10.2	〃	C13・1・c N	223	37.65	23.10	8.15	10.2	〃	A4・3・14
172	33.35	12.95	5.85	2.7	〃	B15・ピット	B15・ピット	198	56.40	16.35	10.90	9.6	〃	C12・1・106	224	34.80	17.80	7.95	4.7	〃	C17・1・d N
173	53.85	23.00	11.45	15.7	〃	C12・1・190	C12・1・190	199	56.60	12.20	5.85	5.8	〃	B11・787	225	33.85	22.00	14.05	14.3	〃	A2・1・d S
174	68.95	16.40	13.20	13.1	〃	B13・636	B13・636	200	45.20	22.00	10.80	11.9	〃	B15・ピット	226	21.80	15.55	6.10	2.4	〃	A40・5・b S
175	50.00	15.10	5.25	5.7	〃	A11・1・c N	A11・1・c N	201	41.20	22.90	13.4	10.7	〃	C12・2・17	227	27.15	8.60	4.30	1.0	〃	B1・43
176	50.90	12.00	7.40	6.9	〃	B13・817	B13・817	202	39.00	30.40	5.60	5.0	〃	A14・1・a S	228	23.95	14.40	15.30	1.8	〃	C14・1・b N
177	39.85	9.70	4.60	1.7	〃	B1・527	B1・527	203	38.60	25.50	9.35	8.6	〃	B18・e S	229	26.80	14.60	5.30	2.5	〃	C14・1・c N
178	36.35	15.25	4.50	3.0	〃	C16・2・306	C16・2・306	204	47.65	24.55	8.05	10.5	〃	C12・1・c N	230	37.00	9.95	4.60	1.8	〃	A18・1・a N
179	46.15	13.40	8.90	9.2	〃	C12・2・b N	C12・2・b N	205	52.10	25.15	9.80	11.7	〃	B20・b S	231	25.10	13.15	5.20	1.7	〃	C15・1・b S
180	44.30	24.55	10.00	11.8	〃	C13・2・a S	C13・2・a S	206	54.40	14.10	11.00	-	〃	A39・3・b N	232	30.00	17.40	6.20	3.0	〃	C12・2・b S
181	50.85	15.25	11.05	8.7	〃	A39・3・b N	A39・3・b N	207	42.60	14.75	9.65	7.5	〃	C14・1・d N	233	30.95	19.05	4.00	4.8	〃	C14・2・239
182	67.45	31.20	20.95	47.8	〃	C17・1・d S	C17・1・d S	208	47.00	20.45	8.20	9.00	〃	C14・1・652	234	32.20	19.15	11.40	10.7	〃	C12・1・303

番号	法			重量	石質	出土地点	番号	量			重量	石質	出土地点
	長さ	幅	厚さ					長さ	幅	厚さ			
235	52.50	9.80	5.10	4.3	サヌカイト	B18・e S	261	37.80	40.00	10.75	12.1	流紋岩	A39・2・b N
236	45.00	14.95	4.85	4.2	〃	C12・2・47	262	38.00	28.75	4.50	4.8	〃	B2・56
237	52.15	13.05	7.30	5.0	〃	A39・2・c S	263	14.00	12.65	2.30	0.5	黒曜石	B3・618
138	42.30	22.20	10.60	6.9	〃	C8・1・c N	264	14.45	9.70	7.05	0.6	〃	A4・2・143
239	33.50	23.25	11.70	12.7	〃	B6・322	265	27.10	13.00	7.75	2.2	〃	A31・2・96
240	52.95	25.65	10.25	13.1	〃	C17・2・a N	266	28.50	15.80	8.70	3.4	〃	A3・1・110
241	44.65	26.55	12.40	16.0	〃	A14・1・c S	267	25.50	7.15	5.55	1.8	〃	C5・1・27
242	45.95	23.55	9.35	6.4	〃	C16・2・514	268	21.25	20.95	4.05	1.3	〃	C10・1・d N
243	50.50	24.05	15.40	11.2	〃	C4・1・b N	269	29.30	8.35	8.40	1.8	〃	A3・1・499
244	61.15	20.45	14.75	14.1	〃	A39・1・c S	270	32.10	24.85	6.20	4.1	〃	A12・1・d S
245	61.05	17.00	12.20	11.8	〃	B15・ピット							
246	60.45	27.35	8.85	14.7	〃	C6・2・365							
247	21.40	13.35	5.60	1.3	玻璃質安山岩	C16・2・43							
248	24.40	12.50	5.55	1.5	〃	A2・2・d S							
249	21.00	11.50	3.75	0.7	〃	C15・1・c N							
250	21.60	19.05	6.55	2.0	〃	C16・1・1716							
251	22.80	18.00	2.90	-	〃	C17・1・18							
252	28.25	19.05	3.45	2.0	〃	B18・305							
253	27.05	18.25	4.65	1.9	〃	A25・2・b N							
254	38.05	18.35	7.80	5.1	〃	A9・1・a S							
255	36.45	27.00	10.85	10.4	〃	C16・1724							
256	39.10	30.25	15.15	15.6	〃	A34・1・1345							
257	33.35	13.45	7.00	2.1	〃	C16・2・108							
258	23.60	18.20	5.55	2.4	流紋岩	A42・4・180							
259	41.65	17.70	14.25	9.0	〃	A39・1・621							
260	49.60	25.55	7.00	6.8	〃	A23・2・a S							

第63表 細石核観察表

番号	法 量			石 質	剥 離 痕	観 察	出土地点
	長さ	幅	厚さ				
1	17.30 15.60	15.00	32.60	11.6 6 11.6	13.50 3.85	角柱(錐)状の体部の小口部分から細石刃を剥離する。打面は大きな剥離面を用い、一方の側面からわずかな調整を施す。両側面には自然面を残し、一方の側面作業面寄りには、打面から調整が施されている。	A11・1・a N
2	13.25	14.15	27.85	6.5	13.45	角柱(錐)状の体部の小口部分から細石刃を剥離する。打面は一方の側面方向から調整を加えている。両側面には自然面を残す。	B1・406
3	19.95 18.55	8.85	33.55	9.8	18.20	板状を呈し、一方の側面は大きな剥離面からなると共に他方の側面に自然面を残す。	C17・1・105
4	15.80 19.80	16.20	14.25	6.9	9.00	角柱(錐)状を呈し、小口部分から細石刃を剥離する。側面に自然面を持たない。打面と一方の側面は調整をほとんど施さない。	A19・1・a S
5	14.25 13.55	14.10	28.00	7.9	13.35	角柱(錐)状を呈し、小口部分から細石刃を剥離する。一方の側面は打面側から丁寧な調整を施すが、他方の側面に自然面を残す。	B8・261
6	18.60	6.45	9.30	2.5	19.40	板状を呈し、一方の側面に大きな剥離面を持つ。打面には作業面側からとその逆方向から調整が施されている。	B21・1967
7	19.95 14.80	13.10	31.45	10.0	12.60	角柱(錐)状を呈し、小口部分から細石刃を剥離する。側面に自然面を持たない。打面と一方の側面は調整をほとんど施さない。	A3・2・d N
8	16.10 13.70	16.55	24.05	6.0	14.10	角柱(錐)状を呈し、小口部分から細石刃を剥離する。一方の側面は自然面を残す。打面は大きな剥離面を用い、わずかに調整が施されている。	B12・449
9	18.50 21.10	14.40	17.45	5.2	20.00	板状を呈し、一方の側面に大きな剥離面を持つと共に他方の側面に自然面を残す。両端から細石刃の剥離を行う。	A4・2・d N
10	23.00 16.95	10.95	18.80	6.9	13.30	角柱(錐)状を呈し、小口部分から細石刃を剥離する。一方の側面に調整を施しているが、他方の側面に自然面を残す。打面と作業面に調整が認められる。	B19・b S
11	23.20 9.75	8.65	8.00	8.5	9.90	角柱(錐)状を呈し、小口部分から細石刃を剥離する。打面に調整を施している。一方の側面に自然面を残す。	A2・1・b N
12	26.35	10.25	24.30	14.9	8.6	角柱(錐)状を呈し、小口部分から細石刃を剥離する。一方の側面に自然面を残す。両側面は打面側からわずかな調整を施す。	B19・591
13	26.85 31.40	9.70	31.95	12.5	29.10	板状を呈し、一方の側面に大きな剥離面を持つと共に、他方の側面に自然面を残す。両端から細石刃の剥離を行う。	B21・278
14	27.65	13.35	31.20	16.7	22.10	板状を呈し、一方の側面に大きな剥離面を持つ。他方の側面には自然面を一部残すが、上部の縁辺には細かな調整が行われている。	C3・1・43
15	25.35 25.60	7.45	23.65	8.7	25.60	三角形板状の体部の小口部分から細石刃を剥離する。打面は自然面である。一方の側面は大きな剥離面からなり、両側面とも細かな調整を施さない。	A37・4・a S
16	32.25 21.05	13.55	19.45	12.1	19.60	板状を呈し、一方の側面に大きな剥離面を持つと共に他の側面と体部の下面に自然面を残す。	A3・1・233
17	28.05 22.65	7.85	34.90	13.2	22.00	板状を呈し、一方の側面に大きな剥離面を持つと共に、もう一方の側面に自然面を残す。	表採
18	28.10 15.15	10.40	21.90	10.0	19.70	板状を呈し、両側面に大きな剥離面を持つ 両端から細石刃を剥離する。	A13・1・d S
19	35.25 32.70	9.0	17.65	9.8	24.60	板状を呈し、一方の側面に大きな剥離面を持つと共に他の側面に自然面を残す。	C9・1・a S
20	23.95 14.95	10.90	18.65	5.5	9.85	板状を呈し、一方の側面は大きな剥離面を持つが、他の側面には上下から調整が施されている。打面は一方の側面に調整が行われる。	A38・3・90
21	26.75 32.75	20.00	27.55	10.9	20.25	三角形板状の体部の両端から細石刃を剥離する。打面には細かな調整を施している。	C16・1・1584
22	27.50 27.15	12.60	30.05	8.9	15.1	板状を呈し、両側面に大きな剥離面を持つ。打面と後面には自然面が残る。	A42・4・a S
23	10.30 14.45	24.95	30.95	11.5	21.7	板状を呈し、両側面に大きな剥離面を持つ。側面と作業面には自然面が残る。細石刃の剥離は1回しか行っていない。	C16・1・1224
24	27.85 28.05	8.25	22.05	6.4	11.2	板状を呈し、両側面に大きな剥離面を持つ。一方の側面には調整を施している。打面転移が認められる。	C15・1・a S
25	27.95 18.55	10.25	38.20	16.8	17.5	板状を呈す。打面と一方の側面の上下には細かな調整が施されている。	A10・1・d N
26	21.50 17.80	8.35	22.35	7.5	11.4	板状を呈し、両側面に大きな剥離面を持つ。打面には自然面が残る。一方の側面にわずかな調整を施す。	A9・2・78

番号	法 量			重量	石 質	剥 離 痕		観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ			長さ	幅			
27	27.65 27.60	13.75	15.15	8.6	玻璃質安山岩	22.5	5.5	角柱状の体部の一長側面から細石刃を剥離するが、これは剥離が進んだため、もとは板状をしていたと考えられる。一方の側面は1面の剥離面からなる。後面は自然面で、一方の側面の下部にも自然面を残す。	A38・5・c N	
28	20.80 23.00	7.95	23.00	3.9	〃	22.4	6.9	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を持つ。打面には作業面側からわずかに調整が施されている。	B18・d N	
29	22.55 18.20	4.70	25.70	5.1	〃	18.0	2.9	板状を呈し、両側面に大きな剥離面を持つ。下面に自然面を残し、両側面の後面側に調整を施している。打面は調整を施していない。	A38・2・2348	
30	19.95 15.05	8.15	27.10	5.3	〃	10.5	6.2	板状を呈し、両側面に大きな剥離面を持つ。下面には自然面を残す。	C16・1・1122	
31	20.70 24.25	10.20	21.00	4.4	〃	20.5	4.35	三角形の板状を呈し、両側面に大きな剥離面を持つ。打面には一方の側面から細かな調整を施す。	A14・1・d S	
32	34.80 36.20	9.35	28.60	15.1	〃	20.4	3.4	板状を呈し、一方の側面には大きな1面の剥離面を持つが、他方の側面は2面の大きな剥離面からなる。打面には自然面を多く残り、作業面側からわずかに調整が施されている。	A13・1・50	
33	16.55 17.30	9.90	20.40	3.7	〃	11.4	5.6	板状を呈し、両側面に大きな剥離面を持つ。打面は大きな剥離面を用い、下面にはわずかに自然面が残る。	A39・3・d N	
34	29.05 12.25	5.10	17.85	5.2	〃	22.2	9.3	板状の細石核。細石刃の剥離痕がわずかに認められる。	A20・1・13	
35	21.20 14.25	13.80	17.70	6.2	〃	14.1	4.5	板状を呈し、両側面に大きな剥離面を持つ。両端から細石刃を剥離する。打面調整は顕著に施される。	B19・665	
36	15.55 14.60	5.15	19.40	2.0	〃	9.45	5.3	板状を呈し、両側面に大きな剥離面を持つ。打面は大きな剥離面を用いる。両側面には調整を施していない。	C19・1・a N	
37	16.90 6.50	8.85	19.65	3.2	〃	11.6	7.9	三角形の板状を呈する。打面には作業面側から調整を施している。	B21・757	
38	8.80 9.75	5.0	16.15	0.9	〃	9.1	1.9	小形板状の細石核。両側面は一面ずつの剥離面からなり、調整は施していない。打面には作業面側からわずかな調整を施す。	C4・1・c S	
39	21.25 21.35	8.55	8.20	1.9	〃	9.3	5.55	板状を呈し、両側面に分削面を持つ。後面と打面に自然面が残る。側面にはほとんど調整を施していない。打面移動が認められる。	A2・2・d N	
40	14.00 14.50	6.35	7.90	0.9	〃	13.9	3.8	小形板状を呈し、両側面は1面ずつの大きな剥離面からなる。打面には作業面側からわずかに調整を施している。	B2・464	
41	21.60 20.65	10.25	21.80	6.7	〃	13.1	3.8	三角形の板状を呈し、両側面に分削面を持つ。体部の両端から細石刃を剥離する。打面は全面に調整を施している。	A19・1・a S	
42	17.80 17.75	13.35	19.30	5.9	〃	17.4	7.2	角柱（錐）状を呈し、一方の側面は自然面からなる。打面は1面の大きな剥離面である。	A1・1・295	
43	15.00 12.45	10.80	11.95	2.9	〃	10.6	3.60	板状を呈し、一方の側面は複数の剥離面からなる。打面は剥離を施している。小形の細石核である。	A39・4・c S	
44	21.90 20.75	17.95	14.35	5.0	〃	19.20	3.00	板状を呈し、両側面に大きな剥離面を持つ。細石刃の剥離痕は上・下方から加撃している。一方の打面は自然面である。	A40・2・c S	
45	16.35 16.65	11.70	25.20	4.1	〃	9.90	4.50	角柱（錐）状を呈し、小口部分から細石刃を剥離する。一方の側面は自然面で、打面は大きな剥離面を用い、作業面側から調整を施す。	A2・1・c S	
46	7.10 8.15	9.15	16.55	1.8	〃	—	—	打面再生剥片。作業面の右上端を横位に加撃し、打面の拡大をはかる。	A38・2・109	
47	21.60 19.65	11.75	22.80	4.4	〃	19.70	6.70	板状を呈し、一方の側面に大きな剥離面を持つ。打面は平坦な面をなさない。	A2・1・439	
48	21.95 21.05	11.15	20.55	4.6	〃	18.60	7.20	板状を呈し、一方の側面に大きな剥離面を持つ。石核の下縁に調整が著しい。細石刃の剥離痕は上・下方から加撃しているほか、打面の転移が認められる。	C4・1・a S	
49	24.0 19.70	14.35	12.90	6.5	〃	18.10	3.90	板状を呈し、石核の後面と一方の側面は1面の大きな剥離面からなる。打面には作業面と側面から調整が行われている。	B19・327	
50	10.60 10.75	6.80	5.95	1.1	〃	10.5	6.00	小形板状の細石核。一側面から細石刃を剥離するが、剥離痕は石核の中央部で終る。	B12・567	
51	12.00 9.60	3.50	8.30	0.6	〃	10.55	3.40	不定形板状をなす小形の細石核。打面は斜の剥離面を用いる。体部に自然面を残さない。	B2・513	
52	18.50 18.85	7.25	13.40	2.4	〃	18.75	3.25	板状を呈し、一方の側面に大きな剥離面を持つ。細石刃の剥離は両端から行ない、両端とも上・下方から加撃している。	A1・1・144	

番号	法		重量	石質	剝離痕		観	察	出土地点
	長さ	幅			長さ	幅			
53	11.90 13.80	7.35	1.6	玻璃質安山岩	13.80	2.85	板状を呈し、一方の側面は調整が顕著である。打面はわずかしが残っていないが、作業面側から調整が施されている。	B2-246	
54	22.60 21.15	15.40	3.6	〃	10.50	3.00	板状を呈する。一方の側面は打面側から調整が施され、他方の側面は3面の剝離面からなる。打面は大きな剝離面を用いる。	A39・3-564	
55	16.00 16.15	9.80	2.9	〃	8.00	2.70	板状を呈する。両側面は複数の剝離面からなる。打面と作業面が転移している。	A1・2・a N	
56	30.0 22.75	13.25	12.5	〃	20.80	7.00	板状の細石核。打面転移のため、2面から細石刃を剝離する。一方の側面には2面の横長剥片剝離痕を持ち、上方の横長剥片の剝離は、上面の細石刃剝離より新しいものと思われる。	B5・529	
57	27.25 21.45	9.65	4.2	黒曜石	13.65	7.00	角柱(錐)状を呈し、2つの長側面から細石刃を剝離し、それぞれの加撃方向は逆向きである。	A3・2・641	
58	29.45	15.25	7.3	〃	11.00	8.50	角柱(錐)状を呈し、長側面から細石刃を剝離している。作業面の上下から剝離が認められる。上端の打面には横方向から細かな調整を加える。	A2・2・75	
59	20.95 21.00	10.75	14.8	サヌカイト	21.00	11.00	角錐(柱)状の細石核で小口部分からの細石刃を剝離している。打面及び側面に素材の分割面を残す。2ヶ所から細石刃を剝離する。	C18・1・533	
60	14.30 12.95	12.25	7.3	〃	18.00	4.00	角錐(柱)状の細石核で小口部分からの細石刃を剝離している。体部に自然面は残さない。打面、側面とも細かな調整は施されていない。	B5・476	
61	24.80 24.35	6.85	5.7	〃	24.50	6.40	板状の細石核。両側面に素材を分割した際の大きな剝離面を持ち、小口部分から細石刃を剝離している。	B8・887	
62	20.20 17.80	7.05	3.9	〃	19.45	4.00	板状の細石核。側面調整や打面調整は施されていない。細石刃の剝離は上・下方向から加撃している。	B16・22	
63	24.60 23.60	9.45	4.2	〃	23.40	6.90	板状の細石核。両側面に大きな剝離面を持ち、小口部分から細石核を剝離している。打面・側面とも調整は施されていない。	B8・438	
64	23.90 27.35	8.95	13.6	〃	25.70	5.75	板状の細石核。両側面に素材を分割した際の大きな剝離面を持ち、小口部分から細石刃を剝離している。打面にはボシタイプな打痕を持ち、一方の側面の下縁部には調整が施されている。	C15・2・220	
65	29.90 16.30	6.35	7.5	〃	16.70	4.65	板状の細石核。側面調整や打面調整は行われていない。小口部分から細石刃を剝離する。	A31・1・391	
66	19.90 21.35	7.90	2.7	〃	21.50	5.20	小形板状の細石核。打面調整や側面調整は行われず、小口部分から細石刃を剝離する。	A37・3・b N	
67	35.85 39.55	5.90	3.8	〃	23.50	3.80	板状の細石核。両側面に大きな剝離面を持ち、小口部分から細石刃を剝離しているが、細石刃の剝離はほとんど行われていない。	A38・2・3268	
68	17.20 17.25	4.00	2.9	〃	17.40	3.90	板状の細石核。打面は1面の大きな剝離面を用い、小口面から細石刃を剝離する。	A36・1・64	
69	25.10 27.00	4.05	2.8	〃	27.35	3.90	板状の細石核。両側面とも大きな剝離面を持ち、調整は施されていない。小口面から、1枚ずつ細石刃を剝離している。	A36・3・299	
70	30.45 23.85	6.80	5.1	〃	22.55	4.60	板状の細石核。石核下縁に調整を施す。小口面に2面の細石刃剝離痕を持つ。	B16・281	
71	22.85 20.00	8.15	2.9	〃	19.15	4.60	板状の細石核。細石刃の剝離痕は2面で上方から加撃している。石材は風化が顕著である。	A1・1・72	
72	17.50 16.45	8.00	1.9	〃	16.05	5.10	板状の細石核。両端から細石刃を剝離する。打面、側面に調整は施されていない。石材は風化が著しい。	A3・2・10	
73	24.35 24.25	11.85	2.0	〃	21.85	4.70	板状の細石核。両側面とも大きな剝離面を持つ。小口部分の上下から加撃して細石刃を剝離している。	B8・732	
74	32.70 19.15	11.50	16.1	〃	23.25	2.85	板状の細石核。側面の調整は施していないが、打面には作業面側からわずかな調整が施されている。	A2・1・351	
75	49.35	41.65	82.2	玻璃質安山岩	-	-	原石である。全面に自然面を残す。	B1・221	
76	59.05	39.20	89.5	〃	-	-	原石である。	C18・1・c N	
77	51.15	43.75	50.8	〃	-	-	原石である。やや扁平で、一面では一部の表皮を剝離している。	C17・1・232	
78	38.60 30.85	28.80	46.6	〃	-	-	卵形のブランク。全面にわたって丁寧な調整を施し、自然面を除去している。	A31・1・489	

番号	法 量			重量	石 質	剥 離 痕		観	察	出土地点
	長さ	幅	厚さ			長さ	幅			
79	30.75 21.30	22.0	11.15	7.9	玻璃質安山岩	—	—	背面を自然面とする分厚い横長剥片で小さく平坦な打面を持つ。		B21・2409
80	16.10 17.35	11.65	43.55	8.9	〃	—	—	角柱(錐)状を呈する。背面を自然面とする分厚い横長剥片の主要剥離面の中央を加撃して横に切断し、一方の小口部分を切断する。		B12・532
81	20.95 18.85	16.45	34.20	17.2	〃	—	—	角柱(錐)状を呈する。一方の小口面に自然面が残る。他方の小口面には非常に細かい縷状剥離があるので、初期の剥離段階の細石核とすべきか。		C16・1・973
82	20.15 16.35	16.70	38.50	15.9	〃	—	—	角柱(錐)状を呈する。下方中央図の自然面と上段図の下縁に、対応する剥離が施されている。一方の側面には顕著な調整が施されている。		C14・1・37
83	27.00 26.35	9.65	26.40	16.2	〃	—	—	分厚い板状を呈する。上面には一面の大きな剥離面からなり、打点を残している。一方の小口面と下面に自然面が残る。一方の側面には顕著な調整が施されている。		C16・1・1695
84	25.50 16.45	17.20	34.75	11.1	〃	—	—	角柱(錐)状を呈する。上面には一面の大きな剥離面からなり、打点を残している。一方の小口面と下面に自然面が残る。一方の側面には顕著な調整が施されている。		A10・1・108
85	32.65 27.80	10.95	11.45	8.7	〃	—	—	角柱(錐)状を呈する。両小口は自然面からなる。長側面のうち2面には大きな剥離面をもち、2面には細かな調整が施されている。		A10・2・a N
86	18.0 17.95	16.10	31.35	14.7	〃	—	—	角柱(錐)状を呈する。下段左図の側面の大部分は自然面からなるが、下縁部には細かな調整が施されている。		B1・6

第64表 細石刃計測表

番号	法		重量 ^k	石質	出土地点	番号	量		重量 ^k	石質	出土地点	番号	法		重量 ^k	石質	出土地点			
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm}					長さ ^{mm}	厚さ ^{mm}					長さ ^{mm}	幅 ^{mm}				長さ ^{mm}	厚さ ^{mm}	
1	24.85	13.45	3.55	1.4	サヌカイト	A13・1・d S	27	11.00	10.45	4.20	0.4	サヌカイト	B4・588	53	18.40	7.65	1.50	0.2	サヌカイト	A12・1・226
2	26.15	11.30	4.40	1.1	〃	A2・2・c N	28	12.45	10.00	2.90	0.2	〃	B21・708	54	15.30	6.30	1.55	0.1	〃	A36・4・74
3	28.35	8.95	3.0	0.8	〃	B8・533	29	15.20	9.40	2.00	0.7	〃	B2・1224	55	11.20	9.30	2.14	0.2	〃	A4・1・1
4	28.95	11.90	4.50	1.2	〃	A37・5・d S	30	17.40	11.45	3.40	0.7	〃	B2・1086	56	8.85	6.35	0.90	0.1	〃	A7・2・41
5	13.10	13.95	4.55	1.0	〃	A38・3・a N	31	16.65	8.60	2.55	0.4	〃	B12・674	57	21.85	6.90	2.90	0.4	〃	A17・1・57
6	24.65	12.56	3.30	1.0	〃	C10・1・b S	32	17.80	9.00	2.65	0.4	〃	A7・1・d N	58	20.55	7.80	3.75	0.6	〃	A36・1・1208
7	13.20	11.90	3.50	0.8	〃	A25・1・c N	33	20.90	7.95	2.85	0.4	〃	C15・1・c N	59	19.05	9.40	1.80	0.4	〃	C17・1・c N
8	19.50	10.80	2.65	0.5	〃	A39・2・c N	34	17.95	8.20	2.15	0.3	〃	A26・2・143	60	17.65	9.50	1.80	0.3	〃	A37・1・3064
9	23.60	8.40	2.25	0.6	〃	C14・1・a N	35	21.70	6.70	2.10	0.3	〃	B15・302	61	21.20	16.45	3.85	0.5	〃	C18・1・b N
10	21.50	10.45	2.75	0.9	〃	B21・1149	36	20.65	8.60	3.50	0.5	〃	A38・3・1235	62	16.60	3.85	1.65	0.1	〃	C15・1・c S
11	21.45	11.30	3.65	1.0	〃	A39・2・a S	37	21.05	9.00	2.65	0.5	〃	B・24・b S	63	19.85	4.00	2.85	0.2	〃	A36・1・1012
12	26.20	13.55	3.35	1.2	〃	B22・b N	38	27.50	11.00	2.35	-	〃	A33・1・834	64	15.40	6.65	1.95	0.2	〃	B4・410
13	26.10	7.25	2.80	0.8	〃	C10・1・a N	39	24.35	9.45	3.20	0.6	〃	B18・c S	65	15.90	5.90	2.20	0.2	〃	A39・4・d S
14	9.45	5.40	1.55	0.1	〃	C7・1・187	40	25.60	8.40	4.35	0.7	〃	A16・1・a N	66	16.60	5.65	2.40	0.2	〃	A38・2・3902
15	13.75	6.00	1.60	0.2	〃	B12・748	41	18.50	7.35	2.65	0.3	〃	A27・2・201	67	19.20	7.10	3.55	0.4	〃	C14・1・262
16	10.00	6.90	1.70	0.2	〃	C14・1・493	42	10.15	10.35	1.80	0.2	〃	B5・83	68	16.27	5.35	2.40	0.2	〃	A9・1・286
17	14.00	7.45	2.90	0.3	〃	A35・1・775	43	10.80	6.75	2.25	0.1	〃	B9・351	69	16.15	6.25	2.85	0.3	〃	B18・c N
18	10.70	7.40	1.50	0.2	〃	A27・2・37	44	12.90	10.25	2.30	0.4	〃	A38・4・863	70	13.35	7.10	2.50	0.2	〃	A36・4・617
19	10.20	8.25	1.60	0.2	〃	A21・1・7	45	13.45	10.05	2.15	0.4	〃	A40・4・a N	71	16.00	7.30	2.25	0.2	〃	A35・3・d S
20	13.00	7.65	2.10	0.3	〃	B21・2463	46	12.55	11.85	3.85	0.6	〃	A11・1・421	72	15.10	7.30	2.90	0.3	〃	A22・2・a N
21	15.75	8.40	1.60	0.2	〃	B18・c N	47	15.15	6.05	1.25	0.2	〃	B16・594	73	20.85	8.60	5.10	0.9	〃	A26・1・162
22	12.55	5.35	1.47	0.1	〃	A38・2・4549	48	15.00	8.25	2.75	0.3	〃	B24・226	74	18.25	8.75	2.85	0.5	〃	A36・1・240
23	17.30	6.45	3.50	0.3	〃	A21・1・120	49	17.15	5.35	3.15	0.2	〃	A38・1・481	75	13.55	6.50	2.05	0.2	〃	C13・1・d N
24	17.45	6.25	4.15	0.3	〃	B4・631	50	16.60	6.00	2.75	0.3	〃	A1・1・a N	76	17.00	5.40	3.20	0.3	〃	A38・5・298
25	15.25	6.70	2.40	0.2	〃	B8・827	51	16.05	8.50	1.75	0.4	〃	A33・1・680	77	15.60	7.40	2.15	0.2	〃	A37・1・1400
26	18.65	5.60	2.95	0.3	〃	B18・576	52	18.80	6.40	3.55	0.4	〃	A2・1・443	78	10.40	8.40	1.55	0.1	〃	C20・1・329

番号	量			重量	石質	出土地点	番号	法			重量	石質	出土地点
	長さ	幅	厚さ					長さ	幅	厚さ			
79	15.05	6.50	1.25	0.2	サヌカイト	A21・1・36	105	21.30	8.20	2.00	0.4	玻璃質安山岩	A38・1・1944
80	20.40	9.85	3.60	0.4	〃	B27・211	106	12.20	5.10	2.40	0.1	〃	C17・1・235
81	24.80	5.40	2.85	0.3	〃	A40・4・a N	107	11.50	4.55	2.30	0.1	〃	B5・400
82	25.30	5.75	5.35	0.6	〃	B15・326	108	7.50	4.70	1.80	0.1	〃	B3・954
83	21.20	6.20	2.95	0.4	〃	A37・2・1413	109	10.90	7.40	1.30	0.1	〃	B22・c N
84	26.90	5.75	2.40	0.4	〃	A39・3・1002	110	13.60	5.00	1.60	0.1	〃	C16・1・776
85	33.95	10.40	5.65	1.5	玻璃質安山岩	B9・405	111	18.20	6.90	1.40	0.2	〃	B12・719
86	24.30	9.35	3.75	0.8	〃	A1・1・167	112	10.00	6.10	1.00	0.1	〃	C16・1・1132
87	22.15	5.70	1.45	0.2	〃	C15・1・232	113	10.00	7.00	2.20	0.2	〃	B2・1050
88	9.40	4.50	1.90	0.1	〃	B2・206	114	7.20	4.50	1.20	0.1	〃	B4・858
89	11.10	5.10	2.20	0.1	〃	C16・1・63	115	8.85	6.10	1.20	0.1	〃	B21・981
90	14.60	4.80	2.20	0.2	〃	B3・1007	116	10.40	7.70	2.00	0.2	〃	B5・42
91	14.25	10.50	3.65	0.5	〃	B3・239	117	10.10	8.00	3.20	0.3	〃	A18・1・23
92	13.90	7.40	2.40	0.3	〃	C14・2・b N	118	15.50	8.80	2.10	0.3	〃	A1・1・d N
93	12.00	10.50	2.0	0.3	〃	B18・186	119	13.45	8.10	2.40	0.3	黒曜石	A5・1・d S
94	15.80	4.80	1.55	0.2	〃	B21・2108	120	8.65	9.40	1.55	0.2	〃	A2・1・31
95	13.20	7.40	1.75	0.1	〃	C16・2・590	121	17.25	7.05	1.70	0.2	〃	不明
96	9.95	5.55	1.20	0.1	〃	B4・415	122	22.75	8.35	2.90	0.4	〃	C4・1・c S
97	7.60	8.60	1.80	0.1	〃	C16・1・1360	123	15.60	13.25	3.30	0.9	〃	A3・1・c N
98	13.15	5.05	2.20	0.1	〃	C16・1・75	124	26.50	10.60	3.20		サヌカイト	A5・1・d S
99	16.00	4.55	2.35	0.2	〃	A3・2・a N							
100	13.0	6.65	1.45	0.2	〃	B16・333							
101	16.60	6.40	2.40	0.3	〃	A36・4・442							
102	9.30	4.55	12.0	0.1	〃	B2・236							
103	15.80	6.00	2.50	0.3	〃	C5・1・b S							
104	20.00	5.25	2.20	0.2	〃	A21・1・216							

第65表 叩き石観察表

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ ^{mm}	幅 ^{mm}					
1	28.2	19.4	13.7	不明	下部を欠失する。細く、断面は不整な楕円形。色調は淡黄褐色を呈する。上端部には使用痕と思われ、中央部に凹みが見られる。	上部には使用痕と思われ、小さな剥離痕が見られる。	A39・2・b N
2	41.5	24.5	15.8	砂	端部の一部の破片。先端部に使用痕と思われ、断面は不整な楕円形。	先端部には使用痕と思われ、小さな剥離痕が見られる。	A40・2・b S
3	52.7	32.4	23.2	砂	両端部を欠失する。棒状を呈し、断面は不整な楕円形。		B2・264
4	52.4	21.2	15.1	讃岐山 質岩	完形。小形で、断面は四角形を呈する。下端部に小剥離があり、使用痕と思われる。		B7・322
5	115.20	68.05	34.30	砂	完形。大形で、断面は四角形を呈する。下端部に敲打痕がある。赤変している。		A39・4・610
6	61.3	21.7	19.3	砂	完形。小形の棒状で断面は三角形に近い。側面には打撃による小さな凹みがある。		C19・1・a S
7	58.4	33.5	21.2	砂	上部を欠失する。短かく、断面は不整な楕円形。下端の周囲に小剥離が認められる。上端は欠失するもの、端部近くで破損したものと思われる。使用によるものか。		A38・3・a S
8	123.9	51.4	42.3	砂	上部を欠失する。大形で断面は四角形を呈する。下端部と側面には打撃による小さな凹みが見られる。		A22・1・b N
9	59.4	24.3	16.3	不明	完形。棒状で断面は楕円形を呈する。下端部に使用痕と思われ、小さな剥離痕が見られる。表面は平滑である。		A39・1・d N
10	41.7	50.2	36.0	砂	上部を欠失する。棒状を呈し断面は三角形に近い。		B1・47
11	69.6	25.9	22.7	讃岐山 質岩	完形。短い棒状で断面は三角形を呈する。		A1・1・c S
12	69.4	55.8	36.2	砂	上部を欠失する。棒状で断面は楕円形を呈する。下端部には使用痕と思われ、剥離痕が見られる。赤変している。		C6・2・404
13	102.8	32.5	26.4	砂	完形。棒状で断面は四角形に近い。側面の先端部から中央部にかけて小さな凹みが見られる。		B1・518
14	103.0	47.5	24.5	砂	完形。太く、断面は不整な楕円形。両面には大きな凹みが見られる。		A3・1・b N
15	41.9	24.6	10.5	讃岐山 質岩	上部を欠失する。細く、下端部には使用痕と思われ、剥離痕が見られる。色調は淡緑灰色を呈する。		B23・a S
16	29.4	26.7	16.8	砂	破損品。下端部には使用痕と思われ、剥離痕が見られる。表面は粗い。色調は淡黄褐色を呈する。		A32・1・489
17	31.0	28.1	12.3	黒雲母 花崗岩 閃緑岩	上部を欠失する。断面は楕円形を呈する。下端部には使用痕と思われ、剥離痕が見られる。色調は淡黄褐色で表面は粗い。		A40・5・b S
18	69.5	44.3	35.6	砂	下部を欠失する。棒状で断面はほぼ四角形を呈する。上端部には小さな剥離痕が見られる。側面のところに凹みが見られる。		B2・18
19	82.00	53.20	35.80	砂	下部を欠失する。棒状で断面はほぼ三角形を呈する。中央部に複数の凹みが見られる。		C8・1・d S
20	106.6	37.6	22.3	閃緑岩	完形。棒状で断面はほぼ三角形を呈する。下端部には使用痕と思われ、剥離痕が見られる。		C19・1・a S
21	86.20	66.20	33.50	砂	下部を欠失する。棒状で断面はほぼ四角形を呈する。表裏に複数の凹みがある。		C8・1・77
22	46.8	23.0	8.1	砂	上部を欠失する。細く、断面はほぼ三角形を呈する。下端部には使用痕と思われ、剥離痕が見られる。色調は淡黄白色を呈する。		A41・4・b N
23	42.8	23.7	18.1	砂	上部を欠失する。細く、断面は不整な楕円形を呈する。下端部には複数の使用痕と思われ、剥離痕が見られる。		A35・3・c N
24	66.4	40.0	39.9	砂	上部を欠失する。太い棒状で断面は四角形を呈する。下端部には使用痕と思われ、剥離痕が見られる。		B13・b N
25	49.8	25.4	25.0	不明	上部を欠失する。細く、断面は不整な楕円形を呈する。下端には小さな使用痕が見られる。		A38・3・979
26	58.0	20.5	18.9	讃岐山 質岩	小形で、断面は不整な楕円形を呈する。下端に小さな使用痕と思われ、剥離痕が見られる。赤変している。		A40・2・d N

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅					
27	61.5	34.6	73.5	讃岐岩山 安山岩	棒状で断面は不整な四角形を呈する。下部には使用痕と思われ剥離痕が見られる。色調は少し赤変している。	A12・1・a N	
28	75.75	24.40	-	遺物	棒状で断面は三角形を呈する。上下両端に使用痕と思われ剥離痕を持つ。	B9・434	
29	95.55	23.10	62.5	砂	棒状で断面は不整な三角形を呈する。両端部には小さな使用痕と思われ剥離痕が見られる。	B8・555	
30	39.0	30.7	24.2	讃岐岩山 安山岩	上部を欠失する。断面は不整な楕円形を呈する。下部には小さな使用痕と思われ剥離痕が見られる。	B16・283	
31	30.9	23.7	15.0	明	下部を欠失する。細く、断面は不整な楕円形を呈する。上部には小さな使用痕と思われ剥離痕が見られる。	C5・1・d S	
32	50.9	26.9	31.2	明	上部を欠失する。棒状で断面は不整な楕円形を呈する。下部には使用痕と思われ剥離痕が見られる。	A38・4・c N	
33	45.6	25.3	23.9	砂	下部を欠失する。細く、断面はほぼ三角形を呈する。	A35・2・c N	
34	50.2	22.4	27.8	砂岩(チャ ト入り)	上部を欠失する。細く、断面はほぼ四角形を呈する。赤変している。下端の周囲に小剥離があり使用痕と思われれる。	A5-2-218	
35	46.7	28.2	22.6	黒雲母花崗 閃緑岩	下部を欠失する。断面は不整な楕円形を呈する。上部部から側面にかけて使用痕と思われ剥離痕が見られる。	A40・5・b S	
36	52.1	24.0	29.4	玢 岩	上部を欠失する。細く、断面はほぼ三角形を呈する。下部部の周囲に使用痕と思われ剥離痕が見られる。	B22・b N	
37	16.3	49.7	167.5	砂	下部を欠失する。大形で、断面は三角形を呈する。側面に小さな凹みが見られる。	A39・1・d N	
38	110.0	44.0	203.4	閃 緑 岩	完形。大形で、断面はほぼ三角形を呈する。側面の下部に小さな凹みが見られる。	B13・909	
39	77.1	66.5	376	石英斑岩	完形。球形。赤変している。表面はなめらかである。	A40・4・a S	
40	53.0	30.4	55.5	//	完形。短かく、断面は不整な楕円形。下部部に使用痕と思われ小さな剥離痕が見られる。	B3・867	
41	40.0	12.1	12.8	結晶片岩	上下両端及び側面の一部を欠失する小破片。	A41・3・249	
42	44.4	12.0	11.8	讃岐岩山 安山岩	下部を欠失する。細く、断面は不整な楕円形。上部部に小剥離があり、使用痕と思われれる。	A36・2・2767	
43	70.70	21.45	47.6	砂	完形。棒状である。両端部に使用痕と思われ剥離痕が見られる。	B23・178	
44	55.4	42.6	71.0	緑色片岩	上部を欠失する。棒状で断面は楕円形を呈する。下部部の周囲に小剥離があり、使用痕と思われれる。	A39・2・d S	
45	52.9	20.7	30.5	緑色片岩	完形。棒状で断面はほぼ三角形を呈する。下部部には使用痕と思われ剥離痕が見られる。上部部は大きく、はがれている。	B19・543	
46	93.4	29.3	85.6	結晶片岩	上部を欠失する。大形で断面は四角形を呈する。下部部には小さな剥離や敲打痕があり使用痕と思われれる。赤変している。	A10・1・b N	
47	98.1	39.4	180.2	黒雲母片岩	完形。棒状で断面は四角形に近い。	B18・c S	
48	67.4	23.8	33.8	不 明	完形。小形品。下部部には使用痕が認められる。断面はほぼ楕円形を呈する。少し赤変している。	A28・2・c S	
49	47.8	33.9	35.2	讃岐岩山 安山岩	上部を欠失する。棒状で断面はほぼ三角形を呈する。下部部には、小さな打撃痕が見られる。	A17・1・a N	
50	114.9	36.2	32.3	261.0	//	完形。細長く、断面は四角形を呈する。側面に複数の小さな凹みがあり、両端部に打撃の痕跡がある。	B7・1333
51	77.3	33.2	83.3	讃岐岩武 安山岩	上部を欠失する。棒状で断面は四角形を呈する。下部部に使用痕と思われ剥離痕が見られる。中央部には打撃による小さな凹みが見られる。少し赤変している。	A1・1・d S	
52	74.0	33.5	103.0	讃岐岩山 安山岩	破損。両端部を欠失する。棒状で断面は四角形を呈する。表面のところに凹みが見られる。	B1・151	

番号	法 量		重量	石 質	観	察	出土地点
	長さ	幅					
53	109.20	41.20	114	頁岩	完形。大形で、断面は四角形を呈する。両端部に使用痕と思われ、剥離痕が見られる。		A3・2・60
54	51.0	2.0	21.8	頁岩	下部を欠失する。細く、断面はほぼ四角形を呈する。上端部は薄くて下端部は厚い。		B2・220
55	45.3	18.1	13.1	頁岩	破損。下部を欠失する。細く、断面は四角形を呈する。色調は淡黄白色。上端部に使用痕と思われ、剥離痕が見られる。		A40・4・b S
56	60.6	30.2	40.8	頁岩	破損。下部を欠失する。棒状である。上端部に使用痕と思われ、剥離痕が見られる。		B8・694
57	59.1	21.6	23.4	頁岩	完形。小形品で断面は楕円形を呈する。側縁の痕跡を持つ。		A29・c S
58	61.7	22.3	37.2	頁岩	完形。小形品で断面は四角形を呈する。色調は灰黒色。上端部は小さな剥離痕があり、使用痕と思われる。		A14・1・a S
59	28.3	28.2	21.7	頁岩	破損。上部を欠失する。断面は楕円形を呈する。下端部には、使用痕と思われ、剥離痕が見られる。		B7・740
60	105.2	27.9	62.8	頁岩	細長い棒状で、断面は楕円形を呈する。両端部の大きな剥離痕は使用痕と思われる。		A37・1・2541
61	86.2	29.2	74.6	頁岩	破損。上部を欠失する。棒状で断面は楕円形を呈する。下端部に使用痕と思われ、小剥離、敲打痕をもつ。		A40・3・c S

66表 C10-1 南東ピット出土遺物計測表

番号	名称	法 量		重量	石 質	出土地点
		長さ	幅			
1	搔器	36.55	35.95	20.2	サヌカイト	C10・1・421
2	削器	41.55	29.45	14.2	頁岩	C10・1・997
3	石鏃	10.08	9.50	2.65	頁岩	C10・1・203
4	削器	54.80	28.30	12.5	頁岩	C10・1・599
5	叩き石	26.35	33.35	7.3	頁岩	C10・1・471
6	削器	21.30	17.00	5.8	サヌカイト	C10・1・984
7	削器	28.95	19.65	4.70	サヌカイト	C10・1・575
8	投弾	28.95	36.30	24.3	砂岩	C10・1・541

第67表 縄文時代の石器計測表

番号	名称	法 量		重量	石 質	出土地点
		長さ	幅			
1	石匙	33.80	35.65	8.4	サヌカイト	B16・779
2	削器	35.60	37.40	8.8	頁岩	A5・1・88
3	削器	34.75	44.35	11.4	頁岩	A39・4・d N
4	削器	45.10	44.70	8.2	頁岩	A22・2・a N
5	削器	40.60	42.95	11.2	頁岩	A39・565
6	矢柄研磨器	52.15	34.30	30.6	結晶片岩	A39・4・a S
7	削器	46.45	55.70	45.3	砂岩	A38・4・552
8	削器	66.90	52.15	42.3	結晶片岩	B10・284
9	石錘	64.00	56.35	14.40	結晶片岩	A25・2・d N
10	削器	188.65	33.30	13.90	サヌカイト	C10・1・135
11	矢柄研磨器	45.30	25.50	11.70	砂岩	—

第68表 石鍬計測表

番号	法			重量	石	質	出土地点	番号	量			重量	石	質	出土地点					
	長さ	幅	厚さ						長さ	幅	厚さ									
1	12.9	13.2	2.8	0.4	サヌカイト	A42・5・d N	27	15.0	14.4	3.1	0.5	サヌカイト	A36・2・2140	53	18.0	16.8	3.7	0.9	サヌカイト	A36・3・93
2	12.2	12.5	2.4	0.4	〃	A40・4・b N	28	14.0	15.0	3.0	0.5	〃	A40・3・493	54	14.1	12.8	2.9	0.3	〃	A38・1・2779
3	14.7	13.0	2.9	0.5	〃	A38・1440	29	15.2	15.6	3.5	0.6	〃	A21・1・330	55	15.0	12.9	2.8	0.4	〃	B7・989
4	14.8	14.6	2.4	0.5	〃	A41・4・a N	30	15.7	14.0	3.1	0.6	〃	A42・3・d S	56	16.0	13.1	2.4	0.4	〃	A30・2・b S
5	14.4	15.4	2.5	0.5	〃	A34・2・c S	31	16.1	14.9	2.9	0.7	〃	A37・1・746	57	14.8	13.1	3.7	0.6	〃	A2・1・337
6	14.4	15.8	2.3	0.5	〃	A42・5・d S	32	17.1	16.7	3.2	0.6	〃	A37・2・2992	58	12.8	14.2	3.5	0.4	〃	A27・1・d N
7	14.5	12.2	2.1	0.4	〃	A34・2・c N	33	15.9	14.5	2.9	0.5	〃	A38・1・1026	59	13.3	12.9	2.8	0.3	〃	A6・3・55
8	14.6	14.5	3.4	0.5	〃	A39・4・85	34	15.9	14.6	3.3	0.5	〃	A38・2・2197	60	15.4	13.8	3.5	0.6	〃	A39・3・d N
9	15.3	14.0	3.2	0.6	〃	A37・1・3313	35	16.6	15.0	2.4	0.5	〃	A32・2・b S	61	12.8	16.2	3.4	0.5	〃	A27・1・d S
10	14.3	13.7	3.0	0.4	〃	A38・2・4077	36	17.5	14.7	4.7	0.8	〃	B18・140	62	14.7	13.1	3.2	0.4	〃	C12・1・141
11	13.4	12.5	3.4	0.4	〃	A33・1・183	37	11.3	14.7	2.4	0.6	〃	A36・2・1820	63	13.7	11.4	2.8	0.3	〃	C13・1・119
12	13.1	11.5	2.3	0.3	〃	A1・1・d S	38	15.9	14.7	3.3	0.6	〃	A33・2・196	64	16.5	13.0	2.9	0.4	〃	A38・2・1005
13	12.8	13.0	3.2	0.4	〃	C15・2・132	39	19.4	16.8	3.2	0.7	〃	A38・1・1877	65	14.6	14.5	3.0	0.5	〃	A39・2・c N
14	11.7	11.5	2.4	0.3	〃	A37・2・1665	40	12.7	11.5	3.4	0.6	〃	A6・2・319	66	16.2	14.4	3.0	0.5	〃	A39・3・270
15	12.5	12.9	2.5	0.3	〃	A34・2・d N	41	17.4	16.0	3.4	0.7	〃	A39・2・a N	67	17.9	11.0	2.8	0.6	〃	A35・1・140
16	13.8	13.1	2.7	0.4	〃	C14・1・c S	42	17.8	17.8	4.6	1.2	〃	A37・1・2509	68	17.7	16.5	3.0	0.6	〃	A42・3・b S
17	14.1	13.8	3.0	0.5	〃	A38・1・1078	43	28.0	21.5	4.0	1.8	〃	A35・4・280	69	14.1	14.5	3.4	0.4	〃	A7・2・156
18	14.7	15.2	3.0	0.5	〃	A39・2・a S	44	22.0	17.7	5.1	1.5	〃	A40・4・b S	70	16.0	15.1	3.3	0.5	〃	A13・1・b N
19	15.3	13.0	2.2	0.4	〃	A33・1・724	45	18.9	16.7	2.9	0.6	〃	A35・3・153	71	13.8	13.2	2.6	0.3	〃	A8・2・a N
20	15.1	13.4	2.6	0.4	〃	A41・4・a S	46	13.0	15.9	3.4	0.8	〃	C11・1・781	72	20.6	17.6	3.2	0.9	〃	A38・2・884
21	14.2	14.2	3.0	0.2	〃	A37・544	47	14.9	13.9	3.7	0.4	〃	A37・1・1607	73	17.7	16.1	2.9	0.6	〃	B21・395
22	15.0	15.5	2.7	0.5	〃	A36・2・1548	48	19.7	18.0	3.4	0.9	〃	A41・4・a N	74	18.8	15.4	3.1	0.6	〃	B26・130
23	14.0	15.5	2.7	0.5	〃	A40・3・b S	49	16.7	15.2	3.1	0.6	〃	A37・2・1630	75	12.3	12.5	2.6	0.6	〃	A3・2・a N
24	14.1	14.1	2.5	0.4	〃	A3・2・b N	50	14.5	16.2	2.7	0.5	〃	A34・1・1070	76	19.0	15.4	3.2	0.6	〃	A1・2・a N
25	15.0	13.2	3.0	0.5	〃	A34・2・d N	51	15.6	14.8	2.7	0.5	〃	A12・1・119	77	21.2	22.7	3.4	1.3	〃	B18・b S
26	15.2	12.9	2.7	0.4	〃	A35・1653	52	17.9	15.4	2.8	0.6	〃	A26・2・423	78	26.8	24.8	3.6	1.2	〃	C38・1・637

番号	法			重量	石	質	出土地点	番号	量			重量	石	質	出土地点	番号	法			重量	石	質	出土地点
	長さ	幅	厚さ						長さ	幅	厚さ						長さ	幅	厚さ				
79	22.1	18.0	2.4	0.9	サヌカイト		C11・1・846	105	15.1	13.7	2.4	0.5	サヌカイト		A38・2・3360	131	16.8	17.0	4.6	1.1	サヌカイト		A1・1・d N
80	14.4	14.0	2.6	0.5	〃		A32・1・187	106	14.6	12.7	2.9	0.4	〃		A38・2・4822	132	28.6	21.7	6.3	3.5	〃		A35・2・63
81	16.4	13.7	2.6	0.4	〃		C8・2・85	107	13.7	13.4	3.0	0.5	〃		A38・4・a N	133	24.0	12.0	4.7	1.2	〃		A39・3・b N
82	13.9	10.8	2.0	0.3	〃		A8・2・31	108	15.2	15.0	3.5	0.7	〃		A41・5・c N	134	18.0	12.9	2.5	0.5	〃		A37・2・589
83	15.0	16.6	3.6	0.5	〃		A5・1・b S	109	16.8	13.9	2.7	0.6	〃		A38・2・3497	135	17.9	14.8	2.5	0.5	〃		A38・2・330
84	18.6	16.0	4.0	0.7	〃		A4・2・b S	110	13.8	13.9	2.7	0.4	〃		A41・4・b N	136	33.6	24.6	4.7	3.0	〃		A37・3・b N
85	17.40	16.20	2.80	0.5	〃		A8・2・a S	111	16.1	16.2	2.9	0.6	〃		A35・1・1296	137	18.0	14.1	2.5	0.6	〃		A38・1・1032
86	12.8	13.4	3.0	0.3	〃		B14・c N	112	14.2	11.7	2.6	0.4	〃		A21・1・135	138	15.7	13.6	2.8	0.5	〃		A33・1・664
87	17.7	14.5	2.7	0.4	〃		B13・b N	113	15.8	14.4	3.1	0.6	〃		A38・1・2686	139	14.8	13.8	2.8	0.5	〃		A38・2・2563
88	17.8	15.0	3.2	—	〃		B13・b N	114	21.9	19.0	3.4	1.1	〃		A40・2・d S	140	15.5	12.8	2.4	0.5	〃		A35・1・1163
89	19.00	15.00	2.55	0.6	黒曜石		A6・2・268	115	13.4	13.3	4.0	0.5	〃		C9・2・b S	141	12.0	13.3	2.4	0.4	〃		A34・2・123
90	18.9	16.3	2.5	0.6	サヌカイト		C14・1・b S	116	17.0	14.7	3.6	0.8	〃		A36・1・414	142	15.3	14.2	3.0	0.6	〃		A37・1・278
91	20.2	19.0	2.9	0.6	〃		C5・1・c N	117	18.0	15.6	3.1	0.6	〃		A32・2・c N	143	17.3	13.6	3.7	0.5	〃		A36・2・700
92	17.3	15.4	3.8	0.9	〃		A36・1・402	118	20.3	17.3	4.7	1.1	〃		A3・316	144	17.5	14.3	3.0	0.6	〃		A37・3・c N
93	12.9	13.2	3.3	0.5	〃		A2・1・387	119	21.7	17.7	3.9	1.2	〃		A35・2・c N	145	16.7	13.5	2.3	0.4	〃		C16・1・771
94	14.2	12.7	3.0	0.5	〃		A24・1・c S	120	19.3	15.7	3.5	0.8	〃		A38・1・1478	146	18.6	15.5	2.3	0.6	〃		A40・2・361
95	20.8	19.4	2.0	—	〃		不明	121	12.4	12.0	3.8	0.4	〃		A9・1・d N	147	18.4	13.6	3.0	0.7	〃		A12・1・259
96	16.9	20.4	3.1	1.0	〃		A39・2・894	122	15.6	13.6	3.3	0.5	〃		A2・2・b S	148	18.4	13.9	2.6	0.5	〃		A25・1・a S
97	23.1	20.3	4.2	1.5	〃		A2・2・a S	123	14.4	11.8	2.8	0.3	〃		B19・638	149	19.0	11.2	3.8	1.0	流紋岩		A11・1・a N
98	16.7	14.1	3.6	0.8	〃		A39・3・b S	124	16.4	14.0	2.4	0.4	〃		A7・2・6	150	23.6	16.2	3.1	—	サヌカイト		C18・1・c S
99	15.0	15.8	3.0	0.6	〃		A37・2・1948	125	16.4	14.8	2.7	0.4	〃		A38・4・391	151	20.8	17.0	4.6	1.3	〃		A37・1・3601
100	18.6	17.4	3.6	0.9	〃		A35・1・1864	126	16.2	15.9	2.8	0.7	〃		B4・587	152	27.2	18.7	4.1	1.6	〃		B12・b N
101	26.7	22.6	5.6	2.7	〃		A21・1・422	127	14.2	13.0	3.1	0.5	〃		A7・2・d N	153	28.2	18.1	3.7	1.5	〃		A31・1・361
102	25.1	20.6	4.6	2.2	〃		A39・2・d N	128	11.3	11.7	2.8	0.3	〃		B19・c N	154	14.6	11.4	2.6	0.3	〃		C3・1・a N
103	26.5	25.7	4.8	3.3	〃		A42・3・c S	129	12.8	13.7	2.6	0.4	〃		A19・1・c S	155	17.6	13.8	3.1	0.6	〃		C11・1・799
104	14.0	13.7	3.4	0.5	〃		A13・1・d S	130	15.5	15.7	3.0	0.7	〃		A38・1・1007	156	11.6	13.8	2.7	0.6	〃		A38・1・309

番号	法			重量	石	質	出土地点	番号	量			重量	石	質	出土地点	番号	法			重量	石	質	出土地点
	長さ	幅	厚さ						長さ	幅	厚さ						長さ	幅	厚さ				
157	19.5	12.3	3.6	0.7	サヌカイト	A10・2・b S	183	22.7	14.1	2.9	0.7	サヌカイト	A37・2・769	209	20.5	14.3	4.2	0.8	サヌカイト	A35・1・595			
158	18.1	14.2	1.9	0.4	〃	A26・2・189	184	25.4	14.4	2.7	1.0	〃	B11・1057	210	24.7	14.0	4.4	0.9	〃	C17・1・c S			
159	18.3	14.6	3.8	1.1	〃	A38・1・2640	185	22.7	17.9	2.8	0.8	〃	A38・4・174	211	27.6	11.3	3.2	0.8	〃	A16・1・a S			
160	19.5	15.6	2.3	0.6	〃	C1・2・9	186	23.1	15.1	3.3	0.8	〃	A35・1・154	212	28.5	17.0	4.4	1.3	〃	A35・2・b S			
161	21.7	15.7	3.6	1.0	〃	A19・1・b S	187	22.1	14.1	5.6	1.5	〃	A21・1・742	213	26.0	17.8	5.3	2.9	〃	A33・1・706			
162	21.3	14.0	4.2	0.8	〃	B20・709	188	22.4	12.6	2.9	0.5	〃	B18・789	214	16.5	10.2	2.2	0.3	〃	B9・903			
163	25.7	15.4	5.7	1.5	〃	A19・1・c S	189	24.5	15.3	3.7	0.9	〃	A29・2・b N	215	17.8	12.4	2.7	0.4	〃	A38・3・a S			
164	25.2	19.7	3.1	1.1	〃	B18・a S	190	24.0	13.2	2.6	0.9	〃	B10・155	216	19.4	11.7	3.6	0.7	〃	A40・2・d N			
165	20.4	15.3	3.3	0.8	〃	A21・1・297	191	24.4	13.9	3.8	0.8	〃	A32・2・b N	217	20.1	15.2	2.5	0.7	〃	A3・2・476			
166	15.6	11.4	2.3	0.3	〃	A39・2・928	192	23.4	15.1	3.2	0.7	〃	A22・1・b N	218	22.0	14.4	3.2	0.7	〃	A22・2・a S			
167	19.5	13.4	2.4	0.4	〃	B12・614	193	21.2	12.6	3.7	0.6	〃	A39・3・b N	219	19.6	10.4	2.6	0.3	〃	A38・1・2139			
168	19.7	14.3	3.9	0.7	〃	A38・4・646	194	24.9	19.3	5.2	0.4	〃	A22・23・1	220	19.4	12.5	3.0	0.6	〃	A32・2・34			
169	18.4	11.6	2.9	0.5	〃	A7・2・55	195	23.8	18.1	4.0	1.1	〃	A31・2・33	221	22.2	13.3	4.7	0.9	〃	A25・1・d N			
170	17.7	13.7	3.8	0.6	〃	A21・1・625	196	19.8	12.9	2.1	0.4	〃	C16・1・1683	222	22.6	16.3	3.7	0.7	〃	A2・1・77			
171	17.9	13.6	3.1	0.6	〃	C4・1・d N	197	32.6	20.7	4.3	1.4	〃	B22・b N	223	28.9	16.2	4.5	0.7	〃	A37・1・710			
172	16.0	13.5	2.7	0.4	〃	C17・1・d S	198	21.2	16.6	3.3	-	〃	A33・2・a S	224	27.0	15.0	4.0	1.0	〃	B24・b S			
173	18.4	13.9	2.6	0.5	〃	A25・1・a S	199	18.0	12.9	2.2	0.4	〃	B12・239	225	21.3	16.4	4.4	0.9	〃	A23・1・c S			
174	19.2	15.1	2.8	0.6	〃	A36・2・610	200	20.5	12.3	3.2	0.6	〃	B24・1・c N	226	23.0	16.1	3.8	-	〃	A2・1・77			
175	19.4	16.0	2.9	0.7	〃	C13・1・270	201	17.6	13.6	2.8	0.4	〃	A19・1・c S	227	21.3	15.3	4.4	1.4	〃	B1・195			
176	19.9	12.5	3.0	0.6	〃	A38・2・1869	202	17.4	13.7	3.2	0.7	〃	B21・2578	228	29.4	21.7	4.4	1.5	〃	A3・2・b N			
177	19.4	15.1	3.4	0.6	〃	A19・1・b N	203	20.3	16.7	4.6	0.8	〃	C5・1・d S	229	24.4	18.3	3.5	0.9	〃	A36・4・486			
178	13.1	14.9	3.4	0.6	〃	A3・1・d S	204	21.2	16.3	2.9	0.8	〃	C17・2・a N	230	26.7	20.7	3.9	1.3	〃	C4・1・c S			
179	18.7	12.3	2.6	0.4	〃	A6・1・70	205	21.4	13.3	4.1	0.6	〃	A22・2・a N	231	20.6	13.9	2.9	0.6	〃	C15・1・c S			
180	19.4	12.3	2.4	0.5	〃	A36・2・226	206	21.2	14.2	4.1	1.0	〃	A30・2・a N	232	16.8	12.8	2.7	0.4	〃	C14・2・a S			
181	20.6	14.0	4.1	0.8	〃	A38・1・234	207	21.7	12.3	3.1	0.5	〃	A7・2・c N	233	34.3	23.8	3.35	1.4	〃	C15・2・63			
182	17.0	13.0	2.6	0.4	〃	B10・850	208	27.2	13.9	4.1	0.9	〃	A23・2・a N	234	25.4	17.5	2.9	1.0	〃	A41・3・b S			

番号	法		重量	石	質	出土地点	番号	量		重量	石	質	出土地点	番号	法		重量	石	質	出土地点	番号	量		重量	石	質	出土地点
	長さ	幅						長さ	厚さ						長さ	幅						長さ	厚さ				
235	25.4	21.6	7.8	4.3	サヌカイト	A40・5・b N	261	20.9	15.3	2.7	0.7	サヌカイト	B20・e S	287	40.2	14.6	2.1	サヌカイト	B5・203								
236	28.3	22.2	6.0	3.7	〃	A38・2・1329	262	22.0	15.0	2.9	0.7	〃	A39・3・a S	288	30.3	14.4	1.5	〃	A39・4・c S								
237	20.3	12.2	3.0	0.9	〃	C16・1・392	263	21.3	13.1	2.5	0.6	〃	C13・2・58	289	27.5	11.9	3.6	〃	B2・1026								
238	21.6	17.3	2.9	1.0	〃	A9・2・a S	264	22.8	14.6	3.6	1.0	〃	C16・1・1226	290	28.4	14.3	4.0	〃	A40・3・c S								
239	20.2	12.6	3.0	0.9	〃	A1・2・234	265	21.2	16.0	2.6	-	〃	B20・e S	291	43.1	10.2	4.9	〃	A37・2・1343								
240	25.8	13.7	4.7	1.1	〃	A34・2・d N	266	21.9	15.7	4.7	1.2	〃	C15・1・267	292	35.2	16.9	4.3	〃	A37・4・a S								
241	25.1	19.7	5.0	2.4	〃	A21・1・262	267	23.2	14.6	3.4	1.0	〃	A36・2・1483	293	27.0	16.4	5.9	〃	A40・3・c N								
242	15.8	13.7	3.6	1.3	〃	B21・2236	268	21.9	13.7	3.5	0.7	〃	A10・1・a N	294	28.2	23.0	3.0	〃	A31・1・332								
243	25.9	17.1	3.6	1.1	〃	B22・a S	269	27.5	17.3	3.7	1.3	〃	A33・1・933	295	17.3	15.4	2.8	〃	A26・1・175								
244	20.0	15.9	4.1	0.8	〃	A7・2・54	270	24.3	12.4	6.5	2.0	〃	A21・1・680	296	36.0	14.3	5.6	〃	A5・1・c N								
245	15.6	10.2	3.0	0.4	〃	B21・1284	271	23.2	11.5	3.4	1.1	〃	B20・d N	297	37.5	12.8	6.9	〃	A4・1・b S								
246	16.0	10.8	3.4	0.4	〃	A37・3・a N	272	24.5	15.7	4.1	1.1	〃	B21・2359	298	12.6	11.5	2.2	〃	A7・2・d N								
247	14.4	11.1	2.5	0.4	〃	A3・2・56	273	15.1	13.0	2.4	0.3	〃	A10・1・b S	299	28.7	9.8	3.0	〃	A5・2・c S								
248	11.9	11.4	2.6	0.3	〃	A36・3・396	274	27.5	16.7	3.6	1.5	〃	C5・2・a N														
249	12.0	12.9	3.3	0.5	〃	C8・1・a S	275	18.0	12.4	3.0	0.6	〃	C17・1・a N														
250	15.8	11.3	4.4	0.5	〃	B2・1172	276	15.7	13.6	3.0	0.5	〃	B22・498														
251	18.8	15.4	2.8	-	〃	C13・1・270	277	23.5	13.3	4.1	0.9	〃	A39・1・283														
252	17.7	14.6	2.3	0.6	〃	A22・1・b S	278	24.4	17.7	3.6	1.0	〃	C13・1・b N														
253	18.6	12.4	3.9	0.7	〃	A22・1・a S	279	25.6	18.4	2.8	0.9	〃	C7・2・a S														
254	18.2	13.6	3.4	0.5	〃	A5・2・c S	280	28.2	21.8	3.7	1.6	〃	A33・1・317														
255	18.2	12.9	2.6	0.4	〃	C5・1・c N	281	20.9	14.0	2.8	0.5	〃	A9・1・c N														
256	28.1	15.2	3.1	1.1	〃	A37・1・923	282	22.1	12.5	2.7	0.6	〃	A10・1・c S														
257	17.7	14.4	3.4	0.8	〃	C10・1・83	283	29.4	11.4	3.0	0.8	〃	B23・b S														
258	18.3	14.7	3.1	0.6	〃	C9・1・b S	284	22.1	16.0	3.1	1.3	〃	C15・1・320														
259	21.1	14.2	2.9	0.6	〃	B12・1124	285	34.54	17.5	5.2	1.7	流紋岩	A26・2・387														
260	21.2	14.5	4.2	1.1	〃	A40・3・c S	286	35.7	15.1	3.9	1.1	サヌカイト	A39・3・a S														

瀬戸大橋建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告 I

羽佐島遺跡 (I)

－ 本文編 －

昭和59年1月31日

編集 香川県教育委員会
発行
印刷 (有) 成光社



瀬戸大橋建設に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告 I

羽佐島遺跡 (I)

図版編

1984・1

香川県教育委員会
本州四国連絡橋公団

瀬戸大橋建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告 I

羽佐島遺跡 (I)

— 図 版 編 —

1984・1

香川県教育委員会
本州四国連絡橋公団

図版目次

- 図版 1 (1) 羽佐島遠景
(2) 羽佐島近景
- 図版 2 (1) 予備調査風景(対岸は与島)
(2) 予備調査風景
- 図版 3 (1) 予備調査Cトレンチ
(2) 予備調査Cトレンチ
- 図版 4 (1) 予備調査Cトレンチ
(2) 予備調査Cトレンチ土層
- 図版 5 (1) 本調査地区南部(伐採前)
(2) 本調査地区北部(伐採前)
- 図版 6 (1) 伐開(本調査地区南部)
(2) 伐開(本調査地区中央部)
- 図版 7 (1) 杭打ち(本調査地区南部)
(2) トレンチ設定(本調査地区南部)
- 図版 8 (1) 調査風景(B 1, B 6, B11)
(2) 調査風景(B 6, B11, B16, B21)
- 図版 9 (1) 調査風景(B13~B21)
(2) 調査風景(B19~B26, A36-1~A36-5)
- 図版 10 (1) 調査風景(A34-1~A38-2)
(2) 調査風景(A38-1から調査地区南部を眺む)
- 図版 11 (1) 調査風景(C16-1・2からC地区南部を眺む)
(2) 羽佐島遠景(発掘調査中)
- 図版 12 (1) 調査風景(A 6-1)
(2) 調査風景(遺物出土状態図の作成A32-1~A35-1)
- 図版 13 (1) 調査風景(遺物の取上げ)
(2) 調査風景(土層実測)
- 図版 14 (1) 遺物出土状態(A 2-1・2第1・2層除去後第1面)
(2) 遺物出土状態(A 2-1・2第2面)
- 図版 15 (1) 遺物出土状態(A 2-1・2第3面)
(2) 遺物出土状態(A 2-1・2第4面)
- 図版 16 (1) 遺物出土状態(A36-3第7面)
(2) 遺物出土状態(A36-3第10面)
- 図版 17 (1) 遺物出土状態(A36-3第14面)
(2) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第1面)
- 図版 18 (1) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第2面)
(2) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第4面)
- 図版 19 (1) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第5面)
(2) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第6面)
- 図版 20 (1) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第7面)
(2) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第8面)
- 図版 21 (1) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第9面)
(2) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第10面)
- 図版 22 (1) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第11面)
(2) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第13面)
- 図版 23 (1) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第14面)
(2) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第15面)
- 図版 24 (1) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第15面)
(2) 遺物出土状態(A37-1, A38-1第16面)
- 図版 25 (1) 遺物出土状態(B 6第1面)
(2) 遺物出土状態(B 6第1面)
- 図版 26 (1) 遺物出土状態(B 6第2面)
(2) 遺物出土状態(B 6第3面)
- 図版 27 (1) 遺物出土状態(B 7~B10第1面)
(2) 遺物出土状態(B 7~B10第2面)
- 図版 28 (1) 遺物出土状態(B 7~B10第3面)
(2) 遺物出土状態(B 7~B10第4面)
- 図版 29 (1) 遺物出土状態(B 7~B10第5面)
(2) 遺物出土状態(B17~B20第1層・第2層上部除去後第1面)

- 図版 30 (1) 遺物出土状態(B17~B20第3面)
(2) 遺物出土状態(B17~B20第7面)
- 図版 31 (1) 遺物出土状態(B21第1面)
(2) 遺物出土状態(B21第2面)
- 図版 32 (1) 遺物出土状態(B21第3面)
(2) 遺物出土状態(B21第4面)
- 図版 33 (1) 遺物出土状態(B21第5面)
(2) 遺物出土状態(B21第6面)
- 図版 34 (1) 遺物出土状態(B21第7面)
(2) 遺物出土状態(B21第8面)
- 図版 35 (1) 遺物出土状態(C7~C10第1・2層除去後第1面)
(2) 遺物出土状態(C7~C10第2面)
- 図版 36 (1) 遺物出土状態(C7~C10第3面)
(2) 遺物出土状態(C7~C10第4面)
- 図版 37 (1) 遺物出土状態(C7~C10第5面)
(2) 調査風景(B7~B10)
- 図版 38 (1) 遺物出土状態(C16-1・2第6面)
(2) 遺物出土状態(B20東壁第4層)
- 図版 39 (1) 遺物出土状態(A37-2第18面)
(2) 遺物出土状態(A39-4第1・2層除去後第1面)
- 図版 40 (1) 遺物出土状態(C10-1石槍出土状態1)
(2) 遺物出土状態(C10-1石槍出土状態2)
- 図版 41 (1) B2 ナイフ形石器
(2) B11 ナイフ形石器
(3) A36-3 ナイフ形石器
(4) B9 ナイフ形石器
(5) B3 ナイフ形石器
(6) B9 ナイフ形石器
- 図版 42 (1) B6 ナイフ形石器
(2) A36-1 ナイフ形石器
(3) B20 尖頭器
(4) B20 尖頭器
(5) A36-3 尖頭器
(6) A1-2 尖頭器
- 図版 43 (1) B8 削器
(2) A36-1 搔器
(3) A26-1 横長剥片石核
- (4) B21 翼状剥片石核
(5) A26-1 翼状剥片
(6) A36-1 翼状剥片
- 図版 44 (1) B4 二次調整ある剥片
(2) B13 縦長剥片
(3) B21 細石核
(4) B2 細石刃
(5) B10 石鏃
(6) B2 石鏃
- 図版 45 (1) B9 叩き石
(2) B23 叩き石
(3) B8 叩き石
(4) B1 叩き石
(5) B21 寛永通宝
(6) B8 土錘
- 図版 46 (1) C10-1・2第4面(南東ピット覆土)
(2) C10-1・2第5面(南東ピット覆土)
- 図版 47 (1) C10-1 南東ピット(I)
(2) C10-1 南東ピット(II)
- 図版 48 (1) C10-1 南東ピット(III)
(2) C10-1 南東ピット(IV)
- 図版 49 (1) C10-1 南東ピット(埋土南北断面)
(2) C10-1 南東ピット(埋土東西断面)
- 図版 50 (1) B1 西壁
(2) B1 西壁
- 図版 51 (1) B6 西壁
(2) B6 西壁
(3) B6 西壁
- 図版 52 (1) C7-1 西壁
(2) C8-1 西壁
(3) C9-1 西壁
(4) C10-1 西壁
- 図版 53 (1) C12-1 西壁
(2) C13-1 西壁
(3) C14-1 西壁
(4) C15-1 西壁
- 図版 54 (1) B16 西壁
(2) B21 西壁
- 図版 55 (1) A34-1, A35-1 東壁
(2) A36-1 東壁
- 図版 56 (1) A37-1 東壁

- (2) A38-1 東壁
- 図版 57 (1) A6-1 南壁
(2) A6-2 南壁
(3) A6-3 南壁
- 図版 58 (1) B6 南壁
(2) B6 南壁
- 図版 60 (1) B6 南壁
(2) B6 南壁
- 図版 61 (1) C7-1・2 南壁 a b c
(2) C7-1・2 南壁 c d
(3) C7-1・2 南壁 c d
- 図版 62 (1) B21 南壁
(2) B21 南壁
- 図版 63 (1) B21 南壁
(2) B21 南壁
- 図版 64 (1) A36-1 南壁 c d
(2) A36-2 南壁 a b
(3) A36-2 南壁 c d
- 図版 65 (1) A36-3 南壁 a b
(2) A36-3 南壁 c d
- 図版 66 (1) A36-4 南壁 a b
(2) A36-4 南壁 c d
- 図版 67 (1) A36-5 南壁 a b
(2) A36-5 南壁 c d
- 図版 68 (1) ナイフ形石器
(2) ナイフ形石器(裏面)
- 図版 151 (1) ナイフ形石器
(2) ナイフ形石器(裏面)
- 図版 152 (1) 舟底形石器
(2) 舟底形石器(裏面)
- 図版 155 (1) 舟底形石器
(2) 舟底形石器(裏面)
- 図版 156 (1) 尖頭器
(2) 尖頭器(裏面)
- 図版 166 (1) 尖頭器
(2) 尖頭器(裏面)
- 図版 167 (1) 彫器
(2) 彫器(裏面)
(3) 彫器(彫刀面)
- 図版 168 (1) スポール
(2) スポール(裏面)
- 図版 169 (1) スポール
(2) スポール(側面)
- 図版 170 (1) 石錐
(2) 石錐(裏面)
- 図版 171 (1) 石錐
(2) 石錐(裏面)
- 図版 172 (1) 削器・搔器
(2) 削器・搔器(裏面)
- 図版 184 (1) 削器・搔器
(2) 削器・搔器(裏面)
- 図版 185 (1) 楔状石器
(2) 楔状石器(裏面)
- 図版 188 (1) 楔状石器
(2) 楔状石器(裏面)
- 図版 189 (1) 二次調整ある剥片
(2) 二次調整ある剥片(裏面)
- 図版 192 (1) 二次調整ある剥片
(2) 二次調整ある剥片(裏面)
- 図版 193 (1) 横長剥片石核
(2) 横長剥片石核(裏面)
- 図版 250 (1) 横長剥片石核
(2) 横長剥片石核(裏面)
- 図版 251 (1) 翼状剥片
(2) 翼状剥片(裏面)
- 図版 284 (1) 翼状剥片
(2) 翼状剥片(裏面)
- 図版 285 (1) 横長剥片
(2) 横長剥片(裏面)
- 図版 317 (1) 横長剥片
(2) 横長剥片(裏面)
- 図版 318 (1) 大形剥片
(2) 大形剥片(裏面)
- 図版 319 (1) 大形剥片
(2) 大形剥片(裏面)
- 図版 320 (1) 縦長剥片石核
(2) 縦長剥片石核(裏面)
- 図版 334 (1) 縦長剥片石核
(2) 縦長剥片石核(側面)
- 図版 335 (1) 縦長剥片
(2) 縦長剥片(裏面)
- 図版 353 (1) 縦長剥片

- (2) 縦長剥片(裏面)
- 図版 354 (1) 細石核(側面)
 - ㄱ (2) 細石核(裏面)
- 図版 377 (1) 細石核
 - (2) 細石核(裏面)
- 図版 378 (1) 細石刃
 - ㄱ (2) 細石刃(裏面)
- 図版 381 (1) 細石刃
 - (2) 細石刃(裏面)
- 図版 382 (1) 叩き石
 - ㄱ (2) 叩き石(裏面)
- 図版 389 (1) 叩き石
 - (2) 叩き石(裏面)
- 図版 390 (1) C10-1 南東ピット出土石器
 - (2) C10-1 南東ピット出土石器(裏面)
- 図版 391 (1) 縄文時代の石器
 - (2) 縄文時代の石器(裏面)
- 図版 392 (1) 縄文時代の石器
 - (2) 縄文時代の石器(裏面)
- 図版 393 (1) 石 鏃
 - ㄱ (2) 石 鏃(裏面)
- 図版 400 (1) 石 鏃
 - (2) 石 鏃(裏面)
- 図版 401 (1) 土 錘
 - (2) 土 錘(側面)
- 図版 402 (1) 縄文土器
 - (2) 縄文土器(裏面)
- 図版 403 (1) 弥生土器
 - (2) 弥生土器(裏面)
- 図版 404 (1) 土師質土器
 - (2) 土師質土器(裏面)
- 図版 405 (1) 灰釉土器・緑釉土器
 - (2) 灰釉土器・緑釉土器(裏面)
- 図版 406 (1) 白 磁
 - (2) 白 磁(裏面)
- 図版 407 (1) 青 磁
 - (2) 青 磁(裏面)
- 図版 408 (1) 古 銭
 - (2) 古 銭(裏面)



(1) 羽佐島遠景



(2) 羽佐島近景 (鞍部)



(1) 予備調査風景 (対岸は与島)



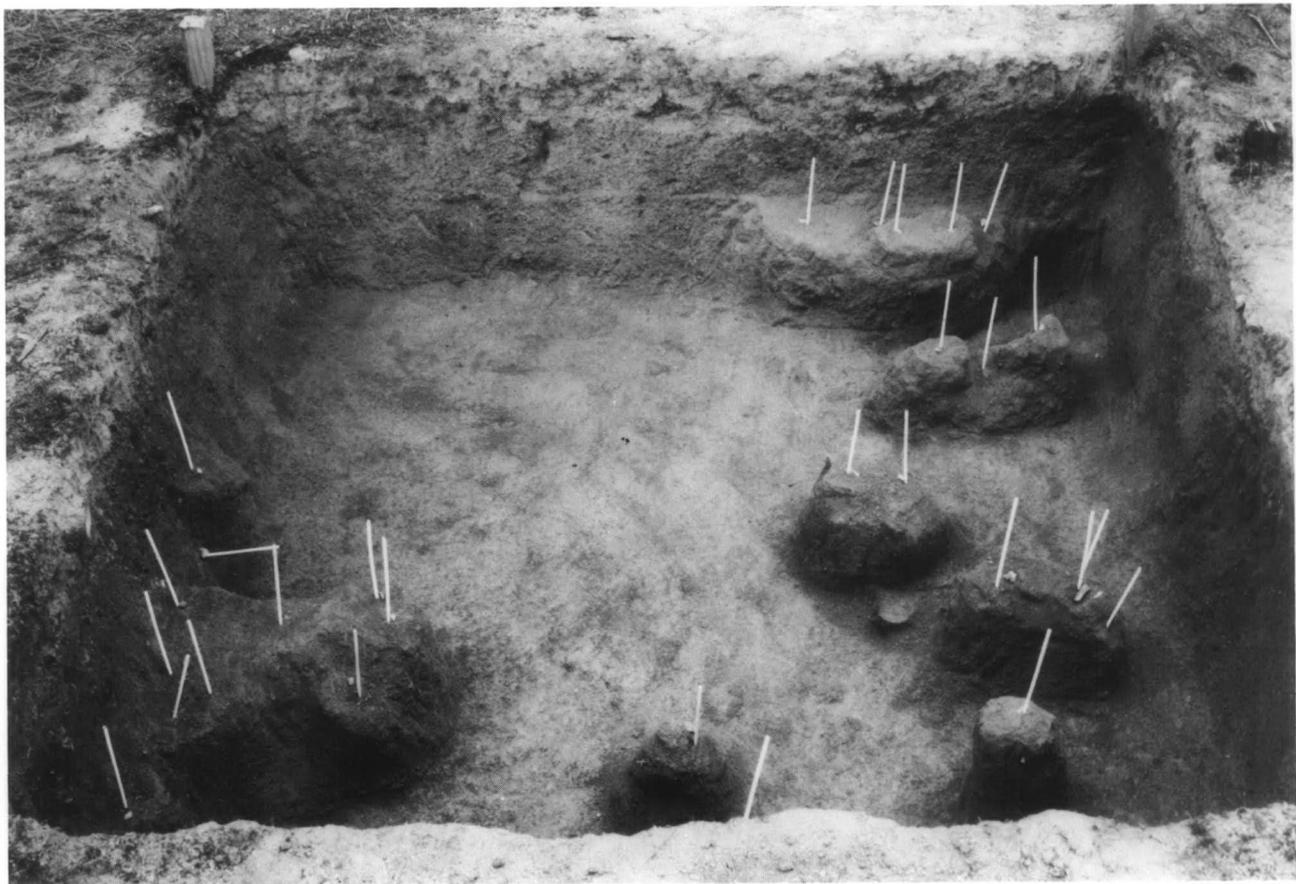
(2) 予備調査風景



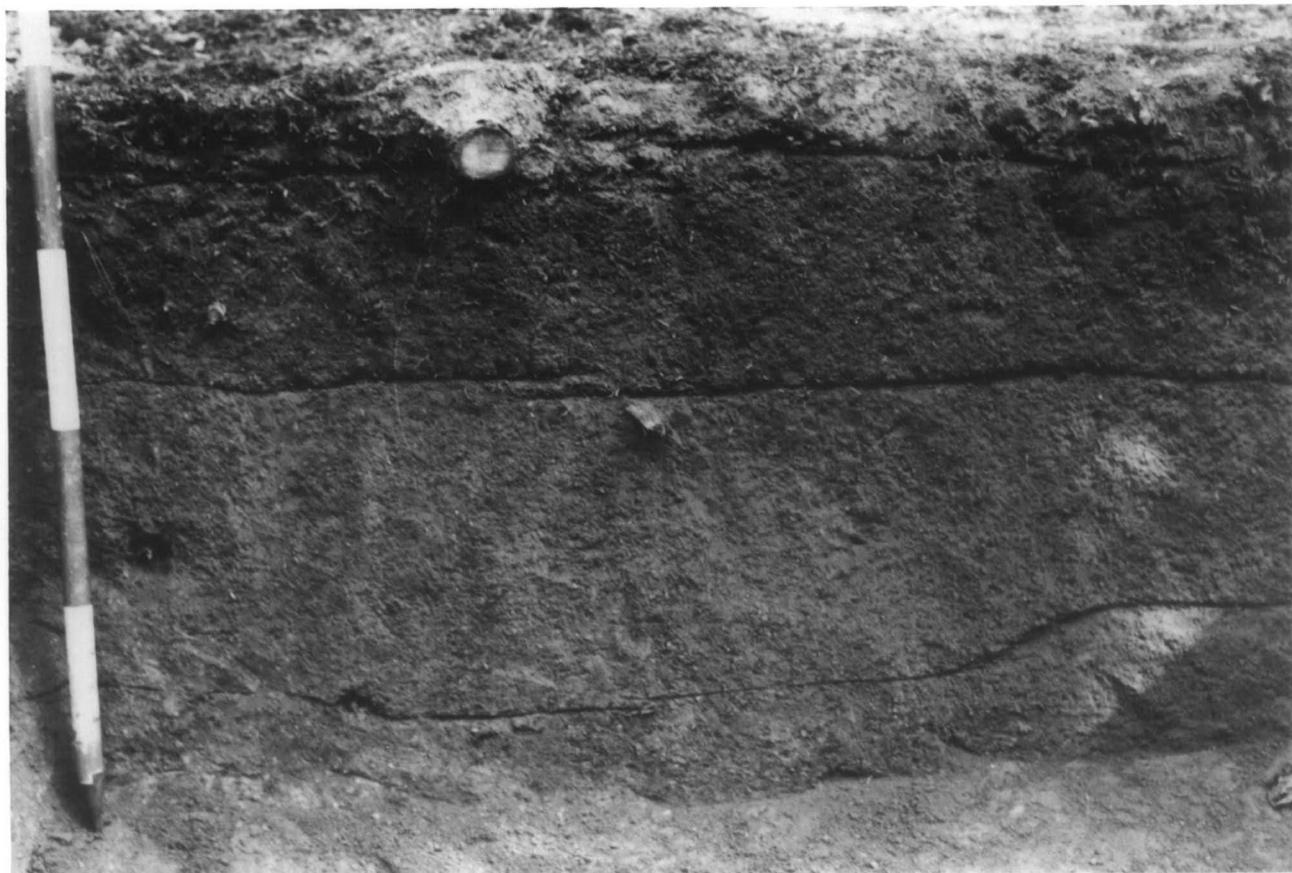
(1) 予備調査Cトレンチ



(2) 予備調査Cトレンチ



(1) 予備調査Cトレンチ



(2) 予備調査Cトレンチ土層



(1) 本調査地区南部 (伐採前)



(2) 本調査地区北部 (伐採前)



(1) 伐開 (本調査地区南部)



(2) 伐開 (本調査地区中央部)



(1) 杭打ち (本調査地区南部)



(2) トレンチ設定 (本調査地区南部)



(1) 調査風景 (B 1, B 6, B 11)



(2) 調査風景 (B 6, B 11, B 16, B 21)



(1) 調査風景 (B 13～B 21)



(2) 調査風景 (B 19～B 26, A 36-1～A 36-5)



(1) 調査風景 (A34-1 ~ A38-2)



(2) 調査風景 (A38-1 から調査地区南部を眺む)



(1) 調査風景 (C16-1・2からC地区南部を眺む)



(2) 羽佐島遠景 (発掘調査中)



(1) 調査風景 (A 6 - 1)



(2) 調査風景 (遺物出土状態図の作成 A 32 - 1 ~ A 35 - 1)



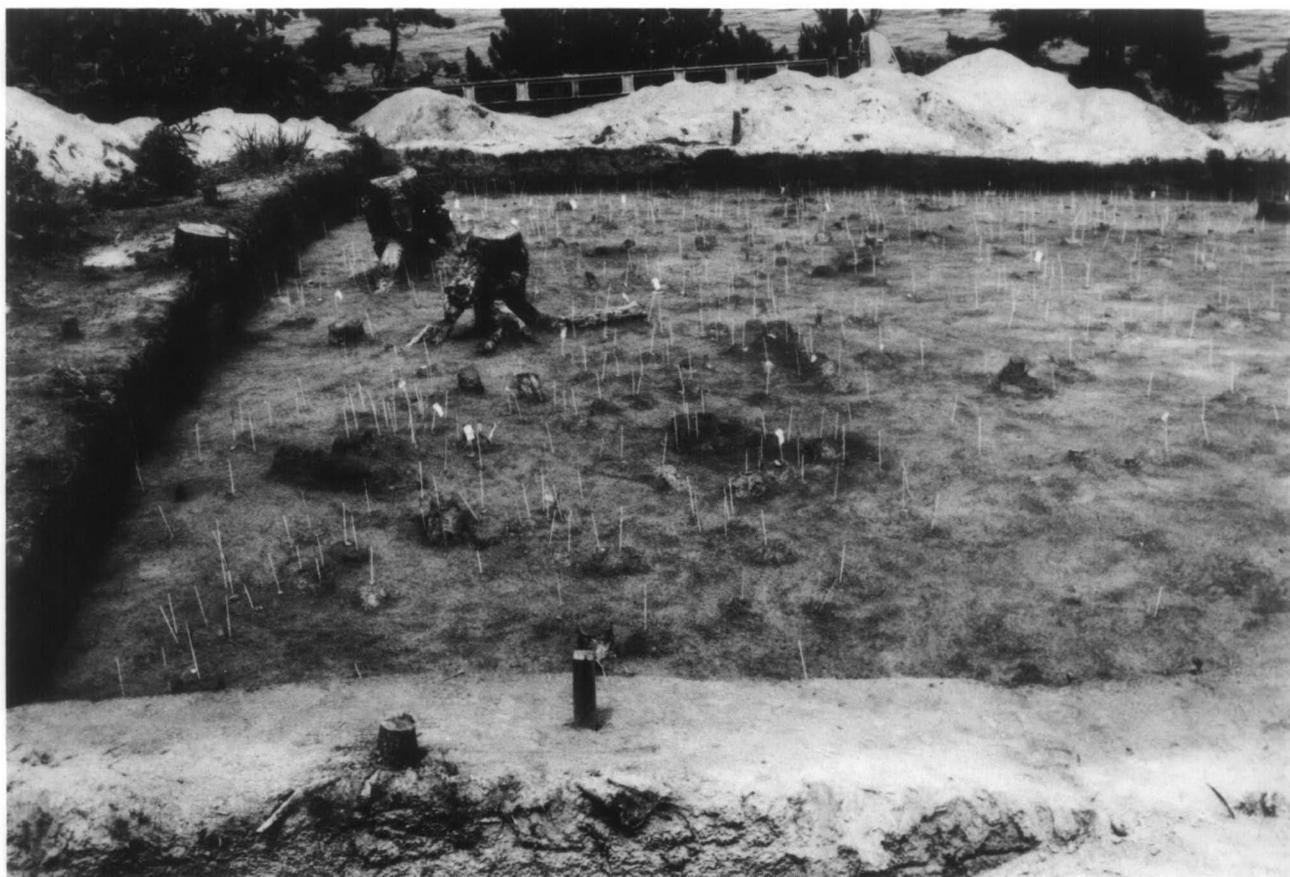
(1) 調査風景（遺物の取上げ）



(2) 調査風景（土層実測）



(1) 遺物出土状態 (A 2 - 1・2 第 1・2 層除去後第 1 面)



(2) 遺物出土状態 (A 2 - 1・2 第 2 面)



(1) 遺物出土状態 (A 2 - 1・2 第 3 面)



(2) 遺物出土状態 (A 2 - 1・2 第 4 面)



(1) 遺物出土状態 (A36-3 第7面)



(2) 遺物出土状態 (A36-3 第10面)



(1) 遺物出土状態 (A36-3 第14面)



(2) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1 第1面)